

ラオス人民民主共和国
理数科現職教員研修改善プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成 26 年 6 月
(2014年)

独立行政法人国際協力機構
ラオス事務所

ラオ事
JR
14-002

**ラオス人民民主共和国
理数科現職教員研修改善プロジェクト
終了時評価調査報告書**

平成 26 年 6 月
(2014年)

独立行政法人国際協力機構
ラオス事務所

序 文

ラオス人民民主共和国（以下「ラオス」という。）は、2020年までに後発開発途上国から脱却することを目標としており、基礎教育の普及・改善を貧困の根本的解決に向けた優先事項としており、同時に、国家計画「第7次国家社会経済開発計画（NSEDP）2011～2015年」において、教育分野を取り組むべき重点分野の一つとして位置づけています。また、教育・スポーツ省は2015年までに万人のための教育（EFA）の目標を達成すべく、「公平さとアクセスの改善」「質とレリバンス（適切性）の改善」「教育行政とマネジメントの改善」を3本柱として積極的に教育改善に取り組んでおり、2009年には包括的なセクター開発計画である「教育セクター開発フレームワーク（ESDF）」も策定されました。こうした取り組みにより、初等教育の純就学率や成人識字率は徐々に改善されつつあるものの、依然として教育をとりまく多くの課題が残されている状況です。その主な課題の一つとして、教育の質の低さ、特に教員の質及び教員が実践する授業の質の改善が喫緊の課題として挙げられており、継続的な研修を通じた現職教員の質の向上の必要性が指摘されています。

わが国政府は、こうした課題を解決するためにラオス政府の要請を受け、2010年2月から「理数科現職教員研修改善プロジェクト」を開始しました。

本報告書は、プロジェクトの終了時評価において、関係者へのインタビュー等を通してプロジェクトの目標達成度や成果の発現状況等を把握・分析するとともに、特に案件終了後の持続性を念頭に置いた提言・教訓を策定し、ラオス側との協議を経て合意した評価結果を取りまとめたものです。

最後に、調査にご協力頂いた内外関係機関に、改めて深い感謝の意を表するとともに、今後の協力事業に向けて、引き続き一層のご支援をお願いする所です。

平成26年6月

独立行政法人国際協力機構

ラオス事務所長 武井 耕一

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

終了時評価調査結果要約表（和文・英文）

第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成と調査期間	1
1-3 主要面談者	1
第2章 プロジェクトの概要	4
2-1 背 景	4
2-2 基本計画	4
2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）	5
第3章 終了時評価の方法	6
3-1 評価実施方法	6
3-2 調査項目	6
3-2-1 主な調査項目	6
3-2-2 評価5項目	6
3-2-3 評価デザイン	7
3-3 情報・データ収集方法	7
第4章 評価の結果	10
4-1 プロジェクトの実績	10
4-1-1 投入実績	10
4-1-2 活動実績	11
4-1-3 アウトプットの達成状況	13
4-1-4 プロジェクト目標の達成状況	18
4-1-5 上位目標の達成状況	23
4-2 プロジェクトの実施プロセス	26
4-3 評価5項目による評価	27
4-3-1 妥当性	27
4-3-2 有効性	28
4-3-3 効率性	29
4-3-4 インパクト	30

4-3-5 持続性.....	32
4-4 プロジェクトに対する貢献要因・阻害要因.....	33
4-4-1 貢献要因.....	33
4-4-2 阻害要因.....	34
4-5 結論.....	34
第5章 提言及び教訓.....	35
5-1 提言.....	35
5-2 教訓.....	40
付属資料	
1. ミニッツ (Minutes of Meeting : M/M)	45
2. 評価グリッド (和文)	119
3. 質問票調査様式 (プロジェクトチーム、DTE向け)	134
4. 質問票調査様式・結果 (トレーナー、学校向け)	181
5. ITSME将来計画と実施戦略.....	192
6. DESB、PESS拡大計画	202

地 図



カムアン県

サバナケット県

チャンパスック県

写 真



カムアン県教育・スポーツ局でのインタビュー



サバナケット県ポンサワン小学校でのインタビュー



サバナケット県チャンポン郡教育・スポーツ局でのインタビュー



パクセー教員養成校でのインタビュー



チャンパスック県ウドムスック小学校でのインタビュー



ミニッツ署名式

略 語 表

略 語	正 式 名 称	日 本 語
AT	Academic Teacher	アカデミック・ティーチャー
C/P	Counterpart Personnel	カウンターパート
CIED	Project for Supporting Community Initiative for Primary Education Development in the Southern Provinces	南部 3 県におけるコミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクト
DDG	Deputy Director General	副局長
DESB	District Education and Sports Bureau	郡教育・スポーツ局
DG	Director General	局長
DPPE	Department of Primary and Pre-school Education	就学前・初等教育局
DTE	Department of Teacher Education	教員教育局
EQS	Education Quality Standard	教育質基準
ES	External Supervision	校外指導
ESDF	Education Sector Development Framework	教育セクター開発フレームワーク
ESDP	Education Sector Development Plan	教育セクター開発計画
ESQAC	Education Standard and Quality Assurance Center	教育標準・品質管理センター
IS	Internal Supervision	校内指導
ITSME	Improving In-service Training for Sciences and Mathematics Education	理数科現職教員研修改善プロジェクト
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ
MC	Management Committee	運営委員会
MOES	Ministry of Education and Sports	教育・スポーツ省
NSEDP	National Socio-Economic Development Plan	国家社会経済開発計画
PA	Pedagogical Advisor	指導主事
PCM	Project Cycle Management	プロジェクト・サイクル・マネジメント
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PESS	Provincial Education and Sports Service	県教育・スポーツ局
PO	Plan of Operations	(プロジェクト) 活動計画
R/D	Record of Discussions	討議議事録
RIES	Research Institute for Educational Science	教育科学研究所

SBT	School-based Training	校内研修
SMATT	Improving Science and Mathematics Teacher Training	理数科教員養成プロジェクト
SOQ	School of Quality	学校基準
TESAP	Teacher Education Strategy and Action Plan	教員教育戦略・行動計画
ToT	Training of Trainers	指導者研修
TTC	Teacher Training College	教員養成校
W/S	Workshop	ワークショップ／研修

終了時評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ラオス人民民主共和国	案件名：理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME)
分野：基礎教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：ラオス事務所	協力金額（評価時点）：3億2,000万円
協力期間	R/D 締結：2009年11月19日
	開始：2010年2月22日
	終了(予定)：2013年10月31日
	先方関係機関：教育・スポーツ省 (MOES) 教員教育局
	日本側協力機関：株式会社 VSOC
	他の関連協力：チャンパサック県及びサバナケット県学校環境改善計画（コミュニティ開発支援無償）
1-1 協力の背景と概要	
<p>ラオス人民民主共和国（以下「ラオス」という。）の国家計画「第6次国家社会経済開発計画（National Socio-Economic Development Plan。以下「NSEDP」という。）2006～2010年」では、教育分野をその重点分野の一つとして位置づけ、「教育改革を通じた人材開発の質的・量的改善」を目標として掲げている。また、教育・スポーツ省（Ministry of Education and Sports。以下「MOES」という。）は、「アクセス」「質」及び「マネジメント」の改善を3本柱に、2015年までに「万人のための教育（Education for All。以下「EFA」という。）」を達成すべく、具体的な行動目標を設定している。</p> <p>これらの取り組みの下、初等教育純就学率は79.0%（2000年）から91.6%（2008年）へと向上した。しかし、その一方で留年率及び中退率の改善については期待されたほどの成果はみられていない。その主要因の一つとして教育の質の低さが挙げられ、質の改善の取り組み強化、特に現職教員の質の改善が喫緊の課題となっている。現在、MOESの「教員教育戦略（2006～2015年）・行動計画（2006～2010年）（Teacher Education Strategy and Action Plan。以下「TESAP」という。）」において、教員養成・研修及びそのマネジメントに関する戦略、達成目標及び活動スケジュール等がまとめられているが、必ずしも計画的に進んでいるとはいえない。また、制度面の改善が実際の教育現場の改善に結びつくためにも、現職教員の能力向上が必要であり、そのための有効な手段として現職教員研修の改善が求められている。2009年4月に策定されたラオス教育セクターの包括的計画である「教育セクター開発フレームワーク（Education Sector Development Framework。以下「ESDF」という。）」においても、継続的な研修を通じた現職教員の質の向上の必要性が指摘されている。</p> <p>JICA はこれまで基礎教育分野において、技術協力プロジェクト「理数科教員養成プロジェクト（Improving Science and Mathematics Teacher Training。以下「SMATT」という。）」（2004～2008年）による教員養成校（Teacher Training College。以下「TTC」という。）における教員養成の強化、技術協力プロジェクト「南部3県におけるコミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクト（Project for Supporting Community Initiative for Primary Education Development in the Southern Provinces。以下「CIED」という。）」（2007～2011年）による学校環境改善、無償資金協力・コミュニティ開発支援無償資金協力による学校建設等を実施してきた。特に「SMATTプロジェクト」では、TTCの理数科教員の質が改善されることを目的に、理数科カリキュラム開</p>	

発等のワークショップ（Workshop。以下「W/S」という。）や教員養成に携わる人材を対象にした研修の実施などの支援を行ってきた。

このような背景の下、MOES はこれら支援の実践を高く評価し、特に理数科分野において、前技術協力プロジェクトの後継案件として、県・郡レベルでの現職教員研修を継続的に実施できる仕組みづくり及び試行を主なコンポーネントとした案件をわが国政府に要請した。

1-2 協力内容

本プロジェクトは、MOES 内で教員教育に関する政策・戦略の策定及び制度構築を一元的に担う観点から、教員教育局（Department of Teacher Education。以下「DTE」という。）を中央レベルのカウンターパート（Counterpart Personnel。以下「C/P」という。）とし、地方レベルにおいてはチャンパサック県、サバナケット県及びカムアン県を対象に、実際に教員教育を行う TTC の教官、並びに、県教育・スポーツ局（Provincial Education and Sports Service。以下「PESS」という。）及び郡教育・スポーツ局（District Education and Sports Bureau。以下「DESB」という。）の指導主事（Pedagogical Advisor。以下「PA」という。）で構成される理数科現職教員研修改善プロジェクト（Improving In-service Training for Sciences and Mathematics Education。以下「ITSME」という。）トレーナーチームの能力強化を進めつつ、現場で蓄積された経験・知見の中央へのフィードバック及び政策等への反映を通じて、校内指導（Internal Supervision。以下「IS」という。）活動や校外指導（External Supervision。以下「ES」という。）活動などラオスにおける既存の制度を活用した学校現場での自発的・継続的な授業改善の取り組みを普及・定着させることで、対象校における理数科授業の質の改善を図るものである。

(1) 上位目標

対象県の授業の質が向上する。

(2) プロジェクト目標

対象校の理数科の授業の質が向上する。

(3) アウトプット

アウトプット 1：授業改善のための仕組みが強化される。

アウトプット 2：授業改善を促進する人材が強化される。

アウトプット 3：授業改善のための教材類が作成される。

(4) 投入（評価時点）

日本側：総投入額 3 億 200 万円

専門家派遣 6 名 機材供与 27 万 3,950 US ドル

研修員受入 30 名 ローカルコスト負担 19 万 6,866 US ドル

その他

相手国側：

C/P 配置 40 名 ローカルコスト負担 7 億 4,662 万 3,000 LAK

必要な資機材と会議室、専門家執務室の提供等

2. 評価調査団の概要			
調査者	団長／総括 教員教育 協力企画 評価分析	神谷まち子 水野敬子 角田和之 平良那愛	JICA ラオス事務所 次長 教育政策アドバイザー JICA ラオス事務所員 アイ・シー・ネット株式会社
調査期間	2013年7月1～19日		評価種類：終了時評価
3. 評価結果の概要			
3-1 実績の確認			
(1) アウトプットの達成状況			
1) アウトプット 1 はおおむね達成済みである。後述の指標 4 が達成されればアウトプット 1 の達成度は更に高まる見込みである。			
<p>「指標 1-1：対象県において IS 活動支援に資するプロフェッショナルネットワークを構築するための、TTC と PESS 間で合意された公式文書」については、DTE、PESS、DESB、TTC の IS 活動支援に関する機能と役割（プロフェッショナルネットワークに相当する機能を含む）を定めた「ITSME 将来計画と実施戦略」が 2013 年 4 月 1 日に DTE 局長 (Director General。以下「DG」という。) により承認され、DTE とプロジェクト対象の PESS、DESB、TTC 間で合意された。「指標 1-2：対象県において仕組みを機能させるために承認された MOES 予算」は、おおむね達成された。中央レベルでは、DTE 予算の合計 7 億 4,662 万 3,000LAK が 2013 年 6 月以降を除きプロジェクト期間中の活動費として支出された。地方レベルでは、基本的に学校モニタリングは PESS と DESB の通常予算で行われたほか、すべての対象校が学校での IS 活動の費用を負担した。「指標 1-3：プロジェクトで開発したモデル授業案の対象校における活用状況」は、完全に達成された。ベースライン値と比較して、すべての対象校は、プロジェクトが開発したモデル授業案を IS 活動において活用した。「指標 1-4：DESB 経由で PESS になされたモデル授業案の活用に関するフィードバック状況」は、対象の全 8DESB がモデル授業案の活用状況について口頭でのフィードバックを実施した。一方、プロジェクトが開発したモニタリングフォームを用いての定期的なフィードバックは、現在までのところ 4DESB が実施しているが、プロジェクトが既に残りの DESB へも提出の指導を行って DESB から提出予定の連絡を受けていることから、プロジェクト終了までには達成される見込みである。</p>			
2) アウトプット 2 はおおむね達成されたといえる。			
<p>「指標 2-1：開発されたモデル授業案の質が改善される」については、専門家チームによる ITSME トレーナーがグループで作成したモデル授業案（計 25 授業案）の分析結果によると、授業案の質が、9 点満点で 1 年次の 7.0 点から、2 年次の 7.3 点、3 年次には 8.8 点に達したことから、質の改善状況は良好である。この分析結果から、作成された授業案は、①明確な授業目標の設定、②適切な授業過程・生徒活動の設定、③前 2 項に沿った適切な評価設問の設定、という目標の質を満たしたといえる。さらに、「指標 2-2：ITSME トレーナーの教科知識が改善される」では、トレーナー 22 人のプレ・ポストテストを点検すると、算数・理科のプロジェクト対象の 7 単元すべてについてポストテスト</p>			

の結果が高かった。理想的には、テスト結果が 100%に達することが望ましいが、教科書の質の低さ、ITSME トレーナーや教員の限られた学習環境の制約を考えると、改善の度合いは良好であるといえる。対象外の単元においても教科知識を深めることが、ITSME トレーナーにとって今後の更なる課題である。

3) アウトプット 3 はプロジェクト終了までに達成される見込みである。

「指標 3-1:活動 1-3 で示された計画目標に対して、実際に開発されたモデル授業案の数」(1 年次・2 年次：設定なし、3 年次：10 単元、4 年次：10 単元)については、1 年次に 3 単元、2 年次に 9 単元、3 年次は目標どおりの 10 単元を作成した。4 年次は 2013 年 6 月時点で目標を超える 14 単元の作成をほぼ終えており、プロジェクト終了までに完全に達成される見込みである。「指標 3-2:活動 3-7 で取りまとめられた授業改善のための教材集」に関して、プロジェクトは既に開発されたモデル授業案やマニュアルなどの取りまとめ作業を始めており、プロジェクト終了までに達成される見込みである。「指標 3-3:教材集の国家標準としての採用を検討するよう MOES に提案するために、プロジェクトで準備・提出した文書」について、プロジェクトは、開発された教材集を MOES の既存の研修などへいかに活用できるかなど、具体的な提言文書を作成する準備を進めており、プロジェクト終了までには達成が見込まれる。

(2) プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標は達成されたといえる。プロジェクト終了までに各成果の達成度が高まることにより、プロジェクト目標の達成度が更に高まる見込みである。

「指標 1:対象校の教員の授業実践の質が改善する」に関して、対象校の教員は①明確な授業目標の設定、②適切な流れの生徒活動の実施、③学習内容のまとめと評価活動、をおおむね行えるようになりつつあり、したがって授業実践の質のなかでも授業構築技術がとりわけ改善したことが認められた(エンドライン調査における対象 32 校の授業観察結果と終了次評価調査における 8 校でのインタビュー調査結果による)。今後は、習得した授業構築技術を用いて、正しい教科知識を教えられるようになることが更なる課題である。「指標 2:対象校の教員の授業案の質が改善する」については、十分に達成された。プロジェクト専門家とトレーナーによる授業案の質の分析結果によると、対象校の教員の作成した授業案(サンプル授業案数:26)は、上述の①～③の点で向上し、とりわけ①について質が改善したことが分かった。今後は正しい教科知識に沿って、②と③をより適切に組み立てられるようになることが教員にとっての更なる課題である。加えて、終了時評価調査で実施したアンケート調査によると、回答者の 100%(ITSME トレーナー全 36 人)が、モデル授業案を用いた IS 活動が授業の質の改善に効果的であったと答えたことから、モデル授業案を用いた IS 活動の活性化がプロジェクト目標の達成に貢献したといえる。

(3) 中間レビューにおける提言への対応状況

中間レビューで示された提言の多くが、中間レビュー後に改訂されたプロジェクト・デザイン・マトリックス(Project Design Matrix。以下「PDM」という。)のなかで活動や指標として位置づけられたことで、プロジェクト実施を通じておおむね対応策が講じられてきた。

なお、提言のうち、①ITSME の成果活用・共有のための中央レベルでの相互協力の検討、②他の関連人材に対する ITSME の成果の共有・普及、③最終版の教材集とその全国普及に関する提言を取りまとめたプロジェクトの最終成果品としての包括的報告書の作成と MOES への提出の 3 点については、本終了時評価実施時点で対応中であり、プロジェクト終了までには完了が見込まれている。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：【非常に高い】

プロジェクトは、ラオスの国家政策や教育政策とだけでなく、MDGs 達成に向け基礎教育、教育の質の改善を優先分野とする日本の対ラオス ODA 政策・計画とも非常に高い整合性がある。対象の幾つかの DESB からは、IS 活動により授業の質が改善されたことで生徒の中退率が低下したという報告もあり、「教育セクター開発計画 (Education Sector Development Plan。以下「ESDP」という。) 2011～2015 年」の中間レビューで指摘された中退率の改善という重要課題と整合している。MOES は、教員の資質向上のための IS の実施を促しているが、その具体的な内容については各学校任せであり、学校側も実のある活動を試行錯誤している。プロジェクトが IS のための質の高い研修教材を提供し、適切な使用方法を指導することは現場のニーズと十分に合致している。日本の教育現場は IS 実施に関する豊富な知見を有しており、これら知見を用いた IS の活性化による授業の質改善のアプローチは課題解決に有効で、妥当性は非常に高いと判断される。

(2) 有効性：【高い】

①プロジェクト目標の二つの指標が達成されていること、②IS 活動を通じた授業案と授業の質改善のアプローチがプロジェクト目標の達成に有効であったこと、③三つの成果の達成がプロジェクト目標の達成に結びついたこと、から有効性は高いと評価される。

(3) 効率性：【高い】

三つのアウトプット達成状況は全般に良好であり、日本側、ラオス側双方の投入についてもおおむね効率的な活用が行われた。指導者研修 (Training of Trainers。以下「ToT」という。)、学校モニタリング、IS などが定常業務として通常予算を用いて行われ (ToT にはプロジェクトからの経費支援もあった)、成果の発現を通してプロジェクト目標の達成につながった。PDM ver.1 の前提条件が完全に満たされないままプロジェクトを開始せざるを得ない状況であったにもかかわらず、既存の予算を十分に活用したアウトプットの達成や、アウトプットの達成に向けた本邦研修の活用状況から、総合的に効率性は高いと判断される。

(4) インパクト：【高い】

現時点ではプロジェクトの直接のインパクトにより、上位目標の指標である「指標 1：対象県の教員の授業実践の質が改善する」「指標 2：対象県の教員の授業案の質が改善する」が大きく改善する時期ではない。しかし、終了時評価のインタビュー調査から、対象外の学校には既にモデル授業案を実際に授業に取り入れ実践している学校があることが分かり、モデル授業案を取り入れた学校では授業案・授業の質がいくらか向上していることが予想され

る。

上位目標に向かうインパクトとして、①PESS、DESB がプロジェクト活動の拡大計画を作成し、既に非対象地域へ教材配布などを始めている、②DESB のなかには組織内でモデル授業案を共有し活動の継続・拡大に向けた体制を整えているところがある、ことなどが確認された。また、①モデル授業案が、対象 TTC において算数や理科に関する授業に取り入れられたこと、②教員による非対象科目であるラオス語の授業案の作成、などの特筆すべき波及効果が確認された。プロジェクトの実施を通して IS の活性化が授業の質の改善に有効であることが明らかになっており、「ラオス側により対象県のすべての学校で IS が行われる」という外部条件を満たすための手段が講じられれば、上位目標の達成見込みが高まることが予想される。以上から、インパクトは高いと判断される。負のインパクトは特に認められなかった。

(5) 持続性：【高い（中央レベル：中程度、地方レベル：高い）】

政策・制度面、組織・財政面、技術面から検証し、中央レベル（MOES）の持続性は中程度であるものの、今後の方向性に見通しがついており、かつ、地方レベル（TTC、PESS、DESB、学校）の持続性は高いと判断できることから、プロジェクト全体の持続性は高いといえる。

1) 中央レベル

政策・制度面では、IS 活動は学校で行われるべき活動、PA が支援すべき活動として MOES の PA ガイドラインに記載され、その政策は継続される見込みである。今後は、継続・普及のメカニズムとして、「ITSME 将来計画と実施戦略」を具体化し、PA ガイドライン、教育質基準（Education Quality Standard。以下「EQS」という。）研修、現職教員アップグレード研修、TTC の教員養成カリキュラムなど既存の仕組みに ITSME の活動を位置づけていくことが必要である。組織面では、継続・拡大に向けて DTE の十分な人材数を確保していくことも求められる。財政面では、プロジェクト実施中の予算はおおむね確保できたが、プロジェクト終了後の見通しはまだ立っていない。したがって、プロジェクトの成果品を ESDP 予算計画や、既に予算化されている研修のなかに組み込むことなどを通して、拡大のための予算を担保していくことが課題となっている。技術面では、拡大を図る際に、質の確保に向けた手段を講じることが課題である。

2) 地方レベル

政策・制度面では、TTC、PESS、DESB からなる ITSME トレーナーチームはこれまでも互いのネットワークを活用して活動を行ってきており、今後も継続されることが期待できる。組織面では、TTC、PESS、DESB の意思決定者は、ITSME トレーナーを今後の継続・普及活動に活用する意思を示している。財政面では、学校モニタリングや IS などが既存の予算を用いて行われていたことから、今後も財政面での持続性が確保される見込みが高い。技術面では、トレーナーの能力は、専門家の指導の下グループでモデル授業案を作成できるレベルまで強化された。今後もトレーナー同士のピア・ラーニングにより授業案を継続的に作成、向上させていくことが期待される。対象全校がモデル授業案を用いた IS を行うことができるようになってきていることから、対象校では IS 実施を通じた授業案・授

業の質の向上も継続される見込みである。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

- 1) 異なる機関から構成される ITSME トレーナーチームを実施部隊として活用したことで、各機関の役割が強化された。ITSME トレーナーチームの活動は、すべてのアウトプットの発現に貢献しており、したがってプロジェクト目標の達成に貢献した。
- 2) IS という既存の制度を教員の継続的な専門性向上の機会ととらえて活用したアプローチが、授業の質の向上に結びつき、プロジェクト目標の達成に貢献した。

(2) 実施プロセスに関すること

- 1) ToT、モニタリング、IS を定常業務として位置づけて実施してきたことが、財政面の持続性の確保につながった。
- 2) 実践してみたいと思える授業を見せるアプローチを取ったことで、ITSME トレーナーや教員のモチベーションを高め、結果的にラオス語や対象外の単元の授業案を学校が独自に作成するなどのインパクトにつながったと思われる。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

当初計画には、教科書の質の低さや学習環境の未整備などが考慮されていなかったため、これらが活動を遅らせる要因となった。

(2) 実施プロセスに関すること

PDM ver.1 の改訂に時間を要したため、それまでの活動が遅れることとなった。しかしながら、改訂後はおおむね計画どおりに活動が行われた。

3-5 結論

プロジェクト目標は予定どおり達成されていることが確認された。プロジェクトの妥当性は非常に高く、また有効性、効率性も高い。インパクトも高く、MOES が必要な手立てを講じることで、上位目標の達成が期待されるとともに、対象外の地域への波及効果が認められた。持続性については、中央レベルで中程度、地方レベルでは高い結果であり、中央レベルでの持続性の確保が、今後の継続・普及に向けた一つの鍵となっている。

以上の評価結果から、本プロジェクトを予定どおり 2013 年 10 月で終了することが妥当である。他方、上位目標の達成度合いを高め、更にプロジェクトの効果を最大限にするため、プロジェクト終了の数年後に必要なフォローアップ協力を検討することが望まれる。

3-6 提言

これまでの現場での取り組みを継続し、達成されたアウトプットを非対象地域に拡大させるにあたって、以下を提言する。

(1) 理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) のアプローチ、インパクト、アウトプットの国レベルでの共有

(専門家の主導の下に取り組むべき課題)

本プロジェクトで取り組んだ IS・ES に係るアプローチを継続的に推進・拡大し、教育の質向上に貢献していくための中央関連部署による政策・制度面での取り組みを強化するために、中央レベルにて ITSME の経験共有・普及を促進するための国家セミナーを開催する。これを効果的に実施するために、専門家チームにおいては、プロジェクト成果普及のためのマニュアル・教材パッケージを取りまとめ、これらの成果品が関連プログラムの研修マニュアルやガイドライン、標準ツール策定・改訂のなかでどのように活用するかに関する提言書も併せて取りまとめる。また、対象郡や学校で報告のあった学習達成度や修了率に対するインパクトについて具体的に提示できるよう、可能な限り定量的なエビデンスを収集し、その分析結果を上述セミナーにて共有するとともに最終報告書に取り入れることを提言する。

(2) 普及やそのモニタリングにおける既存のチャンネルや制度の最大限の活用

(専門家の支援を得て DTE が他の MOES 関連部局や TTC とともに取り組むべき課題)

1) 指導主事 (PA)、校長、教員を対象とする関連研修プログラム、ガイドライン、スタンダードについて

ITSME の成果が、関連する分野での研修プログラムやガイドライン、教員評価に関する国家ガイドラインや教職認定などに効果的に組み入れられるよう、引き続き、関連部局と調整することが望まれる。より具体的には、教師・校長を対象とした EQS 研修モジュール、PA ガイドラインや IS マニュアル、学校モニタリングツールなどの開発・改訂において、異なる関連部署が効果的に協働できるよう、調整のためのメカニズムを関連部局間で話し合い、これを合意、支援していくことが望まれる。専門家においては、残りの協力期間において、上述の仕組みを構築するプロセスを可能な限り支援していくことが望まれる。

2) 教員養成校 (TTC) における教員養成・現職教員プログラム

ITSME アプローチを全国の学校に普及させるチャンネルとして、TTC の新規及び現職教員プログラムを効果的に活用していくことが望まれる。かかる点から、DTE においては、対象とした 2 校の TTC で蓄積された経験や知見、取り組みを最大限に活用しながら、全国すべての TTC に ITSME アプローチの導入や指導を行うことが望まれる。既に作成されている「ITSME 将来計画と実施戦略」については、対象 TTC と協力のうえ、既に強化された人材を最大限に活用するものとし、全国 TTC と具体的な計画について共有し、普及計画に係る全国 TTC の理解を促進することが肝要となる。その手始めとして、全国 TTC が一堂に会する機会となる DTE 年次会合 (2013 年 8 月) を活用することを提言する。

(3) (継続・普及に向けた) 人材の強化と更なる拡大に向けて

本調査期間中にも、ITSME 普及に向けた意欲や熱意が対象県や郡より示されたが、普及の質を担保するためには、中核人材の専門能力の向上のために必要な方策を取っていくことが肝要である。かかる点から、PESS、DESB においては、異なるプログラムを担当するトレーナーの間で専門的知見や経験を共有する機会が確保されること、ITSME アプローチの導入、モニタリングに不可欠な専門性の強化については、PA を中心とした関係者による指導

案の作成実践が継続的に行われることが肝要である。さらには、TTC、PESS、DESB の間で築かれたプロフェッショナルネットワークに根ざした協働の仕組みが継続され、これが更に強化されることが望ましい。MOES においては、本案件で築かれたプロフェッショナルネットワークが定着・強化されるよう、省レベルの指針・手引きなどの公式文書の発行を検討することを提言する。

上述に加えて、効果的な普及に向けて、以下に述べる点についても関係当局にて検討されることを提言する。

(4) 普及・モニタリングにおける郡や学校クラスターの効果的活用

終了時評価の現地調査に先駆けて実施した質問紙調査においても、学校クラスター（幾つかの隣り合った学校によって形成されるグループ。学校群）はよく機能しており、普及やモニタリングにおける効果的な仕組みとなることが確認できた。今後の普及においても、教室レベルの課題を話し合い、解決策を探るための地域の学校間の教員の協働を促進すべく、クラスターの仕組みが、ITSME アプローチを取り入れながら、教授法に係る教員の現場のニーズに対応すべくより効果的なものとなることが望まれる。

(5) 校内指導（IS）、校外指導（ES）の好事例にかかるレファレンスサイトの発掘とその活用の推進

ITSME 教材やアプローチを最大限に活用した好事例やイニシアティブは現場に多く存在する。このような事例の共有は、質の担保された普及には不可欠なものであり、MOES によりレファレンスサイトとして認知されることが望まれる。先般の教育年次会合でも、各郡における「モデル校」の設置が決定し、多くの対象校がモデル校に選定されていることから、これらの学校をレファレンスサイトとして更に強化していくことが望ましい。

(6) 教員養成校（TTC）のラオス語専門家との協力推進

対象校の多くがラオス語についても ITSME アプローチを学習指導案の作成に適用していることから、TTC のラオス語を専門とする教官の参加を得て、技術面に係る適切なガイダンスを提供していくことが望ましい。

3-7 教訓

(1) 既存の枠組みの効果的な活用

本プロジェクトでは基本方針として、学校レベルにおいて現職教員研修を導入するためのラオスにおける既存の制度、すなわち IS 活動と整合・連動するように、活動を計画・実施してきた。そのため、これらの活動は C/P に比較的スムーズに受け入れられ、今では日常業務の一部になりつつある。このことは、プロジェクトの全体期間を通して、ラオス側のオーナーシップの構築・強化に貢献したとともに、プロジェクト終了後の持続性の確保にも貢献し得る。

(2) 現場レベルにおける協力関係の構築・強化

本プロジェクトの実施にあたっては、対象地域の TTC の教官、並びに、PESS 及び DESB

の PA が現場レベルの C/P (ITSME トレーナー) として任命され、トレーナーチームを形成した。日本人専門家の技術的な指導の下、ITSME トレーナーは互いの知識や経験を共有しながら連携して活動に取り組み、チームとしての結束を着実に強めていった。このチームのメカニズムは、プロジェクト活動の効果的な実施に貢献したとともに、プロジェクト終了後の持続性の確保にも貢献し得る。

(3) プロジェクトに関する情報の発信・共有

中央レベルにおける本プロジェクトの C/P は DTE である一方、就学前・初等教育局 (Department of Primary and Pre-school Education。以下「DPPE」という。) や国立教育科学研究所 (Research Institute for Educational Science。以下「RIES」という。) 等、MOES の他部局や MOES 傘下の組織もまた、特にインパクトや持続性の観点から、プロジェクト活動の円滑かつ効果的な実施を確保するために重要な役割を有している。しかしながら、プロジェクトの進捗、アウトプット、課題といった情報は、これら関連する部局・組織に十分に共有されていたとはいえ、また、有機的な連携が期待できる他の開発パートナーに対しても、十分に発信されていたとはいえない。これを踏まえ、プロジェクトは早期の段階から、関連する人、部局、組織に対して効果的・効率的に情報を発信・共有し、プロジェクト活動の効果を高めるための対話や連携を模索していくことが肝要である。

(4) ベースライン/エンドライン調査の項目

学校レベルでの授業改善を実現するために、本プロジェクトでは IS と ES の活性化に焦点をあてて活動を実施してきた。そのため、プロジェクトの介入によって IS と ES がどのように活性化されてきたかという点は、プロジェクトのアプローチに関する妥当性・効果を証明するためにも、明らかにされなければならない。しかしながら、ベースライン/エンドライン調査の項目に含まれていなかったため、IS や ES に関するデータはプロジェクトによって収集・分析されてこず、終了時評価調査団が独自に質問票調査を実施して収集・分析せざるを得なかった。これを踏まえ、プロジェクトは協力期間の開始時点において、介入の効果を測るに適切なデータ・指標を特定し、プロジェクトの全体期間を通して定期的にモニタリングしていくことが肝要である。

3-8 フォローアップ状況

評価時点では特になし。

Summary of Terminal Evaluation

1. Outline of the Project	
Country : Lao People's Democratic Republic	Project Title : Improving In-service Teacher Training for Science and Mathematics Education (ITSME)
Issue/Sector : Basic Education	Cooperation Scheme : Technical Cooperation Project
Division in Charge : JICA Laos Office	Total Cost (At the time of evaluation) : 302 Million Yen
Period of Cooperation	(R/D): 19 Nov. 2009 22 Feb. 2010- 31 Oct. 2013
	Partner Country's Implementing Organization : Department of Teacher Education (DTE), Ministry of Education and Sports (MOES)
	Supporting Organization in Japan : NA
	Related Cooperation : The Project for Improvement of School Environments in Champasack and Savannakhet Provinces (Japan's Grant Aid for Community Empowerment)
1-1 Background of the Project	
<p>As one of the top prioritized sectors in contributing to poverty reduction in Lao PDR, various efforts have been made in the education sector under the following three pillars: (1) improvement of equitable access; (2) improvement of quality and relevance; and (3) improvement of administration and management. Although the enrollment rate in the primary education has been improved, other indicators that are related to the quality of education, for example, repetition, dropout, and completion rates have not been improved as expected.</p> <p>With these backgrounds, the Education Sector Development Framework (ESDF) places an emphasis on the improvement of teachers' quality by strengthening the capacity of in-service training.</p> <p>The Japan International Cooperation Agency (JICA) has supported the improvement of teacher education through the Project for Improving Science and Mathematics Teacher Training (SMATT) from 2004 to 2008, which aimed at improving quality of science and mathematics lecturers at teacher education institute (TEI). Training contents and learner-centered approaches of SMATT have been recognized as relevant and useful for persons and organizations concerned. Recognizing these achievements and impacts of SMATT project, the Government of Lao PDR requested the continued support to enhance and expand the outputs of SMATT project to the school level.</p>	
1-2 Project Overview	
(1) Overall Goal	
Quality of lessons in target provinces is improved.	
(2) Project Purpose	
Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved.	

(3) Output

Output 1: Mechanism for improving lessons is strengthened.

Output 2: Human resources to promote improvement of lessons are strengthened.

Output 3: Materials for improving lessons are developed.

(4) Inputs (At the time of evaluation)**【Japanese Side】**

Expert: 6 person

Training in Japan: 30 participants

Equipment: A total of US\$273,950

Local activity cost: A total of US\$196,866

【Lao Side】

Counterparts (C/P): A total of 40 persons

Local activity cost: A total of 746,623,000 KIP

Provision of office space for the Project and utilities

2. Evaluation Team

Member	Ms. Machiko KAMIYA, Team Leader, Senior Representative, JICA Laos Office Dr. Keiko MIZUNO, Teacher Education, Education Policy Advisor to MOES Mr. Kazuyuki KAKUDA, Cooperation Planning, Representative, JICA Laos Office Ms. Tomoe TAIRA, Evaluation Analysis, Consultant, IC Net Limited	
Period of Evaluation	1 July – 19 July, 2013	Type of Evaluation: Terminal Evaluation

3. Results of Evaluation**3-1 Achievement of the Project****(1) Outputs**

Output 1: The Output 1 is mostly achieved. The extent of achievement will be higher if the indicator 1-4 is met by the end of the Project.

The Indicator 1, i.e., “An official document agreed between TTC and PES to establish a professional network for supporting IS activities in target provinces” is achieved. The “ITSME Future Plan and Implementation Strategy,” which clarified the roles and functions of the DTE, PESSs, DESBs, and TTCs in supporting IS activities that could also serve as a professional network, was signed by the director of the DTE on April 1, 2013 and agreed among the DTE, target PESSs, DESBs, and TTCs. The Indicator 2, i.e., “MOES budget approved to operationalize the mechanism in target provinces” is also achieved. At the central level, the DTE budget of LAK 746,623,000 in total was allocated for the Project activities throughout the Project years except the period from June 2013 onward. At the local level, the PESSs and DESBs bore necessary expenses for school monitoring, and all schools bore necessary expenses for IS. The Indicator 3, i.e., “Utilization of developed model lesson plan in target schools,” is fully achieved. Compared to the status at the baseline, all the target schools came to utilize the model lesson plans developed by the Project in the IS activities. The Indicator 4, i.e., “Feedback on the utilization of the model lesson plan to PES through DEB,” is expected to be achieved. Verbal reporting has been conducted fully by all the target eight DESBs. Periodic reporting using the

monitoring form is also conducted by four DESBs. Since the Project has instructed the remaining four DESBs to submit the form and received positive reactions from them, it is expected to be conducted by the end of the Project.

Output 2: Overall, the Output 2 is mostly achieved.

The Indicator 1, i.e., “Quality of developed model lesson plans is improved,” is fully achieved.

According to the analysis by the Project experts, on a scale of 0 to 9, the score on the quality of 25 model lesson plans in total developed by ITSME trainers by group improved from 7.0 in the first year to 7.3 in the second year, and 8.8 in the third year. The analysis shows that the developed lesson plans met the target quality in which i) objectives, ii) learning process /student activities, and iii) evaluation questions of a lesson are clearly set and appropriately formed. The Indicator 2, i.e., “ITSME trainers’ subject knowledge” is achieved at a satisfactory level. Compared to the pre-test, the average scores of 22 ITSME trainers in the post-test on their subject knowledge has increased in all the seven targeted units of Mathematics and Science. Although the ideal level of achievement would have been 100%, it is fair to say that the level of improvement is satisfactory given the constraints such as a few inappropriate textbook contents and the limited learning environment of the ITSME trainers. Enhancing knowledge on the other units remains a future challenge.

Output 3: The Output 3 is expected to be achieved by the end of the Project.

The Indicator 1, i.e., “The number of model lesson plans developed against the target in the plan stated in activities” (First and second year: no target; third and fourth year: 10 units each) is expected to be fully achieved by the end of the Project. The target number of model lesson plans was already developed in the first to the third year (First year: three units; second year: nine units; and third year: 10 units). The number of model lesson plans exceeding the target has been mostly developed in the fourth year (14 units) as of June 2013 and is expected to be fully developed by the end of the Project. The Indicator 2, i.e., “Compilation of materials for improving lessons developed by activities in 3-7,” is expected to be achieved by the end of the Project. The Project has started compiling the developed materials such as model lesson plans and manuals. The Indicator 3, i.e., “A document prepared and submitted by the project to propose to MOES for their consideration to adopt the developed materials as national standard,” is expected to be achieved by the end of the Project. The Project has started preparations for a set of concrete recommendations on how to utilize the Project materials in the existing MOES training materials and activities.

(2) Project Purpose

The Project Purpose has been achieved. The level of achievement is expected to be higher if the above-mentioned outputs are fully produced by the end of the Project.

The Indicator 1, i.e., “Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers,” is achieved. According to the analysis of lesson observation in the 32 target schools of the end-line survey and interview surveys at the eight schools visited in the Terminal Evaluation, in general, the target school teachers became able to i) set clear objectives, ii) lead students’ activities in an appropriate order, and iii) summarize and evaluate the lessons. Therefore, the quality of lessons, especially the skills in forming lessons, by the target school teachers has improved. The teachers are expected to become able

to teach accurate subject knowledge to students by utilizing the gained skills of forming lessons. The Indicator 2, i.e., “Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers,” is fully achieved. According to the analysis by the Project experts and ITSME trainers of 26 lesson plans developed by the target teachers, the quality of lesson plans are improved in the above-mentioned three points, especially the point i) mentioned above. A more appropriate arrangement of the points ii) and iii) based on accurate subject knowledge remains a challenge. In addition, the questionnaire survey in the Terminal Evaluation shows that vitalization of IS through the utilization of model lesson plans is effective for improving the quality of lessons (100 % of the respondents or 36 trainers in total strongly agree or agree on the effectiveness.)

3-2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance: 【Very High】

Relevance is evaluated as very high. The Project has been highly consistent with the national and educational policies of Laos as well as the Japan’s assistance policy for Laos, which prioritize the Basic Education and improvement of education quality for achievement of MDGs. According to several target DESBs, the improvement of quality of lessons through IS activities has contributed to reducing the student dropout rate. Given this, the Project is consistent with one of the important agendas of reducing the dropout rate mentioned in the mid-term review of ESDP. Although the MOES has encouraged schools to use IS to improve teachers’ skills, effective activities have not been available to teachers. The Project has been providing effective materials and their usage to boost IS activities for quality lessons, therefore has responded to on-the-ground needs. Japan has enriched knowledge and experience of IS. The Project’s approach to improve the quality of lessons through IS with the usage of Japan’s experience was effective for helping overcome a major educational challenge.

(2) Effectiveness: 【High】

Effectiveness is evaluated as high for the following reasons: 1) two indicators of the Project Purpose have been achieved; 2) the approach to improve the quality of lesson plans as well as lessons through IS activities have functioned well and contributed to the achievement of the Project Purpose; and 3) all the three Outputs have contributed to the achievement of the Project Purpose.

(3) Efficiency: 【High】

Efficiency is evaluated as high. The level of achievement of all the three outputs is mostly high. In general, the inputs from both the Japanese and Lao sides are also utilized efficiently. Most activities at the local level, such as TOTs, monitoring of schools by DESBs, and IS activities at schools are conducted as regular work therefore within the regular budget framework (with budget assistance by the Project for TOTs). These activities have contributed to the achievement of the Outputs which in turn have helped achieve the Project Purpose. The preconditions in the PDM ver. 1 for the commencement of the Project were not fully met before the implementation of the Project. However, the Project has achieved the Outputs with the existing budget and has utilized the training in Japan to maximize the Project outputs.

(4) Impact: [High]

It has not yet come the time for the two indicators of Overall Goal, i.e., “Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces” and “Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces” are achieved. However, according to the interview surveys in the Terminal Evaluation, some non-target schools have started utilizing the model lesson plans, therefore it is predicted that the quality of their lesson plans are being improved to some extent.

Impact towards the direction of Overall Goal has also seen as followings: 1) target PESSs and DESBs have developed plans for expanding the Project activities and started distributing the Project materials to non-target areas; and 2) several DESBs have shared the model lesson plans in their organization and prepared the implementation structure for continuing and expanding the Project activities. In addition, the following noteworthy impacts are seen: 1) ITSME materials have been utilized in the Mathematics and Science lessons of the two target TTC; and 2) in all the eight schools visited in the Terminal Evaluation, teachers have developed lesson plans for the subject of the Lao language, which is not a target subject.

The Project showed that the utilization of IS has contributed to the improvement of the quality of lessons. Therefore, the Overall Goal is expected to be achieved if the necessary measures are taken by the MOES for securing the Important Assumption, i.e., “IS is conducted in all the schools in the target provinces by the Lao side.” Negative impacts are not found.

(5) Sustainability: [High] (Central Level: Satisfactory, Local Level: High)

Sustainability is totally evaluated as high for the following reasons: 1) although sustainability at the central level is evaluated as satisfactory, there is clear common understanding among people concerned on future direction and measures to be taken for that after the completion of the Project, and 2) sustainability at the local level is evaluated as high.

Central (DTE) Level:

Considering the political/institutional, organizational/financial, and technical aspects, central-level sustainability is evaluated as satisfactory. IS continues to be the activities to be conducted at schools and monitored by PA as stated in the MOES’s guideline on Pedagogical Advisor. It is hoped that the DTE will develop concrete action plans along with the signed “ITSME Future Plan and Implementation Strategy” and link the Project activities and materials with the existing MOES systems, such as PA guideline, EQS training, in-service teacher upgrading training, and TTC pre-service training curriculum, to ensure the continuation and expansion of the Project activities. It is also required for the DTE to assign the necessary number of human resources and secure the budget in the future, by considering incorporating the Project activities into the budgeted ESDP and the existing training courses. The DTE is required to consider measures to ensure quality dissemination to non-target areas.

Local (TTC/PESS/DESB/School) Level:

Local-level sustainability is evaluated as high. The ITSME trainer team among TTCs, PESSs, and DESBs in the Project activities for improving the quality of lessons performed well and is expected to continue performing well. The decision makers of the target TTCs, PESSs, and DESBs have committed to assign ITSME trainers to continue and expand the Project activities. Since PESSs and DESBs have conducted school monitoring and schools have conducted IS with their own budget, the Project activities are expected to be financially sustained in the future as well. Capacities of ITSME trainers

have been enhanced to the level that they can develop model lesson plans by group with instruction by the Project experts. It is expected that PESS/DESB/TTC keep learning among themselves to upgrade their capacity and ensure the high quality of lesson plans in the future. All target schools are now conducting IS activities through utilization of model lesson plans. Therefore, it is expected that the quality of lesson plans and lessons will be continuously improved at the target schools.

3-3 Contributing Factors

(1) Factors regarding the contents of plan

- 1) Utilizing the ITSME trainer team composed of those from different organizations as the core implementation unit helped each of the organizations to play a distinct role. The ITSME trainer team played the main role in achieving all Outputs thus contributed to the achievement of the Project Purpose.
- 2) The Project has taken the approach to enhance capacity of the teachers through utilizing the existing system of IS. This approach has contributed to achievement of the Project Purpose, improving the quality of lessons and lesson plans.

(2) Factors regarding the implementation process

- 1) The Project has made it clear that TOT, monitoring, and IS are routine tasks in the regular budget framework. This contributed to securing financial sustainability.
- 2) The Project showed enjoyable lessons by demonstrating lessons based on model lesson plans. This undertaking boosted the interest of the ITSME trainers and teachers in developing such lesson plans, therefore contributed to emergence of the positive impacts. In fact, many target schools have started developing at their own initiative the lesson plans of units and subjects not covered by the Project.

3-4 Constraining Factors

(1) Factors regarding the contents of plan

The initial PDM did not take into consideration such factors as a few inappropriate textbook contents and the poor learning environment of the ITSME trainers and teachers. Consequently, they caused delays in the activities.

(2) Factors regarding the implementation process

It took time to modify the PDM ver.1, causing difficulties in conducting the Project activities as planned, especially at the beginning. However, after the PDM ver.1 was modified as needed (ver. 2), the remaining activities since then have been mostly implemented as planned.

3-5 Conclusions

The Project has achieved the Project Purpose as planned with very high relevance together with high effectiveness and efficiency. Impact is also high. The Overall Goal is expected to be achieved if necessary measures are taken, especially those by the MOES. The Project has given some positive impacts on non-target areas. Sustainability is expected to be satisfactory at the central level and high at the local level. Thus sustainability at the central level is one of the key issues in ensuring the continuation and expansion of the Project activities in the future.

Given the conclusion above, it is appropriate to terminate the Project in October 2013 as planned, and

consider conducting some follow-up activities a few years after the termination in order to further facilitate the achievement of the Overall Goal and maximize the Project outcome.

3-6 Recommendations

The Team concludes that the Project has achieved the remarkable results.

In order to strengthen the continuous efforts on the ground and further expand its achievement to non-target areas, the following are recommended for future (and continuous) tasks to be pursued by relevant stakeholders.

(1) Sharing ITSME approach, its impact and outcomes at national level (Tasks to be led by the Experts)

A national dissemination seminar should be organized to share ITSME experiences and achievements, and to discuss the way forward for future dissemination with relevant central authorities of MOES as well as Development Partners. A comprehensive dissemination package should be consolidated including all the developed materials accompanied with recommendations on how to utilize or integrate such materials in different programs, standards, or guidelines.

(2) Maximizing the existing channels and systems for dissemination and monitoring (Tasks to be facilitated by DTE with support of the Experts, in collaboration with concerned MOES departments and TTCs.)

<Trainings and Guidelines>

The efforts to incorporate ITSME approach into relevant training programs, guidelines and nationally set standards for teachers' evaluation and certification have been initiated and should be concretized. EQS trainings for principal and teachers, PA guidelines and IS manuals, monitoring tools for teachers, are some examples. Since different departments are involved in such trainings and development of guidelines targeting at the quality improvement, a workable coordination mechanism should be discussed, agreed and supported by relevant authorities of different departments concerned. It is expected that the Experts facilitate this process to the extent possible in the remaining cooperation period.

<TTC pre and in-service trainings>

It is recommended that discussions among TTCs should be facilitated by DTE to maximize TTC pre and in-service trainings for nationwide dissemination. The experience, expertise and initiatives by target TTCs (Champasak and Savannakhet) should be widely shared and utilized by other TTCs as part of "ITSME Future Plan and Dissemination Strategy", with appropriate guidance and orientation to be provided by DTE.

(3) Strengthening and expanding key human resources (MOES, TTC, PESS, DESB)

Bringing up the professional capacity of the core human resources beyond the cooperation period shall be a key challenge to quality dissemination of ITSME approach. Opportunities to share expertise and experiences among trainers of different programs should be ensured. A joint working mechanism based on the professional network among TTC, PESS and DESB should be continued and strengthened. . In this regard, it is suggested that issuance of a ministerial guidance or decree should be sought to support and facilitate such a joint working mechanism.

The following are additional suggestions that might be considered by relevant authorities for the effective

dissemination.

(4) Utilizing district or school “clusters” for dissemination and monitoring

According to the results of questionnaire survey to ITSME trainers, it is confirmed that the school cluster mechanism is well functioning in the target areas, and recognized as an efficient means of dissemination and monitoring. It is encouraged that this mechanism should be further strengthened so that it can provide meaningful opportunities for principals and teachers to share experiences in the classroom and to discuss common issues and challenges relating to teaching learning practice for finding appropriate solutions.

(5) Identifying and promoting “reference site” for good practice of conducting IS and ES activities applying ITSME approach at school and district levels. (DTE in collaboration with DPPE, PESS, DESB, and schools)

In the evaluation, the Team was impressed to learn many good practices and initiatives made at the field level for making the best use of ITSME materials and approach. In this respect, DESB and PESS with "good practice" should be identified and recognized by MOES as “reference sites” for the effective external supervision.

As for the school, since many ITSME target schools have been identified as “model schools”, they should be further strengthened to be utilized as good “references sites” to disseminate ITSME approach on the ground.

(6) Expanding collaboration with trainers of TTC in Lao language

Since the target schools have started to apply ITSME lesson planning approach to Lao language subject, appropriate technical guidance in Lao language might be useful, involving TTC lecturers who are Lao language specialists.

3-7 Lessons-learned

(1) Effective utilization of the existing framework

As basic policy of the project, the project activities have been planned and implemented in alignment with the existing framework in Lao PDR, which MOES had developed in order to introduce in-service training at the school level, namely Internal Supervision. Therefore, these activities were accepted relatively smoothly by the C/P, and now are becoming as a part of their regular work. This contributed to the establishment and encouragement of their ownership during the whole period of the Project, and will contribute to secure the sustainability after the termination of the Project.

(2) Establishment and reinforcement of the partnership at the field level

In implementation of the Project, some of the lecturer from TTC and some of the PAs from PESS/DESB in the target provinces were assigned as C/P at the field level, namely ITSME trainer, and formed ITSME trainers’ team. Under the technical support from the Japanese experts, ITSME trainers have worked collaboratively while sharing their specific knowledge and experience each other, and have strengthened the unity as a team steadily. The mechanism of this team not only contributed to the sustainable as well as effective implementation of the project activities during the cooperation period and after the termination of the Project.

(3) Dissemination and sharing of information on the Project

While the C/P department in MOES is DTE, other departments and organization in MOES such as DPPE, RIES and ESQAC also have important roles in order to secure the smooth and effective implementation of the Project, especially in terms of impact and sustainability. However, information on the progress, outcomes and challenges of the Project have not been shared enough among the departments and organization concerned, and also have not been disseminated enough to development partners concerned for further collaboration. It should be considered that projects disseminate and share information effectively and efficiently with person, departments and organizations concerned from an early stage.

(4) Contents of the Baseline/End-line survey

In order to improve teaching and learning at the school level, the Project has been implemented with focus on activation of IS and ES. Therefore, it should be clarified how IS and ES have been improved by the intervention of the Project as an evidence on relevance and effectiveness regarding the approach of the Project. However, data related to IS and ES has not been collected nor analyzed by the Project to show the evidence because necessary items were not included in the contents of the Baseline/End-line survey. It should be considered that projects specify data/ indicators appropriate to measure an effect of intervention at the beginning of its cooperation period, and monitor them regularly during its cooperation period.

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

技術協力プロジェクト“ITSME”は2010年2月に開始され、2013年10月に終了する予定である。今回実施する終了時評価調査では、関係者へのインタビュー等を通して本プロジェクトの目標達成度や成果の発現状況等を把握・分析するとともに、特に案件終了後の持続性を念頭に置いた提言・教訓を策定し、これらを評価報告書として取りまとめ、ラオス人民民主共和国（以下「ラオス」という。）側と合意することを目的とする。

1-2 調査団の構成と調査期間

【日本側調査団員】

団長／総括	神谷 まち子	JICA ラオス事務所 次長
教員教育	水野 敬子	教育政策アドバイザー
協力企画	角田 和之	JICA ラオス事務所員
評価分析	平良 那愛	アイ・シー・ネット株式会社

【ラオス側調査団員】

Mr. Simoungkhoun VONGCHAMPA DTE 職員 (Technical Staff)

【調査日程】

2013年7月1日（月）～19日（金） 19日間（詳細は付属資料1の1-3を参照）

1-3 主要面談者

(1) ラオス側

1) 中央レベル

Mr. Chandy PHOMMABOUTH	Director General, DTE
Ms. Varadune AMARATHITHADA	Deputy Director General, DTE
Mr. Simoungkhoun VONGCHAMPA	Technical Staff, DTE
Mr. Khune XAYSANAVONGXAY	Deputy Director General, DPPE
Mr. Keoudone VONGSAVANGTHONG	Technical Staff, DPPE
Mr. Panya CHANTHAVONG	Deputy Director, ESQAC
Mr. Davee VUEWASOUA	Deputy Head, General Education Assurance Section, ESQAC
Mr. Pheng XIONG	Technical Staff, ESQAC
Mr. Phonechanh KHAMBOUNPHANH	Director, Science and Mathematics, RISE
Mr. Thongkhao SENGSOULICHANH	Head of Mathematics Division, RISE

2) カムアン県

Mr. Syhay KEOKAITHIN	Director, Khammouane PESS
Ms. Bounkham KEOVIPHONE	Director, Thakhek DESB
Mr. Sawat FAYMASAN	Director, Himboun DESB

Ms. Khampasong CHANTHANA	PA, Himboun DESB (ITSME Trainer)
Mr. Saykham ANOUVONG	PA, Himboun DESB (ITSME Trainer)
Ms. Viluck SOUDTICHACK	Principal, Chomcheng Primary School
Mr. Douangsoupan VATANA	Principal, Phongsoung Primary School
Ms. Patthana KHENPHAN	Principal, Himbounthai Primary School
Mr. Sivixay INTIPAB	Principal, Namdick Primary School
3) サバナケット県	
Ms. Lingthong SENGTAVANH	Deputy Director, Savannakhet PESS
Ms. Somvilay OUPHAXAY	Technical Staff, Savannakhet PESS (ITSME Trainer)
Mr. Kung SAYASANE	Director, Savannakhet TTC
Mr. Phomma PHIMVONGSA	Director, Kaysone DESB
Mr. Soukan AKKHAVONG	PA, Kaysone DESB (ITSME Trainer)
Mr. Khampheua PHAXAYAPHET	Director, Champhone DESB
Mr. Nouthay XAYALINHXOUMPHOU	PA, Champhone DESB (ITSME Trainer)
Mr. Viengkhone PHANDONELAR	PA, Champhone DESB (ITSME Trainer)
Mr. Bounlouane CHOMVISETH	Principal, Phonsavanh Primary School
Ms. Chanthi MONIVETH	Principal, kengkok-Tai Primary School
4) チャンパサック県	
Ms. Sengsouvanh SOUPHASITH	Deputy Director, Champasak PESS
Mr. Bounom VANSOMBATH	Head, DTE unit, Champasak PESS
Mr. Khamphiane MEKCHONE	Director, Pakse TTC
Mr. Bounpheng SINOUSITH	Deputy Director, Pakse TTC
Mr. Phitsahay KHAMVONGSA	Director, Sanasonboun DESB
Mr. Khamphanh DENGSYAVONG	PA, Sanasonboun DESB (ITSME Trainer)
Mr. Bounsy CHITPHOMAN	Director, Bachieng DESB
Mr. Chanthavy HADAMOUN	PA, Bachieng DESB (ITSME Trainer)
Mr. Sourichanh THAMMAVONGSENG	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Mr. Phone PHOUVANNO	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Mr. Keoudone MAHATHONG	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Ms. Daosadet SYTHONGBAY	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Mr. Khammon SIBOUNHIENG	Principal, Saphai Primary School
Ms. Bouakhai SAYKHAMSIN	Principal, Oudomsouck Primary School

5) フォーカスグループインタビュー

面談（インタビュー調査）に加え、2013年7月3日にカムアン県で行われた教材作成W/Sに参加していたITSMEトレーナーを対象に、フォーカスグループインタビューを実施した。

(2) 日本側

原 芳久

専門家（総括/教員研修）

元山 寛

専門家（教員研修/算数教育）

濱田 勇

専門家（研修教材開発/研修管理）

田中 悦太郎

専門家（理科教育/研修評価/モニタリング）

第2章 プロジェクトの概要

2-1 背景

ラオスの国家計画「第6次 NSEDP 2006～2010年」では、教育分野をその重点分野の一つとして位置づけ、「教育改革を通じた人材開発の質的・量的改善」を目標として掲げている。また、MOES は、「アクセス」「質」及び「マネジメント」の改善を3本柱に、2015年までに「万人のための教育（EFA）」を達成すべく、具体的な行動目標を設定している。

これらの取り組みの下、初等教育純就学率は79.0%（2000年）から91.6%（2008年）へと向上した。しかし、その一方で留年率及び中退率の改善については期待されたほどの成果はみられていない。その主要因の一つとして教育の質の低さが挙げられ、質の改善の取り組み強化、特に現職教員の質の改善が喫緊の課題となっている。現在、MOES の「教員教育戦略（2006～2015年）・行動計画（2006～2010年）（TESAP）」において、教員養成・研修及びそのマネジメントに関する戦略、達成目標及び活動スケジュール等がまとめられているが、必ずしも計画的に進んでいるとはいえない。また、制度面の改善が実際の教育現場の改善に結びつくためにも、現職教員の能力向上が必要であり、そのための有効な手段として現職教員研修の改善が求められている。2009年4月に策定されたラオス教育セクターの包括的計画である“ESDF”においても、継続的な研修を通じた現職教員の質の向上の必要性が指摘されている。

JICA はこれまで基礎教育分野において、技術協力プロジェクト“SMATT”（2004～2008年）による TTC における教員養成の強化、技術協力プロジェクト“CIED”（2007～2011年）による学校環境改善、無償資金協力・コミュニティ開発支援無償資金協力による学校建設等を実施してきた。特に SMATT では、TTC の理数科教員の質が改善されることを目的に、理数科カリキュラム開発等の W/S や教員養成に携わる人材を対象にした研修の実施などの支援を行ってきた。このような背景の下、MOES はこれら支援の実践を高く評価し、特に理数科分野において、前技術協力プロジェクトの後継案件として、県・郡レベルでの現職教員研修を継続的に実施できる仕組みづくり及び試行を主なコンポーネントとした案件をわが国政府に要請した。これを受けて JICA は、MOES/DTE を C/P 機関として「理数科現職教員研修改善プロジェクト（ITSME）」（以下「本プロジェクト」という。）を実施している。

本プロジェクトは、MOES/DTE を中央レベルの C/P とし、チャンパサック県、サバナケット県及びカムアン県を対象に、TTC の教官、並びに、PESS 及び DESB の PA で構成される ITSME トレーナーチームの能力強化を行いつつ、IS 活動や ES 活動などラオスにおける既存の制度を活用した学校現場での自発的・継続的な授業改善の取り組みを定着させることで、対象校における理数科授業の質の改善を図るものである。なお、2011年2月には運営指導調査、2012年3月には中間レビューがそれぞれ実施されており、中間レビューの実施後、レビュー結果に基づき、PDM が改訂されている。

2-2 基本計画

本プロジェクトの基本計画は、表2-1に示すとおりである。なお、前述のとおり PDM は中間レビューを踏まえて改訂されており、表2-1は改訂後の PDM Ver. 2に基づく。

表 2-1 プロジェクト基本計画

プロジェクト名	理数科現職教員研修改善プロジェクト
協力期間	2010年2月～2013年10月
上位目標	対象県の授業の質が向上する
プロジェクト目標	対象校の理数科の授業の質が向上する
アウトプット	1. 授業改善のための仕組みが強化される 2. 授業改善を促進する人材が強化される 3. 授業改善のための教材類が作成される

2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

JICAではプロジェクト・サイクル・マネジメント (Project Cycle Management。以下「PCM」という。)手法を用いてプロジェクトの運営管理を行っており、事業管理及び評価のツールとしてプロジェクト計画概要表であるPDMを活用している。PDMの概要は表2-2のとおりである。

表 2-2 PDMの概要

項目	定義
上位目標	「プロジェクト目標」が達成された結果として、達成が期待できる開発効果
プロジェクト目標	プロジェクトの終了時までには達成されることが期待される目標であり、ターゲットグループへの具体的な便益やインパクト
アウトプット	「プロジェクト目標」を達成するためにプロジェクトが実現しなくてはならない事項
活動	「アウトプット」を実現するために、「投入」を効果的に用いてプロジェクトが実施する具体的な行為
投入	プロジェクトの実施に必要な人員、施設、機材、資金など
指標	プロジェクトのアウトプット、目標、上位目標の達成度を測る目標値を示すもの
指標データ入手方法	「指標」のデータを検証するための情報源
外部条件	「アウトプット」「プロジェクト目標」を達成するために満たされていない外部要件であるが不確定要素を含むもの
前提条件	プロジェクトを開始する前に満たされているべき条件

第3章 終了時評価の方法

3-1 評価実施方法

本調査では、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に基づいて、2012 年 3 月の合同調整委員会（Joint Coordinating Committee、以下「JCC」という。）で改訂された PDM ver.2 と活動計画（Plan of Operations、以下「PO」という。）に基づき、プロジェクトの当初計画、日本とラオスの投入実績、活動実績、プロジェクト実施の効果、運営管理体制などに関して評価調査を行い、計画達成度、実施プロセス、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を検証した。調査はラオス側との合同調査として行われた。

本調査の実施方法は以下のとおりである。

国内調査	(1) 日本側調査チームは現地訪問前に、プロジェクト側に資料「PDM の達成度及び今後の達成見込み」の作成を依頼する。 (2) 日本側調査チームは事前の資料を検討のうえ、評価グリッドを作成し、適宜プロジェクト側から補足する情報を得て、あらかじめ調査できることを確認する。 (3) プロジェクト関係者に質問票を配布し、事前回収できたものについては確認する。
現地調査	(4) 日本側調査チームは現地でラオス側調査チームとともに調査方針を確認する。 (5) 合同調査チームは専門家と C/P への聞き取り・協議、現地視察などにより、評価 5 項目に従って合同調査を行い、合同調査報告書（英文）に取りまとめる。 (6) JCC において、調査結果を両国政府と関係機関に報告・提言する。

3-2 調査項目

3-2-1 主な調査項目

調査は、PDM Ver. 2に基づき、実績、実施プロセス、評価5項目に関する評価を行うもので、主な調査項目は以下の3点で構成された。

- (1) PDM の指標に基づくアウトプットやプロジェクト目標の達成度と上位目標の達成見込み
- (2) 実施プロセスの状況
- (3) 評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に関する評価

3-2-2 評価 5 項目

JICA のプロジェクト評価で判断基準になる評価 5 項目の視点は、表 3-1 のとおり¹。

¹ 評価5項目とは、1991年に経済協力開発機構開発援助委員会（OECD-DAC）で提唱された開発援助の評価基準である。

表 3-1 DAC5項目による評価の視点

妥当性	ターゲットグループ・相手国・ドナーの優先度や政策・方針と開発援助との整合性の度合いを測る。
有効性	開発援助の目標の達成度合いを測る。
効率性	インプットに対するアウトプットを定性的定量的に計測する。開発援助が期待される結果を達成するために最もコストのかからない資源を使っていることを示す経済用語。最も効率的なプロセスが採用されたかを確認するため、通常、他のアプローチとの比較を必要とする。
インパクト	開発援助によって直接的間接的に、意図的または意図せずに生じる、正・負の変化を測る。開発援助が、地域社会・経済・環境やその他の開発の指標にもたらす主要な影響や効果を含む。
持続性	ドナーによる支援が終了しても、開発援助による便益が継続するかを測る。開発援助は、環境面でも財政面でも持続可能でなければならない。

出所：新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版（2010 年 6 月）を基に調査団が作成

3-2-3 評価デザイン

上記の主な調査項目に基づき、詳細な評価項目案を作成し評価グリッドにまとめた（付属資料 1 の Annex3 及び付属資料 2 参照）。評価グリッドに基づき、プロジェクト関係者に対する質問票を作成し、インタビュー・協議を行った（1-3 主要面談者、付属資料 3 参照）。それらの結果を合同評価報告書にまとめ、現地での合同評価委員会においてラオス側と協議のうえ、内容を合意し署名を行った。

3-3 情報・データ収集方法

本調査における情報・データ収集方法は以下のとおり。

(1) 報告書・その他プロジェクト関連資料の調査

報告書・その他プロジェクト関連資料
プロジェクト業務計画書
プロジェクト事業進捗報告書
ベースライン調査報告書
討議議事録（Record of Discussions。以下「R/D」という。）（2009 年 11 月署名）
ミニッツ（Minutes of Meeting。以下「M/M」という。）（2009 年 11 月署名）
運営指導調査報告書
実施協議報告書
中間レビュー調査報告書
エンドライン調査報告書
「PDM の達成度及び今後の達成見込み」など専門家作成資料

(2) 質問票調査

調査対象	実績	実施プロセス	評価5項目
プロジェクトチーム共通（プロジェクト専門家・MOES-DTE C/P）	●	●	—
C/P（MOES-DTE 職員）	—	—	●
プロジェクト専門家	—	—	●
TTC、PESS、DESB ITSME トレーナー	●	—	○
小学校（校長）	●	—	○

注：●重点的に調査、○適宜調査

(3) 関係者との協議・インタビュー調査

調査対象	実績	実施プロセス	評価5項目				
			妥当性	有効性	効率性	インパクト	持続性
1) プロジェクト専門家	●	○	○	○	○	●	●
2) MOES-DTE（プロジェクトディレクター、副ディレクター、C/P）	●	○	○	○	○	●	●
3) 中央の関連部局（DPPE、ESQAC、RISE）	—	—	—	—	—	●	●
4) TTC/PESS/DESB ITSME プロジェクトトレーナー ²	●	○	○	○	○	●	●
5) TTC（サバナケット県・チャンパサック県）	○	○	○	○	○	○	●
6) PESS（対象3県）	○	○	○	○	○	○	●
7) DESB（対象6郡）	○	○	○	○	○	○	●
8) 対象8校	○	○	○	○	○	○	●

注：●重点的に調査、○適宜調査

² カムアン県における教材作成W/S（2013年7月3日）に参加していたトレーナーに対して、フォーカスグループインタビューを実施した。

(4) 現場視察

対象県	対象校
カムアン県	タケク郡チョムチェン小学校 (CHOMCHENG PRIMARY SCHOOL) タケク郡プンスン小学校 (POUNGSOUNG PRIMARY SCHOOL) ヒンブン郡ヒンブンタイ小学校 (HIMBOUNTHAI PRIMARY SCHOOL) ヒンブン郡ナムディック小学校 (NAMDICK PRIMARY SCHOOL)
サバナケット県	カイソン郡ポンサワン小学校 (PHONSAVANH PRIMARY SCHOOL) チャンポン郡ケンコック・タイ小学校 (KENGKOK-TAI PRIMARY SCHOOL)
チャンパサック県	サナソンブン郡サパイ小学校 (SAPHAI PRIMARY SCHOOL) バチエン郡ウドムスック小学校 (OUDOMSOUK PRIMARY SCHOOL)

第4章 評価の結果

4-1 プロジェクトの実績

4-1-1 投入実績

プロジェクトの投入は、日本側、ラオス側ともにおおむね計画どおり行われた。

(1) 日本側の投入

1) 専門家派遣

本プロジェクトは法人契約により株式会社 VSOC が実施し、計 6 人の日本人専門家が派遣された。第 1～4 年次までの専門家派遣期間は、延べ 71.40 人月である（付属資料 1 の Annex4-1 参照）。

2) 本邦研修

計 30 人の C/P が本邦研修に参加した（付属資料 1 の Annex4-7 参照）。

3) 機材供与

日本側は、プロジェクトの運営に最低限必要な車両、コピー機、パソコン、プリンターなどの機材総額 19 万 6,866US ドルを供与した。本調査時点において、これら供与機材はすべてプロジェクト事務所や供与先で管理され、良好な状態で使用されていることが報告された。また、専門家が用いる携行機材としてパソコン、ソフトウェア、プリンターなど総額 8,628US ドルを負担した（付属資料 1 の Annex4-3 参照）。

4) プロジェクト活動費（一般業務費）

日本側は、プロジェクト活動費（一般業務費）として、第 1～4 年次の 2013 年 6 月までに総額 27 万 3,950US ドルを支出した（付属資料 1 の Annex4-4 参照）。これら費用には、教材作成 W/S や ToT などの研修実施に係る参加者宿泊費・会議費などが含まれる。

(2) ラオス側の投入

1) カウンターパート（C/P）

本プロジェクトの中央における C/P は、MOES の DTE と DPPE である。ディレクターの DTE 局長、副ディレクターの DTE 副局長（Deputy Director General。以下「DDG」という。）・DPPE 副局長のほか、実務レベルで主なプロジェクト業務を担う人材として、DTE から 1 人の C/P が配置された。地方における C/P は、TTC（サバナケット県・チャンパサック県）、PESS（カムアン県・サバナケット県・チャンパサック県）、DESB（左記 3 県の対象 8 郡）である。実務レベルで主なプロジェクト業務を担う TTC 教官、PESS 職員、DESB 職員からなる 36 人の ITSME トレーナーが、現在 C/P として配置されている（付属資料 1 の Annex4-2 参照）。

2) ローカルコスト

ラオス側は、C/P の人材のほか、必要な資機材と会議室、MOES、サバナケット PESS、チャンパサック PESS 内での専門家執務室の提供を滞りなく行った。加えて、MOES は C/P の人件費、2010 年 10 月～2013 年 5 月までの研修教材作成 W/S の参加者日当・交通費・会議費などについて、日本側負担分を除く総額 7 億 4,662 万 3,000LAK を負担した（付属資料 1 の Annex4-4 参照）。また、学校モニタリングにかかる費用は PESS と DESB が、IS にかかる費用は学校が基本的に負担している。

4-1-2 活動実績

PDM ver.1 のデザインが必ずしも実態に合っていなかったことが主な原因で、PDM ver.1 の多くの活動は大幅に遅れ、あるいは遅れていた。しかし、PDM 改訂後は、三つのアウトプットを達成するための各活動は、PO（付属資料 1 の Annex2-2 参照）に沿っておおむね計画どおりに行われ、期待された成果の発現に貢献してきた。

予定どおり完了したがその内容にやや課題が残った活動（活動 1-1）もあった。また、アウトプット 1、3 を達成するための幾つかの活動は終了時評価時点では未完了であったが、プロジェクト終了までには完了するめどが立っている。ほとんどの活動が予定どおり行われ、残った活動も終了までには完了する見込みであることから、活動はアウトプットの発現に十分に貢献したといえる。

やや課題が残った活動と、終了までに完了予定の活動項目を以下の表に示す。その他、活動実績の詳細は、付属資料 1 の 4-1-2 を参照のこと。

なお、中間レビューで示された提言については、その多くが中間レビュー後に改訂された PDM のなかで活動や指標として位置づけられたことで、プロジェクト実施を通じておおむね対応策が講じられてきた。なお、提言のうち、①ITSME のアウトプット活用・共有のための中央レベルでの相互協力の検討、②他の関連人材に対する ITSME のアウトプットの共有・普及、③最終版の教材集とその全国普及に関する提言を取りまとめたプロジェクトの最終成果品としての包括的報告書の作成と MOES への提出の 3 点については、本終了時評価実施時点で対応中であり、プロジェクト終了までには完了が見込まれている。

表 4-1 活動進捗と完了に向けた今後の対応内容

PDM ver.2 の活動	活動進捗と完了に向けた今後の対応内容
アウトプット 1：授業改善のための仕組みが強化される	
1-1. MOES と PESS は対象県の理数科教育ベースライン調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2010 年 4 月、5 日間のベースライン調査が対象 3 県 8 郡で実施され、①教員の理数科に対する能力の低さ、②教科書の不適切な内容と構成、③教科書どおりに行われる授業などの問題点が明らかになった。 ・一方、ベースライン調査（したがってエンドライン調査も）の項目に、プロジェクトのアプローチの有効性を検証するための IS と ES の活性化に関する項目が十分に含まれていなかった点に、やや課題が残った。
1-8. DESB は、模範学習活動案の使用状況についてモニタリングを実施し、PESS に報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の全 8DESB は、第 1～4 年次の間に、対象全校におけるモデル授業案の活用状況のモニタリングを行った。 ・DESB は、モニタリングの結果を、教材作成 W/S や ToT の機会を通じて PESS に口頭で報告した。 ・他方、2012 年 11 月の ToT 以降、プロジェクトが開発したモニタリングフォームを用いた定期的な報告を試行している。終了時評価時点でモニタリングフォームを用いた報告を行ったのは、全 8DESB のうち 4DESB であった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの 4DESB に対しては、既に 2013 年 6 月の教材作成 W/S において、プロジェクトがフォームの利用方法について説明し提出を促した。引き続きフォームの作成・提出に向けた支援を行い、プロジェクト終了までには残りの報告も行われ、活動が完了する見込みである。
1-10. プロジェクトは、教育政策アドバイザーと協力し、教員強化に関する学校基準 (School of Quality。以下「SOQ」という。) 達成のための IS 活動を支援するために、MOES 関係者との議論をファシリテートする。	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 年次以降、プロジェクトは教育政策アドバイザーと協力して、IS を支援するために MOES 関係者との議論をファシリテートしている状況であり (下記参照)、プロジェクト終了までには活動を完了する予定である。 ・DTE は、DPPE、RIES、教育標準・品質管理センター (Education Standard and Quality Assurance Center。以下「ESQAC」という。) の ITSME 担当者を研修教材 W/S に定期的に招いたり、彼らとともに対象校を訪問したりするなどの機会を通して、ITSME の考え方や教材の品質、また IS 活動を促す 4 つのステップの効果などを理解させ、それぞれが扱っている研修モジュールなどに ITSME 授業づくりの考え方を反映させるよう働きかけている。 ・その結果、DTE と DPPE は、2013 年 6 月現在 DPPE が改訂作業中の PA ガイドラインに、ITSME の教材をどのように取り入れられるか検討を開始した。 ・2013 年 6 月現在、7~8 月に実施される予定の EQS (SOQ) 研修 (全国 26 郡で、各 10 日間実施) と現職教員アップグレード研修 (全国 8TTC と 11PES で各 8 週間実施) に ITSME トレーナーを派遣して、ITSME 授業づくりについて紹介する 1 日程度のセッションを盛り込むことを計画し、実践のための手続きを始めている。
1-11. MOES は、関係機関と本プロジェクトでの経験を共有するためのセミナーを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトディレクター (DTE 局長) と専門家チームは、終了時評価後に経験共有のためのセミナー実施に向けた具体策を練り、速やかに実行に移すことで合意している。したがって、プロジェクト終了までには活動が完了する見込みである。 ・対象 TTC、PESS、DESB、学校などの現場においては、既に会議などの機会を利用して対象外の地域などへのプロジェクト経験の共有が行われ始めている。
アウトプット 3 : 授業改善のための教材類が作成される	
3-7. 3-1~3-6 の教材類を含む授業改善のための総集教材が取りまとめられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトは 2013 年 6 月時点で既に授業改善のための総集教材の取りまとめを開始しており、プロジェクト終了までには活動が完了する見込みである。

<p>3-9. 3-8 で共有された経験を基に、プロジェクト期間中に策定された教材類を国レベル標準として検討するよう MOES に提案する文書が作成される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 年 6 月時点で、プロジェクトは、左記の具体的な提案文書作成に向けた構想を始めている。 ・ 提案文書の根拠資料として、エンドライン調査結果（対象校における ITSME 教材を生かした IS 活動とその成果）を利用する予定である。 ・ さらに、2013 年 6 月の ToT でのアウトプット共有結果を加えて、文書を取りまとめる予定である。
--	--

出所：プロジェクトチーム

4-1-3 アウトプットの達成状況

PDM の指標に沿って、アウトプットの達成状況を評価した結果は以下のとおりである。

<アウトプット 1> 授業改善のための仕組みが強化される

指標 1-1：

対象県において IS 活動支援に資するプロフェッショナルネットワークを構築するための、TTC と PESS 間で合意された公式文書

- ・ 2013 年 2 月 18 日、第 4 年次キックオフミーティングにおいてチャンディ DTE 局長が対象の PESS 局長、DESB 局長、TTC 学長と意見交換を行い、ITSME 活動の実施と継続に関する体制構築と予算措置について合意した。
- ・ この議事録を「ITSME 将来計画と実施戦略」(ITSME Future Plan and Implementation Strategy) (付属資料 5 を参照) としてまとめ、さらに具体的な活動計画書である「ITSME 活動の継続に関する実施計画」(Implementation Plan on the continuation of ITSME activities) を添付して、2013 年 4 月 1 日にチャンディ DTE 局長が署名し、対象の PESS、DESB、TTC と合意するとともに 2013 年 5 月の教材作成 W/S において対象の県・郡に配布した。
- ・ この将来計画のなかには、DTE、PESS、DESB、TTC の IS 活動支援に関する機能と役割（プロフェッショナルネットワークに相当する機能を含む）が明記されており、対象県でプロフェッショナルネットワークを構築するための公式文書としては十分である。
- ・ 他方、現場の PESS、DESB、TTC からは、今後、対象地域外へ活動を拡大していくにあたり、更に上の省レベルでの命令文書などがあると活動がしやすいとの要望があった。(終了時評価のインタビュー調査による)。

以上から、指標 1-1 は達成された。

指標 1-2：対象県において仕組みを機能させるために承認された MOES 予算

- ・対象県で IS 活動を通じた授業の質改善の仕組みを機能させるための予算として、中央レベルでは DTE 予算合計 7 億 4,662 万 3,000LAK が、第 1 年次の 2010 年 10 月から³第 4 年次の 2013 年 5 月までのプロジェクト活動費（主に教材作成 W/S にかかる経費）として支出された（付属資料 1 の Annex4-4 参照）。プロジェクト期間を通して経費負担がなされたものの、2013 年 5 月時点で第 4 年次分の予算を消化しきっており、2013 年 6 月以降の予算のめどは立っていない。
- ・地方レベルでは、一部の PESS と DESB が ToT にかかる経費を負担した。さらに、基本的に学校モニタリングは PESS と DESB の通常予算で行われたほか、すべての対象校が学校補助金などを活用することで学校における IS 活動の費用を負担した。

以上、プロジェクト期間を通しておおむね予定どおり予算が支出されたことから、指標 1-2 はおおむね達成されたといえる。なお、プロジェクト期間を通して IS 活動やモニタリング費用がラオス側によって負担されたことは、特筆に値する。

指標 1-3：プロジェクトで開発したモデル授業案の対象校における活用状況

ベースラインと比較して、すべての対象校が IS 活動においてプロジェクトにより開発されたモデル授業案を活用した。表 4-2 に示すとおり、校長・アカデミック・ティーチャー（Academic Teacher、以下「AT」という。）によるモデル授業案を用いた授業案作成のポイントの解説やデモレッスン（ToT の内容の伝達講習）、生徒の実態に合わせて書き換えたモデル授業案を用いた教員による授業実践など、モデル授業案は対象校の校長の意図や教員の課題・関心に合わせて有効に活用された。したがって、指標 1-3 は十分に達成された。

表 4-2 モデル授業案の活用状況

ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況
学校のなかには従来の授業案を用いて IS 活動を行っているところがある。	すべての対象校が、プロジェクトが開発したモデル授業案を使って IS 活動を行っている。	ToT でモデル授業案が対象校に紹介されたあと、すべての対象校が ToT のなかで作成した各校の IS 実施計画に沿って IS 活動においてモデル授業案を活用している。主な活用方法は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・校長・AT による授業案作成のポイントの解説やデモレッスン（ToT の内容の伝達講習） ・教員グループによるモデル授業案の内容分析、改善に係る意見交換 ・モデル授業案を生徒の実態や学習環境に合わせて書き換

³ ラオスの会計年度は10月から始まるため、R/D署名（2009年11月19日）時点で既に年度が始まっていた第1年次開始後の2010年3～9月までの予算をラオス側が負担することが難しいことから、ラオス側は2010年10月から予算を負担することとM/Mで定められている。

		<p>える作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業案を用いた授業実践と同僚による参観、事後検討会（授業研究） ・過去に教員が作成した活動案を、モデル授業案にならって三つのコラムのフォーマットに書き換える作業、など。
--	--	--

出所：プロジェクトチーム、エンドライン調査報告書、終了時評価調査におけるインタビュー調査

指標 1-4：DEB 経由で PESS になされたモデル授業案の活用に関するフィードバック状況

対象の全 8DESB が、モデル授業案の活用状況について口頭でのフィードバックを実施した。一方、プロジェクトが開発したモニタリングフォームを用いての定期的なフィードバックは、現在までのところ 4DESB が実施しているが、プロジェクトが既に残りの DESB へも提出の指導を行って DESB から提出予定の連絡を受けていることから、プロジェクト終了までには指標 1-4 は達成される見込みである。

表 4-3 モデル授業案の活用に関するフィードバック状況

ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況	プロジェクト終了までの達成予測
N/A	対象郡の DESB は、対象校からのフォーム E の内容（モデル授業案を用いて行った IS 活動の内容）をフォーム G に取りまとめ、これを毎学期 PESS に提出している。	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての対象 DESB が、教材作成 W/S や ToT の機会を通じて、対象校でのモデル授業案の活用状況を PESS に口頭で報告した。 ・プロジェクトが開発したモニタリングフォーム（フォーム G）を用いての定期的なフィードバックは、現在までのところ 4DESB（カムアン県のタケク、サバナケット県のカイソン、パランサイ、チャンパサック県のサナソンブン）が実施した。 	2013 年 6 月の ToT 時に、プロジェクトが既に残りの 4DESB へも提出の指導を行って DESB から提出予定の連絡を受けていることから、プロジェクト終了までには達成される見込みである。

出所：プロジェクトチーム、エンドライン調査報告書、IS 活動の実施状況（専門家作成資料）、終了時評価調査におけるインタビュー調査

以上から、これまでにアウトプット 1 はおおむね達成されたと判断できる。プロジェクト終了までに前述の指標 1-4 が達成されれば、達成度は更に高まることが予測される。

<アウトプット 2> 授業改善を促進する人材が強化される

指標 2-1：開発されたモデル授業案の質が改善される

ITSME トレーナーがグループで作成したモデル授業案（計 25 授業案）について、専門家チームの分析結果によると、授業案の質は、9 点満点で第 1 年次の 7.0 点（3 授業案）から、第 2 年次の 7.3 点（9 授業案）、第 3 年次には 8.8 点（13 授業案）に達したことから、質の改善状況は良好である（表 4-4 参照）。特に第 3 年次は質の平均点がほぼ満点に近いことから、作成された授業案は、①明確な授業目標の設定、②適切な授業過程・生徒活動の設定、③前 2 項に沿った適切な評価設問の設定、という目標の質を満たしているといえる。さらに、専門家による第 4 年次の教材作成 W/S の観察結果から、第 4 年次作成分の授業案についても、第 3 年次と同等の質が担保されるものと予想される。したがって、指標 2-1 は十分に達成されたといえる。

表 4-4 モデル授業案の質の改善状況

ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況								
<p>プロジェクト開始当初の関係者の授業案に関する考え方は以下のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業は教科書の内容をそのとおりに生徒に与えるものであり、内容や順番を勝手に変えてはいけない。 このため学習活動案は、教科書の内容をコピーすることが基本であり、授業目標、生徒活動、評価設問は教科書に示されているものをそのまま採用する。 	<p>トレーナーの作成する授業案が、以下の質を備えている。</p> <p>①授業で生徒が何を学ぶのか（授業目標）が明確である。</p> <p>②この目標を生徒がどのように達成するか（授業過程）が適切に組み立てられている。</p> <p>③この達成をどのように確認するか（評価設問）が適切に準備されている。</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>授業案の質の平均点*</td> </tr> <tr> <td>1 年次</td> <td>7.0 (3 授業案)</td> </tr> <tr> <td>2 年次</td> <td>7.3 (9 授業案)</td> </tr> <tr> <td>3 年次</td> <td>8.8 (13 授業案)</td> </tr> </table>		授業案の質の平均点*	1 年次	7.0 (3 授業案)	2 年次	7.3 (9 授業案)	3 年次	8.8 (13 授業案)
			授業案の質の平均点*							
		1 年次	7.0 (3 授業案)							
		2 年次	7.3 (9 授業案)							
3 年次	8.8 (13 授業案)									
<p>*授業案の質は、①授業目標、②授業過程、③評価設問の三つの視点に沿って、プロジェクトが設定した評価クライテリアに従い、プロジェクト専門家が測定した。</p>										

出所：プロジェクトチーム、ベースライン調査報告書、専門家による ITSME 教材の品質分析（専門家作成）

指標 2-2：ITSME トレーナーの教科知識が改善される

第 3 年次の教材作成 W/S で行われた ITSME トレーナー 22 人のプレ・ポストテストを点検すると、算数・理科のプロジェクト対象の 7 単元すべてについてポストテストの結果が高かったことから、ITSME トレーナーの教科知識は W/S 開始前と比較して改善されたといえる（表 4-5 参照）。理想的には、テスト結果が 100% に達することが望ましいが、教科書の質の低さ、ITSME トレーナーの限られた学習環境の制約を考えると、改善の度合いは良好であるといえる。対象外の単元においても教科知識を深めることが、ITSME トレーナーにとって今後の更なる課題となっている。

表 4-5 トレーナーの教科知識の改善状況

ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況																																				
教材作成 W/S 開始時点(2012年6月)に行われた教科知識に関するプレテストの平均は以下のとおり(対象:トレーナー22人)。 算数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正比例</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td>周の長さ</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>対称な位置にある図形</td> <td>64.0</td> </tr> </tbody> </table> 理科 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>81.2</td> </tr> <tr> <td>物が見える仕組み</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>熱の伝わり方</td> <td>37.5</td> </tr> <tr> <td>物質</td> <td>61.0</td> </tr> </tbody> </table>	単元	平均 (%)	正比例	89.1	周の長さ	89.4	対称な位置にある図形	64.0	単元	平均 (%)	水	81.2	物が見える仕組み	50.5	熱の伝わり方	37.5	物質	61.0	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方として、トレーナーには、教科内容のすべてを理解することは求めておらず、モデル授業案で扱う内容とその周辺知識を身に付け、ToTにおいて校長、ATに対して必要十分な解説ができるようになることをめざしている。 そのため、理想的には、専門家が最低限必要な問題に絞ったテストには、100%正答することが望ましい。 	教材作成 W/S 終了時点(2012年9月)に行われた教科知識に関するポストテストの平均は以下のとおり(対象:左記のトレーナー22人)。 算数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正比例</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td>周の長さ</td> <td>98.5</td> </tr> <tr> <td>対称な位置にある図形</td> <td>78.4</td> </tr> </tbody> </table> 理科 <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>平均 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>物が見える仕組み</td> <td>77.7</td> </tr> <tr> <td>熱の伝わり方</td> <td>85.9</td> </tr> <tr> <td>物質</td> <td>75.6</td> </tr> </tbody> </table>	単元	平均 (%)	正比例	93.6	周の長さ	98.5	対称な位置にある図形	78.4	単元	平均 (%)	水	99.5	物が見える仕組み	77.7	熱の伝わり方	85.9	物質	75.6
単元	平均 (%)																																					
正比例	89.1																																					
周の長さ	89.4																																					
対称な位置にある図形	64.0																																					
単元	平均 (%)																																					
水	81.2																																					
物が見える仕組み	50.5																																					
熱の伝わり方	37.5																																					
物質	61.0																																					
単元	平均 (%)																																					
正比例	93.6																																					
周の長さ	98.5																																					
対称な位置にある図形	78.4																																					
単元	平均 (%)																																					
水	99.5																																					
物が見える仕組み	77.7																																					
熱の伝わり方	85.9																																					
物質	75.6																																					

出所:プロジェクトチーム、事業進捗報告書(第3年次)

以上から、アウトプット2はおおむね達成されたといえる。

<アウトプット3> 授業改善のための教材類が作成される

指標 3-1: 活動 1-3 で示された計画目標に対して、実際に開発されたモデル授業案の数

モデル授業案の計画目標(1年次・2年次:設定なし、3年次:10単元、4年次:10単元)に対して、1年次は3単元、2年次は9単元、3年次は目標どおりの10単元が作成された。4年次は2013年6月時点で目標を超える14単元の作成をほぼ終えていることから、指標3-1はプロジェクト終了までに完全に達成される見込みである。

表 4-6 開発されたモデル授業案の数

ベースライン	目標値		現在までの達成状況
0(なし)	1年次	設定なし	3単元
	2年次	設定なし	9単元
	3年次	10単元	10単元(13教材)
	4年次	10単元	14単元(16教材) 2013年6月末時点でほぼ作成完了

出所:プロジェクトチーム

指標 3-2：活動 3-7 で取りまとめられた授業改善のための教材集

プロジェクトは 2013 年 6 月時点で既に、これまでに開発されたモデル授業案、マニュアル、参考資料類の書式の調整などの作業を始めており、プロジェクト終了までには授業改善のための教材集として取りまとめる予定である。プロジェクトの主な成果品は、付属資料 1 の Annex5 を参照のこと。したがって、指標 3-2 は達成されることが予測される。

指標 3-3：

教材集の国家標準としての採用を検討するよう MOES に提案するために、プロジェクトで準備・提出した文書

プロジェクトは、2013 年 6 月時点で、開発された教材集を MOES の既存の研修などへいかに活用できるかなど、具体的な提言文書を作成する準備を進めている。プロジェクトは、①エンドライン調査、②2013 年 6 月の ToT、③2013 年 7 月の研修教材 W/S (ToT 反省会)、などを通して得られた対象校における IS の実践結果を基に、提言文書を作成する構想を立てている。プロジェクト終了までには作成・提出される見込みである。

以上から、アウトプット 3 は達成に向けて着実に進捗しており、プロジェクト終了までには達成されると予測される。

4-1-4 プロジェクト目標の達成状況

<プロジェクト目標> 対象小学校における理数科の授業の質が改善される

プロジェクト目標の達成度合いは、以下に示す PDM の二つの指標に照らして評価した。プロジェクトは、ラオスの既存の制度である学校での IS 活動と IS 活動への支援 (ES 活動) を活性化することで授業の質を改善することを目標としているため⁴、PDM の二つの指標に加えて、IS 活動・ES 活動の活性化の度合いについても、プロジェクト目標の達成度を評価するための補足指標として用いた。

指標 1：対象校の教員の授業実践の質が改善する

対象校の教員は、モデル授業案にならった授業案を用いることで、①明確な授業目標の設定、②適切な流れの生徒活動の実施、③学習内容のまとめと評価活動、をおおむね行えるようになりつつあり (表 4-7 参照)、したがって授業実践の質のなかでも授業構築技術がとりわけ改善したことが認められた⁵。したがって、指標 1 は達成されたと判断できる。IS 活動は教員に、生徒にとって楽しく分かりやすい授業や授業案を見せる機会を与え、モデル授業に沿って授業を行う動機を与えた⁶。

⁴ つまり、三つのアウトプットが達成されることで IS 活動と ES 活動が活性化され、これによりプロジェクト目標が達成されるというロジックであった。しかし PDM には IS 活動・ES 活動の活性化を測るための指標が設定されていなかったことから補足指標を用いた。

⁵ エンドライン調査における対象 32 校の授業観察結果と終了時評価調査における 8 校でのインタビュー調査結果による (なお、プロジェクトの対象校は全 116 校である)。

⁶ 終了時評価での質問票調査とインタビュー調査結果による。詳細は、後述のプロジェクト目標の補足指標「IS 活動・ES 活動が活性化される」の達成状況を参照。

他方、教員の授業実践での指導内容（教科知識）は、これまで同様に教科書をコピーすることにとどまっている。今後は、習得した授業構築技術を用いて、教科書の内容を吟味し、生徒の実態に合わせて正しい教科知識を教えられるようになることが更なる課題である。

表 4-7 対象校の教員による授業実践の質

ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況	今後の課題
ベースライン調査で観察した授業実態：MOESの指導に従い、教科書の内容をそのまま生徒に読み聞かせることが授業であると見え、そのとおり実践していた。生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を行っている様子は認められなかった。	対象校の教員がモデル授業案を使って「子どもにとって分かりやすい授業」を実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> 対象校の教員たちは、IS活動のなかでモデル授業案について自分たちの生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を施して改善し、これを授業で活用することを通して、生徒が主体的に学習に参加し、理解が深まるという効果を感じている。 ベースラインの状況と比べると、対象校の教員たちはモデル授業案を使って、より「子どもにとって分かりやすい楽しい授業」を実践できるようになりつつある。終了時評価におけるインタビュー調査で報告された状況は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 対象校の教員の多くが、モデル授業案になった授業案を準備し、必要に応じてこれを参照しながら授業を行うことで、①明確な授業目標を設定し、②生徒活動に対する明確なインストラクションを与え、③授業のまとめや生徒活動に沿った評価活動を行えるようになってきた。 対象校の生徒はプロジェクトの開始前と比べ、生徒活動により積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり、議論に参加するようになった。 対象校の生徒は、プロジェクトの開始前と比べ、授業をよく理解するようになった。対象校によっては、学年末試験の算数と理科の点数がプロジェクト開始前と比較して上がったところがあり、プロジェクトによる影響と考えられる。 	対象校の教員たちが更に教科内容に関する知識を深め、習得された授業構築力を用いて正しい教科知識を教えられるようになることが課題である。

出所：プロジェクトチーム、ベースライン調査報告書、エンドライン調査報告書、終了時評価におけるインタビュー調査

指標 2：対象校の教員の授業案の質が改善する

プロジェクト専門家とトレーナーによる授業案の質の分析結果によると、対象校の教員の作成した授業案（サンプル授業案数：26）は、①明確な授業目標の設定、②適切な流れの生徒活動の配置、③学習内容のまとめと評価設問の設定、がなされており、とりわけ①について質が改善したことが分かった。ベースライン時点の状況から考えると、授業案の質は大き

く改善し、指標 2 は十分に達成されたと判断できる。一方、教科書に誤った、あるいは不適切な生徒活動があってもそれを正すことまではできていない。2013 年 6 月以降に配布する ITSME 研修教材には、日本人専門家が作成した対象単元の内容に関する教員向けの参考資料が収められており、今後これを活用することで内容面での質の高まりが期待される。正しい教科知識に沿って、上述の②と③をより適切に組み立てられるようになることが教員にとっての今後の更なる課題である。

表 4-8 対象校の教員の授業案の質

ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況	今後の課題
<p>ベースライン調査で確認された学習活動案の実態： MOES の指導に従い、教科書の内容をそのままノートにコピーしたものを学習活動案と呼んでいた。このため、教室には手書きのノートよりも読みやすい教科書を持って行って授業を行い、自身の活動案は、校長に提出したり、PA 訪問の際にチェックを受けたりするために作成するという意識が強かった。</p>	<p>教員たちはモデル授業案になって自身の授業案を作成することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象校の教員は、主に IS 活動を通じてモデル授業案の良さを認め、モデル授業案になって自身の授業案を作成している。 ・授業案の書き換え作業を行ううえで、生徒が教員の発問にどのように反応するかを予想する必要があるため、教員は生徒の既習事項を確認したり、授業過程を工夫することを始めている。 ・エンドライン調査において訪問した 32 校から収集した学習活動案のうち 26 案を、プロジェクト開始前と後に分けて ITSME トレーナーと日本人専門家が学習活動案評価票に従って比較した結果、プロジェクト開始後に作成された活動案は、特に①授業で生徒が何を学ぶのか（授業目標）が明確になり、②これを生徒がどのように達成するか（授業過程）が適切に組み立てられ、更に③この達成をどのように確認するか（評価設問）が適切に準備されているなど、授業の意図がより明確な学習活動案となっていることが確認できた。 ・一方、教科書に誤った、あるいは不適切な生徒活動があってもそれを正すことまではできていない。 	<p>正しい教科知識に沿って②と③をより適切に組み立てられるようになることが教員にとっての更なる課題である。</p>

出所：プロジェクトチーム、トレーナーによる新旧学習活動案の比較（専門家作成資料）、専門家による新旧学習活動案の比較（専門家作成資料）、終了時評価のインタビュー調査

補足指標：IS活動・ES活動が活性化される

終了時評価での質問票調査の結果によると⁷、プロジェクトの実施を通して、IS活動・ES活動が質、量ともに活性化され、これが授業の質の改善に効果的であったことが明らかになった（表4-9参照）。モデル授業案はIS活動の良い教材となり、IS活動を効果的に行ううえで役に立った。4-1-3の指標1-3の達成状況で述べたとおり、IS活動のなかで教員はモデル授業案を使った校長・ATによるデモレッスンを観察、モデル授業案を分析、教員同士の授業観察を実施し、モデル授業案にならって従来の授業案を書き換えている。これら一連の取り組みが、授業案と授業の質の改善につながった。以上の状況から、プロジェクトの計画どおり、質の高いモデル授業案を用いたIS活動とES活動の活性化が、プロジェクト目標の達成に十分に貢献したといえる。

表4-9 IS活動・ES活動の活性化の状況

(1) IS活動の活性化の状況

<質問票調査結果>

トレーナー全36人（PESS6人、DEBS16人、TTC14人）（回答数全36人）と対象校全116校の校長（回答数98人）に対する質問票調査の結果によると、プロジェクトの実施を通じてIS活動とES活動が活性化され、プロジェクト目標の達成に貢献したことが明らかになった。主な回答内容は以下のとおり。

1) モデル授業案、IS活動の有効性

- ・ 「IS活動は対象校での授業の質の改善に貢献し、モデル授業案はIS活動の活性化に貢献した」
⇒トレーナーの100%が、非常に同意、あるいは同意。
- ・ 「モデル授業案は従来の授業案より生徒の学習の向上に効果的であった」
⇒トレーナーの97%（35人）が非常に同意、あるいは同意。
- ・ 「モデル授業案を使うことによりIS活動をより効果的に行うことができる」
⇒校長の98%（96人）が、非常に同意、あるいは同意。
- ・ 「プロジェクトの支援によりIS活動の質が向上した」
⇒校長の96%（94人）が、非常に同意、あるいは同意。

2) ISの頻度

- ・ 「対象校は非対象校よりIS活動を実施する頻度が多い」
⇒TTCのトレーナー6人を除くすべてのトレーナーが、非常に同意、あるいは同意。

3) IS計画の策定、ISの内容、授業案の作成方法

- ・ 「IS計画の策定」
⇒プロジェクト開始前にIS計画を策定していたのは、対象校の79%（77校）
⇒プロジェクトの開始後IS計画を策定したのは、対象校の91%（89校）

⁷ 質問票の詳細な内容と調査結果（グラフ）は、付属資料4を参照のこと。

- ・ 「教員に、IS 活動のなかで定期的に授業案の作成方法について議論する機会を与えた」
⇒校長の 61%（60 人）が、非常に同意、あるいは同意。
- ・ 「教員は定期的に協働で授業案を準備している」
⇒校長の 77%（75 人）が、非常に同意、あるいは同意。

<インタビュー調査結果>

終了時評価のインタビュー調査（対象 8 校）によると、教員は、算数と理科の対象外の単元や対象外の科目であるラオス語についても、モデル授業案に沿って自主的に授業案を作成したことが明らかになった。質の高い授業を行うための授業案づくりに対する教員の熱意と献身がうかがえる。科目ごとの全単元のうち、学校側が自主的に授業案を作成した単元のパーセンテージ（1～5 学年までの平均%）は、以下のとおり。

授業案を作成した単元 （1～5 学年までの平均%）	算数	理科*	ラオス語
80%以上	6 校	7 校	6 校
50～80%	2 校	1 校	1 校
50%以下	なし	なし	1 校
0%	なし	なし	なし

* 理科は、教科「World Around Us」のなかに含まれる。

(2) ES 活動の活性化の状況

<質問票調査結果>

1) ES の頻度

- ・ 「学校を支援するための、①トレーナーによる ES（授業のモニタリング）の頻度、② TTC、PESS、DESB の協働の頻度」
⇒プロジェクト開始前と比較して①、②ともに頻度が増えた。
- ・ 「PA による授業観察の頻度はプロジェクト開始前と比較して増加した」
⇒校長の 94%（92 人）が、非常に同意、あるいは同意。

2) ES の内容、有効性

- ・ 「PA から、授業の質を向上させるための専門的指導を受けている」
⇒プロジェクト開始前：学校の 19%（19 校）が専門的指導を受けていた。
⇒プロジェクト開始後：学校の 56%（55 校）が専門的指導を受けている。
- ・ 「開始前と比較して、授業の改善のための PA からの技術支援はより効果的になった」
⇒校長の 98%（96 人）が、非常に同意、あるいは同意。

以上から、これまでにプロジェクト目標は達成されたといえる。プロジェクト終了までに上述のアウトプットの達成度が高まることにより、プロジェクト目標の達成度が更に高まると予測される。

4-1-5 上位目標の達成状況

<上位目標> 対象県の授業の質が向上する

指標 1：対象県の教員の授業実践の質が改善する

指標 2：対象県の教員の授業案の質が改善する

(1) 上位目標の達成状況

この上位目標は、プロジェクトにより改善された対象校の教員の授業実践・授業案の質を対象外の教員にも広げていくことで達成される。一方、プロジェクトは、教員の授業実践・授業案の質の向上のために、①対象県での授業改善のための仕組みの強化、②授業改善を促進する人材（PESS、DESB、TTCのトレーナー）の能力強化、③授業改善のための教材作り、を行って、今後対象県が県全体へ授業改善の取り組みを展開するための基盤づくりまでをめざしている。したがって、現時点ではプロジェクトの直接のインパクトにより、上記指標が大きく改善する時期ではないが、以下の上位目標の発現が既に確認されている。

- ・終了時評価のインタビュー調査で、幾つかのDESBから、私立学校を含め対象外の学校のなかには既にプロジェクトのモデル授業案を実際に授業のなかに取り入れ実践している学校があると報告があった。モデル授業案は、質を担保するための①明確な授業目標、②生徒活動、③授業の評価設問、の設定により構成されているため、モデル授業案を取り入れた学校では授業の質がいくらか向上していることが予想される。

(2) 上位目標に向かうインパクト

上位目標達成に有効なプロジェクト由来のインパクトが以下のように確認されていることから、上位目標は達成の道筋にあると考えられる。また、プロジェクトの実施により、ISの活用と活性化が授業の質の改善に効果的であったことが明らかになった。したがって、「ラオス側により対象県のすべての学校でISが行われる」という外部条件を満たすための手段が講じられれば、上位目標の達成見込みが高まることが予想される。

表 4-10 上位目標に向かうインパクト

プロジェクトによる 1 次的なインパクト	プロジェクトとの因果関係	期待される 2 次的なインパクト
1) 対象 3 県の PESS は、プロジェクトの活動を次期 2013/2014 学校年度に対象外の 2 郡へ拡大する計画	・ ITSME トレーナーが PESS 局長に授業改善に対するモデル授業案の効果を説明し、対象外の地域への拡大	・ 拡大先の 2 郡において、教員の授業実践・授業案の質が改善される。

<p>(人材・予算計画含む)を立てている。</p>	<p>を働きかけた。 <ul style="list-style-type: none"> • PESS 局長がプロジェクト活動への参加を通じてモデル授業案の効果を実感しつつある。 </p>	
<p>2) 対象 PESS のなかには、モデル授業案の作り方やコンセプトなどを既に対象外の郡へ紹介したところがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 同上 • モデル授業案の効果を実感した ITSME トレーナー自身が、他の郡へも紹介したいと思い紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同上
<p>3) 全 8DESB は、プロジェクトの活動を次期 2013/2014 学校年度に対象外のクラスターへ拡大する計画(人材・予算計画含む)を立てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ITSME トレーナーが DESB 局長に授業改善に対するモデル授業案の効果の説明し、対象外の地域への拡大を働きかけた。 • DESB 局長がプロジェクト活動への参加を通じてモデル授業案の効果を実感しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 拡大先のクラスターにおいて、教員の授業実践・授業案の質が改善される。
<p>4) 対象 DESB のなかには、モデル授業案の作り方やコンセプトなどを既に対象外のクラスターへ紹介したところがある。 対象 DESB のなかには、ITSME トレーナー以外の職員にも ToT を受講させ、IS やモデル授業案の内容やコンセプトを共有し、組織全体としてモデル授業案を使った授業改善を支援できる体制を整えているところがあった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 同上 • モデル授業案の効果を実感した ITSME トレーナー自身が、組織内の他の職員や、他のクラスターへも紹介したいと思い紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同上 • IS やモデル授業案を作成、指導できる人材が増えることで、より多くの学校においてモデル授業案が紹介される。
<p>5) 対象校のなかには、MOES の質基準に従って選ばれるモデル学校になっているところがあり、これらモデル学校がクラスター内の他の学校へ同校の授業の様子などを紹介した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 対象校の校長や AT が ToT を通じてモデル授業案の効果を実感し、同じクラスター内の他校へ授業の様子などを紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> • クラスターの枠組みを使って、学校同士で協力しながら授業実践・授業案の質が継続的に改善される。

6) DTE が、ITSME トレーナーやモデル授業案などの教材を既存の EQS 研修の実施や PA ガイドラインの改訂に活用し始めている。	・プロジェクトからの働きかけもあり、DTE 局長・副局長や関連部局がプロジェクトの活動への参加を通して IS 活動やモデル授業案の効果を認識しはじめた。	・対象外の県の学校や DESB にも、IS 活動やモデル授業案の使い方、コンセプトが広がる。
7) DTE が、プロフェッショナルネットワークの役割を強化するための W/S を 2013 年 9 月に開催予定である。	・プロジェクトの活動を通して、DTE 局長・副局長がプロフェッショナルネットワーク強化の必要性を感じた。	・プロフェッショナルネットワークの機能が再認識され強化されることで、TTC、PESS、DESB の協働や IS 支援が行いやすくなる。
8) モデル授業案が、対象 TTC (教員養成カリキュラム) において、算数や理科、指導法に関する授業のなかで用いられている。	・TTC 学長や、ITSME トレーナーがモデル授業案の効果を実感し、授業に取り入れた。	・新規教員養成カリキュラムを通じてモデル授業案が未来の教員たちに普及される。
9) 学校側がモデル授業案にならって自主的にラオス語の授業案を作成した。学校によっては 1～5 学年までのラオス語の全単元の授業案を作成した学校もある。	・モデル授業案の良さを認識した校長、AT、教員らが IS 活動の機会を通じて、ラオス語のモデル授業案を作成した。	・ラオス語の授業の質が改善される。
10) 終了時評価のインタビュー調査対象の幾つかの学校と DESB から、プロジェクト実施後、①中退率が減少した、②学年末試験の成績が向上した (特に理科と算数) との報告があった。	・モデル授業案を使った授業は、目標が明確であったり、学習教材や生徒活動が工夫されていて生徒が楽しく学習できるため、中退率の減少につながったと考えられる。	・中退率の減少という重要な教育課題に貢献する。 ・左記①と②のデータを収集、活用することで、他県へプロジェクト活動を紹介するための根拠になる。

出所：プロジェクトチーム、「DESB、PESS 拡大計画」(専門家作成資料)(付属資料 6 を参照)、終了時評価のインタビュー調査

(3) 事後評価における上位目標の評価指標

上位目標の達成度を測る指標として、PDM ver.2 では「指標 1：対象県の教員の授業実践の質が改善する」「指標 2：対象県の教員の授業案の質が改善する」が設定されている。しかし、これらの指標の目標値(目標とする状況)は必ずしも明確ではない。したがって、今後事後評価で上位目標の達成度を評価する際には、次の点を考慮することが示唆される。

- ・面的な達成度に関しては、目標値(目標とする状況)は、ラオス側(DTE、PESS、DESB)の拡大計画を参考にすること。拡大計画に照らして、面的な達成度を測ることが推奨される。
- ・質的な達成度に関しては、4-1-4「プロジェクト目標の達成状況」で述べた、指標の「目標とする状況」と、その評価根拠を参考に達成度を測ることが推奨される。

4-2 プロジェクトの実施プロセス

(1) 活動の進捗

PDM ver.1 の改訂以降、ほとんどの活動はおおむね PDM ver.2 と PO に沿って実施された。

(2) 技術移転のプロセス

技術移転は、①専門家から ITSME トレーナー、②ITSME トレーナーから校長・AT、③校長・AT から教員、の各段階において、方法、内容、技術移転のレベルともに適切に行われた。

(3) プロジェクト実施体制

プロジェクト実施体制はおおむね良好に機能した。特筆すべき点として、現場での活動の実施部隊である TTC、PESS、DESB からなる ITSME トレーナーチームと、実務レベルの有能な DTE C/P 職員が、活動の推進に貢献した。他方、以下のような問題もあった。

- ・DTE 局長・副局長に活動結果を迅速かつ的確に報告し、活動内容を MOES の他部局へ広めたり共有したりするためには、DTE の C/P の人数が十分ではなかった。
- ・プロジェクト開始当初、PDM のコンセプト、フレームワークに関する関係者間の合意形成に時間がかかった。そのため、PDM ver.1 が改訂されるまでの活動に遅れが生じた。

(4) プロジェクトマネジメントシステム

プロジェクトの意思決定、モニタリング、プロジェクト内の情報共有・コミュニケーションはおおむね適切かつ円滑に行われた。ただし、以下のような課題もあった。

- ・第3年次までは、プロジェクトと他の開発パートナーとの協働は積極的には考慮されてこなかった。しかしながら、中間レビューの提言を受け、特に第4年次以降プロジェクトは開発した教材などを既存の MOES の仕組みや活動に取り入れるための取り組みを始めている。
- ・プロジェクトは、W/S、ToT やエンドライン調査を通じて IS の概況を把握しているものの、IS 活動の実態の定期的なモニタリングは十分には行われなかった。

(5) オーナーシップ

特に、現場レベル（PESS、DESB、TTC、学校）におけるオーナーシップが高く、プロジェクトの活動を推進した。また、終了時評価のインタビュー調査を通して、自分たちが主体となって終了後も活動を継続していく強いコミットメントが確認された。

中央レベルでは、プロジェクト終了後も活動を推進していくため、DTE の更なるイニシアティブとオーナーシップが求められる。

(6) 中間レビューで示された提案に対する対応

中間レビューで示された提案事項については、おおむね対応がはかられてきた。提案事項

のうち、①ITSME の成果活用・共有のための中央レベルでの相互協力の検討、②他の関連人材に対する ITSME の成果の共有・普及、③最終版の教材集とその全国普及に関する提言を取りまとめたプロジェクトの最終成果品としての包括的報告書の作成と MOES への提出、の 3 点については現在も対応しているところであり、プロジェクト終了までには対応が完了することが求められる。

4-3 評価5項目による評価

4-3-1 妥当性

【評価結果：非常に高い】

(1) ラオス国家開発計画、教育・スポーツ省 (MOES) の開発政策との合致

本プロジェクトは、ラオスの国家政策や教育政策と非常に高い整合性がある。第7次国家社会経済開発5年計画 (NSED P 2011~2015年) は人的資源の量的質的拡充を優先課題の一つとしている。教育セクター開発フレームワーク (ESDF 2009~2015年)、TESAP では現職教員研修の拡充を課題の一つとしている。また、第7次教育分野開発5年計画 (ESDP 2011~2015年) は、科学の近代化と教員の資質向上について述べている。対象の幾つかの DESB からは、IS 活動により授業の質が改善されたことで生徒の中退率が低下したという報告もあり、ESDP (2011~2015年) の中間レビューにおける中退率の改善という重要課題とも整合している。

(2) 県教育・スポーツ局 (PESS)、郡教育・スポーツ局 (DESB)、教員養成校 (TTC)、学校のニーズとの合致

MOES は、教員の資質向上のための IS の実施を促しているが、その具体的な内容については各学校任せであり、学校側も実のある活動を試行錯誤している。プロジェクトが IS のための質の高い研修教材を提供し、適切な使用方法を指導することは、IS 活動を試行錯誤していた学校のニーズ、IS 活動を支援する側である PESS、DESB、TTC のニーズと十分に合致している。

(3) 日本のラオスに対する援助政策との合致

プロジェクトは、MDGs 達成に向け基礎教育、教育の質の改善を優先分野とする日本の対ラオス ODA 政策・計画と非常に高い整合性がある。外務省「対ラオス人民民主共和国別援助方針」(2012年4月)によると、援助の基本方針(大目標)は、MDGs 達成と後発開発途上国からの脱却への支援であり、「教育環境の整備と人材育成」は、四つの重点分野(中目標)の一つに位置づけられている。「教育環境の整備と人材育成」重点分野では、教員の質の改善を支援すること、初等・中等教育では理数科教育分野を中心に支援を行うことが言及されている。

(4) 手段の適切性

プロジェクトのアプローチは、次の点で適切であった。①IS 活動を通じた授業の質改善というアプローチは教育の質の向上というラオスの教育課題の解決に有効に働いた、②ターゲットグループの選定は適切であった、③プロジェクトは非対象地域への波及性があった、④日本の教育現場は IS 実施に関する豊富な知見を有しており優位性があった。

以上の結果から、妥当性は非常に高いと判断される。

4-3-2 有効性

【評価結果：高い】

(1) プロジェクト目標達成の見込み

PDM の二つの指標と補足指標が達成されたことから、プロジェクト目標は十分に達成されたと判断できる。

(2) アウトプットと外部条件、プロジェクト目標の因果関係

三つのアウトプットは、IS 活動・ES 活動の活性化を通してプロジェクト目標の達成に貢献した。プロジェクト目標と三つのアウトプットの関係は目的と手段の関係になっているものの、その間にあるとされる IS 活動の活性化の位置づけが PDM 上では明確ではなかった。加えて、プロジェクト目標やアウトプットの指標に目標値（目標とする状況）の設定も必要であった。

(3) アウトプットレベルの外部条件の充足状況

アウトプットレベルの外部条件「IS と ES を実施する方針と方向性が MOES によって大きく変更されない」は、プロジェクト期間を通して充足された。

(4) アプローチの有効性

①IS 活動を教員の継続的な専門性向上の機会として活用したアプローチ、②TTC、PESS、DESB が協働することで教員を支援するアプローチは、授業の質の向上に有効であった。

(5) プロジェクト目標を阻害・促進した要因

- 異なる機関から構成される ITSME トレーナーチームを活用したことで、各機関の役割が強化された。ITSME トレーナーチームの活動は、すべてのアウトプットの発現に貢献しており、したがってプロジェクト目標の達成に貢献した。
- IS 活動を教員の継続的な専門性向上の機会ととらえ活用したアプローチが、授業の質の向上に結びつき、プロジェクト目標の達成に貢献した。
プロジェクト目標を阻害した要因は特になかった。

以上、PDM 上での IS 活性化の位置づけや目標値の不明確さはあったが、三つのアウトプットがプロジェクト目標の達成に貢献し、計画どおり目標が達成されたことから、有効性は高いと判断できる。

4-3-3 効率性

【評価結果：高い】

(1) アウトプットの達成度

三つのアウトプットの達成状況は全般に良好であり、現時点ではまだ達成されていないアウトプット3もプロジェクトの終了までに達成される見込みである。

(2) 活動とアウトプットの因果関係

改訂後の PDM ver.2 の活動とアウトプットの因果関係は適切であった。

(3) アウトプットの達成を阻害した要因

特になし。

(4) 投入・活動の計画と実績の差異

1) 日本人専門家の投入

日本人専門家はおおむね計画どおりに投入され、2013年10月ですべての投入を完了する見込みである。

2) ラオス人 C/P の投入

ラオス人 C/P は、おおむね計画どおりに行われた。

3) 活動実績

「4-1-2 活動実績」に示したように、PDM ver.1 のデザインが必ずしも実態に合っていなかったことが主な原因で、当初の活動は大幅に遅れ、あるいは遅れていた。しかしながら、PDM の改訂により活動が整理、修正されたあとはおおむね計画どおりに活動が行われ、アウトプットの達成に貢献した。

(5) 前提条件の充足

プロジェクト開始時点では、前提条件の①MOES による IS 活動と ES 活動強化のための予算・施行面でのコミットメント、②IS 活動と ES 活動強化に予算・実施面でコミットする対象郡・対象校が存在すること、は必ずしも十分には満たされていなかった。しかしながら、プロジェクトがモデル授業案の開発や指導を行うなかで、MOES や対象郡、学校が IS 活動や ES 活動の意義、授業の質改善に向けた効果を実感し始めたことで、コミットメントが次第に高まっていったものと思われる。

(6) 投入の量・質・タイミング

1) 日本人専門家

ラオス C/P の評価によると、日本人専門家は成果を達成するために必要な専門性、資質を満たしていると高く評価しており、技術移転のアウトプットを上げてきている。

2) ラオス側 C/P

日本人専門家の評価によると、ラオス側の C/P の能力・資質は、技術移転を行うために十分であった。特筆すべき点として、TTC、PESS、DESB からなる ITSME トレーナーは、プロジェクト期間を通して必要な人数が配置された。これにより、アウトプットを達成するための活動に支障が出ることはなかった。他方、「4-2プロジェクトの実施プロセス」で述べたとおり、中央の DTE 実務レベルの C/P の人数が不足していた。

3) 供与機材

供与機材の投入時期、規模、質は適切であった。プロジェクトの初期に大部分の機材が投入され、活動計画に沿った機材の活用が可能となった。供与機材のコピー機を有効活用して、対象 DESB はモデル授業案などの教材をコピーし、対象外の地域や学校へ配布した。

4) 本邦研修

研修期間や内容はおおむね適切で、参加者は学んだ知識や技術をプロジェクトの活動に活用している。

5) ローカルコスト

ToT、学校モニタリング、IS などが定常業務として通常予算を用いてスムーズに行われたことは、ラオスの厳しい予算状況を加味すると特筆すべき点であった（ToT にはプロジェクトからの経費支援もあった）。

以上、PDMver.1 の前提条件が完全に満たされないままプロジェクトを開始せざるを得ない状況であったにもかかわらず、①日本・ラオス側の投入がおおむね計画どおりに行われたこと、②最低限の既存予算を活用してアウトプットを達成したこと、③アウトプットの達成に向け本邦研修が有効に活用されたこと、などから総合的に効率性は高いと判断される。

4-3-4 インパクト

【評価結果：高い】

(1) 上位目標へ向かうインパクト

「4-1-5 上位目標の達成状況」で述べたとおり、現時点ではプロジェクトの直接のインパクトにより、上位目標の指標である「指標 1：対象県の教員の授業実践の質が改善する」「指標 2：対象県の教員の授業案の質が改善する」が大きく改善する時期ではないが、プロジェクトによるインパクトの発現が既に確認されている。

プロジェクトの実施により、IS 活動・ES 活動の活用、活性化は授業の質の改善に貢献

したことが明らかになった。したがって、「ラオス側により対象県のすべての学校で IS が行われる」という上位目標達成のための外部条件を満たす手段が講じられれば、達成見込みが高まることが予想される。

(2) その他の正・負のインパクト

以下の点が、予期していなかった正のインパクトである（「4-1-5 上位目標の達成状況」の「表 4-10 上位目標に向かうインパクト」の 8)と 9)を参照）。負のインパクトは特に特定されなかった。

- 1) モデル授業案が、対象 TTC において、算数や理科、指導法に関する授業のなかで用いられている。新規教員養成カリキュラムを通じてモデル授業案が未来の教員たちに普及されることを考えると、そのインパクトは非常に大きい。
- 2) 対象校の教員が、プロジェクト期間中に、モデル授業案に沿って非対象科目であるラオス語の授業案を作成した。終了時評価で訪問した学校 8 校でのインタビュー調査によると、主に IS 活動の時間を利用して、学校側がモデル授業案にならって自主的にラオス語の授業案を作成したことが明らかになった。学校によっては 1~5 学年までのラオス語の全単元の授業案を作成した学校もあり、特筆に値するインパクトであるといえる（「4-1-4 プロジェクト目標の達成状況」の「表 4-9 IS 活動・ES 活動の活性化の状況」のなかの表を参照）。

(3) ラオスの開発課題へのインパクト

以下のとおり、ラオスの開発課題へのインパクトが確認された（「4-1-5 上位目標の達成状況」の「表 4-10 上位目標に向かうインパクト」の 10)を参照）。

- ・ 終了時評価のインタビュー調査対象の幾つかの学校と DESB から、プロジェクト実施後、中退率が減少したとの報告があった。中退率の減少という重要な教育課題への貢献が示唆されたことは、特筆すべきである。

以上の状況から、インパクトは高いと判断できる。

(4) 事後評価における上位目標の評価指標

「4-1-5 上位目標の達成状況」で述べたとおり、PDM ver.2 の上位目標の指標は必ずしもその目標値（目標とする状況）が明確ではないため、今後事後評価で上位目標の達成度を評価する際には、①面的な達成度に関しては、ラオス側（DTE、PESS、DESB）の拡大計画を、②質的な達成度に関しては、「4-1-4 プロジェクト目標の達成状況」で述べた、指標の「目標とする状況」と、その評価根拠を参考に達成度を測ることが推奨される。

4-3-5 持続性

【評価結果：高い（中央レベル：中程度、地方レベル：高い）】

(1) 中央レベル

1) 政策・制度面

IS 活動は学校で行われるべき活動、PA が支援すべき活動として MOES の PA ガイドラインに記載され、その政策は継続される見込みである。今後は、DTE が DPPE、ESQAC、TTC など他の関連部局や組織と協力しながら継続・普及のメカニズムとして、「ITSME 将来計画と実施戦略」を具体化し、PA ガイドライン、EQS 研修、現職教員アップグレード研修など既存の仕組みに ITSME の活動を位置づけていくことが必要である。

「4-1-5 上位目標の達成状況」の「表 4-10 上位目標に向かうインパクト」で述べたとおり、DTE は 2013 年の 9 月にプロフェッショナルネットワークの役割を強化するためのワークショップを開催予定である。役割が明文化され強化されることで制度面での持続性が更に高まることが予測される。

2) 組織・人材・財政面

継続・拡大に向けて DTE の十分な人材数を確保していくことも求められる。財政面では、プロジェクト実施中の予算はおおむね確保できたが、プロジェクト終了後の見通しはまだ立っていない。したがって、プロジェクトの成果品を ESDP 予算計画や、既に予算化されている研修のなかに組み込むことなどを通して、拡大のための予算を担保していくことが課題となっている。DTE が TTC に対して活動継続・拡大のための予算計画を指導することも課題である。

3) 技術面

DTE が他の関連部局や組織と協力して、拡大を図る際に、質の確保に向けた適切な手段を講じることが課題である。

(2) 地方レベル

1) 政策・制度面

TTC、PESS、DESB からなる ITSME トレーナーチームはこれまでも互いのネットワークを活用して活動を行ってきており、現場レベルではこのネットワークの仕組みが今後も継続されることが期待できる。他方、「4-1-3 アウトプットの達成状況」の指標 1-1 の達成状況で述べたとおり、今後、対象地域外へ活動を拡大していくにあたり、プロフェッショナルネットワークの機能や役割などに関する省レベルでの命令文書などがあると制度面での持続性がより高まると思われる。

2) 組織・人材・財政面

TTC、PESS、DESB の意思決定者は、ITSME トレーナーを今後の継続・普及活動に活用する意思を示している。また、対象 DESB のなかには、ITSME トレーナー以外の職員にも ToT を受講させ、IS やモデル授業案の内容やコンセプトを共有し、組織全体として

モデル授業案を使った授業改善を支援できる体制を整えているところがあった（「4-1-5 上位目標の達成状況」の「表4-10 上位目標に向かうインパクト」で述べたとおり）。このように、組織内での経験、共有を図ることで組織・人材面での持続性が更に高まるものと思われる。財政面では、学校モニタリングやISなどが既存の予算を用いて行われていたことから、今後も財政面での持続性が確保される見込みが高い。

3) 技術面

ITSME トレーナーの能力は、専門家の指導の下グループでモデル授業案を作成できるレベルまで強化された。ITSME トレーナーは、プロフェッショナルネットワークを活用して自分たちで継続的に授業案を作成、改善していくことに自信をもっている。今後もトレーナー同士のピア・ラーニングにより授業案を継続的に作成、向上させていくことが期待される。対象全校がモデル授業案を用いたISを行うことができるようになっていくことから、対象校ではIS実施を通じた授業案・授業の質の向上も継続される見込みである。

以上、政策・制度面、組織・財政面、技術面から検証し、中央レベル（MOES）の持続性は中程度であるものの、今後の方向性に見通しがついており、かつ、地方レベル（TTC、PES、DESB、学校）の持続性は高いと判断できることから、プロジェクト全体の持続性は高いといえる。

4-4 プロジェクトに対する貢献要因・阻害要因

4-4-1 貢献要因

(1) 計画内容に関すること

- 1) 異なる機関から構成されるITSME トレーナーチームを活用したことで、各機関の役割が強化された。ITSME トレーナーチームの活動は、すべてのアウトプットの発現に貢献しており、したがってプロジェクト目標の達成に貢献した。
- 2) 既存の制度であるIS活動を教員の継続的な専門性向上の機会ととらえ、活用したアプローチが、授業の質の向上に結びつき、プロジェクト目標の達成に貢献した。

(2) 実施プロセスに関すること

- 1) ToT、モニタリング、ISを定常業務として位置づけて実施してきたことが、財政面の持続性の確保につながった。
- 2) 実践してみたいと思える授業を見せるアプローチを取ったことで、ITSME トレーナーや教員のモチベーションを高め、結果的にラオス語や対象外の単元の授業案を学校が独自に作成するなどのインパクトにつながったと思われる。

4-4-2 阻害要因

(1) 計画内容に関すること

当初計画には、教科書の質の低さや学習環境の未整備などが考慮されていなかったため、これらが活動を遅らせる要因となった。

(2) 実施プロセスに関すること

PDM ver.1 の改訂に時間を要したため、それまでの活動が遅れることとなった。しかしながら、改訂後はおおむね計画どおりに活動が行われた。

4-5 結 論

プロジェクト目標は予定どおり達成されていることが確認された。プロジェクトの妥当性は非常に高く、また有効性、効率性も高い。インパクトも高く、MOESが必要な手立てを講じることで、上位目標の達成が期待されるとともに、対象外の地域への波及効果が認められた。持続性については、中央レベルで中程度、地方レベルでは高い結果であり、中央レベルでの持続性の確保が、今後の継続・普及に向けた一つの鍵となっている。

以上の評価結果から、本プロジェクトを予定どおり2013年10月で終了することが妥当であると判断できる。他方、「対象県の授業の質が向上する」という上位目標の達成に向け、本プロジェクトの効果として達成された授業構築技術を使い、正しい教科内容に基づいて本当の意味での質の高い教育を提供していくためには、プロジェクト終了の数年後に必要な応じてフォローアップ協力を検討することが望まれる。

第5章 提言及び教訓

5-1 提言

調査の結果から、目標達成に向けてプロジェクトは順調に進捗しており、ITSMEのアプローチは、教員の専門性能力向上のための効果的かつ公平な手段として、対象校のIS活動を活性化することに貢献したと結論づけられる。

また、対象校における学習指導案作成において、ITSMEアプローチが前向きに受け入れられ、適用されていることも確認された。とりわけ、ITSMEモデル学習指導案やITSMEアプローチを最大限に活用してIS活動を活性化させた対象校の意欲やコミットメントについては、特に評価に値する。学校レベルの関係者とのインタビューや議論からも、対象校の校長や教員がITSMEのアプローチやフォーマットを活用し、児童にとってより意味のある楽しい授業づくりに向けて意欲的に取り組んでいることが明らかとなった。また、IS活動計画は、学校開発計画の一環をなし、学校交付金を活用した最小限の費用で継続できるものであることも確認された。

ITSMEアプローチを通じた授業の質向上に関しては、郡レベルの関係者や校長へのインタビューにより、ITSMEアプローチによる学習指導案づくりと授業実践が学習達成度や修了率に正のインパクトをもたらしたとの報告があった。また、プロジェクトの非対象校もITSMEアプローチに関心をもつようになり、プロジェクトで作成された教材の配布やITSMEアプローチに係る指導の実施がDESBに依頼されるようになったことが強調された。しかし、プロジェクトでは、PDMで設定された指標以外に、教育の質を測るための主要な指標について特にフォロー・モニターしてこなかったことから、本調査時点では、ITSMEにより導入されたアプローチと、学習達成度や修了率の改善との関連性について、定量的な手法により適切に説明することは不可能となった。本調査団としては、PDM指標に基づいて、授業の質は改善したと結論づけたが、評価時点において質の変化を測るための定量かつ具体的なデータが入手できていれば、授業の質改善へのインパクトについてより説得力のある論拠を示すことができたであろう。

学校レベルのIS活動に新たな知識やスキルを導入する仕組み（クラスターレベル ToT）に関しては、校長やATは、プロジェクトによる財政的支援に頼らずに独自にクラスターレベルのToTに参加し、効果的な学習指導案の作り方、すなわち、授業内容に照らし合わせて十分に検討された活動を組み入れつつ、児童が活動に参加することを通じて授業内容への理解を深めることを念頭においた授業づくり、を学んだ。このこと（財政支援がなくとも対象校がクラスターToTに継続的に参加したこと）を踏まえると、既存の制度や仕組み、すなわち、PAによる学校巡回指導やDESBによる定期的な校長会などを活用し、よい授業づくりのための技術指導が継続的に実施される可能性は高いと判断される。

他方、技術指導の頻度や質については、学校への指導（ES活動）が、授業の質改善に対して実際に貢献し得るか否かを決定づける重要な課題として、本プロジェクトの協力期間を超えて検討される必要がある。プロジェクトの重要な成果の一つとなる、ITSMEトレーナーによって開発されたモデル学習指導案の質は、プロジェクト開始当初と比較して適切に改善されている。また、ITSMEトレーナーは、プロジェクトの実施を通じて蓄積された知見から自信を獲得し、学校を支援し、ITSMEアプローチを広めようとする意欲も高まっていることが観察された。かかる点からも、関連部署・組織の管理職関係者においては、プロジェクト終了後におけるITSMEの普及に関して、ITSMEトレーナーを最大限に活用することを検討することが強く望まれる。

全国の非対象校に対して、ITSME アプローチを効果あるものとして普及していくためには、プロジェクトで育成されたトレーナーに加えて、MOES の中核人材の専門能力をいかに強化・育成していくかが主要な課題となる。なぜならば、全国への普及には MOES の既存のチャンネルの活用が必要であり、ITSME アプローチについて必ずしも知識が豊富でない人材も関与することになるからである。かかる点から、DTE が「ITSME 将来計画と実施戦略」を策定したことは喜ばしいことであるが、ITSME アプローチの普及に係る DTE のビジョンや戦略について、中央関連部局とも十分に共有、議論し、各部局の協力と参画を確保していくことが望まれる。このように、今後の質の伴った ITSME アプローチの普及の成否は、中央レベルの政策・制度的支援を促進できるか否かが鍵を握る。

上述にかんがみて、プロジェクトで達成されたアウトプットを非対象地域に拡大・普及させるための現状の取り組みを更に強化していくためには、具体的には、以下に述べるタスクが関係者によって継続的に取り組まれることが望まれる。

5-1-1 理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) アプローチ、インパクト、アウトプットの国レベルでの共有

(協力期間中に専門家の主導の下で取り組まれるべき課題)

評価調査団は、専門家が積極的な役割を果たしつつ、以下の課題について取り組むことを提言する。

- (1) 教育・スポーツ省 (MOES) の主要関係者や開発パートナーと理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) の経験や成果を共有し、普及計画を議論するための最終セミナーの開催

今般の調査結果から最も懸念された事項として、ITSME アプローチやそのインパクトやアウトプットが、DTE 以外の中央関係部局幹部と広く共有されておらず、十分に認知されていないことが挙げられる。したがって、協力終了前に優先的に取り組まれるべき活動として、プロジェクトの経験・知見の共有と、ITSME アプローチ普及に係る将来的取り組みについて、関係者と議論するための国家普及セミナーを開催することを提言する。また、同セミナー開催にあたっては、MOES の主要な関連部局 (DPPE、DOI、DP、RIES 及び ESQAC を含む) や開発パートナーの参加を確保することが肝要である。

- (2) 理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) 教材を含めた包括的で使いやすい理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) 普及パッケージの統合

PDM 上の活動 3-1~3-6 で予定されているとおり、プロジェクトは、開発されたすべての教材の最終版を取りまとめた文書を作成し、協力期間終了前に MOES に提出することとなっている。教材の活用方法に関する提案や提言は、DTE が作成している「ITSME 将来計画と実施戦略」に完全に一致した形で取りまとめられる必要がある。また、ITSME 教材やアプローチが関係部局の活動に取り入れられ、効果的に活用されるよう、パッケージを最終化する前に、上述した国家普及セミナーにて発表のうえ、関係者で議論し、最終版に議論の結果を反映させることが望ましい。

普及パッケージに含まれる付随教材については、マネジメントレベル及び技術レベル、それぞれに対応できるよう二つのコンポーネントに分け、使いやすく分かりやすいものに

することが望ましい。非対象地域への普及を促進するために、視聴覚要素を伴うレファレンス、例えば、パワーポイントにビデオクリップを組み入れるなど、ITSME アプローチやこれを使った IS 活動とその効果等を分かりやすく説明し、理解を促進するための工夫も望まれる。将来的には、関係者間で情報の共有や更新、学習指導案や IS 活動の共有等のための効果的なメディアとして、ウェブページの開設なども検討するとよいであろう。

(3) 現職教員資格向上プログラム (5+3 から 8+3) への理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) トレーナーの動員と適切な教材配布

2013 年 8 月に実施される現職教員資格アップグレードプログラムに対して、プロジェクトの支援の一環として ITSME トレーナーを動員することが望まれる。同プログラムは 2014 年から 2 年の予定で実施されるため、専門家においては、プログラム全体のカリキュラムに係る詳細な情報を収集・分析のうえ、ITSME の組み入れ方に関する提案を上述 5-1-2 で作成する提言に含めること。

(4) 学習成果の向上と修了率に対するプロジェクトの影響を実証するための学校レベルのデータの収集・取りまとめ

既に述べたとおり、中退率、留年率、最終試験結果等、主要な教育指標に係るプロジェクトの前後での変化を示すデータは、今般の評価結果を科学的な方法で裏打ちする強力なエビデンスとなり得たと考える。したがって、プロジェクトのインパクトを示す定量的なデータ・エビデンスを収集し、プロジェクトの最終報告書においては、可能な限り、定量的なデータによる分析を組み入れることを提言する。また、国家普及セミナーにおいては、ITSME アプローチに対する意思決定者の関心を高めるためにも、MOES が直面している主要な教育課題（修了率の改善）に対するインパクトや効果について定量的な分析結果を共有することが好ましい。

5-1-2 普及やモニタリングにおける既存のチャンネルや制度の最大限の活用

(専門家支援を得て DTE が他の MOES 関連部局や TTC とともに取り組むべき課題)

ITSME アプローチの国家普及計画と戦略について、関連部局 (DPPE、ESQAC、DOI、DP、DOF) 間で協議し、実施プロセスにおける関連部局の協調と十分な参加を確保することが肝要である。関連部局間における議論は継続的に実施されることが重要であり、少なくとも初回の協議については、協力期間内で専門家の支援の下に実施されるべきである。将来的には、それぞれの関係者が各課題にどのように取り組むか、技術面から提言することが望まれる。以下に具体的な課題を挙げる。

(1) 指導主事 (PA)、校長、教員を対象とする関連研修プログラムへの理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME) アプローチの統合

これまで、EQS に関連したトレーニングモジュール、例えば、学校運営、現職教員研修、PA 及び IS ガイドライン等の開発プロセスにおけるプロジェクトの関与は十分であったとは言いがたい。他方、これらのモジュールは、IS 活動の実施・促進・モニタリング方法等、プロジェクトを通じた経験やアウトプットが反映されるべき内容を包含している。かかる点から、これらのモジュール草案の改訂に向けて関連部局が協働できるよう、DTE と関連

部局、とりわけ DPPE との間で、実際に機能し得る調整メカニズムを話し合い、合意する必要がある。ITSME トレーナーは、現在、EQS 研修に講師として参加し、ITSME アプローチに係る研修実施を担当しているが、モジュール改訂プロセスには、ITSME トレーナーによる今般の研修実施の結果や経験も反映させることが望まれる。なお、EQS 研修モジュールの草案は、CIED を通じた JICA の技術協力の下で作成されている。

- (2) 関連する教育国家基準やガイドライン〔教員評価・資格付与、指導主事（PA）ガイドライン等〕の設定に向けた教育・スポーツ省（MOES）の現状の取り組みに対する働きかけ〔教員教育局（DTE）、DOI、DOP〕

ITSME アプローチを MOES の制度や組織のなかに更に統合・浸透させていくためには、5-2-1 での提言事項に加えて、ITSME で開発されたモニタリングのためのツールやフォーマットを関連部局と共有・協議し、必要に応じて修正のうえ、関連分野（IS や授業改善）における MOES の基準や枠組みのなかに適切に取り込まれるよう、促していくことが望まれる。

- (3) 全教員への普及に向けた教員養成校（TTC）による教員養成・現職教員研修プログラムの最大限の活用

ITSME アプローチを全国の教員に普及させ、現場での実践を支援・促進していくために、TTC による教員養成や現職教員研修を効果的に活用していくことが肝要である。かかる点から、DTE においては、プロジェクトが対象とした 2 校の TTC で蓄積された経験や知見を最大限に活用すべく、全国すべての TTC に対する ITSME アプローチの導入やそのための指導に上記 2 校のリーダーシップを発揮させることが求められる。既に作成されている「ITSME 将来計画と実施戦略」の一環として、上述 2 校の TTC と協力のうえ、既に同校で強化された人材（ITSME トレーナー）を活用した着実な普及計画を策定し、全 TTC と共有のうえで、具体的な活動の推進に向けて議論することが求められる。かかる点において、8 月に実施される DTE の年次会合は、将来計画共有・議論のための第一歩を踏み出すよい機会となると考えられる。

5-1-3 継続・普及のための人材の強化と更なる拡大に向けて〔教育・スポーツ省（MOES）、教員養成校（TTC）、県教育・スポーツ局（PESS）、郡教育・スポーツ局（DESB）〕

本調査期間中にも、ITSME 普及に向けた意欲や熱意が対象県や郡より示されたが、普及の質を担保するためには、中核人材の専門能力の向上のために必要な方策を取っていくことが肝要である。これに向けて、ITSME に根ざした IS 活動を現場にて導入・実施支援する中核人材を継続的に強化・育成していく必要がある。かかる点から以下を提言する。

- (1) 異なる研修プログラムを担当するトレーナー間における知見・スキルの共有〔県教育・スポーツ局（PESS）、郡教育・スポーツ局（DESB）〕

県や郡レベルにおける多くのトレーナーが学校レベルの関係者に対する研修を実施している。かかる点について、DESB あるいは PESS において、異なる研修プログラムに配置されているトレーナーの間で経験や知見を共有し、研修の実施能力を強化する機会を確保することを提言する。ITSME のアプローチは、関連分野におけるさまざまな研修のなか

で紹介されることが期待されていることから、研修に携わるすべての職員（トレーナー）には、ITSME ステップを踏まえた IS 活動の推進に係る効果的なガイダンスを行うための適切な理解と能力強化が求められる。

- (2) 継続的な学習指導案作成実践を通じた理数科現職教員研修改善プロジェクト（ITSME）
アプローチの導入及びモニタリングに不可欠な専門性の強化〔県教育・スポーツ局（PESS）、郡教育・スポーツ局（DESB）、教員養成校（TTC）〕

ITSME 普及を担う中核人材は、専門性の強化に継続的に取り組んでいくことが肝要である。ITSME を適用した IS 活動が授業改善に効果的に働くか否かは、PA が実施する現場での技術指導の質にかかっており、PA は、学習指導案作成や授業観察の実践を通じて、専門能力と技術を継続的に向上させることが求められる。かかる点から、DESB、PESS や TTC においては、PA 及び関係者が学習指導案の作成を継続的に行い、必要な技術力を身に付けるよう動機づけていくことを奨励する。

- (3) 教員養成校（TTC）、県教育・スポーツ局（PESS）、郡教育・スポーツ局（DESB）及び学校間における協働の強化

(2) に関連して、ITSME の経験に根ざした TTC、PESS、DESB が協働する仕組みを維持し、これを強化していくことが望ましい。TTC においては、PESS、DESB 及び学校と協働し、授業の質向上に向けた研究活動の推進を検討するのも一案である。このような取り組みを通して、TTC が現場レベルの授業の実践にかかわり、DESB、PESS との授業の質改善に向けた協働が強化されることが期待できる。また、上述したような TTC、PESS、DESB の間の協働の仕組みが促進・強化されるよう、TTC、PESS、DESB に係るプロフェッショナルネットワークやその実践方法に関する省令や指針・手引書等の発行を検討することを提言する。

5-1-4 その他の提言事項

上述に加えて、効果的な普及に向けて、以下に述べる点についても関係当局にて検討されることを提言する。

- (1) 普及・モニタリングにおける郡や学校クラスターの効果的活用

終了時評価の現地調査に先駆けて実施した ITSME トレーナーや対象校に対する質問紙調査においても、対象地域の学校クラスターはよく機能しており、普及やモニタリングにおける効率的な仕組みとして認識されていることが確認できた。したがって、地域の校長や教員たちが、教室レベルの経験を共有し、教授プロセスに係る共通の課題や挑戦について話し合い、適切な解決策を探るための意義ある機会を提供する場として、学校クラスターを一層強化していくことが奨励される。かかる点から、クラスターの仕組みが、ITSME アプローチを取り入れながら、教授法に係る教員の現場のニーズに対応すべくより効果的なものとなることが望まれる。

- (2) 校内指導 (IS) 及び校外指導 (ES) の好事例に係るレファレンスサイトの発掘とその活用の推進〔教員教育局 (DTE) と就学前・初等教育局 (DPPE)、県教育・スポーツ局 (PESS)、郡教育・スポーツ局 (DESB) 及び学校との協働〕

本評価調査を通して、調査団は ITSME 教材やアプローチを最大限に活用した好事例やイニシアティブが現場に多く存在することを強く認識した。かかる点からも、DESB や PESS における ES の好事例を発掘し、レファレンスサイトとして MOES により認知されることが望まれる。学校に関しては、2014 年の教育年次会合での決定により、郡レベルでモデルスクールを選定することになり、既にプロジェクト対象校の多くがモデルスクールに選定されている。これらのモデルスクールを更に強化し、ITSME アプローチを学校現場で普及させるためのよきレファレンスサイトとして活用されることが望まれる。

- (3) 教員養成校 (TTC) のラオス語専門家との協力推進

対象校の多くがラオス語についても ITSME アプローチを学習指導案の作成に適用していることから、TTC のラオス語を専門とする教官の参加を得て、技術面に係る適切なガイダンスを提供していくことが望ましい。またラオス語専門の TTC 教官の関与は、TTC 教官の ITSME アプローチに係る能力向上にも寄与し、パクセーTTC が 2014 年度に試行を計画している ITSME アプローチを採り入れた小学校教員向け導入訓練の質の向上にも貢献すると考える。

5-2 教訓

- (1) 既存の枠組みの効果的な活用

本プロジェクトでは基本方針として、学校レベルにおいて現職教員研修を導入するためのラオスにおける既存の制度、すなわち IS 活動と整合・連動するように、活動を計画・実施してきた。そのため、これらの活動は C/P に比較的スムーズに受け入れられ、今では日常業務の一部になりつつある。このことは、プロジェクトの全体期間を通して、ラオス側のオーナーシップの構築・強化に貢献したとともに、プロジェクト終了後の持続性の確保にも貢献し得る。

- (2) 現場レベルにおける協力関係の構築・強化

本プロジェクトの実施にあたっては、対象地域の TTC の教官、並びに、PESS 及び DESB の PA が現場レベルの C/P (ITSME トレーナー) として任命され、トレーナーチームを形成した。日本人専門家の技術的な指導の下、ITSME トレーナーは互いの知識や経験を共有しながら連携して活動に取り組み、チームとしての結束を着実に強めていった。このチームのメカニズムは、プロジェクト活動の効果的な実施に貢献したとともに、プロジェクト終了後の持続性の確保にも貢献し得る。

- (3) プロジェクトに関する情報の発信・共有

中央レベルにおける本プロジェクトの C/P は DTE である一方、DPPE や RIES 等、MOES の他部局や MOES 傘下の組織もまた、特にインパクトや持続性の観点から、プロジェクト活動の円滑かつ効果的な実施を確保するために重要な役割を有している。しかしながら、

プロジェクトの進捗、アウトプット、課題といった情報は、これら関連する部局・組織に十分に共有されていたとはいえ、また、有機的な連携が期待できる他の開発パートナーに対しても、十分に発信されていたとはいえない。これを踏まえ、プロジェクトは早期の段階から、関連する人、部局、組織に対して効果的・効率的に情報を発信・共有し、プロジェクト活動の効果を高めるための対話や連携を模索していくことが肝要である。

(4) ベースライン／エンドライン調査の項目

学校レベルでの授業改善を実現するために、本プロジェクトでは IS 活動と ES 活動の活性化に焦点をあてて活動を実施してきた。そのため、プロジェクトの介入によって IS 活動と ES 活動がどのように活性化されてきたかという点は、プロジェクトのアプローチに関する妥当性・効果を証明するためにも、明らかにされなければならない。しかしながら、ベースライン／エンドライン調査の項目に含まれていなかったため、IS 活動や ES 活動に関するデータはプロジェクトによって収集・分析されておらず、終了時評価調査団が独自に質問票調査を実施して収集・分析せざるを得なかった。これを踏まえ、プロジェクトは協力期間の開始時点において、介入の効果を測るに適切なデータ・指標を特定し、プロジェクトの全体期間を通して定期的にモニタリングしていくことが肝要である。

付 属 資 料

1. ミニッツ (Minutes of Meeting : M/M)
 - ANNEX 1 -1 Project Design Matrix (PDM1) (変更前)
 - ANNEX 1 -2 Project Design Matrix (PDM2) (改訂版)
 - ANNEX 2 Project Operations
 - ANNEX 3-1 Evaluation Grid (Achievement of the Project)
 - ANNEX 3-2 Evaluation Grid (Process of Project Implementation)
 - ANNEX 3-3 Evaluation Grid (Evaluation by Five Criteria)
 - ANNEX 4 Input to the Project
 - ANNEX 4-1 List of Japanese Experts
 - ANNEX 4-2 List of Lao Counterparts
 - ANNEX 4-3 List of Equipment Provided by JICA
 - ANNEX 4-4 Cost of the Operation in Laos
 - ANNEX 4-5 List of Target Schools
 - ANNEX 4-6 List of Training Sessions conducted during the Project
 - ANNEX 4-7 List of Participants of Training in Japan
 - ANNEX 5 List of Materials Developed by the Project
 - ANNEX 6 List of Interviewees
2. 評価グリッド (和文)
3. 質問票調査様式 (プロジェクトチーム、DTE向け)
4. 質問票調査様式・結果 (トレーナー、学校向け)
5. ITSME将来計画と実施戦略
6. DESB、PESS拡大計画

**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM
AND
MINISTRY OF EDUCATION AND SPORTS
THE GOVERNMENT OF LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR IMPROVING IN-SERVICE TEACHER TRAINING
FOR SCIENCE AND MATHEMATICS EDUCATION (ITSME)**

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Ms. Machiko KAMIYA, conducted the Joint Terminal Evaluation for the Technical Cooperation for the Project for Improving In-service teacher training for Science and Mathematics Education (hereinafter referred to as "the Project") with the Government of Lao PDR from July 1 to 19, 2013.

Through the Terminal Evaluation, the Team had a series of discussions with the Lao authorities concerned. The Team prepared the Joint Terminal Evaluation Report (hereinafter referred to as "the Report") as attached, and presented it to the Joint Coordinating Committee held on July 19, 2013.

As a result of the discussions, both parties reached common understanding and agreed to take necessary measures for the matters referred to in the Report.



Ms. Machiko KAMIYA
Leader
Japanese Terminal Evaluation Team,
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Chandy PHOMMABOUTH
Director General
Department of Teacher Education
Ministry of Education and Sports
Lao PDR

Vientiane, July 19, 2013

**JOINT TERMINAL EVALUATION REPORT ON THE PROJECT FOR
IMPROVING IN-SERVICE TEACHER TRAINING
FOR SCIENCE AND MATHEMATICS EDUCATION (ITSME)**

TABLE OF CONTENTS

Executive Summary

- 1 Introduction**
 - 1-1 Preface
 - 1-2 Objectives of the Terminal Evaluation
 - 1-3 Schedule of the Terminal Evaluation
 - 1-4 Members of the Terminal Evaluation Team
- 2 Outline of the Project**
 - 2-1 Background
 - 2-2 Summary of the Project
 - 2-3 Target Group of the Project
- 3 Methodology of the Evaluation**
 - 3-1 Perspective of the Evaluation
 - 3-2 Collection Methods of Information and Data
- 4 Results of the Evaluation**
 - 4-1 Achievement of the Project
 - 4-1-1 Inputs
 - 4-1-2 Activities
 - 4-1-3 Outputs
 - 4-1-4 Project Purpose
 - 4-1-5 Overall Goal
 - 4-2 Implementation Process of the Project
 - 4-3 Evaluation by Five Criteria
 - 4-3-1 Relevance
 - 4-3-2 Effectiveness
 - 4-3-3 Efficiency
 - 4-3-4 Impact
 - 4-3-5 Sustainability
 - 4-4 Promoting and Constraining Factors
 - 4-4-1 Promoting Factors
 - 4-4-2 Constraining Factors
 - 4-5 Conclusion
- 5 Recommendations**
- 6 Lessons Learned**

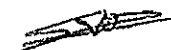


ANNEXES

1. Project Design Matrix(PDM)
 - 1-1 PDM Version 1
 - 1-2 PDM Version 2
2. Plan of Operation (PO)
 - 2-1 PO Version 1
 - 2-2 PO for 3rd and 4th years
3. Evaluation Grid
 - 3-1 Achievements of the Project
 - 3-2 Implementation Process of the Project
 - 3-3 Evaluation by Five Criteria
4. Inputs to the Project
 - 4-1 List of Japanese Experts
 - 4-2 List of Lao Counterparts
 - 4-3 List of Equipment Provided by JICA
 - 4-4 Cost of the Operation in Laos
 - 4-5 List of Target Schools
 - 4-6 List of Training Sessions conducted during the Project
 - 4-7 List of Participants of Training in Japan
5. List of Materials Developed by the Project
6. List of Interviewees

LIST OF ABBREVIATIONS AND ACRONYMS

AT	Academic Teacher
C/P	Counterpart Personnel
DDG	Deputy Director General
DESB	District Education and Sports Bureau
DG	Director General
DOP	Department of Personnel
DP	Department of Planning
DPPE	Department of Primary and Pre-school Education
DTE	Department of Teacher Education
EQS	Education Quality Standard
ES	External Supervision
ESDF	Education Sector Development Framework
ESDP	Education Sector Development Plan
ESQAC	Education Standard and Quality Assurance Center
IS	Internal Supervision
ITSME	Improving In-service teacher training for Sciences and Mathematics Education
JCC	Joint Coordinating Committee
JICA	Japan International Cooperation Agency
MC	Management Committee
M/M	Minutes of Meeting
NSEDP	National Socio-Economic Development Plan
MOES	Ministry of Education and Sports
PA	Pedagogical Advisor
PCM	Project Cycle Management
PDM	Project Design Matrix
PESS	Provincial Education and Sports Service
PO	Plan of Operation
R/D	Record of Discussions
RIES	Research Institute for Educational Sciences
SBT	School-based Training
SMATT	Improving Science and Mathematics Teacher Training
SOQ	School of Quality
TEI	Teacher Education Institute
TOT	Training of Trainers
TST	Technical Support Team
TTC	Teacher Training College
W/S	Workshop



Executive Summary

Outline of the Project

The Project aims at improving teaching method of math and science in target primary schools. Supporting the implementation of effective in-service teacher training through Internal Supervision (IS) and External Supervision (ES) , strengthening the capacity of key human resources at different levels in the existing education system (school, district, province and national), and developing materials to be utilized in the training including model lesson plans are key approaches of the Project. The Project was launched on February 2010 and will be completed on October 2013.

Achievement of the Project

a. Project Purpose

Project purpose	Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved.
PDM indicators	<ol style="list-style-type: none">1. Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers.2. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers.

The Project Purpose has been achieved.

Regarding Indicator 1, in general, the quality of lessons, especially their framework, by the target school teachers has improved. Through the use of the ITSME model lesson plans developed by the ITSME trainers and teachers themselves, lessons have become easier to understand and more enjoyable for students.

Regarding Indicator 2, in general, the quality of lesson plans developed by the target school teachers has improved. Their lesson plans are now composed of i) clear objectives, ii) detailed learning process/student activities, and iii) evaluation questions based on the model lesson plans. This is a remarkable improvement from the situation at the baseline.

b. Overall Goal

Overall Goal	Quality of lessons in target provinces is improved.
PDM indicators	<ol style="list-style-type: none">1. Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces.2. Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces.

Several positive signs are seen towards the improvement of the quality of lessons performed by teachers as well as lesson plans made by the teachers in the target provinces. Therefore, the Overall Goal is expected to be achieved if future plans at each level are implemented successfully.



Summary of the Evaluation Results

The results of evaluation by Five Criteria are summarized as follows.

Criteria	Result
1. Relevance	Very High
2. Effectiveness	High
3. Efficiency	High
4. Impact	High
5. Sustainability	Satisfactory at the Central Level and High at the Local Level

Recommendations

The Team concludes that the Project has achieved the remarkable results. The following are recommended by the Team for future and continuous tasks to be pursued by relevant stakeholders so as to strengthen the continuous efforts on the ground and further expand the Project's achievement to non-target areas.

- a. Sharing ITSME approach, its impact and outcomes at national level (Tasks to be led by the Experts)
- b. Maximizing the existing channels and systems for dissemination and monitoring (Tasks to be facilitated by DTE with support of the Experts, in collaboration with concerned MOES departments and TTCs.)
- c. Strengthening and expanding key human resources (MOES, TTC, PESS, DESB)
- d. As additional suggestions, strengthening the utilization of district or school "clusters" for dissemination and monitoring, identifying and promoting "reference site" for good practice of conducting IS and ES activities, and expanding collaboration with trainers of TTC in Lao language are also recommended.

1. Introduction

1-1. Preface

The Project was launched on February 2010 and will be completed on October 2013. With the remaining project period of approximately three months, JICA conducted the Terminal Evaluation from July 1 to 19, 2013. The Terminal Evaluation was undertaken jointly by the Team and the member from MOES, Lao PDR.

1-2. Objectives of the Terminal Evaluation

The main objectives of the Terminal Evaluation were as follows:

- (1) To review and confirm the achievement and implementation process of the Project according to the Project Design Matrix (PDM),
- (2) To evaluate the activities and achievement in terms of five evaluation criteria, namely relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability,
- (3) To conclude whether the Project has achieved the purpose and realized the outputs, and to clarify issues and their countermeasures towards successful completion of the Project,
- (4) To share the common understanding among stakeholders regarding recommendations for further improvements of the Project and lessons learned that can be applied to other similar ongoing and future JICA projects.

1-3. Schedule of the Terminal Evaluation

Date		Schedule
7/1	Mon	Internal meeting among mission members Meeting with DTE (Ms. Varadune Amarathithada, DDG and Mr. Simoungkhoun) Courtesy call to Mr. Chandy Phommabouth, DG of DTE Discussion with technical staff in charge of ITSME from DPPE, RIES, ESQAC
7/2	Tue	VTE - KMN Discussion with Experts
7/3	Wed	Observation of W/S for ITSME trainers Discussion with ITSME trainers
7/4	Thu	Discussion with Khammouane PESS Discussion with Thakhek DESB Discussion with Chomcheng Primary School Discussion with Phongsoung Primary School
7/5	Fri	Discussion with Himboun DESB Discussion with Himbounthai Primary School Discussion with Namdick Primary School

7/6	Sat	KMN - VTE Documentation
7/7	Sun	Documentation
7/8	Mon	Mid-term report to JICA Discussion with managerial staff from DPPE, RIES, ESQAC
7/9	Tue	VTE - SVK Discussion with Savannakhet PESS Discussion with Savannakhet TTC
7/10	Wed	Discussion with Kaysone DESB Discussion with Phonsavanh Primary School Discussion with Champhone DESB Discussion with Kenkok-Tai Primary School
7/11	Thu	Discussion with Pakse TTC Discussion with Champasak PESS
7/12	Fri	Discussion with Sanasomboun DESB Discussion with Saphai Primary School Discussion with Bachieng DESB Discussion with Oudomsouk Primary School
7/13	Sat	PKZ - VTE Drafting MM and Evaluation report
7/14	Sun	Drafting MM and Evaluation report
7/15	Mon	Internal meeting among the mission members to confirm draft of MM and Evaluation Report Discussion with Experts to confirm draft of MM and Evaluation Report
7/16	Tue	Meeting with DTE to confirm MM and Evaluation Report
7/17	Wed	Meeting with DTE to confirm MM and Evaluation Report
7/18	Thu	Meeting with Directors from 3 PESSs, 2 TTCs and 8 DESB s to confirm MM Finalization of MM and Evaluation Report
7/19	Fri	JCC (Signing MM)

1-4. Members of the Terminal Evaluation Team

Lao Side

Mr. Simoungkhoun VONGCHAMPA	Technical Staff, DTE, MOES
-----------------------------	----------------------------

Japanese Side

Ms. Machiko KAMIYA	Team Leader	Senior Representative, JICA Laos Office
Dr. Keiko MIZUNO	Teacher Education	Education Policy Advisor to MOES
Mr. Kazuyuki KAKUDA	Cooperation Planning 1	Representative, JICA Laos Office
Ms. Tomoe TAIRA	Evaluation Analysis	Consultant, IC Net Limited
Mr. Daovanh SENGHALATH	Cooperation Planning 2	Assistant Program Officer, JICA Laos Office

2. Outline of the Project

2-1. Background

As one of the top prioritized sectors in contributing to poverty reduction in Lao PDR, various efforts have been made in the education sector under the following three pillars: (1) improvement of equitable access; (2) improvement of quality and relevance; and (3) improvement of administration and management. Although the enrollment rate in the primary education has been improved, other indicators that are related to the quality of education, for example, repetition, dropout, and completion rates have not been improved as expected.

With these backgrounds, the Education Sector Development Framework (ESDF) places an emphasis on the improvement of teachers' quality by strengthening the capacity of in-service training.

The Japan International Cooperation Agency (JICA) has supported the improvement of teacher education through the Project for Improving Science and Mathematics Teacher Training (SMATT) from 2004 to 2008, which aimed at improving quality of science and mathematics lecturers at teacher education institute (TEI). Training contents and learner-centered approaches of SMATT have been recognized as relevant and useful for persons and organizations concerned. Recognizing these achievements and impacts of SMATT project, the Government of Lao PDR requested the continued support to enhance and expand the outputs of SMATT project to the school level. After the Detailed Planning Survey of the Project in August 2009 conducted by JICA, the Minutes of the Meeting (M/M) was signed on August 18 by MOES and JICA, followed by the Record of Discussions (R/D) which constitutes the agreement of the Project signed on November 19, 2009. Upon this agreement, JICA commenced the three year and eight month technical cooperation project from February 2010 to October 2013.

The Project aims at improving teaching method of mathematics and science in target primary schools. Supporting the implementation of effective in-service teacher training through Internal Supervision (IS) and External Supervision (ES), strengthening the capacity of key human resources at different levels in the existing education system (school, district, province and national), and developing materials to be utilized in the training including model lesson plans are key approaches of the Project.

So far, the consultation mission and Mid-term Review for the Project were conducted in February 2011 and March 2012 respectively. Based on the result of the Mid-term Review, the PDM was revised as PDM ver.2 according to the actual situation and progress of the Project.

2-2. Summary of the Project

(1) Overall Goal

Quality of lessons in target provinces is improved.

(2) Project Purpose

Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved.

(3) Outputs

- 1) Mechanism for improving lessons is strengthened
- 2) Human resources to promote improvement of lessons are strengthened.
- 3) Materials for improving lessons are developed.

* The information mentioned above is based on the PDM Version 2.

* Please see ANNEX1 for further information.

2-3. Target Group of the Project

Direct and indirect target groups of the Project are as follows.

TTC	PESS	DESB	School
Direct Target Group: who benefits directly from the capacity development activities such as workshops on preparation of model lesson plans and TOT (ITSME trainer)			
2 TTCs (21 teachers who are ITSEME trainers in total) - Savannakhet TTC Mathematics and Science teacher (15) - Pakse TTC Mathematics and Science teacher (6)	3 PESSs (9 staff who are ITSME trainers in total) - Khammouane PESS (2) - Savannakhet PESS (5) - Champasak PESS (2)	8 DESBs (21 PAs who are ITSME trainers in total) <Khammouane> - Thakhek DESB (2) - Himboun DESB (3) <Savannakhet> - Kayson DESB (3) - Champhone DESB (2) - Phalanxay DESB (3) <Chamapasak> - Sanasoumboun DESB (2) - Pakson DESB (3) - Bachieng DESB (3)	116 schools in total* (207 principals and ATs in total) *Total number of school includes Incomplete Schools which might not have participated to the TOT
Indirect Target Group: who benefits secondary from the capacity development activities by the direct target group			
			Teachers in the 116 target schools (800 in total)

Based on the data as of Jun 21, 2013. Numbers in the parenthesis indicates the number of personnel/teachers. The number of students in the target schools is 18,929 in total.

Source: Project Team

Please see ANNEX 4-5 for the list of target schools. All schools in target clusters are target schools.

3. Methodology of the Evaluation

3-1. Perspective of the Evaluation

The following are aspects to be reviewed in the Terminal Evaluation based on the PDM ver. 2

and the PO:

- 1) Achievements of the Project based on the PDM indicators
- 2) Implementation process
- 3) Five evaluation criteria

In accordance with the JICA Project Evaluation Guideline, the analysis was made using the evaluation grid prepared for reviewing the Project. This evaluation grid refers to the PDM ver.2 agreed on in the Minutes of Meeting (M/M) of March 13, 2012, along with the PO, as a guideline of the review. The evaluation took place in the steps shown below.

Survey in Japan	<ol style="list-style-type: none"> (1) Project members prepared documents on the achievements and prospects of the Project prior to the survey in Laos. (2) The Terminal Evaluation Team reviewed relevant documents, made evaluation grids, and pre-analyzed the Project achievements according to the grids. (3) The Terminal Evaluation Team created a series of different questionnaires for relevant organizations, conducted a distinct questionnaire survey for each of the organizations, and verified the results from the collected questionnaire sheets.
Survey in Laos	<ol style="list-style-type: none"> (4) The Japanese and Lao sides of the Terminal Evaluation Team confirmed the perspective and methods of the evaluation. (5) The Terminal Evaluation Team conducted an interview survey with the Japanese experts, C/Ps, and relevant organizations, analyzed the Project based on the five evaluation criteria, and compiled a joint evaluation report based on the results. (6) The Terminal Evaluation Team reported the evaluation results to the governments of both Japan and Laos and other relevant stakeholders

Here are the definitions of the five evaluation criteria.

Relevance	<ul style="list-style-type: none"> • Relevance of the Project is reviewed by validity of the Project Purpose and Overall Goal with the Government Development Policy and the needs of the target group and/or ultimate beneficiaries.
Effectiveness	<ul style="list-style-type: none"> • Effectiveness is assessed to what extent the Project has achieved its Project Purpose, clarifying the relationship between the Project Purpose and Outputs.
Efficiency	<ul style="list-style-type: none"> • Efficiency of the Project implementation is analyzed with emphasis on the relationship between Outputs and Inputs in terms of timing, quality and quantity.
Impact	<ul style="list-style-type: none"> • Impact of the Project is assessed in terms of positive/negative, and intended/unintended influence caused by the Project.
Sustainability	<ul style="list-style-type: none"> • Sustainability of the Project is assessed from the standpoint of organizational, financial and technical aspects, by examining the extent to what the achievements of the Project will be sustained or expanded after the Project is completed.

3-2. Collection Methods of Information and Data

The Terminal Evaluation Team conducted surveys by (1) document review, (2) questionnaire survey, and (3) interview survey with the C/Ps and the Japanese experts as well as those officials concerned with the Project (See the table below). The team also made (4) field visits to the target schools. After the data gathering, the achievements of the Project were reviewed



by the five criteria as shown in the table below through discussions in the team.

(1) Document Review	
(2) Questionnaire Survey	
<ul style="list-style-type: none"> • Japanese experts • DTE C/Ps • TTC/ PESS/ DESB ITSME trainers • Target school principals 	
(3) Interview Survey	
<ul style="list-style-type: none"> • Japanese experts • DTE C/Ps • DPPE • ESQAC • RISE • TTC (Savannakhet and Champasak) • PESS (three (3) target provinces) • DESB (six (6) target districts) • Target schools 	
(4) Field Visit to Target Schools	
Khammouane	<ul style="list-style-type: none"> • CHOMCHENG PRIMARY SCHOOL • POUNGOUNG PRIMARY SCHOOL • HIMBOUNTHAI PRIMARY SCHOOL • NAMDICK PRIMARY SCHOOL
Savannakhet	<ul style="list-style-type: none"> • PHONSAVANH PRIMARY SCHOOL • KENGGOK-TAI PRIMARY SCHOOL
Champasak	<ul style="list-style-type: none"> • SAPHAI PRIMARY SCHOOL • OUDOMSOUK PRIMARY SCHOOL

4. Results of the Evaluation

4-1. Achievement of the Project

4-1-1. Inputs

Japanese side (as of June 30, 2013)

Japanese Experts	Six experts for 71.40 person-months*. (see ANNEX 4-1 for details)
Training in Japan	Training in Japan: A total of 30 C/Ps participated in the group training in Japan. (see ANNEX 4-7 for details)
Equipment	<ul style="list-style-type: none"> • Equipment items (e.g., vehicle, photocopier, computer, and printer) worth US\$196,866 in total have been provided for the Project. • Equipment items (e.g., computers, software, printers, and UPS) worth US\$8,628 in total have been provided for the Experts. (see ANNEX 4-3 for details)
Cost of the Operation in Laos	A total of US\$273,950 has been spent for the operation in Laos from March 2010 to June 2013. (see ANNEX 4-4 for details)

*Total man-months include actual person-months from Mar 2010 to June 2013 and the planned person-months from July 2013 to Oct 2013.

Lao side (as of June 30, 2013)

C/Ps	DTE, DPPE, PESS, TTC, and DESB. (see ANNEX 4-2 for details)
Office Space/Facilities	<ul style="list-style-type: none"> • For the JICA experts, office space has been provided in the MOES, Savannakhet PESS and Champasak PESS in good condition. • Venues for the workshop on preparation of model lesson plans (hereafter referred to as the “preparation W/S” in Savannakhet TTC, Khammouane PESS and Pakse TTC are provided.
Cost of the Operation in Laos	A total of LAK 746,623,000 has been spent for the operation in Laos from Oct 2010 to May 2013. (see ANNEX 4-4 for details)

For details of inputs, please see ANNEX 4.

4-1-2. Activities

Most of the activities specified in the PDM ver. 2 have been conducted according to the Plan of Operation (PO). The following is the list of the activities and their status at the time of the Terminal Evaluation.

Activity	Status	Remarks
1-1. Ministry of Education and Sports (MOES) and Provincial Education Services (PES) conduct baseline survey on science and mathematics education in target provinces.	Completed	- The baseline survey was conducted April 26–30, 2010, in the eight target districts of the three target provinces.
1-2. MOES selects ITSME trainers from Teacher Training Collage (TTC), PES and District Education Bureau (DEB) officials.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - ITSME trainers were appointed from the TTC, PESS, and DESB, respectively. - Necessary measures were taken in case of personnel transfer.
1-3. MOES makes an operation plan for supporting the mechanism for improving lessons.	Completed	- The Plan of Operation of the Project for the third and fourth year were made incorporating the results of the mid-term review and revised as necessary.
1-4. MOES conducts ITSME workshop according to the plan stated in 1-3.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - Preparation W/Ss were held as planned in 1-3 as follows. - 1st Year: 4 times - 2nd Year: 10 times - 3rd Year: 6 times - 4th Year: 5 times (See ANNEX 4-6 for details)

1-5. DEB with support of TTC and PES conducts Training of trainers (TOT) for introducing the developed materials.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - The DESB with the support of TTC and PESS conducted TOT for introducing the developed materials based on the plan as follows. - 1st Year: 1 time - 2nd Year: 1 time - 3rd Year: 2 times (including 1 additional TOT based on the ITSME trainers' request) - 4th Year: 1 time <p>(See ANNEX 4-6 for details)</p>
1-6. Principals and Academic Teachers (AT) in target schools make action plans for improving lessons in TOT.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - Principals and ATs made action plans for improving lessons in TOT. - The action plans were incorporated in the IS annual plans. (based on the results of the questionnaire and interview survey)
1-7. Principals and AT implement activities according to the action plan stated in 1-6 in target schools.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - All target school principals and ATs implemented various activities, particularly through IS according to the action plans. (based on the results of the questionnaire and interview survey)
1-8. DEB monitors utilization of model lesson plans in target schools and reports to PES.	Expected to be completed	<ul style="list-style-type: none"> - The DESB monitored utilization of model lesson plans in target schools. - Monitoring by the DESB became more frequent compared to before the commencement of the Project. - The DESB reported the results of monitoring to the PES on the occasion of preparation W/S and TOT. - However, periodic reporting using a monitoring form developed by the Project has not been fully conducted.
1-9. Project facilitates discussion to have Minutes of Understanding (MOU) between TTC and PES/DEB at provincial level for strengthening the mechanism	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - The Project facilitated discussion to formulate MOU. - As a result, "ITSME Future Plan and Implementation Strategy" that defines the roles and functions of the DTE, PESS, DESB, TTC, and target schools was signed by the Director of the DTE and agreed upon by the above-mentioned parties.
1-10. Project facilitates with support of an Education Policy Advisor discussions among MOES officials of departments concerned (e.g. DPPE, ESQAC, RIES) to support IS toward SOQ achievement.	Expected to be completed	<ul style="list-style-type: none"> - The Project is in the process of facilitating discussions among relevant departments. - The DTE has invited the DPPE, ESQAC, and RISE to the preparation W/S to introduce the ITSME concept. - ITSME trainers and materials are to be utilized as part of EQS training in July–August 2013. - The DTE and the DPPE started discussing how to incorporate ITSME materials into the revised PA guideline issued by the DPPE.

1-11. MOES organizes seminar to share the experiences with relevant organizations.	Expected to be completed	<ul style="list-style-type: none"> - The Project and the MOES agreed to organize the national seminar after the terminal evaluation. - Dissemination activities have been conducted at the local level.
2-1. ITSME trainers participate in ITSME workshops to gain necessary subject knowledge and skills for improving lessons.	Completed, with conditions	<ul style="list-style-type: none"> - ITSME trainers gained necessary techniques on lesson planning and subject knowledge on ITSME target subjects. - However, gaining all necessary knowledge regarding subjects was not fully accomplished because of constraints including those that are beyond the control of the Project.
2-2. Principals and AT participate in TOT to learn how to improve lessons in target schools.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - In TOT, the principals and ATs learned how to improve lessons for target schools. - Most principals and ATs promoted IS as the main tool for improving lessons in target schools.
3-1. A standard format of lesson plan and a lesson plan preparation manual are developed.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - The format and the lesson plan preparation manual are developed as the "Lesson Preparation Manual" and delivered to all the teachers of all the target schools through the TOT in June 2013. (see ANNEX 5 for details)
3-2. ITSME trainers develop model lesson plans that satisfy the standard stated in 3-1.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - Model lesson plans which meet the standard were developed by the ITSME trainers and delivered to all the target schools through TOTs. (see ANNEX 5 for details)
3-3. ITSME trainers develop manual for IS improving lessons.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - The manual for IS is developed as part of the "ITSME Manual ver.2 and delivered to all the target schools. (see ANNEX 5 for details)
3-4. A lesson plan evaluation sheet and a lesson observation sheet are developed.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - The sheets are developed and incorporated as part of the "ITSME Manual ver.2 and delivered to all the target schools. (see ANNEX 5 for details)
3-5. A monitoring report format is developed.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - The formats are developed and incorporated as part of the "ITSME Manual ver.2" and delivered to all the target schools. (see ANNEX 5 for details)
3-6. Reference materials for improving lessons for ITSME trainers are developed.	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - Reference materials for improving lessons for ITSME trainers are developed in the third and fourth year of the Project. - Reference materials for teachers are also to be delivered by the end of the Project. (see ANNEX 5 for details)
3-7. The materials stated in 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5 and 3-6 are compiled as reference for improving lessons.	Expected to be completed	<ul style="list-style-type: none"> - The materials are to be compiled after adding the model lesson plans to be developed in the fourth year of the Project.
3-8. Workshops are	Completed	<ul style="list-style-type: none"> - Preparation W/Ss were held to share the

organized to share the experiences of the teachers of target schools as a part of End-line Survey.		<p>experiences of the teachers in all the 32 target schools of the end-line survey.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Opinions on ITSME materials, implementation and experiences of IS, and future challenges were shared.
3-9. A document to propose MOES to consider the developed materials as national standard is prepared referring to 3-8.	Expected to be completed	<ul style="list-style-type: none"> - The recommendation document on how to utilize all the materials developed by the Project in the existing system of the MOES, is to be proposed after the terminal evaluation, taking into account the results of the end-line survey and TOT to be conducted in June 2013.

4-1-3. Outputs

The extent of achievement of the Project Outputs is assessed on the basis of the indicators set in the PDM ver.2. The following is the results of the assessment.

Output 1.	Mechanism for improving lessons is strengthened.
PDM indicators	<p>1-1. An official document agreed between TTC and PES to establish a professional network for supporting IS activities in target provinces.</p> <p>1-2. MOES budget approved to operationalize the mechanism in target provinces.</p> <p>1-3. Utilization of developed model lesson plan in target schools.</p> <p>1-4. Feedback on the utilization of the model lesson plan to PES through DEB.</p>

The Output 1 is mostly achieved. The extent of achievement will be higher if the indicator 1-4 is met by the end of the Project.

1-1. An official document agreed between TTC and PES to establish a professional network for supporting IS activities in target provinces

(Achieved)

In the fourth year Kick-off meeting in February 18, 2013, the directors of the DTE, three target PESSs, eight target DESBs, and two target TTCs discussed and agreed upon the implementation structure and budget policy on the current and future ITSME activities.

Based on the above-mentioned discussion, the "ITSME Future Plan and Implementation Strategy," which clarified the roles and functions of the DTE, PESSs, DESBs, and TTCs in supporting IS activities that could also serve as a professional network, was signed by the director of the DTE dated April 1, 2013 and agreed among the DTE, the three PESSs, the eight DESBs, and the two TTCs.

1-2. MOES budget approved to operationalize the mechanism in target provinces

(Achieved at the Local Level)

Approval of the MOES budget to operationalize the mechanism in the target provinces was successfully achieved at the local level and mostly achieved at the central level.

Budget nt	• The Japanese and Lao sides agreed that the Project would bear the expenses for local
------------------	--

the Central Level	<p>activities shown in ANNEX VI of the R/D signed on November 19, 2009, until the end of September 2010.</p> <ul style="list-style-type: none"> DTE budget of LAK 746,623,000 in total was allocated for the Project activities throughout the Project years except the period from Jun 2013 to Oct 2013.
Budget at the Local Level	<ul style="list-style-type: none"> Some PESSs and DESBs bore necessary expenses for TOT. All schools bore necessary expenses for IS throughout the Project years.

1-3. Utilization of developed model lesson plan in target schools

(Fully Achieved)

Compared to the status at the baseline, all the target schools came to utilize the model lesson plans developed by the Project in the IS activities based on their respective school IS plans.

Baseline	Target Situation	Achievement to Date
Some schools conducted IS using the traditional lesson plans	All the target schools utilize model lesson plans developed by the Project	After introduction in the TOT, all the schools started utilizing the model lesson plans in the IS activities based on their respective IS plans developed in the TOT.

1-4. Feedback on the utilization of the model lesson plan to PES through DEB

(Expected to be achieved)

All the target DESBs reported on the utilization of the model lesson plans at schools to PESSs verbally in the the preparation W/Ss and TOT. However, only four out of the eight DESBs sent reports using the specified monitoring form so far. Since the Project has instructed the DESBs to submit a monitoring report to each PESS, the remaining four DESBs are expected to provide reports using the monitoring form by the end of the Project.

Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Expected Achievement by the end of the Project
N/A	All the target DESBs report on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs.	<ul style="list-style-type: none"> All the target DESBs reported on the utilization of the model lesson plans at schools to PESSs verbally in the preparation W/Ss and TOT. 4 out of 8 target DESBs (Thakhek in Khammouane Province, Kaysone and Phalanxay in Savannakhet Province, and Sanasomboun in Champasak Province) reported to PESSs on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs. 	In the TOT in June 2013, the Project instructed the DESBs to submit a monitoring report to each PESS. Thus the remaining 4 DESBs are expected to report to PESSs using the monitoring form.

Output 2.	Human recourses to promote improvement of lessons are strengthened.
PDM indicators	<p>2-1. Quality of developed model lesson plans is improved.</p> <p>2-2. ITSME trainers' subject knowledge is improved.</p>

Overall, Output 2 is achieved well.

2-1. Quality of developed model lesson plans is improved

(Fully Achieved)

On a scale of 0 to 9, the score on the quality of model lesson plans developed by ITSME trainers by group improved from 7.0 in the first year to 7.3 in the second year, and 8.8 in the third year. Observation of the preparation W/S on the development of lesson plans in May 2013 indicates that the lesson plans developed in the fourth year are likely to attain the same scores as those in the third year.

Baseline	Target Situation	Achievement to Date
i) Objectives, ii) student activities, and iii) evaluation questions of a lesson were just copied from the textbook into its lesson plan	Analysis of the lesson shows that i) objectives, ii) learning process /student activities, and iii) evaluation questions of a lesson are clearly set, formed, and relevant to the lesson plan.	Points of Quality of Lesson Plans*
		1st Year 7.0 (3 lesson plans in total)
		2nd Year 7.3 (9 lesson plans in total)
		3rd Year 8.8 (13 lesson plans in total)
		Source: Documents provided by the Project *Quality is measured by the Japanese experts of the Project with the three scores on the target situation based on the evaluation criteria set by the Project.

2-2. ITSME trainers' subject knowledge is improved

(Achieved at a Satisfactory Level)

Compared to the baseline data, the ITSME trainers' subject knowledge has improved in all the Project targeted units of both Mathematics and Science. Although the ideal level of achievement would have been 100%, it is fair to say that the level of improvement is satisfactory given the constraints such as a few inappropriate textbook contents and the limited learning environment, and educational background of the ITSME trainers. However, gaining knowledge on the other units remains as a future challenge.

Baseline	Target Situation	Achievement to Date																			
Here are the average scores of 22 ITSME trainers in the pre-test on their subject knowledge at the beginning of the preparation W/S in June 2012. Mathematics	Ideally, all the ITSME trainers' test score on subject knowledge of the units, on which ITSME lesson plans are developed, reach 100%.	Here are the average scores of the same 22 ITSME trainers in the post-test on their subject knowledge at the end of the preparation W/S in September 2012. Mathematics																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Unit</th> <th>Test Score (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Direct Proportion</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td>Perimeter</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>Reflection</td> <td>64.0</td> </tr> </tbody> </table>		Unit	Test Score (%)	Direct Proportion	89.1	Perimeter	89.4	Reflection	64.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Unit</th> <th>Test Score (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Direct Proportion</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td>Perimeter</td> <td>98.5</td> </tr> <tr> <td>Reflection</td> <td>78.4</td> </tr> </tbody> </table>	Unit	Test Score (%)	Direct Proportion	93.6	Perimeter	98.5	Reflection	78.4			
Unit		Test Score (%)																			
Direct Proportion		89.1																			
Perimeter		89.4																			
Reflection		64.0																			
Unit	Test Score (%)																				
Direct Proportion	93.6																				
Perimeter	98.5																				
Reflection	78.4																				
Science	Science																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Unit</th> <th>Test Score (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Water</td> <td>81.2</td> </tr> <tr> <td>Cause of Eyesight</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>Heat Transfer</td> <td>37.5</td> </tr> <tr> <td>Substance</td> <td>61.0</td> </tr> </tbody> </table>	Unit	Test Score (%)	Water	81.2	Cause of Eyesight	50.5	Heat Transfer	37.5	Substance	61.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Unit</th> <th>Test Score (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Water</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>Cause of Eyesight</td> <td>77.7</td> </tr> <tr> <td>Heat Transfer</td> <td>85.9</td> </tr> <tr> <td>Substance</td> <td>75.6</td> </tr> </tbody> </table>	Unit	Test Score (%)	Water	99.5	Cause of Eyesight	77.7	Heat Transfer	85.9	Substance	75.6
Unit	Test Score (%)																				
Water	81.2																				
Cause of Eyesight	50.5																				
Heat Transfer	37.5																				
Substance	61.0																				
Unit	Test Score (%)																				
Water	99.5																				
Cause of Eyesight	77.7																				
Heat Transfer	85.9																				
Substance	75.6																				
Source: Documents provided by the Project		Source: Documents provided by the Project																			

Output 3.	Materials for improving lessons are developed.
PDM indicators	3-1. The number of model lesson plans developed against the target in the plan stated in activities



	<p>3-2. Compilation of materials for improving lessons developed by activities in 3-7.</p> <p>3-3. A document prepared and submitted by the project to propose to MOES for their consideration to adopt the developed materials as national standard.</p>
--	---

The Output 3 is expected to be achieved after the completion of the remaining planned activities.

3-1. The number of model lesson plans developed against the target in the plan stated in activities

(Expected to be fully achieved)

The target number of model lesson plans with satisfactory quality was already developed in the first to the third year, and is being developed in the fourth year as of June 2013. Thus the indicator will be achieved by the end of the Project.

Baseline	Target		Achievement to Date
None	1 st Year	None	3 units
	2 nd Year	None	9 units
	3 rd Year	10 units	10 units (13 materials)
	4 th Year	10 units	14 units (16 materials) under development (as of June 1, 2013)

Source: Documents provided by the Project

3-2. Compilation of materials for improving lessons developed by activities in 3-7

(Expected to be achieved)

All the materials for improving lessons will be compiled after the above-mentioned model lesson plans of the fourth year are developed. The Project has started adjusting the formats of model lesson plans, manuals, and reference materials that had been developed for the compilation.

3-3. A document prepared and submitted by the project to propose to MOES for their consideration to adopt the developed materials as national standard

(Expected to be achieved)

The Project plans to prepare and submit to the MOES a set of concrete recommendations on how to utilize the Project materials in the existing MOES training materials and activities.

4-1-4. Project Purpose

The extent of achievement of the Project Purpose is assessed on the basis of the indicators set in the PDM ver.2. In addition, the extent of achievement of the IS activities is assessed as complementary criteria since the Project Purpose is improvement of the quality of lessons through the IS activities at the schools with appropriate external supervision (ES) by the DESB/PESST/TTCS. The following is the results of the assessment.

Project	Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved.
----------------	---



purpose	
PDM indicators	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers. 2. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers.

The Project Purpose has been achieved. The level of achievement is expected to be higher if the above-mentioned outputs are fully produced upon completion of the remaining activities by the end of the Project.

1. Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers

(Achieved)

In general, the quality of lessons, especially their framework, by the target school teachers has improved. Through the use of the ITSME model lesson plans developed by the ITSME trainers and teachers themselves, lessons have become easier to understand and more enjoyable for students. The IS activities provided the teachers with opportunities to observe enjoyable lessons, and motivated them to conduct lessons based on the model lesson plans. It is expected, in the future, for the teachers to become able to teach accurate subject knowledge to students by utilizing the gained skills of forming lessons.

Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Future Perspective
In general, teachers do not adjust or create lessons based on the actual needs of students or learning environment. They just read what is in the textbook to the students.	Teachers can conduct lessons that are easy to understand and enjoyable for students by using ITSME lesson plans.	<p>By using ITSME lesson plans, target school teachers conduct lessons that are easier to understand and more enjoyable for students than those at the baseline. The observed and reported proofs are as follows.</p> <ol style="list-style-type: none"> (1). Many teachers became able to set clear objectives, lead students' activities, summarize and evaluate the lessons using lesson plans based on the ITSME models in the lesson. (2). The target school students enjoy the lessons, participate in the activities, ask and answer questions, and take part in discussions more actively compared to the baseline. (3). Target school students understand the lessons better. The final exam scores of Mathematics and Science also improved to some extent at several target schools compared to the baseline with possible impacts from the Project. 	It is desired for the next step that the teachers deepen their understanding of the subject contents and actual students' situations more, and adopt/adjust their lessons accordingly.

2. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers

(Fully Achieved)

In general, the quality of lesson plans developed by the target school teachers has improved. Their lesson plans are now composed of i) clear objectives, ii) detailed learning process/student activities, and iii) evaluation questions based on the model lesson plans. This is a remarkable improvement from the situation at the baseline. The most improved part is



that now clear learning objectives are set in the lesson plans. The quality of student activities and evaluation questions has also improved but not as much as clear objectives. Therefore, more appropriate arrangement of student activities and evaluation questions based on the accurate subject knowledge remains as a future challenge.

Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Future Perspective
In general, teachers just copied the contents of textbooks to the lesson plans.	Teachers can develop lesson plans for lessons that are easy to understand and enjoyable for students by using ITSME lesson plans.	Target school teachers develop lesson plans based on the ITSME lesson plans through IS activities. The Project experts and ITSME trainers' analysis of 26 lesson plans developed by target teachers shows that quality has in the following aspects: the plans are composed of i) clear objectives, ii) detailed learning process/student activities, and iii) evaluation questions, all which are based on the model lesson plans. This is a remarkable improvement given the situation at the baseline.	The teachers should deepen their understanding of the subject contents and form their lesson plans based on the accurate contents.

Achievement on the activation of IS and ES

According to the questionnaire survey with all the 36 ITSME trainers (6 from PESS, 16 from DEB, and 14 from TTC) and 98 principals of the target schools, and interview survey, IS and ES have been activated and contributed to achieving the Project Purpose as follows.

Achievement to Date	
IS	<p><u><Questionnaire Survey></u></p> <ul style="list-style-type: none"> All trainers except 6 trainers from TTC strongly agree or agree that target schools conduct IS activities more frequently compared to the non-target schools. 100 % of the trainers also strongly agree or agree that IS activities have contributed to improving the quality of lessons in the target schools and the model lesson plans contributed to invigorating the IS activities. 97 % (35 trainers) strongly agree or agree that model lessons are more effective for improving students' learning than the lesson plans developed before the Project. More than 61 % (60 principals) answered that they provide teachers with opportunities to discuss how to prepare lesson plans regularly in IS activities. 77 % (75 principals) answered that teachers work together in preparing lesson plans regularly. 98 % (96 principals) strongly agree or agree that they can organize IS activities more effectively with ITSME materials. 96 % (94 principals) strongly agree or agree that the quality of IS activities has improved with ITSME support. More schools (91%) (89 schools) develop an annual IS plan compared to before the Project (79 %) (77 schools). 100 % (98 principals) answered that joint lesson planning will improve the quality of lessons. <p><u><Interview Survey></u></p> <ul style="list-style-type: none"> The teachers have developed lesson plans based on the model lesson plans. Below are average percentages of units from Grade 1 to 5 whose lesson plans are developed based on the ITSME models in eight schools visited in the Terminal Evaluation. The wide range of units, including the units of Mathematics and Science and the subject of Lao language not covered by the Project shows enthusiasm and dedication of the teachers developing lesson plans for quality lesson.

Average % of units	Mathematics	Science*	Lao Language
More than 80%	6 schools	7 schools	6 schools
50 to 80 %	2 schools	1 school	1 school
Less than 50%	None	None	1 school
0 %	None	None	None

* Science is included in the subject of "World Around Us".
Source: Interviews with eight target schools

- The lesson plans above made classroom teaching easier for the teachers. (See the table below).

ES <Questionnaire Survey>

- Frequency of both ES (monitoring lessons) by the trainers and collaboration among TTC, PESS and DESB for supporting schools has increased compared to before the commencement of the Project.
- More schools (56 %) (55 schools) receive professional support for improving the quality of lessons by PA now compared to before the Project (19 %) (19 schools).
- 94 % (92 principals) strongly agree or agree that frequency of lesson observation by PA has increased.
- 98 % (96 principals) strongly agree or agree that technical support provided by PA became more effective in improving lessons.

4-1-5. Overall Goal

The extent of achievement of the prospect of Overall Goal is assessed on the basis of the indicators set in the PDM ver.2. The following is the results of the assessment.

Overall Goal	Quality of lessons in target provinces is improved.
PDM indicators	<ol style="list-style-type: none"> Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces. Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces.

1. Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces, and

2. Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces (Expected to be achieved with condition)

The following positive signs are seen towards the improvement of the quality of lessons performed by teachers as well as lesson plans made by the teachers in the target provinces. Therefore, the Overall Goal is expected to be achieved if the plan below is implemented successfully.

<ul style="list-style-type: none"> Khammouane and Champasak PESS have decided to extend the Project activities to two of the non-target districts with possible budget measures in the Academic Year 2013-2014. All the eight target DESBs have decided to extend the Project activities to one to four non-target clusters in the next Academic Year 2013-2014 with possible budget measures based on their respective plans. Some target PESSs have already introduced to non-target districts core ideas of the Project such as methods of making lesson plans. Some target DESBs have distributed and introduced to non-target clusters the Project materials such as model lesson plans. According to the DESBs, model lesson plans have already been used in a few schools including

4-2. Implementation Process of the Project

From the Project commencement to the Mid-Term Review, many changes from the PDM ver.1 and the PO without official approval had been observed. Since the time that the Japanese and Lao sides agreed on the PDM ver.2 in the JCC meeting during the Mid-term review, the Project has been smoothly conducted in general. Below is a summary of the implementation process of the Project. For details, please see ANNEX 3-2.

(1) Progress of activities

Most of the planned activities have been carried out according to the PDM ver.2 and the PO since the official modification of the PDM ver.1.

(2) Technical Transfer

The following technical transfer and assistance are appropriate in terms of methods, contents, and levels. They have helped accelerate the improvement of the target groups' capacities.

- Technical transfer and assistance by the Japanese experts to ITSME trainers in developing model lesson plans
- Technical transfer and assistance by the ITSME trainers to target school principals and ATs in demonstrating and explaining the important points of model lesson plans as well as developing the actual lesson plans for teachers
- Technical transfer and assistance by the target school principals and ATs to target school teachers in developing actual lesson plans and conducting lessons based on the plans

(3) Project Implementation Structure

The Project implementation structure has worked generally well at the field level. It is worth noting that the ITSME trainer team composed of TTC/PESS/DESB trainers and capable DTE C/P staff performed well and accelerated the project activities. However, the following constraints have been found.

- The number of DTE C/Ps is limited. This posed an occasional constraint to spreading and sharing the Project activities with relevant MOES departments as well as reporting the activities to the DTE management level in an appropriate and timely manner.
- It took time to reach a clear consensus on the project concept and framework among relevant stakeholders. This caused difficulties in conducting the Project activities as planned, especially until the PDM ver.1 was officially modified as ver. 2 during the Mid-Term Review.

(4) Project Management System

The Project is managed mostly well in the aspects of decision making, monitoring, and cooperation and communication among the C/Ps and the target organizations. However, the following challenges have been observed.

- Coordination and collaboration between other development partners and Japanese assistance have not been considered thoroughly until the third year. However, in response to the recommendations by the Mid-Term Review team, the Project has tried gradually since the fourth year to maximize the Project outputs and incorporate them into the existing MOES systems and activities.
- The Project has grasped the overall status of IS activities through preparation W/Ss, TOT, and the end-line survey. However, the Project has not regularly monitored the status and challenges of IS activities at the school level.

(5) Ownership

Although C/Ps and ITSME trainers belong to organizations such as MOES, PESS, DESB and TTC, they share a consensus on the Project activities through active involvement in preparation W/Ss throughout the Project years for developing model lesson plans. The interview surveys have revealed that the target PESSs, DESBs, TTCs, and schools in particular showed a strong commitment to continuing the Project activities after the Project completion. Moreover, to lead the Project activities after the Project completion, it is required that the DTE demonstrate stronger initiative and ownership in closer cooperation with the other relevant MOES departments.

4-3. Evaluation by Five Criteria

The following is a summary of the results of the evaluation by the five criteria of Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact, and Sustainability. For details, please refer to ANNEX 3-3.

4-3-1. Relevance

Relevance: Very High

(1) Priority

- Since the formulation of the Project, ITSME has been consistent with the policies of Laos as well as the assistance policy of Japan.
- The “Seventh National Socio-Economic Development Plan (NSED) 2011-2015” targets the improvement of human resources in quantity as well as quality through educational reform.
- The “Education Sector Development Framework (ESDF) 2009–2015,” the “Seventh Five-Year Education Sector Development Plan (ESDP) 2011–2015,” and the “Teacher Education Strategy Action Plan (TESAP) 2011–2015” emphasize the target subjects of the Project such as the importance of continuous in-service teacher training and “science

modernity.” IS activities, applying the ITSME approach, can contribute to helping reduce the student dropout rate, which was identified as one of the key issues in the Mid-Term Review of the ESDP 2011–2015.

(2) Necessity

- ITSME has responded to the needs of schools that had difficulties to keep improving the teachers’ competence, as well as those of TTC/PESS/DESB ITSME trainers in providing technical support to schools.
- Although the MOES has encouraged schools to use IS to improve teachers’ skills, effective activities have not been available to teachers. Since the Project launch, the MOES has been developing and providing effective materials to boost IS activities for quality lessons.

(3) Approach

- The Project’s approach is appropriate in the following aspects: i) the strategy and concept of the Project to improve the quality of lessons through IS activities have worked well and helped overcome a major educational challenge of Laos; ii) the target group is appropriate, and the Project has a spillover effect on the non-target group; and iii) Japan has a technical advantage in improving the quality of lessons through enriched and systematized experience of IS.

4-3-2. Effectiveness

Effectiveness: High

(1) Achievement of the Project Purpose

- As mentioned in “4-1-4,Project Purpose,” the Project Purpose has been achieved successfully. The level of achievement is expected to be even higher if all the Outputs are fully produced after the completion of the remaining activities by the end of the Project.

(2) Cause-and-effect logic

- All the three Outputs, inter-relating each other, contributed to the achievement of the Project Purpose by maximizing the effect of the existing IS system.

(3) Effectiveness of Project Approach

- The Project’s approach to utilize IS activities as a means of continuous professional development of teachers was effective in improving the quality of lessons.
- The cooperation of TTC, PESS, and DESB to help teachers in lesson quality improvement was effective.

4-3-3. Efficiency

Efficiency: High

(1) Achievement level of Outputs



- As mentioned in “4-1-3.Outputs,” the Output 2 has been achieved at a satisfied level, and the Output 1 and 3 are also expected to be achieved well by the end of the Project.
- (2) Quantity, quality and timing of inputs
- In general, the inputs from both the Japanese and Lao sides are appropriate. Provision of office space and assignment of C/Ps have been done quickly and appropriately. The copy machines which were provided by the Project are fully utilized for printing the Project materials for even non-target areas. Both the Japanese and Lao sides are satisfied with the expertise of the Japanese experts and the Lao C/Ps.
 - The training in Japan was well organized and contributed to maximizing the Project outputs.
- (3) Cost effectiveness
- Cost effectiveness of the Project is high in the way that most activities at the local level, such as TOTs, monitoring of schools by DESBs, and IS activities at school are conducted as regular work therefore within the regular budget framework.
- (4) Framework of the Project
- The preconditions in the PDM ver. 1 for the commencement of the Project were not fully met before the implementation of the Project, causing difficulties in starting the implementation of the activities as planned at the first stage.

4-3-4. Impact

Impact: High

- (1) Prospects for achievement of the Overall Goal
- Although it is difficult to assess the extent of achievement of the Overall Goal at this point, some positive signs towards achievement are seen as stated in “4-1-5. Overall Goal.”
 - Some non-target schools have reportedly started using the ITSME lesson plans in their lessons.
 - Overall Goal is expected to be achieved if the necessary measures are taken by the MOES for securing the Important Assumption at the Project Purpose level in the PDM ver.2.
 - To achieve the Overall Goal, it is necessary to strengthen the Project implementation policy and structure, especially at the MOES level, to facilitate the IS activities at all schools and ensure the sustainability of the Project activities.
- (2) Actions taken toward achievement of the Overall Goal
- The “ITSME Future Plan and Implementation Strategy,” which clarified the roles and functions of the DTE, PESSs, DESBs, and TTCs in supporting IS activities, was signed by the director of the DTE and agreed among the DTE, target PESSs, DESBs, and TTCs.
 - The DTE started utilizing ITSME trainers’ capacities as well as linking ITSME activities with the existing activities, such as EQS training and modification of the PA guideline.

- All the target TTCs, PESSs, and DESBs developed or have been developing plans for expanding the Project activities to the non-target areas.
 - Some target schools have developed or have been developing plans to share the experience of the Project with non-target schools.
- (3) Prospects of impacts on development goals
- It is expected that the dropout rate will be reduced and the completion rate will be increased to some extent if the Overall Goal is achieved successfully.
- (4) Other Positive Impacts
- By considering the necessity of strengthening the professional network raised also through the Project, DTE plans to organize a workshop to improve the existing guideline of professional network among central and local in Sept 2013.
 - ITSME materials have been utilized in the lessons of the two target TTCs.
 - In all the eight schools visited in the Terminal Evaluation, teachers have developed at their own initiative lesson plans for the subject of the Lao language based on the model lesson plans.
- (5) Other Negative Impacts
- Not found.

4-3-5. Sustainability

Sustainability: Satisfactory at the Central Level and High at the Local Level

(1) Central Level

- Institutional aspect: The importance of IS activities is stated in the Education Minister's Agreement no. 146 on the Pedagogical Advisor of General Education, dated January 18, 2007. It is hoped that the DTE will develop concrete action plans to ensure the continuation and expansion of the Project activities along with the signed "ITSME Future Plan and Implementation Strategy." It is also hoped that the DTE will link the Project activities and materials with the existing MOES guidelines, activities, and training courses, such as PA guideline, EQS training, in-service teacher upgrading training, and TTC pre-service training curriculum in close coordination with the concerned departments, namely the DPPE, ESQAC and TTCs.
DTE plans to organize a W/S to improve the existing guideline of professional network among central and local in Sept 2013.
- Organizational and human resources aspect: Currently, a sufficient number of DTE officials are not assigned to the Project. It is required for the DTE to assign the necessary number of human resources to ensure its role after the Project in facilitating the activities utilizing the methods and materials developed by the Project.
- Financial aspect: Although the DTE managed to allocate the budget for the Project activities through the Project years until May 2013, the budget for the activities after May

2013 and those in the future has yet to be secured. In addition, it is required for the DTE to give TTCs guidance on how to utilize allocated budget for further implementation of ITSME activities after the Project completion.

- Technical aspect: Measures to ensure quality dissemination to non-target areas have yet to be considered.

(2) Local Level

- Institutional aspect: The ITSME trainer team among TTCs, PESSs, and DESBs in the Project activities for improving the quality of lessons performed well and is expected to continue performing well.
- Organizational and human resources aspect: The target PESSs, DESBs, TTCs and schools have plans and wish to assign human resources and allocate budget to continue the Project activities such as TOT and IS.
- Financial aspect: In general, the target PESSs and DESBs have conducted TOT with financial support from the Project and conducted monitoring with their own budget. Schools have conducted IS activities utilizing the School Block Grant allocated by the MOES. Thus the Project activities are expected to be financially sustained.
- Technical aspect: In general, the ITSME trainers of PESS/DESB/TTC are confident in continuously developing and upgrading the lesson plans on their own by utilizing their networks. It is expected that PESS/DESB/TTC keep peer-learning to upgrade their capacity and ensure high quality of lesson plans.

4-4. Promoting and Constraining Factors

4-4-1. Promoting Factors

(1) Utilization of the ITSME Trainer Team

Utilizing the ITSME trainer team composed of those from PESS, DESB, and TTC as the core implementation unit helped reach a consensus on good lesson planning. This allowed each of the organizations to play a distinct role, e.g., PESS to administer education overall, DESB to monitor and provide concrete advice to schools, and TTC to provide technical knowledge and skills for teaching, all of which contributed to attaining a consensus on quality lessons. The ITSME trainer team played the main role in achieving the Output 1, 2, and 3, thus contributed to the achievement of the Project Purpose.

(2) TOT, monitoring, and IS as routine tasks

The Project has made it clear that TOT, monitoring, and IS are routine tasks, and has kept stressing their importance to the target groups. This helped strengthen each organization's

regular roles and coordination among the organizations towards better quality of education in the regular budget framework.

(3) Utilization of IS activities as continuous teachers professional development of teachers for quality lessons.

The Project has taken the approach to improve the quality of lessons as well as to enhance capacity of the teachers through IS activities as main tools. This led the ITSME trainers, school principals, ATs, and teachers to realize that teachers would be able to improve their knowledge and skills by themselves at school without any special occasion or budget. In addition, this approach has boosted the IS activities and brought opportunities for teachers to learn lesson plans together. The IS activities have been conducted in all the target schools, contributing to improving the quality of lessons and lesson plans.

(4) Effort to motivate ITSME trainers and teachers by showing enjoyable lessons

It was difficult to develop model lesson plans and deliver them to schools in the first place because of traditional views on what lesson plans should be. Thus the Project showed enjoyable lessons by demonstrating lessons based on model lesson plans in the Project activities, and through the training in Japan. This undertaking boosted the interest of the ITSME trainers and teachers in developing such lesson plans. In fact, many target schools have started developing at their own initiative the lesson plans of units and subjects not covered by the Project.

4-4-2. Constraining Factors

(1) Delays in official PDM modification

It took time to reach a clear consensus on the Project concept and framework among relevant stakeholders. This caused difficulties in conducting the Project activities as planned, especially at the beginning. However, the PDM ver.1 was modified during the Mid-Term Review as needed (ver. 2), and the remaining activities since then have been mostly implemented as planned.

(2) Inappropriate textbook contents and poor learning environment

A few inappropriate textbook contents and the poor learning environment of the ITSME trainers and teachers are also constraining factors for the achievement of outputs.

4-5. Conclusion



The results of evaluation by Five Criteria are summarized as follows.

Summary of Evaluation by Five Criteria

Criteria	Result
1. Relevance	Very High
2. Effectiveness	High
3. Efficiency	High
4. Impact	High
5. Sustainability	Satisfactory at the Central Level and High at the Local Level

The Project has produced the expected outcomes with very high relevance together with high effectiveness and efficiency. It is worth noting that, despite the delays in the Project activities at the beginning, the Project has achieved the Project Purpose and the level of achievement of the Project Purpose is expected to be enhanced if the Outputs are fully produced after the completion of the remaining Project activities by the end of the Project. The Overall Goal is also expected to be achieved to some extent if necessary measures are taken, especially those by the MOES. The Project has given some positive impacts on non-target areas. Sustainability is expected to be satisfactory at the central level and high at the local level. Thus sustainability at the central level is one of the key issues to ensuring the continuation and expansion of the Project activities in the future.

5. Recommendations

Based on the results of the evaluation, the Team concludes that the Project has been satisfactorily making progress towards its objective, and that the ITSME approach has contributed to the revitalization of IS activities in target schools as an effective and equitable means of teachers' professional development.

The Team confirmed that ITSME approach to lesson planning had been well accepted and adopted in the target schools. Particularly the commitment and eagerness of target schools to make the best use of ITSME model lesson plans and its approach to revitalize their IS activities are highly commended. According to the interviews and discussions with school level stakeholders, motivation and aspiration of teachers and principals were evident for making each lesson more meaningful and enjoyable for children with ITSME format and approach. The Team also confirmed that schools could sustain their regular IS activities with minimal cost to be covered by School Block Grant based on the IS plan which forms part of School Development Plan.

As for the quality improvement of lessons, many district directors and principals verbally reported that the introduction of lesson planning and its implementation based on ITSME approach had made an impact on learning outcomes and survival rate among others. They also



emphasized that because of such an impact, many non-target schools have become interested in ITSME approach and already requested its materials and orientation. However, such key indicators relating to quality have not been closely monitored and tracked by the Project in addition to the already defined PDM indicators, and thus the linkage between the introduced approach and the impact on learning outcomes and survival rate could not be appropriately explained in a quantitative manner at the time of evaluation. Although it is concluded based on PDM indicators that quality of lessons had been improved, the Team would have been able to make a more convincing argument if relevant evidence were collected in a quantitative and tangible manner to demonstrate such a quality impact.

With respect to the mechanism to introduce new knowledge and skills to IS activities, schools have managed with their own means to send principal and ATs to participate in the TOT at the cluster level where they learn how to prepare for effective lessons which bring students to learn the contents through active participation and well-designed activities. The Team is convinced that the mechanism of providing technical guidance for lesson planning be sustained with a high probability with the leadership of DESB by utilizing its existing mechanisms and opportunities including school monitoring by PAs and DEBS regular meetings for principals.

However, the frequency and quality of the technical guidance need to be considered as critical issues to determine whether or not the “external supervision” would actually contribute to the improvement of quality of lessons beyond the cooperation period. As an important output of the Project, the quality of model lesson plans developed by ITSME trainers has been satisfactorily improved since the beginning of the Project. It was also observed that they had gained self-confidence in their expertise gained through the Project and thus become more motivated to support schools and introduce ITSME approach. In this context it is strongly suggested that managerial stakeholders concerned at different levels give due consideration to optimal utilization of ITSME trainers after the cooperation period.

Bringing up the professional capacity of the core human resources beyond ITSME trainers shall be a key challenge to quality dissemination of ITSME approach to non-target schools nationwide since the nation-wide dissemination should depend on existing different channels which involve stakeholders who are not necessarily familiar with ITSME approach.

In this context, it is encouraging news that DTE has recently elaborated ITSME future plan and implementation strategy. The Team urges that the vision and strategy of DTE for continuation and dissemination of ITSME approach should be shared and discussed with decision makers of different central departments concerned to ensure their concerted efforts and full participation in the process. In this regard, promoting political and institutional support at the central level shall be a key challenge.

In view of the above, the following are recommended by the Team for future and continuous tasks to be pursued by relevant stakeholders so as to strengthen the continuous efforts on the

ground and further expand the Project's achievement to non-target areas.

5-1. Sharing ITSME approach, its impact and outcomes at national level (Tasks to be led by the Expert in the remaining cooperation period)

The Team recommends that the Experts take a proactive role in the following tasks:

5-1-1. Organizing a dissemination seminar to share experiences and outcomes, and to discuss the future dissemination plan with MOES key stakeholders and developing partners

It is a major concern shared in the Team that ITSME approach and its impact and outcomes have not yet been widely shared and recognized at the central level authorities outside of DTE. Therefore, a national dissemination seminar to be held by the end of technical cooperation should be taken as a prioritized activity to share experiences and achievements, and discuss the way forward of ITSME approach with relevant stakeholders. In this respect, participation of MOES key central authorities including DPPE, DOI, DP, RIES and ESQAC as well as key development partners should be ensured.

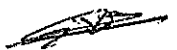
5-1-2. Consolidating a comprehensive user friendly dissemination package accompanied with ITSME materials

As planned in activities 3-1 to 3-6, a document accompanied with all the finalized developed materials is to be submitted by the end of cooperation period. Proposal and recommendations for utilization of materials should be fully in line with DTE's ITSME future plan and implementation strategy. This should be presented and discussed in the above mentioned national seminar before its finalization to ensure that effective utilization and adoption of ITSME materials and approach by relevant stakeholders.

As for the accompanied materials, it is recommended that accompanying materials should be consolidated as a comprehensive user friendly dissemination package with two components: for managers and technical staff. For facilitating dissemination in non-target areas, audio visual reference might be integrated into the package, such as Power Point presentation with video clips, etc. to facilitate stakeholders of non-target areas to understand clearly the approach, applicability to IS activities, and its effectiveness with visual support. In future, a website would be considered as an effective media to disseminate and update necessary information and sharing lesson plan and IS experiences among wider stakeholders.

5-1-3. Mobilization of ITSME trainers with appropriate materials for in-service teacher qualification upgrading program (5+3 to 8+3) in August

As already discussed, mobilization of ITSME trainers for in-service teacher qualification upgrading program should be supported by the Project in August 2013. Since this is a 2 year



program starting from this year, it is suggested that the Experts collect detailed information regarding the entire curriculum, and that relevant recommendations be made based on the analysis to be included in the proposal to be prepared in the above 5-1-2.

5-1-4. Compiling school level data to demonstrate the Project' impact on improving learning outcomes and survival rate

As mentioned earlier, data to demonstrate the changes before and after the project in key educational statistics such as dropout rate, repetition rate, final exam, etc could have been powerful evidence to back up the results of evaluation in a scientific manner. In this respect, quantitative evidence to demonstrate the Project' impact should be collected, and an analysis based on such data should be integrated into the final report to the extent possible. It is preferable as well that such evidence should be shared in the said seminar in order to draw the decision makers' attention to the effectiveness and impact of ITSME approach to address the key challenges faced by MOES.

5-2. Maximizing the existing channels and systems for dissemination and monitoring (Tasks to be facilitated by DTE with support of the Experts, in collaboration with concerned MOES departments and TTCs)

The future plan and strategy for continuation and nation-wide dissemination of ITSME approach should be discussed among concerned departments (DPPE, ESQAC, DOI, DP, and DOF) to ensure their concerted efforts and full participation in the process. The discussions should take place on the continuous basis. At least the first discussion should be organized and supported by the Expert in the remaining cooperation period to give technical suggestions for future tasks to be taken by each stakeholder. The following are specific tasks:

5-2-1. Incorporating ITSME approach into relevant training programs targeting at PA, Principal and Teachers (DTE, DPPE, DOI and ESQAC)

The Project has not yet been fully involved in the development of any training modules relating to EQS including school management, in-service teacher training, PA and IS guidelines, etc. These modules cover contents relating to IS activities, e.g. how to organize, facilitate and monitor IS activities, which should reflect the experiences accumulated by the Project. In this respect, a workable coordination mechanism should be discussed and agreed between DPPE and DTE among others to expedite appropriate modifications to be made to the existing drafts. The on-going efforts and experience gained by ITSME trainers to support the EQS training should be reflected into this modification process. The draft module has been developed with the technical support provided by CIED I.

5-2-2. Linking ITSME approach to MOES's ongoing efforts to set national standards

and guidelines such as teacher evaluation and certification, and PA guidelines, etc. (DTE, DOI, DOP)

In order to further integrate ITSME approach to MOES institutional arrangement, the Team recommends that in addition to 5-2-1, the monitoring tools and formats developed by ITSME should be presented and discussed among concerned departments to appropriately integrate them into the MOES standards and framework with modifications if necessary.

5-2-3. Maximizing TTC pre and in-service trainings to reach all teachers (to be facilitated by DTE, beyond cooperation period)

PRESET and INSET provided by TTCs should be effectively utilized to facilitate actual practice of ITSME approach by teachers on the ground. In this regard, it is recommended that DTE should take a leading role to provide appropriate orientation and guidance to all TTCs, by maximizing experiences and expertise accumulated by the target TTCs (Savannakhet and Pakse). A step by step dissemination plan as part of "ITSME Future Plan and Implementation Strategy" should be elaborated by DTE in collaboration with the above mentioned TTCs to utilize their human resources (ITSME trainers), and such a plan should be shared and discussed with all TTCs for their understanding and actions. Upcoming annual conference of DTE in August might be a good opportunity to step forward in this regard.

5-3. Strengthening and expanding key human resources (MOES, TTCs PESS, DESB)

While the initiative and eagerness of target provinces and districts to accelerate ITSME dissemination have been demonstrated, it is recommended that necessary steps shall be taken for quality dissemination. To this end, key human resources to introduce and provide on-site support for ITSME based IS activities should be continuously strengthened and expanded. In this respect, the following are recommended.

5-3-1. Sharing different experiences and skills among trainers of different training programs (PESS, DSEB)

There are many trainers at province and district levels to conduct trainings for school level stakeholders. In this respect, it is recommended that DESB create opportunities for the trainers assigned to different trainings to share experiences and expertise among themselves to upgrade their capacity to conduct respective trainings. Since ITSME approach is expected to be introduced by any relevant training programs, all the trainers should gain appropriate capacities and understanding to give effective guidance on IS activities with ITSME steps.

5-3-2. Continuing lesson planning practice as a means of strengthening professional skills for introducing and monitoring ITSME approach (DESB, PESS, TTC)

It is suggested that core human resources to be involved in ITSME dissemination should

(h)

strengthen their professional capacity on a continuous basis. Whether IS activities applying ITSME approach become effective to quality improvement or not depends on the quality of on-site pedagogical guidance and monitoring by PA, and thus PA should continue to upgrade their professional capacity and technique by accumulating their actual practice of lesson planning and observation. In this regard, DESB, PESS and TTC are encouraged to motivate PA and relevant stakeholders to cultivate their skills through actual practice of lesson planning on a continuous basis.

5-3-3. Strengthening collaboration between TTC, PESS , DESB and School

Relating to 5-3-2, joint working mechanism for TTC, PES and DEB based on ITSME experience should be continued and strengthened. It might be suggested that TTC should promote research activities aiming to improve quality of teaching learning practices in collaboration with PESS, DESB and school. This type of effort could strengthen TTC engagement in actual teaching practices on the ground and facilitate their collaboration with DESB and PESS for improving quality of teaching learning practice.

It is also suggested that issuance of a ministerial guidance/guidelines relating to professional network and its implementation should be sought in order to facilitate the above mentioned joint working mechanism.

5-4. Other suggestions

The following are additional suggestions that might be considered by relevant authorities for the effective dissemination.

5-4-1. Utilizing district or school “clusters” for dissemination and monitoring

According to the results of questionnaire survey to ITSME trainers, it is confirmed that the school cluster mechanism is well functioning in the target areas, and recognized as an efficient means of dissemination and monitoring. It is encouraged that this mechanism should be further strengthened so that it can provide meaningful opportunities for principals and teachers to share experiences in the classroom and to discuss common issues and challenges relating to teaching learning practice for finding appropriate solutions. In this respect, ITSME approach can be adopted further to make the mechanism more effective in addressing the teachers demand from the pedagogical aspect.

5-4-2. Identifying and promoting “reference site” for good practice of conducting IS and ES activities applying ITSME approach at school and district levels. (DTE in collaboration with DPPE, PESS, DESB, and schools)

In the evaluation, the Team was impressed to learn many good practices and initiatives made at the field level for making the best use of ITSME materials and approach. In this respect,



DESB and PESS with "good practice" should be identified and recognized by MOES as "reference sites" for the effective external supervision.

As for the school, the Team was informed that each district should identify "model schools" following the decision made by the National Education Conference 2013, and that many ITSME target schools have been identified as "model schools". These model schools should be further strengthened to be utilized as good "references sites" to disseminate ITSME approach on the ground.

5-4-3. Expanding collaboration with trainers of TTC in Lao language

Since the target schools have started to apply ITSME lesson planning approach to Lao language subject, appropriate technical guidance in Lao language might be useful, involving TTC lecturers who are Lao language specialists. This can be contributing to capacity development of TTC lecturers and ensuring quality of future induction course targeting at primary teacher students, which is to be piloted in upcoming academic year at Pakse TTC.

6. Lessons Learned

6-1. Effective utilization of the existing framework

As basic policy of the project, the project activities have been planned and implemented in alignment with the existing framework in Lao PDR, which MOES had developed in order to introduce in-service training at the school level, namely Internal Supervision. Therefore, these activities were accepted relatively smoothly by the C/P, and now are becoming as a part of their regular work. This contributed to the establishment and encouragement of their ownership during the whole period of the Project, and will contribute to secure the sustainability after the termination of the Project.

6-2. Establishment and reinforcement of the partnership at the field level

In implementation of the Project, some of the lecturer from TTC and some of the PAs from PESS/DESB in the target provinces were assigned as C/P at the field level, namely ITSME trainer, and formed ITSME trainers' team. Under the technical support from the Japanese experts, ITSME trainers have worked collaboratively while sharing their specific knowledge and experience each other, and have strengthened the unity as a team steadily. The mechanism of this team not only contributed to the sustainable as well as effective implementation of the project activities during the cooperation period and after the termination of the Project.

6-3. Dissemination and sharing of information on the Project

While the C/P department in MOES is DTE, other departments and organization in MOES such as DPPE, RIES and ESQAC also have important roles in order to secure the smooth and



effective implementation of the Project, especially in terms of impact and sustainability. However, information on the progress, outcomes and challenges of the Project have not been shared enough among the departments and organization concerned, and also have not been disseminated enough to development partners concerned for further collaboration. It should be considered that projects disseminate and share information effectively and efficiently with person, departments and organizations concerned from an early stage.

6-4. Contents of the Baseline/End-line survey

In order to improve teaching and learning at the school level, the Project has been implemented with focus on activation of IS and ES. Therefore, it should be clarified how IS and ES have been improved by the intervention of the Project as an evidence on relevance and effectiveness regarding the approach of the Project. However, data related to IS and ES has not been collected nor analyzed by the Project to show the evidence because necessary items were not included in the contents of the Baseline/End-line survey. It should be considered that projects specify data/ indicators appropriate to measure an effect of intervention at the beginning of its cooperation period, and monitor them regularly during its cooperation period.

82

ANNEX 1-1 Project Design Matrix (PDM₁)

Project Title : Project for Improving In-service Teacher Training for Science and Mathematics Education"

Project Period : February, 2010 – October, 2013 (Three years and eight months)

Date : November 19 , 2009

Target Area : Savannakhet, Champasack, and Kammouane

Version : No.1

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal</p> <p>Quality of teaching and learning in target provinces is improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of the quality of lesson plans by teachers in the target provinces. 2. Improvement of the score of lesson performance of teachers in the target provinces. 3. Improvement of the students' participation and attitudes towards lessons in the target provinces.. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation results of Lesson plans made by teachers in the target provinces 2. Evaluation results of lesson observation 3. Observation results of students attitudes towards lessons 	
<p>Project Purpose</p> <p>Quality of Teaching method of science and mathematics in target schools is improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers. 2. Improvement of the score of lesson performance of target school teachers. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation result of Lesson plans made by target school teachers 2. Evaluation result of lesson observation 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Internal Supervision is conducted in all the schools in the target provinces by the Lao side.
<p>Outputs</p> <p>1. Management system of school-based training (SBT) is strengthened.</p> <p>2. Human recourses for supporting the management system of SBT are strengthened.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. PES Management Committee (PES-MC) and PES Technical Support Team (PES-TST) are officially approved by PES. DEB Management Committee (DEB-MC) and DEB Technical Support Team (DEB-TST) are officially approved by DEB. 1-2. SBT annual plan are made in all the target schools. 1-3. XX % of activities in the annual plan stated in 1-2 is implemented. 2-1 Teachers' Satisfactory level on SBT activities increases by XX%. 2-2 The quality of AT's lesson evaluation increases by XX%. (before and after) 2-3 Test results of AT on science and mathematics subject knowledge increases by XX%. (before and after) 2-4 Number of monitoring done by district PAs. (XX% of the plan) 2-5 The quality of PAs' lesson evaluation increases Obseby XX%. (bcfore and after) 2-6 Principals' Trainings and AT's Trainings are conducted 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. Agreement by PES and DEB 1-2. SBT annual plan in each target school 1-3. Record of SBT activities 2-1. SBT annual plan in each target school 2-2. Record of SBT activities 2-3. Questionnaire on SBT answered by teachers 2-4. Evaluation of AT's lesson observation reports 2-5. ATs' Test score 2-6. PAs' Monitoring report 	<ol style="list-style-type: none"> 1. The policy and direction on the Internal Supervision and External Supervision are not drastically changed by the MOE. 2. The budget for continuous SBT is secured by community.

①

<p>3. Training materials in response to the reality of primary schools are developed for SBT.</p>	<p>as planned.</p> <p>2-7 Attendance rate of Principals' Trainings and ATIs' Trainings. (XX% of all target principals and academic teachers)</p> <p>3-1. Number of developed training materials developed by TEI lecturers.</p> <p>3-2. Teachers' Satisfactory level of developed training materials increases by XX%.</p> <p>3-3. Number of compiled training materials.</p>	<p>2-7. Evaluation of PA's lesson observation reports</p> <p>2-8. Record of Principals' Training and ATIs' Training</p> <p>3-1. Developed training materials</p> <p>3-2. Questionnaire on training materials answered by teachers</p> <p>3-3. Compilation of training materials</p>	
<p>Activities</p> <p>1-1 MOE and Provincial Education Services (PESs) conduct the baseline survey on science and mathematics education in target provinces including the identification of actual conditions of cluster activities.</p> <p>1-2 MOE and TEI decide the evaluation criteria of lesson plans and lesson observations.</p> <p>1-3 PESs, TEIs establish PES Management Committee (PES-MC) and PES Technical Support Team (PES-TST).</p> <p>1-4 PES-MCs decide the selection criteria of target districts and target clusters.</p> <p>1-5 PES-MCs select target districts based on the selection criteria after conducting the orientation meeting for all districts in the target provinces.</p> <p>1-6 DEBs establish District Education Bureau (DEB) Management Committee (DEB-MC) and DEB Technical Support Team (DEB-TST) in the selected target districts.</p> <p>1-7 DEB-MCs select target clusters and target schools based on the selection criteria after conducting the orientation meeting for all primary school principals in the target districts.</p> <p>1-8 DEB-MCs and school principals organize/ establish Cluster Management Committee (C-MC) and Cluster Technical Support Team (C-TST) in the selected target districts.</p> <p>1-9 Target school principals and academic teachers conduct improved SBTs.</p> <p>1-10 C-MC and C-TST conduct cluster trainings. (The timing for the introduction will be considered based on the baseline survey.)</p>	<p>Inputs</p> <p>Japanese side</p> <p>1. Personnel</p> <p>Experts</p> <p>Chief Advisor /Teacher Education Management 1</p> <p>Teacher Education Management 2</p> <p>*Two experts above have the expertise of either science or mathematics.</p> <p>Teaching Materials (Science)</p> <p>Teaching Materials (Mathematics)</p> <p>2. Training of counterpart personnel in Japan.</p> <p>3. Provision of equipment</p> <p>Provision of machinery and equipment necessary for the project activities</p> <p>4. Local expenses for JICA Experts</p>	<p>Lao side</p> <p><Central Level></p> <p>1. Counterpart personnel</p> <p>2. Expense for counterpart personnel (traveling cost etc.)</p> <p>3. Office space and necessary facilities in MOE for the Japanese experts.</p> <p>4. Other local expenses</p> <p><Provincial Level></p> <p>1. Counterpart personnel</p> <p>2. Office space and necessary facilities in PESs for the Japanese experts.</p> <p>3. Expense for trainings (travelling cost, meeting place, coffee break)</p> <p>4. Expense for monitoring (travelling cost of TEI lectures and PAs in districts)</p> <p>5. Other local expenses</p>	<p>Pre-conditions</p> <p>1. MOE does not drastically change national education strategies.</p> <p>2. MOE commits the strengthening of Internal Supervision and External Supervision in both budgetary and implementation aspects.</p> <p>3. There are districts and schools in target provinces which commit the strengthening of Internal Supervision and External Supervision in both budgetary and</p>

3

<p>1-11 Target school principals advocate their community supporting schools/ enhancing the awareness to schools.</p> <p>1-12 MOE organizes the summarizing seminar to share the experiences to other donors.</p> <p>2-1 PESs conduct School Principal Trainings for strengthening the management capability of SBT.</p> <p>2-2 PESs make the manual for SBTs.</p> <p>2-3 PESs and Teacher Education Institutes (TEIs) conduct Academic Teacher (AT) Trainings for improving teaching methodology and subject knowledge.</p> <p>2-4 TEI lecturers and Pedagogical Advisors (PAs) in the target districts monitor SBT in the target schools. PESs organize the occasions for experience exchange among PAs in target districts.</p> <p>2-5 TEI lecturers implement in-house trainings in order to strengthen capability for lesson observation and teaching material development.</p> <p>3-1 PESs and TEIs make the development plan of training materials for SBT based on the annual teaching plan in the target provinces.</p> <p>3-2 TEI lecturers make training materials (including model lesson plans and their manuals) for SBT.</p> <p>3-3 TEI lecturers improve the training materials reflecting the teachers' comments from target schools.</p> <p>3-4 MOE and PES compile improved training materials and distribute them to new target schools.</p>		implementation aspects
--	--	------------------------



9

ANNEX 1-2: Project Design Matrix (PDM Ver. 2)

Project Title : Project for Improving In-service Teacher Training for Science and Mathematics Education (ITSME)

Version : No. 2

Date : March 13, 2012

Target Area : Savannakhet, Champasack, and Kammouane.

Project Period : February, 2010 – October, 2013 (Three years and eight months)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal Quality of lessons in target provinces is improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces. 2. Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation results of lesson observation sheet 2. Evaluation result of lesson plans based on evaluation sheet 	
<p>Project Purpose Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers 2. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. (Endline survey) Evaluation result of Lesson observation sheet 2. (Endline survey) Evaluation result of lesson plans based on evaluation sheet 	<ol style="list-style-type: none"> 1. IS is conducted in all the schools in the target provinces by the Lao side.
<p>Outputs</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Mechanism for improving lessons is strengthened. 2. Human resources to promote improvement of lessons are strengthened. 3. Materials for improving lessons are developed. 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. An official document agreed between TTC and PES to establish a professional network for supporting IS activities in target provinces. 1-2. MOES budget approved to operationalize the mechanism in target provinces. 1-3. Utilization of developed model lesson plan in target schools. 1-4. Feedback on the utilization of the model lesson plan to PES through DEB. 2-1. Quality of developed model lesson plans is improved. 2-2. ITSME trainers' subject knowledge is improved. 3-1. The number of model lesson plans developed against the target in the plan stated in activities 1-3. 3-2. Compilation of materials for improving lessons developed by activities in 3-7. 3-3. A document prepared and submitted by the project to propose to MOES for their consideration to adopt the developed materials as national standard. 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. MOU between TTC and PES 1-2. Approved budget plan 1-3. Monitoring report by target PES 1-4. Monitoring report by target PES 2-1. a. Report by experts 2-1. b. Monitoring report by target PES 2-2. Result of Pre-test/Post-test for ITSME trainers' score 3-1. Model lesson plans 3-2. Compilation of training materials 3-3. A proposal document 	<ol style="list-style-type: none"> 1. The policy and direction on the IS and External Supervision are not drastically changed by the MOES.



Activities	Inputs	Lao side	Pre-conditions
<p>1-1. Ministry of Education and Sports (MOES) and Provincial Education Services (PES) conduct baseline survey on science and mathematics education in target provinces.</p> <p>1-2. MOES selects ITSME trainers from Teacher Training College (TTC), PES and District Education Bureau (DEB) officials.</p> <p>1-3. MOES makes an operational plan for supporting the mechanism for improving lessons.</p> <p>1-4. MOES conducts ITSME workshop according to the plan stated in 1-3.</p> <p>1-5. DEB with support of TTC and PES conducts Training of trainers (TOT) for introducing the developed materials.</p> <p>1-6. Principals and Academic teachers (AT) in target schools make action plans for improving lessons in TOT.</p> <p>1-7. Principals and AT implement activities according to the action plan stated in 1-6 in target schools.</p> <p>1-8. DEB monitors utilization of model lesson plans in target schools and reports to PES.</p> <p>1-9. Project facilitates discussions to have Minutes of Understanding (MOU) between TTC and PES/DEB at provincial level for strengthening the mechanism.</p> <p>1-10. Project facilitates with support of an Education Policy Advisor discussions among MOES officials of departments concerned (e.g. DPPE, ESQAC, RIES) to support IS toward SOQ achievement.</p> <p>1-11. MOES organizes seminar to share the experiences with relevant organizations.</p> <p>2-1. ITSME trainers participate in ITSME workshops to gain necessary subject knowledge and skills for improving lessons.</p> <p>2-2. Principals and AT participate in TOT to learn how to improve lessons in target schools.</p> <p>3-1. A standard format of lesson plan and a lesson plan preparation manual are developed.</p> <p>3-2. ITSME trainers develop model lesson plans that satisfy the standard stated in 3-1.</p> <p>3-3. ITSME trainers develop manual for IS for improving lessons.</p> <p>3-4. A lesson plan evaluation sheet and a lesson observation sheet are developed.</p> <p>3-5. A monitoring report format is developed.</p> <p>3-6. Reference materials for improving lessons for ITSME trainers are developed.</p> <p>3-7. The materials stated in 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5 and 3-6 are compiled as reference for improving lessons.</p> <p>3-8. Workshops are organized to share the experiences of the teachers of target schools as a part of Endline survey.</p> <p>3-9. A document to propose to MOES to consider the developed materials as national standard is prepared referring to 3-8.</p>	<p>Japanese side</p> <p>1. Personnel</p> <p>Experts</p> <p>Chief Advisor /Teacher Education Management 1</p> <p>Teacher Education Management 2</p> <p>*Two experts above have the expertise of either science or mathematics.</p> <p>Teaching Materials (Science)</p> <p>Teaching Materials (Mathematics)</p> <p>2. Training of counterpart personnel in Japan.</p> <p>3. Provision of equipment</p> <p>Provision of machinery and equipment necessary for the project activities</p> <p>4. Local expenses for JICA Experts</p>	<p><Central Level></p> <p>1. Counterpart personnel</p> <p>2. Expense for counterpart personnel (traveling cost etc.)</p> <p>3. Office space and necessary facilities in MOES for the Japanese experts.</p> <p>4. Other local expenses</p> <p><Provincial Level></p> <p>1. Counterpart personnel</p> <p>2. Office space and necessary facilities in PESs for the Japanese experts.</p> <p>3. Expense for trainings (travelling cost, meeting place, coffee break)</p> <p>4. Expense for monitoring (travelling cost of TTC, PES and DEB officials)</p> <p>5. Other local expenses</p>	<p>1. MOES does not drastically change national education strategies.</p> <p>2. MOES commits the strengthening of IS and External Supervision in both budgetary and implementation aspects.</p> <p>3. There are districts and schools in target provinces which commit the strengthening of IS and External Supervision in both budgetary and implementation aspects</p>



3

ANNEX 2-2 Plan of Operation for 3rd and 4th Year

Output	Activities	Product	Evidence	2012 (3rd year)						2013 (4th year)							
				5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
1. Mechanism for improving lessons is strengthened.	1-1. Ministry of Education and Sports (MOES) and Provincial Education Services (PES) conduct baseline survey on science and mathematics education in target provinces.	Baseline Survey Report (English & Japanese)		Done in the 1st year													
	1-2. MOES selects ITSME trainers from Teacher Training College (TTC), PES and District Education Bureau (DEB) officials.		Form of ITSME Trainers Team	one from each DEB													
	1-3. MOES makes an operation plan for supporting the mechanism for improving lessons.	Plan of Operation 1) for 1st & 2nd year 2) for 3rd & 4th year															
	1-4. MOES conducts ITSME workshop according to the plan stated in 1-3.	ITSME materials for IS															
	1-5. DEB with support of TTC and PES conducts Training of trainers (TOT) for introducing the developed materials.		Reports from DEBs														
	1-6. Principals and Academic Teachers (AT) in target schools make action plans for improving lessons in TOT.		IS schedule made during TOT	after each TOT													
	1-7. Principals and AT implement activities according to the action plan stated in 1-6 in target schools.		Reports from Schools, DEBs														
	1-8. DEB monitors utilization of model lesson plans in target schools and reports to PES.		Reports from DEBs														
	1-9. Project facilitates discussion to have Minutes of Understanding (MOU) between TTC and PES/DEB at provincial level for strengthening the mechanism	Official Letters of Functions															
	1-10. Project facilitates discussion between DTE and DPPE to maintain the activities of ITSME trainers.	any official paper to guarantee it															
	1-11. MOES organizes seminar to share the experiences with relevant organizations.	☆	Record of discussion Materials for the seminars														
2. Human resources to promote improvement of lessons are strengthened	2-1. ITSME trainers participate in ITSME workshops to gain necessary subject knowledge and skills for improving lessons.		Pre-test & Post test Change in the quality of LPs														
	2-2. Principals and AT participate in TOT to learn how to improve lessons in target schools.		(Reports from DEB on TOT & IS)														
3. Materials for improving lessons are developed.	3-1. A standard format of lesson plan and a lesson plan preparation manual are developed.	1. Finalization of the LP format 2. Lesson Plan Preparation Manual															
	3-2. ITSME trainers develop model lesson plans that satisfy the standard stated in 3-1.	1. 10 LPs in the 3rd year 2. 10 LPs in the 4th year															
	3-3. ITSME trainers develop manual for IS improving lessons.	1. 1st version is completed 2. 2nd version is under editing		Done in the 2nd year						Finalization							
	3-4. A lesson plan evaluation sheet and a lesson observation sheet are developed.	both sheets are completed		Done in the 2nd year						Finalization							
	3-5. A monitoring report format is developed.	Report formats are under editing								Finalization							
	3-6. Reference materials for improving lessons for ITSME trainers are developed.	(Japanese experts have prepared) materials															
	3-7. The materials stated in 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5 and 3-6 are compiled as reference for improving lessons.	(at the middle of the 4th year)															
	3-8. Workshop are organized to share the experiences of the teachers of target schools as a part of Endline Survey.	(at the Endline Survey)															
	3-9. A document to propose MOES to consider the developed materials as national standard is prepared referring to 3-8.	(at the middle of the 4th year)															
others	Collection of the mistakes in the textbooks through making the reference materials for the trainers.	collection of misconceptions															

Annex 3. Evaluation Grid

Annex 3-1. Achievements of the Project

Evaluation Items		Results/Remarks			
Major Items	Target Indicators in the PDM ver.2				
Overall Goal Quality of lessons in target provinces is improved.	1. Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces.	Signs toward the achievement of Overall Goal: <ul style="list-style-type: none"> • Khammouane and Champasak PESS have decided to extend the Project activities to two of the non-target districts with possible budget measures in the Academic Year 2013-2014. • All the eight target DESBs have decided to extend the Project activities to one to four non-target clusters in the next Academic Year 2013-2014 with possible budget measures based on their respective plans. • Some target PESSs have already introduced to non-target districts core ideas of the Project such as methods of making lesson plans. • Some target DESBs have distributed and introduced to non-target clusters the Project materials such as model lesson plans. • According to the DESBs, model lesson plans have already been used in a few schools including private schools in the non-target areas. 			
	2. Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces.				
Project Purpose Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved	1. Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers	Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Future Perspective
		In general, teachers do not adjust or create lessons based on the actual needs of students or learning environment. They just read what is in the textbook to the students.	Teachers can conduct lessons that are easy to understand and enjoyable for students by using ITSME lesson plans.	By using ITSME lesson plans, target school teachers conduct lessons that are easier to understand and more enjoyable for students than those at the baseline. The observed and reported proofs are as follows. (1). Many teachers became able to set clear objectives, lead students' activities, summarize and evaluate the lessons using lesson plans based on the ITSME models in the lesson. (2). The target school students enjoy the lessons, participate in the activities, ask and answer questions, and take part in discussions more actively compared to the baseline. (3). Target school students understand the lessons better. The final exam scores of Mathematics and Science also improved to some extent at several target schools compared to the baseline with possible impacts from the Project.	It is desired for the next step that the teachers deepen their understanding of the subject contents and actual students' situations more, and adopt/adjust their lessons accordingly.
	2. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers.	Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Future Perspective
		In general, teachers just copied the contents of textbooks to the lesson plans.	Teachers can develop lesson plans that are easy to understand and enjoyable for students by using ITSME lesson plans.	Target school teachers develop lesson plans based on the ITSME lesson plans through IS activities. The Project experts and ITSME trainers' analysis of 26 lesson plans developed by target teachers shows that quality has in the following aspects: the plans are composed of i) clear objectives, ii) detailed learning process/student activities, and iii) evaluation questions, all which are based on the model lesson plans. This is a remarkable improvement given the situation at the baseline.	The teachers should deepen their understanding of the subject contents and form their lesson plans based on the accurate contents.
Output I: Mechanism for improving lessons	1-1. An official document agreed between TTC and PES to establish a professional	<ul style="list-style-type: none"> • In the fourth year Kick-off meeting in February 18, 2013, the directors of the DTE, three target PESSs, eight target DESBs, and two target TTCs discussed and agreed upon the implementation structure and budget policy on the current and future ITSME activities. 			



2

Evaluation Items		Results/Remarks															
Major Items	Target Indicators in the PDM ver.2																
is strengthened.	network for supporting IS activities in target provinces.	<ul style="list-style-type: none"> Based on the above-mentioned discussion, the "ITSME Future Plan and Implementation Strategy," which clarified the roles and functions of the DTE, PESSs, DESBs, and TTCs in supporting IS activities that could also serve as a professional network, was signed by the director of the DTE dated April 1, 2013 and agreed among the DTE, the three PESSs, the eight DESBs, and the two TTCs. 															
	1-2. MOES budget approved to operationalize the mechanism in target provinces.	Approval of the MOES budget to operationalize the mechanism in the target provinces was successfully achieved at the local level and mostly achieved at the central level. <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">Budget at the Central Level</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> The Japanese and Lao sides agreed that the Project would bear the expenses for local activities shown in ANNEX VI of the R/D signed on November 19, 2009, until the end of September 2010. DTE budget of LAK 746,623,000 in total was allocated for the Project activities throughout the Project years except the period from Jun 2013 to Oct 2013. </td> </tr> <tr> <td>Budget at the Local Level</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> Some PESSs and DESBs bore necessary expenses for TOT. All schools bore necessary expenses for IS throughout the Project years. </td> </tr> </table>		Budget at the Central Level	<ul style="list-style-type: none"> The Japanese and Lao sides agreed that the Project would bear the expenses for local activities shown in ANNEX VI of the R/D signed on November 19, 2009, until the end of September 2010. DTE budget of LAK 746,623,000 in total was allocated for the Project activities throughout the Project years except the period from Jun 2013 to Oct 2013. 	Budget at the Local Level	<ul style="list-style-type: none"> Some PESSs and DESBs bore necessary expenses for TOT. All schools bore necessary expenses for IS throughout the Project years. 										
	Budget at the Central Level	<ul style="list-style-type: none"> The Japanese and Lao sides agreed that the Project would bear the expenses for local activities shown in ANNEX VI of the R/D signed on November 19, 2009, until the end of September 2010. DTE budget of LAK 746,623,000 in total was allocated for the Project activities throughout the Project years except the period from Jun 2013 to Oct 2013. 															
	Budget at the Local Level	<ul style="list-style-type: none"> Some PESSs and DESBs bore necessary expenses for TOT. All schools bore necessary expenses for IS throughout the Project years. 															
1-3. Utilization of developed model lesson plan in target schools.	Compared to the status at the baseline, all the target schools came to utilize the model lesson plans developed by the Project in the IS activities based on their respective school IS plans. <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">Baseline</th> <th style="width: 33%;">Target Situation</th> <th style="width: 33%;">Achievement to Date</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Some schools conducted IS using the traditional lesson plans</td> <td>All the target schools utilize model lesson plans developed by the Project</td> <td>After introduction in the TOT, all the schools started utilizing the model lesson plans in the IS activities based on their respective IS plans developed in the TOT.</td> </tr> </tbody> </table>		Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Some schools conducted IS using the traditional lesson plans	All the target schools utilize model lesson plans developed by the Project	After introduction in the TOT, all the schools started utilizing the model lesson plans in the IS activities based on their respective IS plans developed in the TOT.									
Baseline	Target Situation	Achievement to Date															
Some schools conducted IS using the traditional lesson plans	All the target schools utilize model lesson plans developed by the Project	After introduction in the TOT, all the schools started utilizing the model lesson plans in the IS activities based on their respective IS plans developed in the TOT.															
1-4. Feedback on the utilization of the model lesson plan to PES through DEB.	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">Baseline</th> <th style="width: 20%;">Target Situation</th> <th style="width: 35%;">Achievement to Date</th> <th style="width: 30%;">Expected Achievement by the end of the Project</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N/A</td> <td>All the target DESBs report on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> All the target DESBs reported on the utilization of the model lesson plans at schools to PESSs verbally in the preparation W/Ss and TOT. 4 out of 8 target DESBs (Thakhek in Khammouane Province, Kaysone and Phalanxay in Savannakhet Province, and Sanasomboun in Champasak Province) reported to PESSs on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs. </td> <td>In the TOT in June 2013, the Project instructed the DESBs to submit a monitoring report to each PESS. Thus the remaining 4 DESBs are expected to report to PESSs using the monitoring form.</td> </tr> </tbody> </table>		Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Expected Achievement by the end of the Project	N/A	All the target DESBs report on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs.	<ul style="list-style-type: none"> All the target DESBs reported on the utilization of the model lesson plans at schools to PESSs verbally in the preparation W/Ss and TOT. 4 out of 8 target DESBs (Thakhek in Khammouane Province, Kaysone and Phalanxay in Savannakhet Province, and Sanasomboun in Champasak Province) reported to PESSs on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs. 	In the TOT in June 2013, the Project instructed the DESBs to submit a monitoring report to each PESS. Thus the remaining 4 DESBs are expected to report to PESSs using the monitoring form.							
Baseline	Target Situation	Achievement to Date	Expected Achievement by the end of the Project														
N/A	All the target DESBs report on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs.	<ul style="list-style-type: none"> All the target DESBs reported on the utilization of the model lesson plans at schools to PESSs verbally in the preparation W/Ss and TOT. 4 out of 8 target DESBs (Thakhek in Khammouane Province, Kaysone and Phalanxay in Savannakhet Province, and Sanasomboun in Champasak Province) reported to PESSs on the utilization of the model lesson plans using the monitoring form developed by the Project to PESSs. 	In the TOT in June 2013, the Project instructed the DESBs to submit a monitoring report to each PESS. Thus the remaining 4 DESBs are expected to report to PESSs using the monitoring form.														
Output 2: Human resources to promote improvement of lessons are strengthened.	2-1. Quality of developed model lesson plans is improved.	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">Baseline</th> <th style="width: 25%;">Target Situation</th> <th style="width: 50%;">Achievement to Date</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>i) Objectives, ii) student activities, and iii) evaluation questions of a lesson were just copied from the textbook into its lesson plan</td> <td>Analysis of the lesson shows that i) objectives, ii) learning process /student activities, and iii) evaluation questions of a lesson are clearly set, formed, and relevant to the lesson plan.</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">Points of Quality of Lesson Plans*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">1st Year</td> <td>7.0 (3 lesson plans in total)</td> </tr> <tr> <td>2nd Year</td> <td>7.3 (9 lesson plans in total)</td> </tr> <tr> <td>3rd Year</td> <td>8.8 (13 lesson plans in total)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Documents provided by the Project *Quality is measured by the Japanese experts of the Project with the three scores on the target situation based on the evaluation criteria set by the Project.</p> </td> </tr> </tbody> </table>		Baseline	Target Situation	Achievement to Date	i) Objectives, ii) student activities, and iii) evaluation questions of a lesson were just copied from the textbook into its lesson plan	Analysis of the lesson shows that i) objectives, ii) learning process /student activities, and iii) evaluation questions of a lesson are clearly set, formed, and relevant to the lesson plan.	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">Points of Quality of Lesson Plans*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">1st Year</td> <td>7.0 (3 lesson plans in total)</td> </tr> <tr> <td>2nd Year</td> <td>7.3 (9 lesson plans in total)</td> </tr> <tr> <td>3rd Year</td> <td>8.8 (13 lesson plans in total)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Documents provided by the Project *Quality is measured by the Japanese experts of the Project with the three scores on the target situation based on the evaluation criteria set by the Project.</p>	Points of Quality of Lesson Plans*		1 st Year	7.0 (3 lesson plans in total)	2 nd Year	7.3 (9 lesson plans in total)	3 rd Year	8.8 (13 lesson plans in total)
Baseline	Target Situation	Achievement to Date															
i) Objectives, ii) student activities, and iii) evaluation questions of a lesson were just copied from the textbook into its lesson plan	Analysis of the lesson shows that i) objectives, ii) learning process /student activities, and iii) evaluation questions of a lesson are clearly set, formed, and relevant to the lesson plan.	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">Points of Quality of Lesson Plans*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">1st Year</td> <td>7.0 (3 lesson plans in total)</td> </tr> <tr> <td>2nd Year</td> <td>7.3 (9 lesson plans in total)</td> </tr> <tr> <td>3rd Year</td> <td>8.8 (13 lesson plans in total)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Documents provided by the Project *Quality is measured by the Japanese experts of the Project with the three scores on the target situation based on the evaluation criteria set by the Project.</p>	Points of Quality of Lesson Plans*		1 st Year	7.0 (3 lesson plans in total)	2 nd Year	7.3 (9 lesson plans in total)	3 rd Year	8.8 (13 lesson plans in total)							
Points of Quality of Lesson Plans*																	
1 st Year	7.0 (3 lesson plans in total)																
2 nd Year	7.3 (9 lesson plans in total)																
3 rd Year	8.8 (13 lesson plans in total)																



Evaluation Items		Results/Remarks																																																																						
Major Items	Target Indicators in the PDM ver.2																																																																							
	2-2. ITSME trainers' subject knowledge is improved.	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">Baseline</th> <th>Target Situation</th> <th colspan="2">Achievement to Date</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">Here are the average scores of 22 ITSME trainers in the pre-test on their subject knowledge at the beginning of the preparation W/S in June 2012.</td> </tr> <tr> <td colspan="5">Mathematics</td> </tr> <tr> <td>Unit</td> <td>Test Score (%)</td> <td rowspan="3">Ideally, all the ITSME trainers' test score on subject knowledge of the units, on which ITSME lesson plans are developed, reach 100%.</td> <td colspan="2">Here are the average scores of the same 22 ITSME trainers in the post-test on their subject knowledge at the end of the preparation W/S in September 2012.</td> </tr> <tr> <td>Direct Proportion</td> <td>89.1</td> <td colspan="2">Mathematics</td> </tr> <tr> <td>Perimeter</td> <td>89.4</td> <td>Unit</td> <td>Test Score (%)</td> </tr> <tr> <td>Reflection</td> <td>64.0</td> <td></td> <td>Direct Proportion</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td colspan="5">Science</td> </tr> <tr> <td>Unit</td> <td>Test Score (%)</td> <td></td> <td>Perimeter</td> <td>98.5</td> </tr> <tr> <td>Water</td> <td>81.2</td> <td></td> <td>Reflection</td> <td>78.4</td> </tr> <tr> <td>Cause of Eyesight</td> <td>50.5</td> <td></td> <td colspan="2">Science</td> </tr> <tr> <td>Heat Transfer</td> <td>37.5</td> <td></td> <td>Unit</td> <td>Test Score (%)</td> </tr> <tr> <td>Substance</td> <td>61.0</td> <td></td> <td>Water</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td colspan="5">Source: Documents provided by the Project</td> </tr> </tbody> </table>	Baseline		Target Situation	Achievement to Date		Here are the average scores of 22 ITSME trainers in the pre-test on their subject knowledge at the beginning of the preparation W/S in June 2012.					Mathematics					Unit	Test Score (%)	Ideally, all the ITSME trainers' test score on subject knowledge of the units, on which ITSME lesson plans are developed, reach 100%.	Here are the average scores of the same 22 ITSME trainers in the post-test on their subject knowledge at the end of the preparation W/S in September 2012.		Direct Proportion	89.1	Mathematics		Perimeter	89.4	Unit	Test Score (%)	Reflection	64.0		Direct Proportion	93.6	Science					Unit	Test Score (%)		Perimeter	98.5	Water	81.2		Reflection	78.4	Cause of Eyesight	50.5		Science		Heat Transfer	37.5		Unit	Test Score (%)	Substance	61.0		Water	99.5	Source: Documents provided by the Project						
Baseline		Target Situation	Achievement to Date																																																																					
Here are the average scores of 22 ITSME trainers in the pre-test on their subject knowledge at the beginning of the preparation W/S in June 2012.																																																																								
Mathematics																																																																								
Unit	Test Score (%)	Ideally, all the ITSME trainers' test score on subject knowledge of the units, on which ITSME lesson plans are developed, reach 100%.	Here are the average scores of the same 22 ITSME trainers in the post-test on their subject knowledge at the end of the preparation W/S in September 2012.																																																																					
Direct Proportion	89.1		Mathematics																																																																					
Perimeter	89.4		Unit	Test Score (%)																																																																				
Reflection	64.0		Direct Proportion	93.6																																																																				
Science																																																																								
Unit	Test Score (%)		Perimeter	98.5																																																																				
Water	81.2		Reflection	78.4																																																																				
Cause of Eyesight	50.5		Science																																																																					
Heat Transfer	37.5		Unit	Test Score (%)																																																																				
Substance	61.0		Water	99.5																																																																				
Source: Documents provided by the Project																																																																								
Output 3: Materials for improving lessons are developed.	3-1. The number of model lesson plans developed against the target in the plan stated in activities	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Baseline</th> <th>Target</th> <th colspan="2">Achievement to Date</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">None</td> <td>1st Year</td> <td>None</td> <td>3 units</td> </tr> <tr> <td>2nd Year</td> <td>None</td> <td>9 units</td> </tr> <tr> <td>3rd Year</td> <td>10 units</td> <td>10 units (13 materials)</td> </tr> <tr> <td>4th Year</td> <td>10 units</td> <td>14 units (16 materials) under development (as of June 1, 2013)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Documents provided by the Project</p>	Baseline	Target	Achievement to Date		None	1 st Year	None	3 units	2 nd Year	None	9 units	3 rd Year	10 units	10 units (13 materials)	4 th Year	10 units	14 units (16 materials) under development (as of June 1, 2013)																																																					
Baseline	Target	Achievement to Date																																																																						
None	1 st Year	None	3 units																																																																					
	2 nd Year	None	9 units																																																																					
	3 rd Year	10 units	10 units (13 materials)																																																																					
	4 th Year	10 units	14 units (16 materials) under development (as of June 1, 2013)																																																																					
	3-2. Compilation of materials for improving lessons developed by activities in 3-7.	<ul style="list-style-type: none"> All the materials for improving lessons will be compiled after the above-mentioned model lesson plans of the fourth year are developed. The Project has started adjusting the formats of model lesson plans, manuals, and reference materials that had been developed for the compilation. 																																																																						
	3-3. A document prepared and submitted by the project to propose to MOES for their consideration to adopt the developed materials as national standard.	<ul style="list-style-type: none"> The Project plans to prepare and submit to the MOES a set of concrete recommendations on how to utilize the Project materials in the existing MOES training materials and activities. 																																																																						
Activities (Output 1 -related)	1-1. Ministry of Education and Sports (MOES) and Provincial Education Services (PES) conduct baseline survey on science and mathematics education in target provinces.	Completed <ul style="list-style-type: none"> The baseline survey was conducted April 26-30, 2010, in the eight target districts of the three target provinces. 																																																																						
	1-2. MOES selects ITSME trainers from Teacher Training	Completed <ul style="list-style-type: none"> ITSME trainers were appointed from the TTC, PESS, and DESB, respectively. 																																																																						





Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Target Indicators in the PDM ver.2	
	Collage (TTC), PES and District Education Bureau (DEB) officials.	<ul style="list-style-type: none"> Necessary measures were taken in case of personnel transfer.
	1-3. MOES makes an operation plan for supporting the mechanism for improving lessons.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The Plan of Operation of the Project for the third and fourth year were made incorporating the results of the mid-term review and revised as necessary
	1-4. MOES conducts ITSME workshop according to the plan stated in 1-3.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> Preparation W/Ss were held as planned in 1-3 as follows. 1st Year: 4 times 2nd Year: 10 times 3rd Year: 6 times 4th Year: 5 times <p>(See ANNEX 4-6 for details)</p>
	1-5. DEB with support of TTC and PES conducts Training of trainers (TOT) for introducing the developed materials.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The DESB with the support of TTC and PESS conducted TOT for introducing the developed materials based on the plan as follows. 1st Year: 1 time 2nd Year: 1 time 3rd Year: 2 times (including 1 additional TOT based on the ITSME trainers' request) 4th Year: 1 time <p>(See ANNEX 4-6 for details)</p>
	1-6. Principals and Academic Teachers (AT) in target schools make action plans for improving lessons in TOT.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> Principals and ATs made action plans for improving lessons in TOT. The action plans were incorporated in the IS annual plans. (based on the results of the questionnaire and interview survey)
	1-7. Principals and AT implement activities according to the action plan stated in 1-6 in target schools.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> All target school principals and ATs implemented various activities, particularly through IS according to the action plans. (based on the results of the questionnaire and interview survey)
	1-8. DEB monitors utilization of model lesson plans in target schools and reports to PES.	<p>Expected to be completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The DESB monitored utilization of model lesson plans in target schools. Monitoring by the DESB became more frequent compared to before the commencement of the Project. The DESB reported the results of monitoring to the PESS on the occasion of preparation W/S and TOT. However, periodic reporting using a monitoring form developed by the Project has not been fully conducted.
	1-9. Project facilitates discussion to have Minutes of Understanding (MOU) between TTC and PES/DEB at provincial level for strengthening the mechanism	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The Project facilitated discussion to formulate MOU. As a result, "ITSME Future Plan and Implementation Strategy" that defines the roles and functions of the DTE, PESS, DESB, TTC, and target schools was signed by the Director of the DTE and agreed upon by the above-mentioned parties.
	1-*. Project facilitates discussion between DTE and DPPE to maintain the activities of ITSME trainers.	<p>Expected to be completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The Project is in the process of facilitating discussions between the DTE and the DPPE.
	1-10. Project facilitates with support of an Education Policy	<p>Expected to be completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The Project is in the process of facilitating discussions among relevant departments.



3

Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Target Indicators in the PDM ver.2	
	<p>Advisor discussions among MOES officials of departments concerned (e.g. DPPE, ESQAC, RIES) to support IS toward SOQ achievement.</p> <p>1-11. MOES organizes seminar to share the experiences with relevant organizations.</p>	<ul style="list-style-type: none"> The DTE has invited the DPPE, ESQAC, and RISE to the preparation W/S to introduce the ITSME concept. ITSME trainers and materials are to be utilized as part of EQS training in July–August 2013. The DTE and the DPPE started discussing how to incorporate ITSME materials into the revised PA guideline issued by the DPPE. <p>Expected to be completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The Project and the MOES agreed to organize the national seminar after the terminal evaluation. Dissemination activities have been conducted at the local level.
Activities (Output 2-related)	2-1. ITSME trainers participate in ITSME workshops to gain necessary subject knowledge and skills for improving lessons.	<p>Completed, with conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> ITSME trainers gained necessary techniques on lesson planning and subject knowledge on ITSME target subjects. However, gaining all necessary knowledge regarding subjects was not fully accomplished because of constraints including those that are beyond the control of the Project.
	2-2. Principals and AT participate in TOT to learn how to improve lessons in target schools.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> In TOT, the principals and ATs learned how to improve lessons for target schools. Most principals and ATs promoted IS as the main tool for improving lessons in target schools.
Activities (Output 3-related)	3-1. A standard format of lesson plan and a lesson plan preparation manual are developed.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The format and the lesson plan preparation manual are developed as the “Lesson Preparation Manual” and delivered to all the teachers of all the target schools through the TOT in June 2013. (see ANNEX 5 for details)
	3-2. ITSME trainers develop model lesson plans that satisfy the standard stated in 3-1.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> Model lesson plans which meet the standard were developed by the ITSME trainers and delivered to all the target schools through TOTs. (see ANNEX 5 for details)
	3-3. ITSME trainers develop manual for IS improving lessons.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The manual for IS is developed as part of the “ITSME Manual ver.2 and delivered to all the target schools. (see ANNEX 5 for details)
	3-4. A lesson plan evaluation sheet and a lesson observation sheet are developed.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The sheets are developed and incorporated as part of the “ITSME Manual ver.2 and delivered to all the target schools. (see ANNEX 5 for details)
	3-5. A monitoring report format is developed.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The formats are developed and incorporated as part of the “ITSME Manual ver.2” and delivered to all the target schools. (see ANNEX 5 for details)
	3-6. Reference materials for improving lessons for ITSME trainers are developed.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> Reference materials for improving lessons for ITSME trainers are developed in the third and fourth year of the Project. Reference materials for teachers are also to be delivered by the end of the Project. (see ANNEX 5 for details)
	3-7. The materials stated in 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5 and 3-6 are compiled as reference for improving lessons.	<p>Expected to be completed</p> <ul style="list-style-type: none"> The materials are to be compiled after adding the model lesson plans to be developed in the fourth year of the Project.
	3-8. Workshops are organized to share the experiences of the teachers of target schools as a part of Endline Survey.	<p>Completed</p> <ul style="list-style-type: none"> Preparation W/Ss were held to share the experiences of the teachers in all the 32 target schools of the end-line survey. Opinions on ITSME materials, implementation and experiences of IS, and future challenges were shared.
	3-9. A document to propose	<p>Expected to be completed</p>

5

Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Target Indicators in the PDM ver.2	
	MOES to consider the developed materials as national standard is prepared referring to 3-8.	<ul style="list-style-type: none"> The recommendation document on how to utilize all the materials developed by the Project in the existing system of the MOES, is to be proposed after the terminal evaluation, taking into account the results of the end-line survey and TOT to be conducted in June 2013.
Input (Japan)	Personnel	<ul style="list-style-type: none"> Six experts for 71.40 man-months in total, including actual person-months from Mar 2010 to June 2013 and the planned person-months from July 2013 to Oct 2013.
	Training in Japan	<ul style="list-style-type: none"> A total of 30 C/Ps participated in the group training in Japan.
	Equipment	<ul style="list-style-type: none"> See Annex 4-3.
	Cost of the Operation in Laos	<ul style="list-style-type: none"> See Annex 4-4.
Input (Laos)	Personnel	<ul style="list-style-type: none"> See Annex 4-2.
	Office Space/Facilities	<ul style="list-style-type: none"> For the JICA experts, office space has been provided in the MOES, Savannakhet PESS and Champasak PESS in good condition. Venues for the workshop on preparation of model lesson plans (hereafter referred to as the "preparation W/S" in Savannakhet TTC, Khammouane PESS and Pakse TTC are provided.
	Cost of the Operation in Laos	<ul style="list-style-type: none"> See Annex 4-4.



Annex 3-2. Implementation Process of the Project

Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
Measures taken to address the Recommendations in the Mid-term Evaluation Review		<ul style="list-style-type: none"> • Mostly recommended measures are already taken. • Some remaining measures are also going to be taken by the end of the Project.
Methods of Knowledge and Skills Transfer	Whether or not the Methods of Knowledge and Skills Transfer in the following steps were appropriate: 1) Trainers develop ITSME Training Materials at W/S [Development Step]; 2) Trainers conduct TOT for School Principals and Academic Teachers [Delivery Step]; 3) Principals/ATs conduct Internal Supervision (IS) [Usage Step]; 4) Trainers monitor and revise the materials [Revision Step]; and 5) Trainers feed the monitoring results back into the Step 1.	The following technical transfer and assistance are appropriate in terms of methods, contents, and levels. They have helped accelerate the improvement of the target groups' capacities. <ul style="list-style-type: none"> • Technical transfer and assistance by the Japanese experts to ITSME trainers in developing model lesson plans • Technical transfer and assistance by the ITSME trainers to target school principals and ATs in demonstrating and explaining the important points of model lesson plans as well as developing the actual lesson plans for teachers • Technical transfer and assistance by the target school principals and ATs to target school teachers in developing actual lesson plans and conducting lessons based on the plans
Project Implementation Structure	Whether or not the Project Implementation Structure has been appropriately developed and adjusted	The Project implementation structure has worked generally well at the field level. It is worth noting that the ITSME trainer team composed of TTC/PESS/DESB trainers and capable DTE C/P staff performed well and accelerated the project activities. However, the following constraints have been found. <ul style="list-style-type: none"> • The number of DTE C/Ps is limited. This posed an occasional constraint to spreading and sharing the Project activities with relevant MOES departments as well as reporting the activities to the DTE management level in an appropriate and timely manner. • It took time to reach a clear consensus on the project concept and framework among relevant stakeholders. This caused difficulties in conducting the Project activities as planned, especially until the PDM ver.1 was officially modified as ver. 2 during the Mid-Term Review.
Project Management	C/Ps' understanding of the JICA Technical Cooperation Scheme before Project Implementation	<ul style="list-style-type: none"> • Limited.
	Overall Project Management	<ul style="list-style-type: none"> • Overall well. • Lao side's stronger ownership is desired.
	Project Monitoring	<ul style="list-style-type: none"> • Overall Well. • The Project has grasped the overall status of IS activities through preparation W/Ss, TOT, and the end-line survey. • However, the Project has not regularly monitored the status and challenges of IS activities at the school level.
	Decision Making of the Project	<ul style="list-style-type: none"> • Well.
	Coordination within the Project Members	<ul style="list-style-type: none"> • Well.
	Coordination between the Project and Relevant Agencies	<ul style="list-style-type: none"> • Coordination and collaboration between other development partners and Japanese assistance have not been considered thoroughly until the third year. • However, in response to the recommendations by the Mid-Term Review team, the Project has tried gradually since the fourth year to maximize the Project outputs and incorporate them into the existing MOES systems and activities.
Relationship based on Cooperation and Trust between Japanese experts and C/Ps	<ul style="list-style-type: none"> • Well. 	





Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
	Stakeholders' Acknowledgement of the Project	<ul style="list-style-type: none">• Central level: Stronger acknowledgement and ownership is desired.• Local level: Acknowledgement is high.• Although C/Ps and ITSME trainers belong to organizations such as MOES, PESS, DESB and TTC, they share a consensus on the Project activities through active involvement in preparation W/Ss throughout the Project years for developing model lesson plans.• The interview surveys have revealed that the target PESSs, DESBs, TTCs, and schools in particular showed a strong commitment to continuing the Project activities after the Project completion. Moreover, to lead the Project activities after the Project completion, it is required that the DTE demonstrate stronger initiative and ownership in closer cooperation with the other relevant MOES departments.



(2)

Annex 3-3. Evaluation by Five Criteria

Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
I. Relevance		
Whether or not the Overall Goal/Project Purpose meet the needs of Laos	Appropriateness for Needs of Target Society and Community	<ul style="list-style-type: none"> High.
	Appropriateness for Needs of Implementing Organizations and Target Group	<ul style="list-style-type: none"> ITSME has responded to the needs of schools that had difficulties to keep improving the teachers' competence, as well as those of TTC/PSS/DESB ITSME trainers in providing technical support to schools. Although the MOES has encouraged schools to use IS to improve teachers' skills, effective activities have not been available to teachers. Since the Project launch, the MOES has been developing and providing effective materials to boost IS activities for quality lessons.
Laos' Commitment to the Project	Lao Government's Commitment to Success of Project	<ul style="list-style-type: none"> Committed but with limitation.
Priority	Appropriateness for Priority of Development Plan of Laos	<ul style="list-style-type: none"> Education sector is prioritized by "7th National Socio-Economic Development Plan (NSED) 211-2015" which targets the improvement of human resource in quantity as well as quality through educational reform. "Education Sector Development Framework (ESDF) 2009-2015" emphasizes expansion of in-service training, and it targets 20% of teachers to receive in-service trainings. "7th 5 year Education Sector Development Plan (ESDP) 2011-2015" mentions importance of "Science-modernity" with other two principles. The plan also addresses upgrade of teachers through in-service training. One of general targets of "Teacher Education Strategy Action Plan 2011-2015" (TESAP) is development of action plan for continuous in-service teacher education. IS activities, applying the ITSME approach, can contribute to helping reduce the student dropout rate, which was identified as one of the key issues in the Mid-Term Review of the ESDP 2011-2015.
	Appropriateness for Japanese Assistance Policy	<ul style="list-style-type: none"> Appropriate.
Appropriateness of the Project Approach	Appropriateness of Project Approach for Development Agenda in Education Sector	<ul style="list-style-type: none"> The strategy and concept of the Project to improve the quality of lessons through IS activities have worked well and helped overcome a major educational challenge of Laos
	Appropriateness of Selection of Target Group	<ul style="list-style-type: none"> Appropriate.
	Impacts on any Other Groups or Areas other than Target Groups and Areas	<ul style="list-style-type: none"> Project has a spillover effect on the non-target group
	Synergy Effect of Aid Donor Coordination	<ul style="list-style-type: none"> Has not been considered fully.
	Synergy Effect of Coordination with Other Japanese Assistance	<ul style="list-style-type: none"> Has not been considered fully.
	Advantage of Japanese Technology	<ul style="list-style-type: none"> Japan has a technical advantage in improving the quality of lessons through enriched and systematized experience of IS.
Change of the Situation to the Relevance		<ul style="list-style-type: none"> Not found.
II. Effectiveness		



Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
Expectation on achievement of Project Purpose	Prediction of achievement of Project Purpose	See Annex 3-1.
Appropriateness of Cause-and-Effect Logic among Outputs, Important Assumptions, and Project Purpose	Logic of PDM	<ul style="list-style-type: none"> PDM ver. 1 was not logically framed based on the actual situation. All the three Outputs, inter-relating each other, contributed to the achievement of the Project Purpose by maximizing the effect of the existing IS system.
	Whether or not Output-level Important Assumptions have been satisfied	<ul style="list-style-type: none"> Satisfied.
Contributing Factors to the Project Purpose	Contributions of other Japanese Assistance to the Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> Direct contributions are not found.
	Contributions of other Donors' Assistance to the Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> Direct contributions are not found.
	Other Contributing Factors to the Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> Utilization of the ITSME Trainer Team TOT, monitoring, and IS as routine tasks Utilization of IS activities as continuous teachers professional development of teachers for quality lessons. Effort to motivate ITSME trainers and teachers by showing enjoyable lessons
Obstacles to the Project Purpose	Whether or not Important Assumption affects achievement of the Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> Not.
	Other Obstacles to the Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> Delays in official PDM modification. Inappropriate textbook contents and poor learning environment.
III. Efficiency		
Level of achievement of Outputs	Appropriateness of Level of achievement of Outputs	See Annex 3-1.
Appropriateness of Cause-and-Effect Logic between Activities and Outputs	Appropriateness of Activities for achievement of Outputs	<ul style="list-style-type: none"> Cause-and-effect logic between activities and outputs are not logical in the PDM ver. 1.
	Whether or not Activity-level Important Assumption have been satisfied	<ul style="list-style-type: none"> There is no Activity-level Important Assumption.
Important Assumption's Impacts on Outputs	Important Assumption's Impacts on Outputs	<ul style="list-style-type: none"> There is no Activity-level Important Assumption.
Appropriateness of Quality, Quantity, and Timing of Inputs	(Japanese Side) Appropriateness of Man-Month(M/M), Expertise, Timing and Duration of Assignment of Japanese Experts	<ul style="list-style-type: none"> Overall appropriate. Lao side is satisfied with the expertise of Japanese experts.



Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
	(Japanese Side) Appropriateness of Kind, Quantity, and Timing of Purchase of Provided Equipment	<ul style="list-style-type: none"> The copy machines which were provided by the Project are fully utilized for printing the Project materials for even non-target areas.
	(Lao Side) Appropriateness of Number, Capacity/Expertise, Timing and Duration of Assignment of Lao Counterparts	<ul style="list-style-type: none"> Overall appropriate. Assignment of C/Ps has been done quickly and appropriately. Japanese side is satisfied with the expertise of Lao C/Ps. More number of the DTE C/P at the technical level is needed for smoother implementation of the Project.
	(Lao Side) Appropriateness of Project Office and sharing of local operation cost	<ul style="list-style-type: none"> Provision of office space has been done quickly and appropriately. DTE allocated necessary budget (mostly).
	Appropriateness of training conducted in Japan	<ul style="list-style-type: none"> The training in Japan was well organized and contributed to maximizing the Project outputs.
	Whether or not pre-conditions of Project have been met	<ul style="list-style-type: none"> Not have been fully met.
Cost-effectiveness	More cost-effective approach for achieving three Outputs	<ul style="list-style-type: none"> Cost effectiveness of the Project is high in the way that most activities at the local level, such as TOTs, monitoring of schools by DESBs, and IS activities at school are conducted as regular work therefore within the regular budget framework.
Project Framework		<ul style="list-style-type: none"> The preconditions in the PDM ver. 1 for the commencement of the Project were not fully met before the implementation of the Project, causing difficulties in starting the implementation of the activities as planned at the first stage.
IV. Impact (Prediction)		
Expectation on achievement of Overall Goal	Prediction of achievement of Overall Goal within 3-5 years after Project completion	<ul style="list-style-type: none"> Although it is difficult to assess the extent of achievement of the Overall Goal at this point, some positive signs towards achievement are seen, such as; Some non-target schools have reportedly started using the ITSME lesson plans in their lessons.
Appropriateness of Cause-and-Effect Logic between Overall Goal and Project Purpose	Appropriateness of Target Indicators of Overall Goal	<ul style="list-style-type: none"> Fair. (But not specific)
	Appropriateness of Cause-and-Effect Logic between Overall Goal and Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> Appropriate.
	Appropriateness of Project Purpose-Level Important Assumption	<ul style="list-style-type: none"> To achieve the Overall Goal, it is necessary to strengthen the Project implementation policy and structure, especially at the MOES level, to facilitate the IS activities at all schools and ensure the sustainability of the Project activities.
Actions for achievement of Overall Goal	Actions for achievement of Overall Goal (Budget, Human Resources, Organizational Implementation System)	<ul style="list-style-type: none"> The DTE started utilizing ITSME trainers' capacities as well as linking ITSME activities with the existing activities, such as EQS training and modification of the PA guideline.
	Plans for achievement of Overall Goal (Budget, Human Resources, System)	<ul style="list-style-type: none"> The "ITSME Future Plan and Implementation Strategy," which clarified the roles and functions of the DTE, PESSs, DESBs, and TTCs in supporting IS activities, was signed by the director of the DTE and agreed among the DTE, target PESSs, DESBs, and TTCs. All the target TTCs, PESSs, and DESBs developed or have been developing plans for expanding the Project activities to the non-target areas. Some target schools have developed or have been developing plans to share the experience of the Project with non-target schools.

Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
	Implementation Structure and System (Budget, Human Resources, System) for dissemination at non-target Schools/Districts/Provinces	<ul style="list-style-type: none"> The "ITSME Future Plan and Implementation Strategy," which clarified the roles and functions of the DTE, PESSs, DESBs, and TTCs in supporting IS activities, was signed by the director of the DTE and agreed among the DTE, target PESSs, DESBs, and TTCs.
Expectation for Impacts to Development Plan	Expectation on Impact from achievement of Overall Goal on Laos Development Agenda	<ul style="list-style-type: none"> It is expected that the dropout rate will be reduced and the completion rate will be increased to some extent if the Overall Goal is achieved successfully.
Obstacles to achievement of Overall Goal other than Important Assumptions	Other obstacles to the Overall Goal	<ul style="list-style-type: none"> Not found.
	Countermeasures for obstacles to the Overall Goal	<ul style="list-style-type: none"> Not found.
Impacts other than Overall Goal	Impacts on Policy, Laws, and Systems	<ul style="list-style-type: none"> ITSME materials have been utilized in the lessons of the two target TTCs. By considering the necessity of strengthening the professional network raised also through the Project, DTE plans to organize a workshop to improve the existing guideline of professional network among central and local in Sept 2013.
	Impacts on Social and Cultural Aspects (Gender, Human Rights, and Poverty)	<ul style="list-style-type: none"> Not found.
	Impacts on Economic Situation of Target Society	<ul style="list-style-type: none"> Not found.
	Difference of level of Impacts among Gender, Ethnic Groups, and Social Status	<ul style="list-style-type: none"> Not found.
	Other positive and negative Impacts	<ul style="list-style-type: none"> In all the eight schools visited in the Terminal Evaluation, teachers have developed at their own initiative lesson plans for the subject of the Lao language based on the model lesson plans.
	Countermeasures for negative Impacts (if any)	<ul style="list-style-type: none"> None.
V. Sustainability (Expectation)		
Policy/System	Continuation of MOES's policy on the Project after Project completion	<ul style="list-style-type: none"> The importance of IS activities is stated in the Education Minister's Agreement no. 146 on the Pedagogical Advisor of General Education, dated January 18, 2007.
	Laws and regulations needed for continuation of Project Activities	<ul style="list-style-type: none"> Regulations to state the responsibility of Professional Network needed.
	Reflection of materials (Model lesson plans, Manual, etc.) into the existing Policy and System	<ul style="list-style-type: none"> It is also hoped that the DTE will link the Project activities and materials with the existing MOES guidelines, activities, and training courses, such as PA guideline, EQS training, in-service teacher upgrading training, and TTC pre-service training curriculum in close coordination with the concerned departments, namely the DPPE, ESQAC and TTCs.
	Plans and Actions for disturbing factors to Project Outcome	<ul style="list-style-type: none"> Not found yet.

Evaluation Items		Results/Remarks
Major Items	Minor Items	
	Plans and Actions for continuation of Project Activities at target areas	<ul style="list-style-type: none"> • "ITSME Future Plan and Implementation Strategy" • It is hoped that DTE develop concrete action plans to ensure the continuation and expansion of the Project activities along with the signed "ITSME Future Plan and Implementation Strategy." • ITSME trainer team or "Professional Network" among TTCs, PESSs, and DESBs in the Project activities for improvement of quality of lessons has been well functioned and is expected to be continued.
	Plans and Actions for expansion of Project Activities to non-target Schools/Districts/Provinces	<ul style="list-style-type: none"> • Same as above
Organization/ Human Resources	Central-level Organizational Capacity (Job Assignment, Decision Making Process) for continuation of Project Outcome	<ul style="list-style-type: none"> • Currently, a sufficient number of DTE officials are not assigned to the Project. • It is required for the DTE to assign the necessary number of human resources to ensure its role after the Project in facilitating the activities utilizing the methods and materials developed by the Project.
	Local-level Organizational Capacity (Job Assignment, Decision Making Process) for continuation of Project Outcome	<ul style="list-style-type: none"> • The target PESSs, DESBs, TTCs and schools have plans and wish to assign human resources and allocate budget to continue the Project activities such as TOT and IS.
	Ownerships of MOES, TTC, PES, and DESB for Project	<ul style="list-style-type: none"> • Especially TTC, PESS, and DESB have strong ownership
Finance	Central-level Budget	<ul style="list-style-type: none"> • Although the DTE managed to allocate the budget for the Project activities through the Project years until May 2013, the budget for the activities after May 2013 and those in the future has yet to be secured. • It is required for the DTE to give TTCs guidance on how to utilize allocated budget for further implementation of ITSME activities after the Project completion.
	Local-level Budget	<ul style="list-style-type: none"> • In general, the target PESSs and DESBs have conducted TOT with financial support from the Project and conducted monitoring with their own budget. • Schools have conducted IS activities utilizing the School Block Grant allocated by the MOES. • Thus the Project activities are expected to be financially sustained.
Technical	Central-level	<ul style="list-style-type: none"> • Measures to ensure quality dissemination to non-target areas have yet to be considered.
	Local-level	<ul style="list-style-type: none"> • In general, the ITSME trainers of PESS/DESB/TTC are confident in continuously developing and upgrading the lesson plans on their own by utilizing their networks. • It is expected that PESS/DESB/TTC keep peer-learning to upgrade their capacity and ensure high quality of lesson plans.
	Applicability of Skills for non-target Schools/Districts/Provinces	<ul style="list-style-type: none"> • Highly applicable
Other	Other Obstacles to Sustainability	<ul style="list-style-type: none"> • Inappropriateness of textbook contents and limited learning environment.



Annex 4. Inputs to the Project

Annex 4-1. List of Japanese Experts

1st Year							2nd Year						
Japanese Expert	Position of the Expert	Plan		Actual			Japanese Expert	Position of the Expert	Plan		Actual		
		Laos	Japan	Laos	Japan	Self-financed			Laos	Japan	Laos	Japan	Self-financed
Mr. Yoshihisa HARA	Chief Advisor/Teacher Education Management/Science Education	225	3	225	3	0	Mr. Yoshihisa HARA	Chief Advisor/Teacher Education Management/Science Education	270	0	270	0	0
Mr. Kan MOTOYAMA	Teacher Education Management/Math Education	195	3	191	3	10	Mr. Kan MOTOYAMA	Teacher Education Management/Math Education	255	0	260	0	0
Mr. Kimihiro KONNO	Teaching Materials	69	15	73	15	20	Mr. Kimihiro KONNO	Teaching Materials/Training Evaluation/Monitoring	90	12	145	12	0
Mr. Hiromasa HATTORI	Training Evaluation/Monitoring	(59)	0	0	0	75	Mr. Hiromasa HATTORI		0	0	0	0	0
Mr. Isamu HAMADA		0	0	0	0	0	Mr. Isamu HAMADA	Training Management	(75)	0	0	0	89
Mr. Etsutaro TANAKA		0	0	0	0	0	Mr. Etsutaro TANAKA		0	0	0	0	0
Number of Days		489	21	489	21	105	Number of Days		615	12	675	12	89
MM		16.30	0.70	16.30	0.70	3.50	MM		20.50	0.40	22.50	0.40	2.97
Total MM		17.00		17.00			Total MM		20.90		22.90		





3rd Year							4th Year						
Japanese Expert	Position of the Expert	Plan		Actual			Japanese Expert	Position of the Expert	Plan		Actual		
		Laos	Japan	Laos	Japan	Self-financed			Laos	Japan	Laos	Japan	Self-financed
Mr. Yoshihisa HARA	Chief Advisor/Teacher Education Management	165	0	165	0	0	Mr. Yoshihisa HARA	Chief Advisor/Teacher Education Management	180	0	180	0	0
Mr. Kan MOTOYAMA	Teacher Education Management/Math Education	165	0	166	0	0	Mr. Kan MOTOYAMA	Teacher Education Management/Math Education	150	0	150	0	0
Mr. Kimihiro KONNO	Teaching Materials/Science Education1	90	0	72	0	0	Mr. Kimihiro KONNO		0	0	0	0	0
Mr. Hiromasa HATTORI		0	0	0	0	0	Mr. Hiromasa HATTORI		0	0	0	0	0
Mr. Isamu HAMADA	Training Management/Science Education2	45	0	62	0	0	Mr. Isamu HAMADA	Teaching Materials/Training Management	90	0	90	0	15
Mr. Etsutaro TANAKA	Training Evaluation/Monitoring	(75)	0	0	0	114	Mr. Etsutaro TANAKA	Science Education/Training Evaluation/Monitoring	60	0	60	0	60
Number of Days		465	0	465	0	114	Number of Days		480	0	480	0	75
MM		15.50	0.00	15.50	0.00	3.80	MM		16.00	0.00	16.00	0.00	2.50
Total MM		15.50		15.50			Total MM		16.00		16.00		

Actual MM in Total 71.40 MM

Remarks: Highlighted parts are self-financed therefore not included in the total MM.

Annex 4-2. List of Lao Counterparts

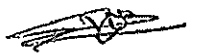
- 1) **The Project Director**
Mr. Chandy PHOMMABOUTH Director General, DTE

- 2) **The Deputy Project Director**
Ms. Varadune AMARATHITHADA Deputy Director General, DTE
Ms. Khamkhanh SOULIGNADETH Deputy Director General, DPPE

- 3) **Counterpart Personnel**
Head of Division, In-service Training Division, DTE
Head of Division, Primary Education Division, DPPE
Director, Provincial Education and Sports Service (PESS) of the target provinces
Director, Teacher Training Center (TTC) of the target provinces
Director, District Education and Sports Bureau (DESB) of the target provinces

- 4) **Counterpart Personnel (DTE technical level)**
Mr. Simoungkhoun VONGCHAMPA Technical Staff, DTE

- 5) **Personnel working for the Project from following section**
DTE
DPPE



6) List of ITSME Trainers

as of 01/06/2013

	Name	Affiliation
1	Mr. Bouasy BOUNVATSANA	Officer, Teacher Training Unit, Kammouane PES
2	Mr. Douangmala PHOMMACHAN	Officer, Primary Unit, Kammouane PES
3	Ms. Somvilay OUPHAXAY	Officer, Primary Unit, Savannakhet PES
4	Mr. Khamphouvy VIENGDALA	Officer, Teacher Training Unit, Savannakhet PES
5	Mr. Boun Om VENESOMPHEH	Officer, Teacher Training Unit, Champasak PES
6	Mr. Vongsakath PHILAVANH	Officer, Teacher Training Unit, Champasak PES
7	Mr. Lathsomphone XAYYASAN	Pedagogical Advisor, Thakhek DEB, Kammouane
8	Ms. Keoviengkham CHANPHASOUK	Pedagogical Advisor, Thakhek DEB, Kammouane
9	Ms. Khampasong CHANTHANA	Pedagogical Advisor, Himboun DEB, Kammouane
10	Mr. Saykham ANOUVONG	Pedagogical Advisor, Himboun DEB, Kammouane
11	Mr. Soukan AKKHAVONG	Officer, Teacher Training Unit, Kayson DEB, Savannakhet
12	Mr. Khamse SYKHONVONG	Pedagogical Advisor, Kayson DEB, Savannakhet
13	Mr. Nouthay XAYALINHXOUMPHOU	Pedagogical Advisor, Champhone DEB, Savannakhet
14	Mr. Viengkhone PHANDONELAR	Pedagogical Advisor, Champhone DEB, Savannakhet
15	Mr. Kongla HATSALASY	Pedagogical Advisor, Phalanxay DEB, Savannakhet
16	Mr. Khonesavan BUANKHAMPINGTHALE	Pedagogical Advisor, Phalanxay DEB, Savannakhet
17	Mr. Ieng XAYTHAVONGSY	Pedagogical Advisor, Sanasomboun DEB, Champasak
18	Mr. Khamphanh DENGSIYAVONG	Pedagogical Advisor, Sanasomboun DEB, Champasak
19	Mr. Chanthavi LADAMOON	Pedagogical Advisor, Bachieng DEB, Champasak
20	Mr. Phetsompou SYLAVONG	Pedagogical Advisor, Bachieng DEB, Champasak
21	Mr. Phonexay PHABANDITH	Pedagogical Advisor, Paksong DEB, Champasak
22	Mr. Khamxay THAMMAVONG	Pedagogical Advisor, Paksong DEB, Champasak
23	Mr. Phimmason VORAYOUTH	Lecturer, Savannakhet TTC
24	Mr. Khamla SENGLATHSAMY	Lecturer, Savannakhet TTC
25	Ms. Inthanomh PHAVADY	Lecturer, Savannakhet TTC
26	Ms. Khanphaphone CHANTHAPHASAVAD	Lecturer, Savannakhet TTC
27	Ms. Tan KINGKUNYA	Lecturer, Savannakhet TTC
28	Mr. Vanhxay THAMMAVONG	Lecturer, Savannakhet TTC
29	Ms. Panyda KANORAT	Lecturer, Savannakhet TTC
30	Mr. Vannakone KHAMSOUKTHAVONG	Lecturer, Savannakhet TTC
31	Ms. Phetsavanh LEUNGLID	Lecturer, Savannakhet TTC
32	Mr. Phengthanongsak PHAKDEEVICHIT	Lecturer, Savannakhet TTC
33	Ms. Daosadet SYTHONGBAY	Lecturer, Pakse TTC
34	Mr. Keoudone MAHATHONG	Lecturer, Pakse TTC
35	Ms. Vilayvanh MECCHONE	Lecturer, Pakse TTC
36	Ms. Kavone PHOUVANEKHAM	Lecturer, Pakse TTC

All ITSME Trainers

ITSME Trainers (1st Year)

as of 01/06/2013

	Name	Affiliation
1	Mr. Bouasy BOUNVATSANA	Officer, Teacher Training Unit, Kammouane PES
2	Mr. Douangmala PHOMMACHAN	Officer, Primary Unit, Kammouane PES
3	Mr. Sengaloun PHOTHILATH	Officer, Teacher Training Unit, Savannakhet PES
4	Mr. Kading PRAOUTHANE	Officer, Primary Unit, Savannakhet PES
5	Mr. Boun Om VENESOMPHEH	Officer, Teacher Training Unit, Champasak PES
6	Mr. Vongsakath PHILAVANH	Officer, Teacher Training Unit, Champasak PES
7	Mr. Lathsomphone XAYYASAN	Pedagogical Advisor, Thakhek DEB, Kammouane
8	Mr. Khankong SILISAK	Pedagogical Advisor, Himboun DEB, Kammouane
9	Mr. Soukan AKKHAVONG	Officer, Teacher Training Unit, Kayson DEB, Savannakhet
10	Mr. Nouthay XAYALINHXOUMPHOU	Pedagogical Advisor, Champhone DEB, Savannakhet
11	Mr. Khainxay MAIPHATALOUN	Pedagogical Advisor, Phalanxay DEB, Savannakhet
12	Mr. Jeng XAYTHAVONGSY	Pedagogical Advisor, Sanasomboun DEB, Champasak
13	Mr. Chanthavi LADAMOON	Pedagogical Advisor, Bachieng DEB, Champasak
14	Mr. Doumpheng INTILATH	Pedagogical Advisor, Paksong DEB, Champasak
15	Mr. Thongkhene KHAMSOUKTHAVONG	Lecturer, Savannakhet TTC
16	Mr. Insong LASASAN	Lecturer, Savannakhet TTC
17	Mr. Souksanh NOUANHAVONG	Lecturer, Savannakhet TTC
18	Ms. Douangsainone SITHICHACK	Lecturer, Savannakhet TTC
19	Mr. Sourichanh THAMMAVONGSENG	Lecturer, Pakse TTC
20	Ms. Souliya SINCINDA	Lecturer, Pakse TTC

Trainers who were changed places in the First Year

4	Mr. Vauxay XAYYAVONG	Officer, Primary Unit, Savannakhet PES
4	Ms. Somvilay OUPHAXAY	Officer, Primary Unit, Savannakhet PES

Trainers who were changed places in the Second Year (Number in Bold is newly recruited trainer)

11	Mr. Kongla HATSALASY	Pedagogical Advisor, Phalanxay DEB, Savannakhet
14	Mr. Phonexay PHABANDITH	Pedagogical Advisor, Paksong DEB, Champasak
18	Mr. Phimmason VORAYOUTH	Lecturer, Savannakhet TTC
21	Ms. Palinya KANORRATH	Lecturer, Savannakhet TTC
22	Mr. Khamla SENGLATHSAMY	Lecturer, Savannakhet TTC
23	Ms. Daosadet SYTHONGBAY	Lecturer, Pakse TTC
24	Mr. Keoudone MAHATHONG	Lecturer, Pakse TTC

Trainers who were changed places in the Third Year (Number in Bold is newly recruited trainer)

3	Mr. Khamphouvy VIENGDALA	Officer, Teacher Training Unit, Savannakhet PES
16	Ms. Inthanomh PHAVADY	Lecturer, Savannakhet TTC
21	Ms. Panyda KANORAT	Lecturer, Savannakhet TTC
19	Ms. Vilayvanh MECCHONE	Lecturer, Pakse TTC
20	Ms. Kavone PHOUVANEKHAM	Lecturer, Pakse TTC
25	Mr. Oudonphet KOMMASENG	Pedagogical Advisor, Kayson DEB, Savannakhet
25	Mr. Khamse SYKHONVONG	Pedagogical Advisor, Kayson DEB, Savannakhet
26	Ms. Keoviengkham CHANPHASOUK	Pedagogical Advisor, Thakhek DEB, Kammouane
27	Ms. Khampasong CHANTHANA	Pedagogical Advisor, Himboun DEB, Kammouane
28	Mr. Viengkhone PHANDONELAR	Pedagogical Advisor, Champhone DEB, Savannakhet
29	Mr. Khonesavan BUANKHAMPINGTHALE	Pedagogical Advisor, Phalanxay DEB, Savannakhet
30	Mr. Khamphanh DENGSYAVONG	Pedagogical Advisor, Sanasomboun DEB, Champasak
31	Mr. Phetsompou SYLAVONG	Pedagogical Advisor, Bachieng DEB, Champasak
32	Mr. Khamxay THAMMAVONG	Pedagogical Advisor, Paksong DEB, Champasak
33	Ms. Khanphaphone CHANTHAPHASAVAD	Lecturer, Savannakhet TTC
34	Ms. Tan KINGKUNYA	Lecturer, Savannakhet TTC
35	Mr. Vannakone KHAMSOUKTHAVONG	Lecturer, Savannakhet TTC
36	Mr. Vanhxay THAMMAVONG	Lecturer, Savannakhet TTC

Trainers who were changed places in the Third Year

8	Mr. Saykham ANOUVONG	Pedagogical Advisor, Himboun DEB, Kammouane
13	Mr. Oudone SILIVANGYEUN	Pedagogical Advisor, Bachieng DEB, Champasak
15	Mr. Phengthanongsak PHAKDEEVICHIT	Lecturer, Savannakhet TTC
17	Ms. Phetsavanh LEUNGLID	Lecturer, Savannakhet TTC

Remarks: Those in the shaded columns are the trainers who retired or left the Project for studying abroad or staff change
Those in the non-shaded columns are the trainers participating in the Project as of June 1 2013.

Annex 4-3. List of Equipment Provided by JICA

1) Equipment for the Project

Delivery	Description (Manufacture, Type)	Unit Price (USD)	Quantity	Total Price (USD)
March, 2010	Desktop Computer (HP, Compaq Presario CQ4170L)	780	7	5,460
March, 2010	Lao Script (Lao Script for Windows Version 7.21)	20	6	120
March, 2010	Office Soft (Microsoft, Office Standard 2007 English Version)	600	5	3,000
March, 2010	Virus Scan Soft (ESET, Smart Security 4 (2-year License))	95	5	475
March, 2010	Windows OS (Microsoft, Windows 7 Home Premium English Version)	250	5	1,250
March, 2010	UPS (APC Back Pro UPS 800i (800VA))	330	5	1,650
March, 2010	Inkjet Printer (HP, Office Jet 6500)	330	5	1,650
March, 2010	Photocopy Machine (Canon, ImageRUNNER iR2320L)	3,000	2	6,000
March, 2010	Vehicle (TOYOTA, Fortuner)	56,400	2	112,800
May, 2011	Laptop Computer (HP, Compaq Presario G42-392TX)	838	3	2,514
May, 2011	Lao Script (Lao Script for Windows Version 7.2)	27	3	81
May, 2011	Office Soft (Microsoft, Office Standard 2007 English Version)	400	3	1,200
May, 2011	Virus Scan Soft (ESET, Smart Security 4 (2-year License))	95	3	285
May, 2011	Windows OS (Microsoft, Windows 7 Home Premium English Version)	157	3	471
May, 2012	Vehicle (TOYOTA, Fortuner)	37,000	1	37,000
July, 2012	Photocopy Machine (Canon, ImageRUNNER iR2520)	2,185	6	13,110
Aug, 2012	Photocopy Machine (Canon, ImageRUNNER iR2520)	2,450	4	9,800
Total				196,866

2) Equipment for the Expert

Delivery	Description (Manufacture, Type)	Unit Price (USD)	Quantity	Total Price (USD)
March, 2010	Lao Script (Lao Script for Windows Version 7.21)	20	1	20
March, 2010	Office Soft (Microsoft, Office Standard 2007 English Version)	600	2	1,200
March, 2010	Virus Scan Soft (ESET, Smart Security 4 (2-year License))	95	2	190
March, 2010	Windows OS (Microsoft, Windows 7 Home Premium English Version)	250	2	500
March, 2010	UPS (APC Back Pro UPS 800i (800VA))	330	2	660
March, 2010	Laptop Computer (HP, Compaq Presario CQ40-704TU)	850	3	2,550
March, 2010	Lao Script (Lao Script for Windows Version 7.21)	20	3	60
March, 2010	Office Soft (Microsoft, Office Standard 2007 English Version)	600	3	1,800
March, 2010	Virus Scan Soft (ESET, Smart Security 4 (2-year License))	95	3	285
March, 2010	Windows OS (Microsoft, Windows 7 Home Premium English Version)	250	3	750
May, 2011	Printer (HP, LaserJet Pro P1606DN)	613	1	613
Total				8,628

Annex 4-4. Cost of the Operations in Laos

Cost of the Operations in Laos (By Japanese Side)

Project Year	Period	Amount (USD)	(JPY)	JICA Rate
First Year	March 2010 - December 2010	50,689	4,266,000	84.16 (Dec.2010)
Second Year	January 2011 - March 2012	80,542	6,482,000	80.48 (Mar. 2012)
Third Year	April 2012 - December 2012	80,758	6,631,000	82.11 (Dec. 2012)
Fourth Year	January 2013 - June 2013	61,962	6,260,000	101.03 (Jun. 2013)
Total		273,950		

Cost of the Operations in Laos (By Lao Side)

Project Year	Period	Lao Fiscal Year	Period	Amount (LAK)
First Year	March 2010 - December 2010	FY2010/2011	Oct 2010-Setp 2011	72,623,000
Second Year	January 2011 - March 2012		Oct 2011-Setp 2012	224,000,000
Third Year	April 2012 - December 2012	FY2012/2013	Oct 2012-May 2013	450,000,000
Fourth Year	January 2013 - June 2013			
Total				746,623,000

①

Annex 4-5. List of Target Schools

Number of Target Schools: 116 in total

Savannahket Province 37

12 Knysone District

6 Phonsavanh Cluster

- 1 Phonsavanh
- 2 Nonhinhae
- 3 Sonxay
- 4 Phonxay
- 5 Naxeng
- 6 Donxeng

6 Phonsim Cluster

- 1 Phonsim
- 2 That Ing Hang
- 3 Xong
- 4 Somsanth
- 5 Nakoy
- 6 Dongnakham

16 Champhone District

8 Kengkok Tai Cluster

- 1 Kengkok Tai
- 2 Kengkok Neua
- 3 Kengkok Dong
- 4 Dongnongkhoun
- 5 Dongkhammouen
- 6 Nonvilayvan
- 7 Houameung
- 8 Dongtalieng

8 Laodondeng Cluster

- 1 Laodondeng
- 2 Phonkhor
- 3 Taleo
- 4 Xiengxeum
- 5 Taleonoy
- 6 Tankon
- 7 Nakathang
- 8 Pakhon

9 Phalanxay District

3 Beungthale Cluster

- 1 Beungthale
- 2 Kalong
- 3 Nakankhok

6 Phoxay Cluster

- 1 Phoxay
- 2 Phalan Neua
- 3 Phalan Tai
- 4 KangJib
- 5 Napho
- 6 Naphovat

Kam mouane Province 38

19 Thakhek District

8 Nordiche Cluster

- 1 Nordiche
- 2 Pakbeng
- 3 Targam
- 4 Dongthai
- 5 Phonxay
- 6 Nonghang
- 7 Thadeun
- 8 Chomcheng

11 Ntatt Cluster

- 1 Nattat
- 2 Phongsavanh
- 3 Nakok
- 4 Namuane
- 5 Phongsoung
- 6 Nanyaway
- 7 Phongdueun
- 8 Doungduang
- 9 Phositha
- 10 Nageng
- 11 Banveune

19 Himboun District

7 Namdick Cluster

- 1 Namdick
- 2 Phangdeng
- 3 Bangmai
- 4 Thakheng
- 5 Nongbouanoy
- 6 Nanphou
- 7 Homepan

12 Phoungthai Cluster

- 1 Phoungthai
- 2 Himbounthai
- 3 Phokham
- 4 Himbounneua
- 5 Dongdue
- 6 Pakpkan
- 7 Hadnangdom
- 8 Phomuang
- 9 Thakhene
- 10 Nako
- 11 Phonkham
- 12 Tan-noy

Champasak Province 41

18 Sanasomboun District

9 Khampheng Cluster

- 1 Khampheng
- 2 Donxne
- 3 Xaelabam
- 4 Hoaxae
- 5 Nadan
- 6 Nonphai
- 7 Nakham
- 8 Souvannakhyly
- 9 Khamyad

9 Saphni Cluster

- 1 Saphai
- 2 Phonkeo
- 3 Nakhuang
- 4 Donphok
- 5 Sivilay
- 6 Banyong
- 7 Houayyang
- 8 Nason
- 9 Nonghoy

12 Pakson District

7 Vat Luang Cluster

- 1 Vat Luang
- 2 Luk 48
- 3 Nonbeungkeo
- 4 Banglieng
- 5 Luk 45
- 6 Phouoy
- 7 Paksong

5 Luk 35 Cluster

- 1 Luk 35
- 2 Luk 36
- 3 Luk 28
- 4 Luk 40
- 5 Luk 43

11 Bachieng District

6 Oudomsouk Cluster (7)

- 1 Oudomsouk
- 2 Nongsai
- 3 Bachieng
- 4 Xaylamphan
- 5 Chiengmysay
- 6 Nongkung

5 Khomsai Cluster

- 1 Khomsai
- 2 Phoxay
- 3 Thakhert
- 4 Chiengxay
- 5 Nongnumkha



Annex 4-6. List of Training Sessions conducted during the Project

ITSME Activities
1st Year

as of Jul 5, 2013

25/03/2010	1st Kickoff Meeting for MOE officials and Directors of PES and TTC (MOE) <Agenda, activities and accomplishment> - Grasp the outline of ITSME - Discuss on the selection criteria of the Project target Districts, Clusters and schools - Discuss on the preparatory activities for Baseline Survey
26/04/2010 - 30/04/2010	Baseline Survey (Target districts) <Agenda, activities and accomplishment> - Visit 20 target primary schools and observe 28 units of lessons - Conduct questionnaire and Math short test for 635 students and 24 teachers - Analyze the realities of students, teachers, and lesson practices - Identify the direction of ITSME based on the results
25/05/2010	2nd Kickoff Meeting for PES PAs, DEB PAs and TTC lecturers (Savannakhet TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Grasp the outline of ITSME - Analyze the results of Baseline Survey and identify the direction of ITSME - Consent of the roles and functions of ITSME trainers
1st and 2nd week in June	TNA (Training/Teacher Needs Assessment) (Target districts) <Agenda, activities and accomplishment> - Pick up difficult topics for the teachers - Interview classroom teachers
12/07/2010 - 16/07/2010 5/08/2010 - 7/08/2010 27/09/2010 - 30/09/2010	1st Preparation Workshop (Savannakhet TTC) 2nd Preparation Workshop (Savannakhet TTC) 3rd Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Grasp the outline of ITSME - Analyze the results of Baseline Survey and identify the direction of ITSME - Illustrate the image of a model lesson - Design the mechanism of teacher training program - Make model lesson plans for SBT in the first semester
09/08/2010 - 28/08/2010	TOT (Training of Trainers) for principals and ATs in the target schools (Target provinces) <Agenda, activities and accomplishment> - Grasp the outline of ITSME - Analyze the results of Baseline Survey and identify the direction of ITSME - Conduct demonstration lesson using the model lesson plans - Feedback based on the observation of the demonstration lessons - Report on the status of Cluster activities (supplemental survey of Baseline Survey)
01/11/2010 - 5/11/2010	4th Preparation Workshop (Kammouane PES) <Agenda, activities and accomplishment> - Check and compile the finished model lesson plans for the first semester - Make model lesson plans for SBT in the second semester
13/11/2010 - 21/11/2010	Training in Japan <Agenda, activities and accomplishment> - Study on Japanese schools, lessons, and textbooks - Observe 3 math and 1 science lessons in primary, 2 science lessons in junior high school - Discuss with board of education in Kawaguchi city - Observe teacher training programs
26/11/2010	1st Joint Coordinating Committee (MOE) <Agenda, activities and accomplishment> - Report on the progress of 1st year operation of ITSME - Report on Training in Japan - Discuss on the issues and concerns

2nd Year

11/02/2011	<p>ITSME Kickoff meeting for the 2nd year (MOE)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Establishment of ITSME Ideal Lesson - Make guideline "how to care the contents of textbooks in ITSME" - What is applicable training mechanism - Budgeting and financial support for ITSME activities
21/02/2011 - 26/02/2011	<p>1st Preparation Workshop (Kammouane PES)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Report of outcome on Kickoff Meeting - Discussion on tentative plan of CBT and SBT structure - ITSME ideal lesson - Setting of lesson objective and Evaluation Questions for Gr-3, 4, 5 - JICA Advisory Mission visits Workshop
14/03/2011 - 19/03/2011	<p>2nd Preparation Workshop (Kammouane PES)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - The quality of ITSME Lesson Plans - Lesson skeletal design - Lesson planning for Gr-3, 4, 5
23/05/2011 - 28/05/2011	<p>3rd Preparation Workshop (Savannakhet TTC)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Preliminary study on "Education in Japan" - Setup of clear lesson objectives and evaluation questions for new 7 materials - Preparatory activities for Training in Japan
05/06/2011 - 12/06/2011	<p>Training in Japan</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Japanese system on textbook editing, authorization, and publishing - School visits and lesson observations - Discussion with board of education at local level - other related facilities in social education
13/06/2011	<p>Debrief Meeting on Training in Japan for MOE (MOE)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Introduction of the activities in Japan - Presentation from each study group, DEB, PES, TTC - Discussion on how to apply the learning in Japan to Lao Education
26/06/2011 - 07/07/2011	<p>School Visit (all target provinces and districts)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Visit all 16 center schools of the clusters - Make interview with principals and ATs
08/08/2011 - 13/08/2011	<p>4th Preparation Workshop (Pakse TTC)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Review and confirmation of the feature of ITSME project - Feed-back from Training in Japan (all PES, DEB, TTC Directors are invited) - Brief report on the School visit in June - Preparation of TOT
29/08/2011 - 03/09/2011	<p>5th Preparation Workshop (Pakse TTC)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Preparation of the training materials for TOT in Champasak - Completion of 2 ITSME materials for TOT out of 7 materials
05/09/2011 - 13/09/2011	<p>TOT in Champasak Province (Sanasonboun, Bachieng, Paksong DEB)</p> <p><Agenda, activities and accomplishment></p> <ul style="list-style-type: none"> - Sanasonboun TOT on 05, 06/09/2011 - Bachieng TOT on 08, 09/09/2011 - Paksong TOT on 12, 13/09/2011 - Study on ITSME and materials for IS to plan school activities - Feedback and improvement for each TOT

Q

2nd Year (cont.)

14/09/2011 - 17/09/2011	6th Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Feedback of Champasak TOT - Revision of TOT materials according to the result and feedback of Champasak Team
27/10/2011 - 29/10/2011	7th Preparation Workshop (Savannakhet TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Preparation of the training materials for TOT in Savannakhet and Kammuane - Practice of the presentations
31/10/2011 - 09/11/2011	TOT in Savannakhet Province (Kayson, Champhone, Phalanxay DEB) <Agenda, activities and accomplishment> - Champhone TOT on 31/10 and 01/11/2011 - Phalanxay TOT on 03, 04/11/2011 - Kayson TOT on 07, 08/11/2011 - Study on ITSME and materials for IS to plan school activities - Feedback and improvement for each TOT
10/11/2011 - 15/11/2011	TOT in Kammuane Province (Thakhek, Himboun DEB) <Agenda, activities and accomplishment> - Thakhek TOT on 11, 12/11/2011 - Himboun TOT on 14, 15/11/2011 - Study on ITSME and materials for IS to plan school activities - Feedback and improvement for each TOT
16/11/2011 - 19/11/2011	8th Preparation Workshop (Kammouane PES) <Agenda, activities and accomplishment> - Feedback of Savannakhet and Kammuane TOT - Editing of ITSME manual according to the experiences of TOT
19/12/2011 - 24/12/2011	9th Preparation Workshop (Savannakhet TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Finalization of 5 materials for out of 7 - Editing of ITSME manual
13/02/2012 - 18/02/2012	10th Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Progress report on the 2nd year activities - Completion of 4 materials out of seven 7 - Completion of ITSME manual
26/02/2012 - 14/03/2012	Joint Mid-term Review Mission on ITSME <Agenda, activities and accomplishment> - Visit of educational offices and interview with the person involved - Discussion with counterpart organization - Report and discussion on Joint Coordinating Committee - Comments and suggestions for the planning of future activities
13/03/2012	Joint Coordinating Committee (MOE) <Agenda, activities and accomplishment> - ITSME Progress Report - Joint Mid-term Review Report on ITSME - Discussion on Modification of Project Design - Signing Ceremony on the Minute

3rd Year

18/06/2012 - 22/06/2012	1st Preparation Workshop (Savannakhet TTC) ITSME Kickoff meeting for the 3rd year <Agenda, activities and accomplishment> - ITSME progress report and activity plan - Role and function of each level of implementer - Discussion on Monitoring system and the forms - Pre-Tests in Math and Science - Lesson planning
02/07/2012 - 06/07/2012	2nd Preparation Workshop (Kammouane PES) <Agenda, activities and accomplishment> - Discussion on how to conduct TOT - Revision of LP in each group - Preparation for TOT in September
27/08/2012 - 31/08/2012	3rd Preparation Workshop (Kammouane PES) <Agenda, activities and accomplishment> - Confirmation of the monitoring forms - Confirmation of TOT schedule of each province - Practice of the presentation for TOT
10/09/2012 - 14/09/2012	1st Training of Trainers (8 target districts) <Agenda, activities and accomplishment> - Session on the science material for IS "Heat Transfer" - Session on the mathematics material for IS "Symmetry" - Feedback session and IS planning - Questionnaire
17/09/2012 - 21/09/2012	4th Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Feedback from each province - Making a plan for monitoring IS - Post-test and its
29/10/2012 - 02/11/2012	5th Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Confirmation of TOT activities - Planning of TOT for each province - Making the presentation plan of the LPs by subject groups - Preparation for TOT
12/11/2012 - 16/11/2012	2nd Training of Trainers (8 target districts) <Agenda, activities and accomplishment> - Session on "How ITSME makes lesson plans" - Session on the mathematics material for IS "Direct Proportion" - Session on the science material for IS "Cause of Sight" - Use of Monitoring Forms - Questionnaire
26/11/2012 - 30/11/2012	6th Preparation Workshop (Savannakhet TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Feedback from each province on the 2nd TOT - Information on the Endline survey - Making the Lesson Design Sheet for the newly selected topics - Discussion on the contents of the presentation for JCC
05/12/2012	Joint Coordinating Committee <Agenda, activities and accomplishment> - ITSME Progress Report - Introduction of "How ITSME makes lesson plans" - ITSME 4th year and the future plan - Inviting questions and comments

4th Year

18/02/2013 - 22/2/2013	1st Preparation Workshop (Savannakhet TTC) ITSME Kickoff meeting for the 4th year <Agenda, activities and accomplishment> - Pre-test on the topics for science and math lesson plans - ITSME progress report and future plan; Making agreement among the target districts. - Role and function of each level of implementer - Consideration on the budgetary arrangement for ITSME activities - Confirmation of the process of Endline Survey - Preparation of the materials and tools for Endline Survey - Lesson planning - Participation of the guests from Plan International (Bokeo Province)
25/03/2013 - 07/03/2013	ITSME Endline Survey (Target districts) <Agenda, activities and accomplishment> - Visit 32 target primary schools and observe 32 units of math lessons - Conduct questionnaire and Math short test for 853 students and 32 teachers - Analyze the difference of students, teachers, and lesson practices from the result of baseline - Identify the teachers' practices and findings on IS activities and ITSME materials
11/03/2013 - 15/3/2013	2nd Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Reporting of findings and analysis on the results of Endline Survey by the trainers - Lesson planning
20/05/2013 - 22/05/2013	Monitoring ITSME target schools in Thakhek and Himboun districts with the representatives from DPPE, RIES and ESQAC <Agenda, activities and accomplishment> - Visiting the target schools (Chomcheng in Thakhek and Himbounthai in Himboun) - Interview with PES Head in Kammmouane Province - Discussion on the future utilization of ITSME idea for each department
27/05/2013 - 31/05/2013	3rd Preparation Workshop (Kammouane PES) <Agenda, activities and accomplishment> - Reporting of findings and analysis on the results of Endline Survey by Japanese experts - Special session for the representatives from 6 non-target TTCs - Lesson planning
17/06/2013 - 21/06/2013	4th Preparation Workshop (Pakse TTC) <Agenda, activities and accomplishment> - Collection of form E and F - Answering to the questionnaire given by ITSME Final Evaluation Mission/Japanese Experts - Finalization of 2 lesson plans which will be introduced at TOT - Planning of TOT for each province - Making the presentation plan of the LPs by subject groups - Preparation of TOT materials
24/06/2013 - 28/06/2013	TOT in three target provinces <Agenda, activities and accomplishment> - Thakhek TOT on 26/06/2013 - Himboun TOT on 27/06/2013 - Kaysone TOT on 26/06/2013 - Champhone TOT on 25/06/2013 - Phalaixay TOT on 27/06/2013 - Sanasonboun TOT on 25/06/2013 - Bachieng TOT on 26/06/2013 - Paksong TOT on 27/06/2013 - Introduction of ITSME manual ver.2, introduction of two ITSME materials, sharing of IS experiences
01/07/2013 - 05/07/2013	5th Preparation Workshop (Kammouane PES) <Agenda, activities and accomplishment> - Feedback and sharing of TOT experiences and get insights for the future TOT - Post-test on the topics for science and math lesson plans - Finalization of remaining 14 ITSME materials - Making preparation for EQS training - Getting the observation and Interview for Terminal Evaluation

Annex 4-7. List of Participants of Training in Japan

List of Participants of Training in Japan

1) Participants of Manager's Training

No	Name of Counterpart	Training Period		Position as of Training Time
1	Ms. Varadune AMARATHITHADA	15-11-2010	20-11-2010	Deputy Director, DTE
2	Mr. Khamphoune TOUPHAYTHOUNE	16-11-2010	20-11-2010	Director, Savannakhet PES
3	Mr. Syhay KEOKHAYTHIN	15-11-2010	20-11-2010	Director, Khammouane PES
4	Ms. Khamkhanh SOULIGNADETH	15-11-2010	20-11-2010	Deputy Director, DPPE
5	Mr. Onekeo NUANNAVVONG	16-11-2010	20-11-2010	Deputy Director, RISE
6	Mr. Kung SAYASANE	15-11-2010	20-11-2010	Director, Savannakhet TTC
7	Mr. Khamphiane MEKCHONE	15-11-2010	20-11-2010	Director, Pakse TTC
8	Mr. Sy PHANTHAVONG	16-11-2010	20-11-2010	Deputy Director, Champasak PES
9	Mr. Maiboun PHANITH	15-11-2010	20-11-2010	Head, Administration Division, DTE
10	Mr. Simoungkhoun VONGCHAMPA	15-11-2010	20-11-2010	Technical Staff, DTE

2) Participants of Trainer's Training

No	Name of Counterpart	Training Period		Position as of Training Time
1	Mr. Bouasy BOUNVATSANA	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Teacher Training Unit, Kammouane PES
2	Mr. Douangmala PHOMMACHAN	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Primary Unit, Kammouane PES
3	Mr. Sengaloun PHOTHILATH	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Primary Unit, Savannakhet PES
4	Ms. Somvilay OUPHAXAY	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Primary Unit, Savannakhet PES
5	Mr. Boun Om VENESOMPHE	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Teacher Training Unit, Champasak PES
6	Mr. Vongsakath PHILAVANH	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Teacher Training Unit, Champasak PES
7	Mr. Lathsomphone XAYYASAN	6-6-2011	11-6-2011	PA, Thakhek DEB, Kammouane
8	Mr. Khamkong SILISAK	6-6-2011	11-6-2011	PA, Himboun DEB, Kammouane
9	Mr. Soukan AKKHAVONG	6-6-2011	11-6-2011	Officer, Teacher Training Unit, Kayson DEB, Savannakhet
10	Mr. Nouthay XAYALINHXOUMPHOU	6-6-2011	11-6-2011	PA, Champhone DEB, Savannakhet
11	Mr. Kongla HATSALASY	6-6-2011	11-6-2011	PA, Phalanxay DEB, Savannakhet
12	Mr. Ieng XAYTHAVONGSY	6-6-2011	11-6-2011	PA, Sanasomboun DEB, Champasak
13	Mr. Chanthavi LADAMOON	6-6-2011	11-6-2011	PA, Bachieng DEB, Champasak
14	Mr. Phonexay PHABANDITH	6-6-2011	11-6-2011	PA, Paksong DEB, Champasak
15	Mr. Thongkhene KHAMSOUKTHAVONG	6-6-2011	11-6-2011	Lecturer, Savannakhet TTC
16	Mr. Insong LASASAN	6-6-2011	11-6-2011	Lecturer, Savannakhet TTC
17	Mr. Phimmason VORA YOUTH	6-6-2011	11-6-2011	Lecturer, Savannakhet TTC
18	Mr. Souksanh NOUANTHAVONG	6-6-2011	11-6-2011	Lecturer, Savannakhet TTC
19	Mr. Sourichanh THAMMAVONGSENG	6-6-2011	11-6-2011	Lecturer, Pakse TTC
20	Ms. Souliya SINCHINDA	6-6-2011	11-6-2011	Lecturer, Pakse TTC

Annex 5. List of Materials Developed by the Project

Main materials developed by the Project are as follows;

- 1 ITSME Lesson Preparation Manual
- 2 ITSME Manual Version 2
- 3 Model Lesson Plans
- 4 Reference Materials for ITSME Trainers
- 5 Reference Materials for ITSME Teachers

Annex 6. List of Interviewees

The interviews between the Lao authorities and the Terminal Evaluation Team were held in Vientiane, Khammouane, Savannakhet, and Champasak. The major interviewees are listed below:

Lao side:

MOES

Mr. Chandy PHOMMABOUTH	Director General, DTE
Ms. Varadune AMARATHITHADA	Deputy Director General, DTE
Mr. Simoungkhoun VONGCHAMPA	Technical Staff, DTE
Mr. Khune XAYSANAVONGXAY	Deputy Director General, DPPE
Mr. Keoudone VONGSAVANGTHONG	Technical Staff, DPPE
Mr. Panya CHANTHAVONG	Deputy Director, ESQAC
Mr. Davee VUEWASOUA	Deputy Head, General Education Assurance Section, ESQAC
Mr. Pheng XIONG	Technical Staff, ESQAC
Mr. Phonechanh KHAMBOUNPHANH	Director, Science and Mathematics, RISE
Mr. Thongkhao SENGSOULICHANH	Head of Mathematics Division, RISE

Khammouane Province

Mr. Syhay KEOKAITHIN	Director, Khammouane PESS
Ms. Bounkham KEOVIPHONE	Director, Thakhek DESB
Mr. Sawat FAYMASAN	Director, Himboun DESB
Ms. Khampasong CHANTHANA	PA, Himboun DESB (ITSME Trainer)
Mr. Saykham ANOUVONG	PA, Himboun DESB (ITSME Trainer)
Ms. Viluck SOUDTICHACK	Principal, Chomcheng Primary School
Mr. Douangsoupan VATANA	Principal, Phongsoung Primary School
Ms. Patthana KHENPHAN	Principal, Himbounthai Primary School
Mr. Sivixay INTIPAB	Principal, Nandick Primary School

Savannakhet Province

Ms. Lingthong SENGTAIVANH	Deputy Director, Savannakhet PESS
Ms. Somvilay OUPHAXAY	Technical Staff, Savannakhet PESS (ITSME Trainer)
Mr. Kung SAYASANE	Director, Savannakhet TTC



Mr. Phomma PHIMVONGSA	Director, Kaysone DESB
Mr. Soukan AKKHAVONG	PA, Kaysone DESB (ITSME Trainer)
Mr. Khampheua PHAXAYAPHET	Director, Champhone DESB
Mr. Nouthay XAYALINHXOUMPHOU	PA, Champhone DESB (ITSME Trainer)
Mr. Viengkhone PHANDONELAR	PA, Champhone DESB (ITSME Trainer)
Mr. Bounlouane CHOMVISETH	Principal, Phonsavanh Primary School
Ms. Chanthi MONIVETH	Principal, kengkok-Tai Primary School

Champasak Province

Ms. Sengsouvanh SOUPHASITH	Deputy Director, Champasak PESS
Mr. Bounom VANSOMBATH	Head, DTE unit, Champasak PESS
Mr. Khamphiane MEKCHONE	Director, Pakse TTC
Mr. Bounpheng SINOUSITH	Deputy Director, Pakse TTC
Mr. Phitsahay KHAMVONGSA	Director, Sanasonboun DESB
Mr. Khanphanh DENGSYAVONG	PA, Sanasonboun DESB (ITSME Trainer)
Mr. Bounsy CHITPHOMAN	Director, Bachieng DESB
Mr. Chanthavy HADAMOUN	PA, Bachieng DESB (ITSME Trainer)
Mr. Sourichanh THAMMAVONGSENG	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Mr. Phone PHOUVANNO	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Mr. Keoudone MAHATHONG	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Ms. Daosadet SYTHONGBAY	Lecturer, Pakse TTC (ITSME Trainer)
Mr. Khammon SIBOUNHIENG	Principal, Saphai Primary School
Ms. Bouakhai SAYKHAM SIN	Principal, Oudomsouck Primary School

Focus Group Interview

In addition, the Terminal Evaluation Team conducted focus group interviews with the ITSME trainers who participated in the W/S on July 3, 2013 in Khammouane Province

Japanese Side:

Mr. Yoshihisa HARA	Chief Advisor, ITSME Project
Mr. Kan MOTOYAMA	Expert, ITSME Project
Mr. Isamu HAMADA	Expert, ITSME Project
Mr. Etsutaro TANAKA	Expert, ITSME Project

(a)

評価グリッド
1. 実績の確認

調査項目		質問内容			
大項目	PDM2の指標				
上位目標 対象県の 授業の質 が向上す る。	1. 対象県 の教員の 授業実践 の質が改 善する。	1) 上位目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> この上位目標は、プロジェクトにより改善された対象校の教員の授業実践・授業案の質を対象外の教員にも広げていくことで達成される。したがって、現時点ではプロジェクトの直接のインパクトにより、上記指標が大きく改善する時期ではないが、以下の上位目標の発現が既に確認されている。 終了時評価のインタビュー調査で、幾つかのDESBから、私立学校を含め対象外の学校のなかには既にプロジェクトのモデル授業案を実際に授業のなかに取り入れ実践している学校があると報告があった。モデル授業案は、質を担保するための①明確な授業目標、②生徒活動、③授業の評価設問、の設定により構成されているため、モデル授業案を取り入れた学校では授業の質がいくらか向上していることが予想される。 		
		2) 上位目標に向かうインパクト	<ul style="list-style-type: none"> 上位目標達成に有効なプロジェクト由来のインパクトが以下のように確認されていることから、上位目標は達成の道筋にあると考えられる。 プロジェクトの実施により、ISの活用と活性化が授業の質の改善に効果的であったことが明らかになった。 「ラオス側により対象県のすべての学校でISが行われる」という外部条件を満たすための手段が講じられれば、上位目標の達成見込みが高まることが予想される。 		
	2. 対象県 の教員の 授業案の 質が改善 する。	プロジェクトによる1次的なインパクト		プロジェクトとの因果関係	期待される2次的なインパクト
		1) 対象3県のPESSは、プロジェクトの活動を次期2013/2014学校年度に対象外の2郡へ拡大する計画（人材・予算計画含む）を立てている。	<ul style="list-style-type: none"> 対象3県のPESSは、プロジェクトの活動を次期2013/2014学校年度に対象外の2郡へ拡大する計画（人材・予算計画含む）を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ITSMEトレーナーがPESS局長に授業改善に対するモデル授業案の効果を説明し、対象外の地域への拡大を働きかけた。 PESS局長がプロジェクト活動への参加を通じてモデル授業案の効果を実感しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大先の2郡において、教員の授業実践・授業案の質が改善される。
		2) 対象PESSのなかには、モデル授業案の作り方やコンセプトなどを既に対象外の郡へ紹介したところがある。	<ul style="list-style-type: none"> 対象PESSのなかには、モデル授業案の作り方やコンセプトなどを既に対象外の郡へ紹介したところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上 モデル授業案の効果を実感したITSMEトレーナー自身が、他の郡へも紹介したいと思い紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
		3) 全8DESBは、プロジェクトの活動を次期2013/2014学校年度に対象外のクラスターへ拡大する計画（人材・予算計画含む）を立てている。	<ul style="list-style-type: none"> 全8DESBは、プロジェクトの活動を次期2013/2014学校年度に対象外のクラスターへ拡大する計画（人材・予算計画含む）を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ITSMEトレーナーがDESB局長に授業改善に対するモデル授業案の効果を説明し、対象外の地域への拡大を働きかけた。 DESB局長がプロジェクト活動への参加を通じてモデル授業案の効果を実感しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大先のクラスターにおいて、教員の授業実践・授業案の質が改善される。
		4) 対象DESBのなかには、モデル授業案の作り方やコンセプトなどを既に対象外のクラスターへ紹介したところがある。対象DESBのなかには、ITSMEトレーナー以外の職員にもToTを受講させ、ISやモデル授業案の内容やコンセプトを共有し、組織全体としてモデル授業案を使った授業改善を支援できる体制を整えているところがあった。	<ul style="list-style-type: none"> 対象DESBのなかには、モデル授業案の作り方やコンセプトなどを既に対象外のクラスターへ紹介したところがある。 対象DESBのなかには、ITSMEトレーナー以外の職員にもToTを受講させ、ISやモデル授業案の内容やコンセプトを共有し、組織全体としてモデル授業案を使った授業改善を支援できる体制を整えているところがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上 モデル授業案の効果を実感したITSMEトレーナー自身が、組織内の他の職員や、他のクラスターへも紹介したいと思い紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上 ISやモデル授業案を作成、指導できる人材が増えることで、より多くの学校においてモデル授業案が紹介される。
		5) 対象校のなかには、MOESの質基準に従って選ばれたモデル学校になっているところがあり、これらモデル学校がクラスター内の他の学校へ同校の授業の様子などを紹介した。	<ul style="list-style-type: none"> 対象校のなかには、MOESの質基準に従って選ばれたモデル学校になっているところがあり、これらモデル学校がクラスター内の他の学校へ同校の授業の様子などを紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象校の校長やATがToTを通じてモデル授業案の効果を実感し、同じクラスター内の他校へ授業の様子などを紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスターの枠組みを使って、学校同士で協力しながら授業実践・授業案の質が継続的に改善される。
6) DTEが、ITSMEトレーナーやモデル授業案などの教材を既存のEQS研修の実施やPAガイドラインの改訂に活用しはじめている。	<ul style="list-style-type: none"> DTEが、ITSMEトレーナーやモデル授業案などの教材を既存のEQS研修の実施やPAガイドラインの改訂に活用しはじめている。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトからの働きかけもあり、DTE局長・副局長や関連部局がプロジェクトの活動への参加を通してIS活動やモデル授業案の効果を認識し始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象外の県の学校やDESBにも、IS活動やモデル授業案の使い方、コンセプトが広がる。 		

		<p>7) DTEが、プロフェッショナルネットワークの役割を強化するためのワークショップを2013年9月に開催予定である。</p> <p>8) モデル授業案が、対象TTC（教員養成カリキュラム）において、算数や理科、指導法に関する授業のなかで用いられている。</p> <p>9) 学校側がモデル授業案にならって自主的にラオス語の授業案を作成した。学校によっては1～5学年までのラオス語の全単元の授業案を作成した学校もある。</p> <p>10) 終了時評価のインタビュー調査対象の幾つかの学校とDESBから、プロジェクト実施後、①中退率が減少した、②学年末試験の成績が向上した（特に理科と算数）との報告があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの活動を通して、DTE局長・副局長がプロフェッショナルネットワーク強化の必要性を感じた。 TTC学長や、ITSMEトレーナーがモデル授業案の効果を実感し、授業に取り入れた。 モデル授業案の良さを認識した校長、AT、教員らがIS活動の機会を通じて、ラオス語のモデル授業案を作成した。 モデル授業案を使った授業は、目標が明確であったり、学習教材や生徒活動が工夫されていて生徒が楽しく学習できるため、中退率の減少につながったと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナルネットワークの機能が再認識され強化されることで、TTC、PESS、DESBの協働やIS支援が行いやすくなる。 新規教員養成カリキュラムを通じてモデル授業案が未来の教員たちに普及される。 ラオス語の授業の質が改善される。 中退率の減少という重要な教育課題に貢献する。 左記①と②のデータを収集、活用することで、他県へプロジェクト活動を紹介するための根拠になる。 								
<p>出所：プロジェクトチーム、「DESB、PESS拡大計画」（専門家作成資料）、終了時評価のインタビュー調査</p>												
<p>3) 事後評価における上位目標の評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 上位目標の達成度を測る指標として、PDM ver.2では「指標1：対象県の教員の授業実践の質が改善する」「指標2：対象県の教員の授業案の質が改善する」が設定されている。 指標の目標値（目標とする状況）は必ずしも明確ではない。したがって、今後事後評価で上位目標の達成度を評価する際には、次の点を考慮することが示唆される。 面的な達成度に関しては、目標値（目標とする状況）は、ラオス側（DTE、PESS、DESB）の拡大計画を参考にすること。拡大計画に照らして、面的な達成度を測ることが推奨される。 質的な達成度に関しては、「4-1-4プロジェクト目標の達成状況」で述べた、指標の「目標とする状況」と、その評価根拠を参考に達成度を測ることが推奨される。 												
<p>プロジェクト目標対象小学校における理数科の授業の質が改善される。</p>	<p>1. 対象校の教員の授業実践の質が改善する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象校の教員は、モデル授業案にならった授業案を用いることで、①明確な授業目標の設定、②適切な流れの生徒活動の実施、③学習内容のまとめと評価活動、をおおむね行えるようになりつつあり（下表参照）、したがって授業実践の質のなかでも授業構築技術がとりわけ改善したことが認められた（エンドライン調査における対象32校の授業観察結果と終了時評価調査における8校でのインタビュー調査結果による）。 IS活動は教員に、生徒にとって楽しく分かりやすい授業や授業案を見せる機会を与え、モデル授業に沿って授業を行う動機を与えた（終了時評価での質問票調査とインタビュー調査結果による）。 他方、教員の授業実践での指導内容（教科知識）は、これまで同様に教科書をコピーすることにとどまっている。今後は、習得した授業構築技術を用いて、教科書の内容を吟味し、生徒の実態に合わせて正しい教科知識を教えられるようになることが更なる課題である。 										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="470 1161 907 1193">ベースライン</th> <th data-bbox="907 1161 1131 1193">目標とする状況</th> <th data-bbox="1131 1161 1713 1193">現在までの達成状況</th> <th data-bbox="1713 1161 2016 1193">今後の課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="470 1193 907 1375"> <p>ベースライン調査で観察した授業実態：教育・スポーツ省の指導に従い、教科書の内容をそのまま生徒に読み聞かせることが授業であると考え、そのとおり実践していた。生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を行っている様子は認められなかった。</p> </td> <td data-bbox="907 1193 1131 1375"> <p>対象校の教員がモデル授業案を使って「子どもにとって分かりやすく楽しい授業」を実践できる。</p> </td> <td data-bbox="1131 1193 1713 1375"> <ul style="list-style-type: none"> 対象校の教員たちは、IS活動のなかでモデル授業案について自分たちの生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を施して改善し、これを授業で活用することを通して、生徒が主体的に学習に参加し、理解が深まるという効果を感じている。 ベースラインの状況と比べると、対象校の教員たちはモデル授業案を使って、より「子どもにとって分かり </td> <td data-bbox="1713 1193 2016 1375"> <p>対象校の教員たちが更に教科内容に関する知識を深め、習得された授業構築力を用いて正しい教科知識を教えられるようになることが課題である。</p> </td> </tr> </tbody> </table>					ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況	今後の課題	<p>ベースライン調査で観察した授業実態：教育・スポーツ省の指導に従い、教科書の内容をそのまま生徒に読み聞かせることが授業であると考え、そのとおり実践していた。生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を行っている様子は認められなかった。</p>	<p>対象校の教員がモデル授業案を使って「子どもにとって分かりやすく楽しい授業」を実践できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象校の教員たちは、IS活動のなかでモデル授業案について自分たちの生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を施して改善し、これを授業で活用することを通して、生徒が主体的に学習に参加し、理解が深まるという効果を感じている。 ベースラインの状況と比べると、対象校の教員たちはモデル授業案を使って、より「子どもにとって分かり 	<p>対象校の教員たちが更に教科内容に関する知識を深め、習得された授業構築力を用いて正しい教科知識を教えられるようになることが課題である。</p>
ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況	今後の課題									
<p>ベースライン調査で観察した授業実態：教育・スポーツ省の指導に従い、教科書の内容をそのまま生徒に読み聞かせることが授業であると考え、そのとおり実践していた。生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を行っている様子は認められなかった。</p>	<p>対象校の教員がモデル授業案を使って「子どもにとって分かりやすく楽しい授業」を実践できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象校の教員たちは、IS活動のなかでモデル授業案について自分たちの生徒の実態や学習環境に合わせた工夫を施して改善し、これを授業で活用することを通して、生徒が主体的に学習に参加し、理解が深まるという効果を感じている。 ベースラインの状況と比べると、対象校の教員たちはモデル授業案を使って、より「子どもにとって分かり 	<p>対象校の教員たちが更に教科内容に関する知識を深め、習得された授業構築力を用いて正しい教科知識を教えられるようになることが課題である。</p>									

				<p>やすく楽しい授業」を実践できるようになりつつある。終了時評価におけるインタビュー調査で報告された状況は以下のとおり。</p> <p>(1) 対象校の教員の多くが、モデル授業案にならった授業案を準備し、必要に応じてこれを参照しながら授業を行うことで、①明確な授業目標を設定し、②生徒活動に対する明確なインストラクションを与え、③授業のまとめや生徒活動に沿った評価活動を行えるようになってきた。</p> <p>(2) 対象校の生徒はプロジェクトの開始前と比べ、生徒活動により積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり、議論に参加するようになった。</p> <p>(3) 対象校の生徒は、プロジェクトの開始前と比べ、授業をよく理解するようになった。対象校によっては、学年末試験の算数と理科の点数がプロジェクト開始前と比較して上がったところがあり、プロジェクトによる影響と考えられる。</p>	
<p>出所：プロジェクトチーム、ベースライン調査報告書、エンドライン調査報告書、終了時評価におけるインタビュー調査</p>					
<p>2. 対象校の教員の授業案の質が改善する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト専門家とトレーナーによる授業案の質の分析結果によると、対象校の教員の作成した授業案（サンプル授業案数：26）は、①明確な授業目標の設定、②適切な流れの生徒活動の配置、③学習内容のまとめと評価設問の設定、がなされており、とりわけ①について質が改善したことが分かった。 ベースライン時点の状況から考えると、授業案の質は大きく改善した。 一方、教科書に誤った、あるいは不適切な生徒活動があってもそれを直すことまではできていない。 2013年6月以降に配布するITSME研修教材には、日本人専門家が作成した対象単元の内容に関する教員向けの参考資料が収められており、今後これを活用することで内容面での質の高まりが期待される。 正しい教科知識に沿って、上述の②と③をより適切に組み立てられるようになることが教員にとっての今後の更なる課題である。 				
	<p style="text-align: center;">ベースライン</p> <p>ベースライン調査で確認された学習活動案の実態：教育・スポーツ省の指導に従い、教科書の内容をそのままノートにコピーしたものを学習活動案と呼んでいた。このため、教室には手書きのノートよりも読みやすい教科書を持って行って授業を行い、自身の活動案は、校長に提出したり、指導主事訪問の際にチェックを受けたりするために作成するという意識が強かった。</p>	<p style="text-align: center;">目標とする状況</p> <p>教員たちはモデル授業案にならって自身の授業案を作成することができる。</p>		<p style="text-align: center;">現在までの達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校の教員は、主に IS 活動を通じてモデル授業案の良さを認め、モデル授業案にならって自身の授業案を作成している。 授業案の書き換え作業を行ううえで、生徒が教員の発問にどのように反応するかを予想する必要があるため、教員は生徒の既習事項を確認したり、授業過程を工夫することを始めている。 エンドライン調査において訪問した 32 校から収集した学習活動案のうち 26 案を、プロジェクト開始前と後に分けて ITSME トレーナーと日本人専門家が学習活動案評価票に従って比較した結果、プロジェクト開始後に作成された活動案は、特に①授業で生徒が何を学ぶのか（授業目標）が明確になり、②これを生徒がどのように達成するか（授業過程）が適切に組み立てられ、更に③この達成をどのように確認するか（評価設問）が適切に準備されているなど、授業の意図がより明確な学習活動案となっていることが確認できた。 一方、教科書に誤った、あるいは不適切な生徒活動があってもそれを直すことまではできていない。 	<p style="text-align: center;">今後の課題</p> <p>正しい教科知識に沿って②と③をより適切に組み立てられるようになることが教員にとっての更なる課題である。</p>
<p>出所：プロジェクトチーム、トレーナーによる新旧学習活動案の比較（専門家作成資料）、専門家による新旧学習活動案の比較（専門家作成資料）、終了時評価のインタビュー</p>					

<p>アウトプット1 授業改善のための仕組みが強化される。</p>	<p>1-1. 対象県においてIS活動支援に資するプロフェッショナルネットワークを構築するための、TTCとPESS間で合意された公式文書</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2013年2月18日、第4年次キックオフミーティングにおいてチャンディDTE局長が対象のPESS局長、DESB局長、TTC学長と意見交換を行い、ITSME活動の実施と継続に関する体制構築と予算措置について合意した。 この議事録を「ITSME将来計画と実施戦略」(ITSME Future Plan and Implementation Strategy)としてまとめ、さらに具体的な活動計画書である「ITSME活動の継続に関する実施計画」(Implementation Plan on the continuation of ITSME activities)を添付して、2013年4月1日にチャンディDTE局長が署名し、対象のPESS、DESB、TTCと合意するとともに2013年5月の教材作成ワークショップにおいて対象の県・郡に配布した。 この将来計画のなかには、DTE、PESS、DESB、TTCのIS活動支援に関する機能と役割(プロフェッショナルネットワークに相当する機能を含む)が明記されており、対象県でプロフェッショナルネットワークを構築するための公式文書としては十分である。 他方、現場のPESS、DESB、TTCからは、今後、対象地域外へ活動を拡大していくにあたり、更に上の省レベルでの命令文書などがあると活動がしやすいとの要望があった(終了時評価のインタビュー調査による)。 						
<p>1-2. 対象県において仕組みを機能させるために承認された教育・スポーツ省予算</p>	<p>1-2. 対象県において</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象県でIS活動を通じた授業の質改善の仕組みを機能させるための予算として、中央レベルではDTE予算合計7億4,662万3,000LAKが、第1年次の2010年10月から(注)第4年次の2013年5月までのプロジェクト活動費(主に教材作成ワークショップにかかる経費)として支出された(Annex4-4参照)。 注:ラオスの会計年度は10月から始まるため、RD署名(2009年11月19日)時点で既に年度が始まっていた第1年次開始後の2010年3~9月までの予算をラオス側が負担することが難しいことから、ラオス側は2010年10月から予算を負担することとM/Mで定められている。 プロジェクト期間を通して経費負担がなされたものの、2013年5月時点で第4年次分の予算を消化しきっており、2013年6月以降の予算のめどは立っていない。 地方レベルでは、一部のPESSとDESBがToTにかかる経費を負担した。さらに、基本的に学校モニタリングはPESSとDESBの通常予算で行われたほか、すべての対象校が学校補助金などを活用することで学校におけるIS活動の費用を負担した。 						
<p>1-3. プロジェクトで開発したモデル授業案の対象校における活用状況</p>	<p>1-3. プロジェクトで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ベースラインと比較して、すべての対象校がIS活動においてプロジェクトにより開発されたモデル授業案を活用した。 下表に示すとおり、校長・ATによるモデル授業案を用いた授業案作成のポイントの解説やデモレクソン(ToTの内容の伝達講習)、生徒の実態に合わせて書き換えたモデル授業案を用いた教員による授業実践など、モデル授業案は対象校の校長の意図や教員の課題・関心に合わせて有効に活用された。 <table border="1" data-bbox="488 858 2024 1152"> <thead> <tr> <th data-bbox="488 858 817 890">ベースライン</th> <th data-bbox="817 858 1205 890">目標とする状況</th> <th data-bbox="1205 858 2024 890">現在までの達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="488 890 817 1152"> <p>学校のなかには従来の授業案を用いてIS活動を行っているところがある。</p> </td> <td data-bbox="817 890 1205 1152"> <p>すべての対象校が、プロジェクトが開発したモデル授業案を使ってIS活動を行っている。</p> </td> <td data-bbox="1205 890 2024 1152"> <p>ToTでモデル授業案が対象校に紹介されたあと、すべての対象校がToTのなかで作成した各校のIS実施計画に沿ってIS活動においてモデル授業案を活用している。主な活用方法は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長・ATによる授業案作成のポイントの解説やデモレクソン(ToTの内容の伝達講習) 教員グループによるモデル授業案の内容分析、改善に係る意見交換 モデル授業案を生徒の実態や学習環境に合わせて書き換える作業 授業案を用いた授業実践と同僚による参観、事後検討会(授業研究) 過去に教員が作成した活動案を、モデル授業案にならって三つのコラムのフォーマットに書き換える作業、など。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:プロジェクトチーム、エンドライン調査報告書、終了時評価調査におけるインタビュー調査</p>	ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況	<p>学校のなかには従来の授業案を用いてIS活動を行っているところがある。</p>	<p>すべての対象校が、プロジェクトが開発したモデル授業案を使ってIS活動を行っている。</p>	<p>ToTでモデル授業案が対象校に紹介されたあと、すべての対象校がToTのなかで作成した各校のIS実施計画に沿ってIS活動においてモデル授業案を活用している。主な活用方法は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長・ATによる授業案作成のポイントの解説やデモレクソン(ToTの内容の伝達講習) 教員グループによるモデル授業案の内容分析、改善に係る意見交換 モデル授業案を生徒の実態や学習環境に合わせて書き換える作業 授業案を用いた授業実践と同僚による参観、事後検討会(授業研究) 過去に教員が作成した活動案を、モデル授業案にならって三つのコラムのフォーマットに書き換える作業、など。
ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況						
<p>学校のなかには従来の授業案を用いてIS活動を行っているところがある。</p>	<p>すべての対象校が、プロジェクトが開発したモデル授業案を使ってIS活動を行っている。</p>	<p>ToTでモデル授業案が対象校に紹介されたあと、すべての対象校がToTのなかで作成した各校のIS実施計画に沿ってIS活動においてモデル授業案を活用している。主な活用方法は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長・ATによる授業案作成のポイントの解説やデモレクソン(ToTの内容の伝達講習) 教員グループによるモデル授業案の内容分析、改善に係る意見交換 モデル授業案を生徒の実態や学習環境に合わせて書き換える作業 授業案を用いた授業実践と同僚による参観、事後検討会(授業研究) 過去に教員が作成した活動案を、モデル授業案にならって三つのコラムのフォーマットに書き換える作業、など。 						
<p>1-4. DEB経由でPESSになされたモデル授業案の活用</p>	<p>1-4. DEB</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象の全8DESBが、モデル授業案の活用状況について口頭でのフィードバックを実施した。 一方、プロジェクトが開発したモニタリングフォームを用いての定期的なフィードバックは、現在までのところ4DESBが実施しているが、プロジェクトが既に残りのDESBへも提出の指導を行ってDESBから提出予定の連絡を受けている。 						

	に関する フィード バック状 況	ベー スラ イン	目標とする状況	現在までの達成状況	プロジェクト終了までの達成予測								
		N/A	対象郡の DESB は、対象校からのフォーム E の内容 (モデル授業案を用いて行った IS 活動の内容) をフォーム G に取りまとめ、これを毎学期 PESS に提出している。	<ul style="list-style-type: none"> すべての対象 DESB が、教材作成ワークショップや ToT の機会を通じて、対象校でのモデル授業案の活用状況を PESS に口頭で報告した。 プロジェクトが開発したモニタリングフォーム (フォーム G) を用いての定期的なフィードバックは、現在までのところ 4DESB (カムアン県のタケク、サバナケット県のカイゾン、パランサイ、チャンパサック県のサナンブン) が実施した。 	2013年6月のToT時に、プロジェクトが既に残りの4DESBへも提出の指導を行ってDESBから提出予定の連絡を受けていることから、プロジェクト終了までには達成される見込みである。								
出所：プロジェクトチーム、エンドライン調査報告書、IS活動の実施状況 (専門家作成資料)、終了時評価調査におけるインタビュー調査													
アウトプ ット2 授業改善 を促進す る人材が 強化され る。	2-1. 開発さ れたモデ ル授業案 の質が改 善される。	<ul style="list-style-type: none"> ITSME トレーナーがグループで作成したモデル授業案 (計 25 授業案) について、専門家チームの分析結果によると、授業案の質は、9 点満点で第 1 年次の 7.0 点 (3 授業案) から、第 2 年次の 7.3 点 (9 授業案)、第 3 年次には 8.8 点 (13 授業案) に達したことから、質の改善状況は良好である (下表参照)。 特に第 3 年次は質の平均点がほぼ満点に近いことから、作成された授業案は、①明確な授業目標の設定、②適切な授業過程・生徒活動の設定、③前 2 項に沿った適切な評価設問の設定、という目標の質を満たしているといえる。 専門家による第 4 年次の教材作成ワークショップの観察結果から、第 4 年次作成分の授業案についても、第 3 年次と同等の質が担保されるものと予想される。 											
		ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況									
プロジェクト開始当初の関係者の授業案に関する考え方は以下のとおりであった。		トレーナーの作成する授業案が、以下の質を備えている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">授業案の質の平均点*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年次</td> <td>7.0 (3 授業案)</td> </tr> <tr> <td>2 年次</td> <td>7.3 (9 授業案)</td> </tr> <tr> <td>3 年次</td> <td>8.8 (13 授業案)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*授業案の質は、①授業目標、②授業過程、③評価設問の三つの視点に沿って、プロジェクトが設定した評価クライテリアに従い、プロジェクト専門家が測定した。</p>			授業案の質の平均点*		1 年次	7.0 (3 授業案)	2 年次	7.3 (9 授業案)	3 年次	8.8 (13 授業案)
授業案の質の平均点*													
1 年次	7.0 (3 授業案)												
2 年次	7.3 (9 授業案)												
3 年次	8.8 (13 授業案)												
<ul style="list-style-type: none"> 授業は教科書の内容をそのとおりに生徒へ与えるものであり、内容や順番を勝手に変えてはいけない。 このため学習活動案は、教科書の内容をコピーすることが基本であり、授業目標、生徒活動、評価設問は教科書に示されているものをそのまま採用する。 		<ul style="list-style-type: none"> ①授業で生徒が何を学ぶのか (授業目標) が明確である。 ②この目標を生徒がどのように達成するか (授業過程) が適切に組み立てられている。 ③この達成をどのように確認するか (評価設問) が適切に準備されている。 											
出所：プロジェクトチーム、ベースライン調査報告書、専門家による ITSME 教材の品質分析 (専門家作成資料)													
	2-2. ITSME トレーナー の教科 知識が改 善される。	<ul style="list-style-type: none"> 第3年次の教材作成ワークショップで行われたITSMEトレーナー22人のプレ・ポストテストを点検すると、算数・理科のプロジェクト対象の7単元すべてについてポストテストの結果が高かったことから、ITSMEトレーナーの教科知識はワークショップ開始前と比較して改善されたといえる (下表参照)。 理想的には、テスト結果が100%に達することが望ましいが、教科書の質の低さ、ITSMEトレーナーの限られた学習環境の制約を考えると、改善の度合いは良好であるといえる。 対象外の単元においても教科知識を深めることが、ITSMEトレーナーにとって今後の更なる課題となっている。 											
		ベースライン	目標とする状況	現在までの達成状況									
教材作成ワークショップ開始時点 (2012 年 6 月) に行われた教科知識に関するプレテストの平均は以下のとおり (対象：トレーナー22人)。		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方として、トレーナーには、教科内容のすべてを理解することは求めておらず、モデル授業案で扱う内容とその周辺知識を身に付け、ToTにおいて校長、AT に対して必要十分な解説ができるようになることをめざしている。 そのため、理想的には、専門家が最低限必要な問題に絞ったテストには、100%正答することが望ましい。 	教材作成ワークショップ終了時点 (2012 年 9 月) に行われた教科知識に関するポストテストの平均は以下のとおり (対象：左記のトレーナー22人)。										

		<table border="1"> <tr><td colspan="2">算数</td></tr> <tr><td>単元</td><td>平均 (%)</td></tr> <tr><td>正比例</td><td>89.1</td></tr> <tr><td>周の長さ</td><td>89.4</td></tr> <tr><td>対称な位置にある図形</td><td>64.0</td></tr> <tr><td colspan="2">理科</td></tr> <tr><td>単元</td><td>平均 (%)</td></tr> <tr><td>水</td><td>81.2</td></tr> <tr><td>物が見える仕組み</td><td>50.5</td></tr> <tr><td>熱の伝わり方</td><td>37.5</td></tr> <tr><td>物質</td><td>61.0</td></tr> </table>	算数		単元	平均 (%)	正比例	89.1	周の長さ	89.4	対称な位置にある図形	64.0	理科		単元	平均 (%)	水	81.2	物が見える仕組み	50.5	熱の伝わり方	37.5	物質	61.0		<table border="1"> <tr><td colspan="2">算数</td></tr> <tr><td>単元</td><td>平均 (%)</td></tr> <tr><td>正比例</td><td>93.6</td></tr> <tr><td>周の長さ</td><td>98.5</td></tr> <tr><td>対称な位置にある図形</td><td>78.4</td></tr> <tr><td colspan="2">理科</td></tr> <tr><td>単元</td><td>平均 (%)</td></tr> <tr><td>水</td><td>99.5</td></tr> <tr><td>物が見える仕組み</td><td>77.7</td></tr> <tr><td>熱の伝わり方</td><td>85.9</td></tr> <tr><td>物質</td><td>75.6</td></tr> </table>	算数		単元	平均 (%)	正比例	93.6	周の長さ	98.5	対称な位置にある図形	78.4	理科		単元	平均 (%)	水	99.5	物が見える仕組み	77.7	熱の伝わり方	85.9	物質	75.6
算数																																																
単元	平均 (%)																																															
正比例	89.1																																															
周の長さ	89.4																																															
対称な位置にある図形	64.0																																															
理科																																																
単元	平均 (%)																																															
水	81.2																																															
物が見える仕組み	50.5																																															
熱の伝わり方	37.5																																															
物質	61.0																																															
算数																																																
単元	平均 (%)																																															
正比例	93.6																																															
周の長さ	98.5																																															
対称な位置にある図形	78.4																																															
理科																																																
単元	平均 (%)																																															
水	99.5																																															
物が見える仕組み	77.7																																															
熱の伝わり方	85.9																																															
物質	75.6																																															
		出所：プロジェクトチーム、事業進捗報告書（第3年次）添付資料Annex8																																														
アウトプット3 授業改善のための教材類が作成される。	3-1. 活動1-3で示された計画目標に対して、実際に開発されたモデル授業案の数	<ul style="list-style-type: none"> モデル授業案の計画目標（1年次・2年次：設定なし、3年次：10単元、4年次：10単元）に対して、1年次は3単元、2年次は9単元、3年次は目標どおりの10単元が作成された。 4年次は2013年6月時点で目標を超える14単元の作成をほぼ終えていることから、指標3-1はプロジェクト終了までに完全に達成される見込みである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ベースライン</th> <th colspan="2">目標値</th> <th>現在までの達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">0 (なし)</td> <td>1年次</td> <td>設定なし</td> <td>3単元</td> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>設定なし</td> <td>9単元</td> </tr> <tr> <td>3年次</td> <td>10単元</td> <td>10単元 (13 教材)</td> </tr> <tr> <td>4年次</td> <td>10単元</td> <td>14単元 (16 教材) 2013年6月末時点でほぼ作成完了</td> </tr> </tbody> </table>	ベースライン	目標値		現在までの達成状況	0 (なし)	1年次	設定なし	3単元	2年次	設定なし	9単元	3年次	10単元	10単元 (13 教材)	4年次	10単元	14単元 (16 教材) 2013年6月末時点でほぼ作成完了	出所：プロジェクトチーム																												
ベースライン	目標値		現在までの達成状況																																													
0 (なし)	1年次	設定なし	3単元																																													
	2年次	設定なし	9単元																																													
	3年次	10単元	10単元 (13 教材)																																													
	4年次	10単元	14単元 (16 教材) 2013年6月末時点でほぼ作成完了																																													
	3-2. 活動3-7で取りまとめられた授業改善のための教材集	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは2013年6月時点で既に、これまでに開発されたモデル授業案、マニュアル、参考資料類の書式の調整などの作業を始めており、プロジェクト終了までには授業改善のための教材集として取りまとめる予定である。 																																														
	3-3. 教材集の国家標準としての採用を検討するよう教育・スポーツ省に提案するために、プロジェクトで準備・提出した文書	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは、2013年6月時点で、開発された教材集をMOESの既存の研修などへいかに活用できるかなど、具体的な提言文書を作成する準備を進めている。 プロジェクトは、①エンドライン調査、②2013年6月のToT、③2013年7月の研修教材ワークショップ（ToT反省会）、などを通して得られた対象校におけるISの実践結果を基に、提言文書を作成する構想を立てている。プロジェクト終了までには作成・提出される見込みである。 																																														

投入実績	日本側	<p>① 専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本プロジェクトは法人契約により株式会社VSOCが実施し、計6人の日本人専門家が派遣された。第1～4年次までの専門家派遣期間は、延べ71.40人月である（Annex4-1参照）。 <p>② 本邦研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計30人のC/Pが本邦研修に参加した（Annex4-7参照）。 <p>③ 機材供与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本側は、プロジェクトの運営に最低限必要な車両、コピー機、パソコン、プリンターなどの機材総額19万6,866USドルを供与した。本調査時点において、これら供与機材はすべてプロジェクト事務所や供与先で管理され、良好な状態で使用されていることが報告された。 ・ 専門家が用いる携行機材としてパソコン、ソフトウェア、プリンターなど総額8,628USドルを負担した（Annex4-3参照）。 <p>④ プロジェクト活動費（一般業務費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本側は、プロジェクト活動費（一般業務費）として、第1～4年次の2013年6月までに総額27万3,950USドルを支出した（Annex4-4参照）。これら費用には、教材作成ワークショップや ToT などの研修実施に係る参加者宿泊費・会議費などが含まれる。
	ラオス側	<p>① カウンターパート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本プロジェクトの中央におけるC/Pは、MOESのDTEとDPPEである。ディレクターのDTE局長、副ディレクターのDTE副局長・DPPE副局長のほか、実務レベルで主なプロジェクト業務を担う人材として、DTEから1人のC/Pが配置された。 ・ 地方におけるC/Pは、TTC（サバナケット県・チャンパサック県）、PESS（カムアン県・サバナケット県・チャンパサック県）、DESB（左記3県の対象8郡）である。実務レベルで主なプロジェクト業務を担うTTC教官、PESS職員、DESB職員からなる36人のITSMEトレーナーが、現在C/Pとして配置されている（Annex4-2参照）。 <p>② ローカルコスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラオス側は、C/Pの人材のほか、必要な資機材と会議室、MOES、サバナケット PESS、チャンパサック PESS 内での専門家執務室の提供を滞りなく行った。 ・ MOES は C/P の人件費、2010年10月～2013年5月までの研修教材作成ワークショップの参加者日当・交通費・会議費などについて、日本側負担分を除く総額7億4,662万3,000LAKを負担した（Annex4-4参照）。 ・ 学校モニタリングにかかる費用は PESS と DESB が、IS にかかる費用は学校が基本的に負担している。

2. 活動、投入の進捗状況

活動	進捗状況と完了に向けた今後の対応内容 ○：完了した。 ●：完了したが、やや課題が残った。 ▲：プロジェクトのコントロール外の制約条件付きで、完了した。 △：現在は未完了だが、プロジェクト終了までには完了予定。	
アウトプット1 授業改善のための仕組みが強化される。		
1-1. 教育・スポーツ省と県教育・スポーツ局は対象県の理数科教育ベースライン調査を実施する。	●	<ul style="list-style-type: none"> 2010年4月、5日間のベースライン調査が対象3県8郡で実施され、①教員の理数科に対する能力の低さ、②教科書の不適切な内容と構成、③教科書どおりに行われる授業などの問題点が明らかになった。 一方、ベースライン調査（従ってエンドライン調査も）の項目に、プロジェクトのアプローチの有効性を検証するためのISとESの活性化に関する項目が十分に含まれていなかった点に、やや課題が残った。
1-2. 教育・スポーツ省は、教員養成校、県教育・スポーツ局、郡教育・スポーツ局からITSMEトレーナーを選定する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。
1-3. 教育・スポーツ省は、授業改善のための体制支援の実施計画を策定する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。
1-4. 教育・スポーツ省は、1-3の計画に基づいて、ITSMEワークショップを開催する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。
1-5. 対象郡の郡教育・スポーツ局は、教員養成校と県教育・スポーツ局の協力を受け指導者研修（以下「ToT」）研修を実施し、対象校の校長らに対してワークショップで作成した教材を紹介する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。
1-6. 対象校の校長とアカデミック・ティーチャー（以下「AT」）は、ToTにおいて、校内での授業改善のため行動計画を策定する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。
1-7. 校長とATは1-6の活動計画に従い、授業改善のための活動を実施する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。
1-8. 郡教育・スポーツ局は、模範学習活動案の使用状況についてモニタリングを実施し、県教育・スポーツ局に報告する。	△	<ul style="list-style-type: none"> 対象の全8DESBは、第1～4年次の間に、対象全校におけるモデル授業案の活用状況のモニタリングを行った。 DESBは、モニタリングの結果を、教材作成ワークショップやToTの機会を通じてPESSに口頭で報告した。 他方、2012年11月のToT以降、プロジェクトが開発したモニタリングフォームを用いた定期的な報告を試行している。終了時評価時点でモニタリングフォームを用いた報告を行ったのは、全8DESBのうち4DESBであった。 残りの4DESBに対しては、既に2013年6月の教材作成ワークショップにおいて、プロジェクトがフォームの利用方法について説明し提出を促した。引き続きフォームの作成・提出に向けた支援を行い、プロジェクト終了までには残りの報告も行われ、活動が完了する見込みである。
1-9. プロジェクトは、授業改善の仕組み強化のために教員養成校と県教育・スポーツ局/郡教育・スポーツ局との間でMOUを締結に向けた議論をファシリテートする。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した（詳細はAnnex3-1を参照）。

活動	進捗状況と完了に向けた今後の対応内容 ○：完了した。 ●：完了したが、やや課題が残った。 ▲：プロジェクトのコントロール外の制約条件付きで、完了した。 △：現在は未完了だが、プロジェクト終了までには完了予定。	
1-10. プロジェクトは、教育政策アドバイザーと協力し、教員強化に関する School of Quality (以下「SOQ」) 達成のための校内指導活動 (以下「IS」) を支援するために、教育・スポーツ省関係者との議論をファシリテートする。	△	<ul style="list-style-type: none"> 第4年次以降、プロジェクトは教育政策アドバイザーと協力して、IS を支援するために MOES 関係者との議論をファシリテートしている状況であり (下記参照)、プロジェクト終了までには活動を完了する予定である。 DTE は、DPPE、RIES、ESQAC の ITSME 担当者を研修教材ワークショップに定期的に招いたり、彼らとともに対象校を訪問したりするなどの機会を通して、ITSME の考え方や教材の品質、また IS 活動を促す4つのステップの効果などを理解させ、それぞれが扱っている研修モジュールなどに ITSME 授業づくりの考え方を反映させるよう働きかけている。 その結果、DTE と DPPE は、2013年6月現在 DPPE が改訂作業中の PA ガイドラインに、ITSME の教材をどのように取り入れられるか検討を開始した。 2013年6月現在、7～8月に実施される予定の EQS (SOQ) 研修 (全国26郡で、各10日間実施) と現職教員アップグレード研修 (全国8TTC と11PESS で各8週間実施) に ITSME トレーナーを派遣して、ITSME 授業づくりについて紹介する1日程度のセッションを盛り込むことを計画し、実践のための手続きを始めている。
1-11. 教育・スポーツ省は、関係機関と本プロジェクトでの経験を共有するためのセミナーを開催する。	△	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトディレクター (DTE 局長) と専門家チームは、終了時評価後に経験共有のためのセミナー実施に向けた具体策を練り、速やかに実行に移すことで合意している。したがって、プロジェクト終了までには活動が完了する見込みである。 対象 TIC、PESS、DESB、学校などの現場においては、既に会議などの機会を利用して対象外の地域などへのプロジェクト経験の共有が行われ始めている。
アウトプット2 授業改善を促進する人材が強化される。		
2-1. ITSME トレーナーは、ITSME ワークショップ参加を通じて、授業改善のために必要な教科知識やスキルを身に付ける。	▲	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトのコントロール外の制約条件付きで、完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
2-2. 対象校の校長や AT は、ToT を通じて、授業改善の方法を学ぶ。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
アウトプット3 授業改善のための教材類が作成される。		
3-1. 学習活動案の標準フォーマット及び学習活動案準備マニュアルが策定される。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-2. ITSME トレーナーは、3-1 のフォーマットを満たした模範学習活動案を作成する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-3. ITSME トレーナーは、授業改善のための IS のためのマニュアルを作成する。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-4. 学習活動案評価シートと授業観察シートが策定される。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-5. 授業モニタリングレポート様式が策定される。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-6. ITSME トレーナーが活用できる授業改善のための参考教材が作成される。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-7. 3-1～3-6 の教材類を含む授業改善のための総集教材が取りまとめられる。	△	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは2013年6月時点で既に授業改善のための総集教材の取りまとめを開始しており、プロジェクト終了までには活動が完了する見込みである。
3-8. エンドライン調査の一環として、対象校の教員の授業実践経験を共有するためのワークショップが実施される。	○	<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり完了した (詳細は Annex3-1 を参照)。
3-9. 3-8 で共有された経験を基に、プロジェクト期間中に策定された教材類を国レベル標準として検討するよう教育・スポーツ省に提案する文書が作成される。	△	<ul style="list-style-type: none"> 2013年6月時点で、プロジェクトは、左記の具体的な提案文書作成に向けた構想を始めている。 提案文書の根拠資料として、エンドライン調査結果 (対象校における ITSME 教材を生かした IS 活動とその成果) を利用する予定である。 さらに、2013年6月の ToT での成果共有結果を加えて、文書を取りまとめる予定である。

出所：プロジェクトチーム

3. 実施プロセス

調査項目	
大項目	結果
活動の進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・ PDM ver.1の改訂以降、ほとんどの活動はおおむねPDM ver.2とPOに沿って実施された。
技術移転の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術移転は、①専門家からITSMEトレーナー、②ITSMEトレーナーから校長・AT、③校長・ATから教員、の各段階において、方法、内容、技術移転のレベルともに適切に行われた。
プロジェクトの実施体制	<p>プロジェクト実施体制はおおむね良好に機能した。特筆すべき点として、現場での活動の実施部隊であるTTC、PESS、DESBからなるITSMEトレーナーチームと、実務レベルの有能なDTE C/P職員が、活動の推進に貢献した。他方、以下のような問題もあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DTE局長・副局長に活動結果を迅速かつ的確に報告し、活動内容をMOESの他部局へ広めたり共有したりするためには、DTEのC/Pの人数が十分ではなかった。 ・ プロジェクト開始当初、PDMのコンセプト、フレームワークに関する関係者間の合意形成に時間がかかった。そのため、PDM ver.1が改訂されるまでの活動に遅れが生じた。
プロジェクトのマネジメントシステム	<p>プロジェクトの意思決定、モニタリング、プロジェクト内の情報共有・コミュニケーションはおおむね適切かつ円滑に行われた。ただし、以下のような課題もあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3年次までは、プロジェクトと他の開発パートナーとの協働は積極的には考慮されてこなかった。しかしながら、中間レビューの提言を受け、特に第4年次以降プロジェクトは開発した教材などを既存のMOESの仕組みや活動に取り入れるための取り組みを始めている。 ・ プロジェクトは、W/S、ToTやエンドライン調査を通じてISの概況を把握しているものの、IS活動の実態の定期的なモニタリングは十分には行われなかった。
オーナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に、現場レベル（PESS、DESB、TTC、学校）におけるオーナーシップが高く、プロジェクトの活動を推進した。また、終了時評価のインタビュー調査を通して、自分たちが主体となって終了後も活動を継続していく強いコミットメントが確認された。 ・ 中央レベルでは、プロジェクト終了後も活動を推進していくため、DTEの更なるイニシアティブとオーナーシップが求められる。
中間レビューで示された提案に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間レビューで示された提案事項については、おおむね対応がはかられてきた。 ・ 提案事項のうち、①ITSMEの成果活用・共有のための中央レベルでの相互協力の検討、②他の関連人材に対するITSMEの成果の共有・普及、③最終版の教材集とその全国普及に関する提言を取りまとめたプロジェクトの最終成果品としての包括的報告書の作成とMOESへの提出、の3点については現在も対応しているところであり、プロジェクト終了までには対応が完了することが求められる。

4. 評価5項目

評価5項目	評価設問		結果									
	大項目	小項目										
妥当性	優先度の高さ	ラオスの開発政策に合致しているか	<ul style="list-style-type: none"> 第7次国家社会経済開発5カ年計画（NSEDP 2011-2015）は人的資源の量的質的拡充を優先課題の一つとしている。 教育セクター開発枠組み（ESDF 2009-2015）、教員教育戦略・行動計画（TESAP）では現職教員研修の拡充を課題の一つとしている。 第7次教育分野開発5カ年計画（ESDP 2011-2015）は、科学の近代化と教員の資質向上について述べている。 対象の幾つかのDESBからは、IS活動により授業の質が改善されたことで生徒の中退率が低下したという報告もあり、ESDP 2011-2015の中間レビューにおける中退率の改善という重要課題とも整合している。 									
		日本の対ラオス援助政策に沿っているか	<ul style="list-style-type: none"> MDGs達成に向け基礎教育、教育の質の改善を優先分野とする日本の対ラオスODA政策・計画と非常に高い整合性がある外務省「対ラオス人民民主共和国別援助方針」（2012年4月）によると、援助の基本方針（大目標）は、MDGs達成と後発開発途上国からの脱却への支援であり、「教育環境の整備と人材育成」は、四つの重点分野（中目標）の一つに位置づけられている。 「教育環境の整備と人材育成」重点分野では、教員の質の改善を支援すること、初等・中等教育では理数科教育分野を中心に支援を行うことが言及されている。 									
	上位目標/プロジェクト目標のラオスのニーズとの合致	対象地域・社会のニーズとの合致	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域・社会に住む人たちが豊かで健康な生活を送る基盤としての、算数や理科の知識を正しく身に付けるというニーズと合致している。 									
		プロジェクト実施機関・ターゲットグループのニーズとの合致	<ul style="list-style-type: none"> MOESは、教員の資質向上のためのISの実施を促しているが、その具体的な内容については各学校任せであり、学校側も実のある活動を試行錯誤している。 プロジェクトがISのための質の高い研修教材を提供し、適切な使用方法を指導することは、IS活動を試行錯誤していた学校のニーズ、IS活動を支援する側であるPESS、DESB、TTCのニーズと十分に合致している。 									
手続の適切性	プロジェクトはラオスの教育分野の課題に対する効果を上げる戦略として適切だったか		<ul style="list-style-type: none"> IS活動を通じた授業の質改善というアプローチは教育の質の向上というラオスの教育課題の解決に有効に働いた。 									
	ターゲットグループの選定は適切だったか		<ul style="list-style-type: none"> ターゲットグループの選定は適切であった。これ以上大きな規模であったとしたら、質の確保が困難になっていたと考えられる。 									
	ターゲットグループ以外への波及性はあったか		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは非対象地域への波及性があった（インパクトの項目を参照）。 									
	プロジェクトは援助協調や、日本の他の協力と相乗効果を生むものか		<ul style="list-style-type: none"> 教師教育という本プロジェクト対象分野と技術的に相互補完関係になっている日本の協力の概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクト名/コード名</th> <th>実施年度</th> <th>どのような相互補完があったか（箇条書き程度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青年海外協力隊派遣</td> <td>特に2011～2013年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 隊員の配属先が対象校であり、IS活動を強化、補完することができた。 TTC配属の隊員が、ラオス語の能力を生かして、トレーナーの教材作成を支援してくれた。 </td> </tr> <tr> <td>CIED-IIプロジェクト</td> <td>2013年9月以降</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> サバナケットPESSがITSMEを拡大する郡をCIED-IIの対象3郡とすることを検討中である。PESSトレーナーは、二つのプロジェクトの効果により、アクセス、質、マネジメントの3者が強化できると考えている。 </td> </tr> </tbody> </table>	プロジェクト名/コード名	実施年度	どのような相互補完があったか（箇条書き程度）	青年海外協力隊派遣	特に2011～2013年	<ul style="list-style-type: none"> 隊員の配属先が対象校であり、IS活動を強化、補完することができた。 TTC配属の隊員が、ラオス語の能力を生かして、トレーナーの教材作成を支援してくれた。 	CIED-IIプロジェクト	2013年9月以降	<ul style="list-style-type: none"> サバナケットPESSがITSMEを拡大する郡をCIED-IIの対象3郡とすることを検討中である。PESSトレーナーは、二つのプロジェクトの効果により、アクセス、質、マネジメントの3者が強化できると考えている。
	プロジェクト名/コード名	実施年度	どのような相互補完があったか（箇条書き程度）									
青年海外協力隊派遣	特に2011～2013年	<ul style="list-style-type: none"> 隊員の配属先が対象校であり、IS活動を強化、補完することができた。 TTC配属の隊員が、ラオス語の能力を生かして、トレーナーの教材作成を支援してくれた。 										
CIED-IIプロジェクト	2013年9月以降	<ul style="list-style-type: none"> サバナケットPESSがITSMEを拡大する郡をCIED-IIの対象3郡とすることを検討中である。PESSトレーナーは、二つのプロジェクトの効果により、アクセス、質、マネジメントの3者が強化できると考えている。 										
日本の技術の優位性はあるか（日本が援助する技術的必然性）		<ul style="list-style-type: none"> 日本の教育現場はIS実施に関する豊富な知見を有しており優位性があった。 										

評価5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
有効性	プロジェクト目標達成の見込み	プロジェクト目標の達成予測	<ul style="list-style-type: none"> ・ PDMの二つの指標と補足指標が達成されたことから、プロジェクト目標は十分に達成されたと判断できる。
	アウトプットと外部条件、プロジェクト目標の因果関係の適切さ	三つのアウトプットと外部条件の達成によって、プロジェクト目標は達成できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三つのアウトプットは、IS活動・ES活動の活性化を通してプロジェクト目標の達成に貢献した。 ・ プロジェクト目標と三つのアウトプットの関係は目的と手段の関係になっているものの、その間にあるとされるIS活動の活性化の位置づけがPDM上では明確ではなかった。 ・ プロジェクト目標やアウトプットの指標に目標値（目標とする状況）の設定も必要であった。
		PDMのアウトプットレベルの外部条件は満たされているか（現時点でも外部条件は正しいか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトプットレベルの外部条件「ISとESを実施する方針と方向性が教育・スポーツ省によって大きく変更されない」は、プロジェクト期間を通して充足された。
	プロジェクト目標に貢献している要因は何か	プロジェクトによる貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異なる機関から構成されるITSMEトレーナーチームを活用したことで、各機関の役割が強化された。ITSMEトレーナーチームの活動は、すべての成果の発現に貢献しており、したがってプロジェクト目標の達成に貢献した。 ・ IS活動を教員の継続的な専門性向上の機会ととらえ活用したアプローチが、授業の質の向上に結びつき、プロジェクト目標の達成に貢献した。
		日本による他の支援、他のドナーによる支援がプロジェクト目標に寄与していないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。
	プロジェクト目標を阻害している要因はあるか	外部条件が、プロジェクト目標の達成を阻害していないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阻害していない。
外部条件以外の阻害要因はないか		<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト目標を阻害した要因は特になかった。 	
効率性	アウトプットの達成度	アウトプットの達成度は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三つのアウトプットの達成状況は全般に良好であり、現時点ではまだ達成されていないアウトプット3もプロジェクトの終了までに達成される見込みである。
	活動とアウトプットの因果関係は適切か	アウトプット算出に過不足ない活動であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過不足なかった。 ・ 改訂後のPDM ver.2の活動とアウトプットの因果関係は適切であった。
		PDMの活動レベルの外部条件は満たされているか（現時点でも外部条件は正しいか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトプット達成のための外部条件は設定なし。
	アウトプット産出に外部条件の影響はなかったか	外部条件によりアウトプット産出が遅れたり阻害されなかったか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
	投入・活動の計画と実績の差異	日本人専門家の投入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人専門家はおおむね計画どおりに投入され、2013年10月ですべての投入を完了する見込みである。
ラオス人カウンターパートの投入		<ul style="list-style-type: none"> ・ ラオス人カウンターパートは、おおむね計画どおりに行われた。 	
活動実績		<ul style="list-style-type: none"> ・ PDM ver.1のデザインが必ずしも実態に合っていなかったことが主な原因で、当初の活動は大幅に遅れ、あるいは遅れていた。 ・ PDMの改訂により活動が整理、修正されたあとはおおむね計画どおりに活動が行われ、アウトプットの達成に貢献した。 	

評価5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
	前提条件の充足	前提条件の充足	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト開始時点では、前提条件の①MOESによるIS活動とES活動強化のための予算・施行面でのコミットメント、②IS活動とES活動強化に予算・実施面でコミットする対象郡・対象校が存在すること、は必ずしも十分には満たされていなかった。 プロジェクトがモデル授業案の開発や指導を行うなかで、MOESや対象郡、学校がIS活動やES活動の意義、授業の質改善に向けた効果を実感し始めたことで、コミットメントが次第に高まっていったものと思われる。
	投入の量・質・タイミング	日本人専門家	<ul style="list-style-type: none"> ラオスC/Pの評価によると、日本人専門家は成果を達成するために必要な専門性、資質を満たしていると高く評価しており、技術移転の成果を上げてきている。
		ラオス側C/P	<ul style="list-style-type: none"> 日本人専門家の評価によると、ラオス側のC/Pの能力・資質は、技術移転を行うために十分であった。 特筆すべき点として、TTC、PESS、DESBからなるITSMEトレーナーは、プロジェクト期間を通して必要な人数が配置された。これにより、アウトプットを達成するための活動に支障が出ることはなかった。 中央のDTE実務レベルのC/Pの人数が不足していた。
		供与機材	<ul style="list-style-type: none"> 供与機材の投入時期、規模、質は適切であった。 プロジェクトの初期に大部分の機材が投入され、活動計画に沿った機材の活用が可能となった。 供与機材のコピー機を有効活用して、対象DESBはモデル授業案などの教材をコピーし、対象外の地域や学校へ配布した。
		本邦研修	<ul style="list-style-type: none"> 研修期間や内容はおおむね適切で、参加者は学んだ知識や技術をプロジェクトの活動に活用している。
		ローカルコスト	<ul style="list-style-type: none"> ToT、学校モニタリング、ISなどが定常業務として通常予算を用いてスムーズに行われたことは、ラオスの厳しい予算状況を加味すると特筆すべき点であった（ToTにはプロジェクトからの経費支援もあった）。
インパクト (予測)	上位目標達成の見通し	上位目標は、プロジェクト目標達成の効果として、3～5年程度以内に達成され得るか	<ul style="list-style-type: none"> 現時点ではプロジェクトの直接のインパクトにより、上位目標の指標である「指標1：対象県の教員の授業実践の質が改善する」「指標2：対象県の教員の授業案の質が改善する」が大きく改善する時期ではないが、プロジェクトによるインパクトの発現が既に確認されている。
		上位目標へ向かうインパクト	<ul style="list-style-type: none"> 上位目標へ向かうインパクトが確認された（上述の「1. 実績の確認」の上位目標の表を参照）。
	上位目標とプロジェクト目標の因果関係は適切か	事後の評価において効果の検証ができるか。上位目標の指標が適切に設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> PDM ver.2の上位目標の指標は必ずしもその目標値（目標とする状況）が明確ではない。 今後事後評価で上位目標の達成度を評価する際には、①面的な達成度に関しては、ラオス側（DTE、PESS、DEB）の拡大計画を、②質的な達成度に関しては、プロジェクト目標の指標の「目標とする状況」と、その評価根拠を参考に達成度を測ることが推奨される。
		プロジェクト目標達成により上位目標達成が見込めるか	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの実施により、IS活動・ES活動の活用、活性化は授業の質の改善に貢献したことが明らかになった。 「ラオス側により対象県のすべての学校でISが行われる」という上位目標達成のための外部条件を満たす手段が講じられれば、達成見込みが高まることが予想される。
	上位目標達成に向けた取り組みがなされているか	上位目標達成に向けた取り組み（予算、人員、組織体制、制度など）が行われているか	<ul style="list-style-type: none"> なされている（上述の「1. 実績の確認」の上位目標の表を参照）。
上位目標達成に向けた計画（予算、人員、組織体制、制度など）が検討されているか			

評価5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
		対象県・対象校以外への普及のための実施体制（予算、人員、組織体制、制度など）が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> 中央では、チャンディ DTE 局長による ITSME Future Plan and Implementation Strategy が発効している。 地方でも、なされている（上述の「1. 実績の確認」の上位目標の表を参照）。
	開発計画へのインパクトの見込みがあるか	上位目標の達成によりラオス国家開発計画へのインパクトは見込めるか	<ul style="list-style-type: none"> 以下のとおり、ラオスの開発課題へのインパクトが確認された。 終了時評価のインタビュー調査対象の幾つかの学校と DESB から、プロジェクト実施後、中退率が減少したとの報告があった。 中退率の減少という重要な教育課題への貢献が示唆されたことは、特筆すべきである。
	外部条件のほかに上位目標達成を阻害する要因はないか	外部条件のほかに上位目標を阻害する要因はないか	<ul style="list-style-type: none"> トレーナー及び校長、教員の教科知識の不足。 教科書の品質。
		上位目標を阻害する要因がある場合、プロジェクトでの取り組みが検討されたか	<ul style="list-style-type: none"> 教科知識を補うための、トレーナー、教員用の参考資料集を作るなどの取り組みが行われた。
	その他の正負のインパクトはあったか	正のインパクト	<ul style="list-style-type: none"> 以下の点が、予期していなかった正のインパクトである。 モデル授業案が、対象 TTC（教員養成カリキュラム）において、算数や理科、指導法に関する授業のなかで用いられている。新規教員養成カリキュラムを通じてモデル授業案が未来の教員たちに普及されることを考えると、そのインパクトは非常に大きい。 対象校の教員が、プロジェクト期間中に、モデル授業案に沿って非対象科目であるラオス語の授業案を作成した。終了時評価で訪問した学校8校でのインタビュー調査によると、主に IS 活動の時間を利用して、学校側がモデル授業案に於いて自主的にラオス語の授業案を作成したことが明らかになった。学校によっては1～5学年までのラオス語の全単元の授業案を作成した学校もあり、特筆に値するインパクトであるといえる。（上述の「1. 実績の確認」の上位目標の表を参照）。
	負のインパクト	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	
持続性（見込み）	中央レベル	政策・制度面	<ul style="list-style-type: none"> IS 活動は学校で行われるべき活動、PA が支援すべき活動として MOES の PA ガイドラインに記載され、その政策は継続される見込みである。 今後は、DTE が DPPE、ESQAC、TTC など他の関連部局や組織と協力しながら継続・普及のメカニズムとして、「ITSME 将来計画と実施戦略」を具体化し、PA ガイドライン、EQS 研修、現職教員アップグレード研修など既存の仕組みに ITSME の活動を位置づけていくことが必要である。 DTE は 2013 年の 9 月にプロフェッショナルネットワークの役割を強化するためのワークショップを開催予定である。役割が明文化され強化されることで制度面での持続性が更に高まることが予測される。
		組織・人材・財政面	<ul style="list-style-type: none"> 継続・拡大に向けて DTE の十分な人材数を確保していくことも求められる。 財政面では、プロジェクト実施中の予算はおおむね確保できたが、プロジェクト終了後の見通しはまだ立っていない。 プロジェクトの成果品を ESDP 予算計画や、既に予算化されている研修のなかに組み込むことなどを通して、拡大のための予算を担保していくことが課題となっている。 DTE が TTC に対して活動継続・拡大のための予算計画を指導することも課題である。
		技術面	<ul style="list-style-type: none"> DTE が他の関連部局や組織と協力して、拡大を図る際に、質の確保に向けた適切な手段を講じることが課題である。
	地方レベル	政策・制度面	<ul style="list-style-type: none"> TTC、PESS、DESB からなる ITSME トレーナーチームはこれまでも互いのネットワークを活用して活動を行ってきており、現場レベルではこのネットワークの仕組みが今後も継続されることが期待できる。 今後、対象地域外へ活動を拡大していくにあたり、プロフェッショナルネットワークの機能や役割などに関する省レベルでの命令文書などがあると制度面での持続性がより高まると思われる。

評価5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
		組織・人材・財政面	<ul style="list-style-type: none"> ・ TTC、PESS、DESB の意思決定者は、ITSME トレーナーを今後の継続・普及活動に活用する意思を示している。 ・ 対象 DESB のなかには、ITSME トレーナー以外の職員にも ToT を受講させ、IS やモデル授業案の内容やコンセプトを共有し、組織全体としてモデル授業案を使った授業改善を支援できる体制を整えているところがあった。 ・ このように、組織内での経験、共有を図ることで組織・人材面での持続性が更に高まるものと思われる。 ・ 財政面では、学校モニタリングや IS などが既存の予算を用いて行われていたことから、今後も財政面での持続性が確保される見込みが高い。
		技術面	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITSME トレーナーの能力は、専門家の指導の下グループでモデル授業案を作成できるレベルまで強化された。 ・ ITSME トレーナーは、プロフェッショナルネットワークを活用して自分たちで継続的に授業案を作成、改善していくことに自信をもっている。 ・ 今後もトレーナー同士のピア・ラーニングにより授業案を継続的に作成、向上させていくことが期待される。 ・ 対象全校がモデル授業案を用いた IS を行うことができるようになってきていることから、対象校では IS 実施を通じた授業案・授業の質の向上も継続される見込みである。

プロジェクトチーム向け

2-1. 実績の確認

調査項目		質問内容					
大項目	PDM2の指標						
上位目標 対象県の授業の質が向上する。 Quality of lessons in target provinces is improved	1. 対象県の教員の授業実践の質が改善する。 1. Improvement of the quality of lesson performed by teachers in the target provinces.	1. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。					
		2. 「対象県の教員の授業実践の質が改善する。」という PDM 指標を表現し得るデータを、現在のところ提供可能なものを使って御提供下さい。（以下例：より適切な表示方法があれば変えて頂いてかまいません）					
				指標のベースライン	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し
		アウトプットレベル：組織内の各種システムの整備	カムアン県 サバナケット県 チャンパサック県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況	(例)整備されるべきシステム、ネットワーク、機材、制度、人事、規則、公文書などカウンターパートの理解度の指標など	左記の現状	
アウトカムレベル：組織が産み出すサービスの質や量の改善、カウンターパートの行動の変化	カムアン県 サバナケット県 チャンパサック県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況	(例) 上記により、どの程度の割合の教員が、いつから、どのような(質)授業実践を、どれくらい(量)出来るようになることを目指しているか	左記の現状			
出所：プロジェクトチーム							
3. 上記データについて、プロジェクトの成果との因果関係についての情報があれば御提供ください。 (例：上記のうちプロジェクト由来の効果によるものは、XX 箇所と思われる。or MOES としてプロジェクトの成果を活用した活動はまだ開始されていないため、上記の指標の変化はプロジェクトのインパクトによるものではない)							
2. 対象県の教員の授業案の質が改善する。 2. Improvement of the quality of lesson plans made by teachers in the target provinces.		4. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。					
		5. 「対象県の教員の授業案の質が改善する。」という PDM 指標を表現し得るデータを、現在のところ提供可能なものを使って御提供下さい。（以下例：より適切な表示方法があれば変えて頂いてかまいません）					
				指標のベースライン	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し
		アウトプットレベル：組織内	カムアン県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況	(例)整備されるべきシステム、ネットワーク、機材、制	左記の現状	

調査項目		質問内容						
大項目	PDM2の指標							
	の各種システムの整備 アウトカムレベル: 組織が産み出すサービスの質や量の改善、カウンターパートの行動の変化	サバナケット県		度、人事、規則、公文書など				
		チャンバサック県		カウンターパートの理解度の指標など				
		カムアン県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況	(例) 上記により、いつから、どの程度の割合の教員の、どのような(質)授業案が、どのくらい(量)出来るようになることを目指しているか	左記の現状			
		サバナケット県						
		チャンバサック県						
出所：プロジェクトチーム								
6. 上記データについて、プロジェクトの成果との因果関係についての情報があれば御提供ください。 (例：上記のうちプロジェクト由来の効果によるものは、XX箇所と思われる。or MOESとしてプロジェクトの成果を活用した活動はまだ開始されていないため、上記の指標の変化はプロジェクトのインパクトによるものではない)								
プロジェクト目標 対象小学校における理数科の授業の質が改善される。 Quality of science and mathematics lessons in target schools is improved	1. 対象校の教員の授業実践の質が改善する。 1. Improvement of the quality of lesson performed by target school teachers	7. PDM2でのプロジェクトのターゲットグループをお示しください(誤りがありましたら、適宜修正お願いします)						
			中央レベル(MOES)	TTC(チャンバサック校・サバナケット校)	県レベル(PES)	郡レベル(DEB)	学校レベル	
		直接受益者(ワークショップ、TOTなどキャパシティ・ディベロップメント(CD)の対象者)						
		組織名、部門名(人数)	(人)	(人)	(人)	(人)		
		組織名、部門名(人数)	(人)	(人)	(人)	(人)		
		間接受益者(直接受益者の2次的なCD活動の受益者)						
		組織名、部門名	(人)	(人)	(人)	(人)		
		人数	(人)	(人)	(人)	(人)		
		出所：プロジェクトチーム						
		8. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。						
<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>								
9. アウトカム：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。								
		指標のベースライン	指標の目標(値または状態)	現状での実績(値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し			
アウトカムレベル: 組織が産み出すサービスの質や量の改善、カウンターパートの行動の	カムアン県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況	(例) 上記により、どの程度の割合の教員が、いつから、どのような(質)授業実践を、どれくらい(量)出来るようになることを目指しているか	左記の現状				
	サバナケット県							
	チャンバサック県							

調査項目		質問内容				
大項目	PDM2の指標					
		変化				
		出所：プロジェクトチーム				
		10. 上記データについて、プロジェクトの成果との因果関係についての情報があれば御提供ください。 例：上記のうち、XXXはプロジェクトの活動によるものではないが、YYYの実施の結果、MOESが主体的に策定したものである				
	2. 対象校の教員の授業案の質が改善する。 2. Improvement of the quality of lesson plans made by target school teachers.	11. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。				
		12. アウトカム：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。				
			指標のベースライン	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し
	アウトカムレベル： 組織が産み出すサービスの質や量の改善、カウンターパートの行動の変化	カムアン県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況	(例) 上記により、いつから、どの程度の割合の教員の、どのような(質)授業案が、どのくらい(量)出来るようになることを目指しているか	左記の現状	
		サバナケット県				
		チャンパサック県				
		出所：プロジェクトチーム				
		13. 上記データについて、プロジェクトの成果との因果関係についての情報があれば御提供ください。 例：上記のうち、XXXはプロジェクトの活動によるものではないが、YYYの実施の結果、MOESが主体的に策定したものである				
アウトプット1	1-1. 対象県においてIS活動支援に資するプロフェッショナルネットワークを構築するための、TTCとPES間で合意された公式文書 1-1. An official	14. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。				
		15. アウトプットの質と量：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。				
			指標のベースライン	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し

調査項目		質問内容					
大項目	PDM2の指標						
Mechanism for improving lessons is strengthened.	document agreed between TTC and PES to establish a professional network for supporting IS activities in target provinces.	アウトプットの質と数量	カムアン県	プロジェクト 開始前または開始時の初期状況	(例)承認された公式文書(機能/内容など)	左記の現状	
			サバナケット県				
チャンバサック県							
出所：プロジェクトチーム							
16. 上記データについて、プロジェクトの活動・投入との因果関係についての情報があれば御提供ください。							
例：上記のうち、XXXはプロジェクトの活動によるものではないが、YYYの実施の結果、TTCとPESが主体的に策定したものである							
	1-2. 対象県において仕組みを機能させるために承認された教育省予算 1-2. MOES budget approved to operationalize the mechanism in target provinces.	17. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。					
18. アウトプットの質と量：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。							
		中央/地方	指標のベースライン	指標の目標(値または状態)	現状での実績(値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し	
アウトプットの質と数量(必要な予算が承認され、執行されたか)		中央の予算	プロジェクト 開始前または開始時の初期状況		左記の現状		
		地方の予算					
出所：プロジェクトチーム							
19. 上記データについて、プロジェクトの活動・投入との因果関係についての情報があれば御提供ください。							
例：上記のうち、XXXはプロジェクトの活動によるものではないが、YYYの実施の結果、付帯的に承認されたものである							
	1-3. プロジェクトで開発した行#授業案の対象校における活用状況 1-3. Utilization of developed model lesson plan in target schools.	20. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。					
21. アウトプットの質と量：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。							
			指標のベースライン	指標の目標(値または状態)	現状での実績(値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し	
アウトプットの質と数量		カムアン県	プロジェクト 開始前または開始時の初期状況		左記の現状		
		サバナケット県					
		チャンバサック県					

調査項目		質問内容																													
大項目	PDM2の指標																														
		出所：プロジェクトチーム 22. 上記データについて、プロジェクトの活動・投入との因果関係についての情報があれば御提供ください。 例：上記のうち、XXXはプロジェクトの活動によるものではないが、YYYの実施の結果、ZZZが主体的に活用したものである																													
	1-4. DEB経由でPESになされたモデル授業案の活用に関するフィードバック状況 1-4. Feedback on the utilization of the model lesson plan to PES through DEB.	23. 左記指標の達成概況を簡潔にお書き下さい。 24. アウトプットの質と量：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>指標のベースライン</th> <th>指標の目標（値または状態）</th> <th>現状での実績（値または状態）</th> <th>プロジェクト終了時点での達成見通し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">アウトプットの質と数量</td> <td>カムアン県</td> <td>プロジェクト開始前または開始時の初期状況</td> <td></td> <td>左記の現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サバナケット県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>チャンパサック県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 出所：プロジェクトチーム 25. 上記データについて、プロジェクトの活動・投入との因果関係についての情報があれば御提供ください。 例：上記のうち、XXXはプロジェクトの活動によるものではないが、YYYの実施の結果、ZZZが主体的にフィードバックしたものである								指標のベースライン	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し	アウトプットの質と数量	カムアン県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況		左記の現状		サバナケット県					チャンパサック県						
		指標のベースライン	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し																										
アウトプットの質と数量	カムアン県	プロジェクト開始前または開始時の初期状況		左記の現状																											
	サバナケット県																														
	チャンパサック県																														
アウトプット2 授業改善を促進する人材が強化される。 Human recourses to promote improvement of lessons are strengthened.	2-1. 開発されたモデル授業案の質が改善される。 2-1. Quality of developed model lesson plans is improved.	26. 能力開発のレベル：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">能力開発のレベル</th> <th></th> <th>指標のベースライン（値または状態）</th> <th>指標の目標（値または状態）</th> <th>現状での実績（値または状態）</th> <th>プロジェクト終了時点での達成見通し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">業務遂行能力</td> <td rowspan="3">知識やスキルを業務にどのように活用した行動ができていますか</td> <td>TTC トレーナー</td> <td></td> <td>(例)モデル授業案の質を適切に改善することが出来るようになる。</td> <td>左記の現状</td> <td>プロジェクト終了までどこまで達成できるかの見通し</td> </tr> <tr> <td>PES トレーナー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DEB トレーナー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 出所：プロジェクトチーム						能力開発のレベル			指標のベースライン（値または状態）	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し	業務遂行能力	知識やスキルを業務にどのように活用した行動ができていますか	TTC トレーナー		(例)モデル授業案の質を適切に改善することが出来るようになる。	左記の現状	プロジェクト終了までどこまで達成できるかの見通し	PES トレーナー					DEB トレーナー				
能力開発のレベル			指標のベースライン（値または状態）	指標の目標（値または状態）	現状での実績（値または状態）	プロジェクト終了時点での達成見通し																									
業務遂行能力	知識やスキルを業務にどのように活用した行動ができていますか	TTC トレーナー		(例)モデル授業案の質を適切に改善することが出来るようになる。	左記の現状	プロジェクト終了までどこまで達成できるかの見通し																									
		PES トレーナー																													
		DEB トレーナー																													
	2-2. ITSMEトレーナーの教科知識が改善	27. 能力開発のレベル：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。																													

調査項目		質問内容						
大項目	PDM2 の指標							
	される。 2-2. ITSME trainers' subject knowledge is improved.	能力開発のレベル		指標のベースライン (値または状態)	指標の目標 (値または状態)	現状での実績 (値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し	
		理解度	研修による知識やスキルの習得度。点数や%などで表現。	TTC トレーナー	TOT 開始前の状況	(例)ポストテストで受講者の全科目平均点が75点以上	左記の現状	プロジェクト終了までにどこまで達成できるかの見通し
				PES トレーナー				
				DEB トレーナー				
		出所：プロジェクトチーム						
アウトプット3 授業改善のための教材類が作成される。Materials for improving lessons are developed.	3-1. 活動1-3で示された計画目標に対して、実際に開発された材料の授業案の数 3-1. The number of model lesson plans developed against the target in the plan stated in activities	28. 左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。						
			指標のベースライン	指標の目標 (値または状態)		現状での実績 (値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し	
		アウトプットの質と数量	プロジェクト開始前は開始時の初期状況	1年次	設定無し	3単元 (3教材)	3単元 (3教材)	
				2年次	設定無し	9単元 (9教材)	9単元 (9教材)	
					3年次	10教材	10単元 (13教材)	10単元 (13教材)
					4年次	10教材	2013年6月1日現在で、13単元 (15教材)	
				合計				
		29. 能力開発のレベル：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。						
	3-2. 活動3-7で取りまとめられた授業改善のための教材集 3-2. Compilation of materials for improving lessons developed by activities in 3-7.		指標のベースライン	指標の目標 (値または状態)		現状での実績 (値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し	
		アウトプットの質と数量	プロジェクト開始前は開始時の初期状況	1年次				
				2年次				
				3年次				
				4年次				
				合計				
	3-3. 教材集の国家標準としての採用を検討するよう教育省に提案するために、プロジェクトで準備・提出した文書	30. アウトプットの質と量：左記指標について、下記の表の視点から達成状況をお答え下さい。						
			指標のベースライン	指標の目標 (値または状態)	現状での実績 (値または状態)	プロジェクト終了時点での達成見通し		
		アウトプットの質と数量	プロジェクト開始前は開始時の初期状況	(例)準備・提出した文書の質 (機能/内容)、その他付帯するアウトプット、など	左記の現状			

調査項目		質問内容											
大項目	PDM2の指標												
	3-3. A document prepared and submitted by the project to propose to MOES for their consideration to adopt the developed materials as national standard.	出所：プロジェクトチーム											
投入実績	日本人専門家	31. 日本人専門家の投入実績をお答えください。											
			1年次		2年次		3年次		4年次		合計		
		担当分野	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	
		合計											
				出所：プロジェクトチーム									
		投入実績	ラオス人カウンターパート	32. ラオス人カウンターパートの投入実績をお答えください（可能であれば）。									
	1年次			2年次		3年次		4年次		合計			
担当分野	計画 M/M			実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	計画 M/M	実績 M/M	
プロジェクトダイレクター													
プロジェクトマネージャー													
XX担当													
YY担当													
合計													
		出所：プロジェクトチーム											

2-2. 活動、投入の進捗状況

活動	進捗状況		左記▲の活動について、完了に必要な投入（対処内容）	活動遅延の原因
	○：すでに予定の活動を完了。 △：現時点では活動は未完了だがプロジェクト終了までに完了する予定。 ▲：プロジェクト終了までには完了不可能。数字は2013年10月時点の達成見込み。5は100%、4は75～100%未満の達成度を示す。			
アウトプット1 授業改善のための仕組みが強化される。				
1-1. 教育スポーツ省と県教育局は対象県の理数科教育ベースライン調査を実施する。	(例)○ 100%	2010年4月、5日間のベースライン調査が対象3県8郡で実施され、①教員の理数科に対する能力の低さ、②教科書の不適切な内容と構成、③教科書通りに行われる授業などの問題点が明らかになった。		
1-2. 教育スポーツ省は、教員養成校、県教育局、郡教育局からITSMEトレーナーを選定する。				
1-3. 教育スポーツ省は、授業改善のための体制支援の実施計画を策定する。				
1-4. 教育スポーツ省は、1-3の計画に基づいて、ITSMEワークショップを開催する。				
1-5. 対象郡の郡教育局は、教員養成校と県教育局の協力を受け指導者研修（以下「TOT」）研修を実施し、対象校校長らに対してワークショップで作成した教材を紹介する。				

活動	進捗状況 ○：すでに予定の活動を完了。 △：現時点では活動は未完了だがプロジェクト終了までに完了する予定。 ▲：プロジェクト終了までには完了不可能。数字は2013年10月時点の達成見込み。5は100%、4は75~100%未満の達成度を示す。		左記▲の活動について、完了に必要な投入（対処内容）	活動遅延の原因
1-6. 対象校の校長とアカデミックティーチャー（以下「AT」）は、TOTにおいて、校内での授業改善のため行動計画を策定する。				
1-7. 校長とATは1-6の活動計画に従い、授業改善のための活動を実施する。				
1-8. 郡教育局は、模範学習活動案の使用状況についてモニタリングを実施し、県教育局に報告する。				
1-9. プロジェクトは、授業改善の仕組み強化のために教員養成校と県教育局／郡教育局との間でMOUを締結に向けた議論をファシリテートする。				

活動	進捗状況 ○：すでに予定の活動を完了。 △：現時点では活動は未完了だがプロジェクト終了までに完了する予定。 ▲：プロジェクト終了までには完了不可能。数字は2013年10月時点の達成見込み。5は100%、4は75~100%未満の達成度を示す。		左記▲の活動について、完了に必要な投入（対処内容）	活動遅延の原因
1-10. プロジェクトは、教育政策アドバイザーと協力し、教員強化に関する School of Quality（以下「SOQ」）達成のための校内指導活動（以下「IS」）を支援するために、教育スポーツ省関係者との議論をファシリテートする。				
1-11. 教育スポーツ省は、関係機関と本プロジェクトでの経験を共有するためのセミナーを開催する。				
アウトプット2 授業改善を促進する人材が強化される。				
2-1. ITSME トレーナーは、ITSME ワークショップ参加を通じて、授業改善のために必要な教科知識やスキルを身につける。				
2-2. 対象校の校長やATは、TOTを通じて、授業改善の方法を学ぶ。				
アウトプット3 授業改善のための教材類が作成される。				
3-1. 学習活動案の標準フォーマット及び学習活動案準備マニュアルが策定される。				

活動	進捗状況 ○：すでに予定の活動を完了。 △：現時点では活動は未完了だがプロジェクト終了までに完了する予定。 ▲：プロジェクト終了までには完了不可能。数字は2013年10月時点の達成見込み。5は100%、4は75～100%未満の達成度を示す。		左記▲の活動について、完了に必要な投入（対処内容）	活動遅延の原因
3-2. ITSME トレーナーは、3-1のフォーマットを満たした模範学習活動案を作成する。				
3-3. ITSME トレーナーは、授業改善のためのISのためのマニュアルを作成する。				
3-4. 学習活動案評価シートと授業観察シートが策定される。				
3-5. 授業モニタリングレポート様式が策定される。				
3-6. ITSME トレーナーが活用できる授業改善のための参考教材が作成される。				
3-7. 3-1～3-6の教材類を含む授業改善のための総集教材が取り纏められる。				
3-8. エンドライン調査の一環として、対象校の教員の授業実践経験を共有するためのワークショップが実施される。				
3-9. 3-8で共有された経験を基に、プロジェクト期間中に策定された教材類を国レベル標準として検討するよう教育スポーツ省に提案する文書が作成される。				

出所：プロジェクトチーム

2-3. 実施プロセス

調査項目		質問事項	
大項目	小項目		
中間レビュー調査での提言事項への対応状況	既存の制度や仕組みに ITSME の成果を組み入れるための出口戦略への取り組み	ITSME トレーナーチームの継続についての協議・検討	1. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
		県レベルにおける組織間相互協力体制の継続のための協議・検討と MOU の合意・締結	2. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
		ITSME の成果活用・共有のための中央レベルでの相互協力の検討	3. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
	C/P 組織の能力向上への取り組み(MOES, TTC, PES, DEB)	ITSME トレーナーの更なる能力強化	4. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
		他の関連人材に対する ITSME の成果の共有・普及	5. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
		関連する単元の教科内容に関する参考教材の作成	6. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
	プロジェクトにより開発される教材の質の向上に向けた取り組み	モニタリングの規則性、柔軟性の向上に向けた既存の制度の最大限の活用	7. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
		教材の活用や質に関する対象校からのフィードバックや、内容の修正に向けた議論を行うための WS の開催	8. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
	その他の課題への取り組み	プロジェクトマネジメントのツールとしての PDM の有効活用	9. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>
		意思決定レベルにおける議論の促進に向けた JCC 会合の最大限の活用	10. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。 <input type="text"/>

調査項目		質問事項
大項目	小項目	
	最終版の教材とその全国普及に関する提言をとりまとめたプロジェクトの最終成果品としての包括的報告書の作成と MOES への提出	<p>11. 左記に関する取り組み状況を、具体的にお書き下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
技術移転の方法	<p>技術移転の方法に問題はなかったか？ (①専門家⇒トレーナー(研修教材作成会で、ITSME 教材を作るステップ) ②トレーナー⇒校長・アカデミックティーチャー(TOT で、ITSME 教材を届けるステップ) ③校長・アカデミックティーチャー⇒(一般の)理数科教員(IS 活動で、ITSME 教材を使うステップ) さらに④ITSME トレーナーによるモニタリングでITSME 教材を改善するステップ、⑤モニタリングの成果を①の研修教材作成会にフィードバックするステップ、の各段階において)</p>	<p>12. 技術移転の方法で特に問題があった点があれば教えてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>

調査項目		質問事項
大項目	小項目	
プロジェクトの実施体制	プロジェクト実施体制は適切に構築、修正されてきたか？	<p>13. C/Pの配置（人数、職責、配置時期など）は適切でしたか はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>14. その理由をお示してください。 <input type="text"/></p> <p>15. C/Pの異動や離任に際し適切な対応が取られていますか はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>16. その理由をお示してください。 <input type="text"/></p> <p>17. JICAからの支援は十分であったか（どのような形で支援が行われたか、支援が不足していた点はあるか） はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>18. その理由をお示してください。 <input type="text"/></p> <p>19. 実施体制の面で、プロジェクト実施に効果的だった点があれば具体的に示してください。 1) どのような点か？ <input type="text"/></p> <p>2) その結果、PDMのどの活動に、どのような効果をもたらしたか？ <input type="text"/></p> <p>20. プロジェクトの活動または投入に影響を及ぼした、ラオス側または日本側の実施システムの組織、制度、人材、財務の問題があれば具体的に示してください。 1) いつからいつまで、どのような問題が、どういう原因で発生したか？ <input type="text"/></p> <p>2) その結果、PDMのどの活動がいつからいつまで、どのように影響を受けたか？ <input type="text"/></p> <p>3) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。 <input type="text"/></p>

調査項目		質問事項
大項目	小項目	
プロジェクトのマネジメント	プロジェクト実施前のJICAの技術協力スキームに対する理解	<p>21. JICAの技術協力プロジェクトの特徴や実施方法についての、JICAによるMOESまたは関係機関に対する事前の説明は十分でしたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>22. プロジェクト実施に影響を及ぼした、上記に起因する問題があれば具体的に示して下さい。 1) いつからいつまで、どのような問題が、どういう原因で発生したか？ <input type="text"/></p> <p>2) その結果、PDMのどの活動がいつからいつまで、どのように影響を受けたか？ <input type="text"/></p> <p>3) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。 <input type="text"/></p> <p>23. JICAの技術協力プロジェクトの特徴や実施方法について理解を深める上で、特に効果的だった方法があればお答え下さい。 <input type="text"/></p>
	プロジェクト全体のマネジメント	<p>24. JICAプロジェクト全体のマネジメントで生じた課題があれば記入ください。 1) 生じた課題 <input type="text"/></p> <p>2) 上記の課題の解決策として取るべきだった方策 <input type="text"/></p> <p>3) 上記の課題の解決策として取るべきだった方策 <input type="text"/></p>
	プロジェクトのモニタリング	<p>25. プロジェクトのモニタリングは、適切に行われましたか はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>26. Noの場合、その結果、プロジェクトの活動にどのような障害が生じましたか？ <input type="text"/></p>

調査項目		質問事項
大項目	小項目	
	プロジェクトの意思決定	<p>27. 合同調整委員会のメンバー構成、開催頻度は適切な意思決定を行う上で十分でしたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>28. プロジェクト実施に影響を及ぼした、上記に起因する問題があれば具体的に示して下さい。 1) いつからいつまで、どのような問題が、どういう原因で発生したか？ <input type="text"/></p> <p>2) その結果、PDM のどの活動がいつからいつまで、どのように影響を受けたか？ <input type="text"/></p> <p>3) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。 <input type="text"/></p> <p>29. 合同調整委員会の運営に実際に採用され、特に効果的だった仕組みや方法論があればお答え下さい。 1) どのような仕組みや方法論か？ <input type="text"/></p> <p>2) どのような効果をもたらしたか？ <input type="text"/></p>
	プロジェクト内の調整	<p>30. プロジェクト内の調整は、円滑に行われましたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>31. その結果、プロジェクトの活動にもたらした効果があれば記入ください。 <input type="text"/></p>

調査項目		質問事項
大項目	小項目	
	プロジェクト実施中の関係者間の情報共有・調整	<p>32. プロジェクト関係者間で、情報共有（①カウンターパートと専門家の情報共有、②JICA 事務所・本部との情報共有、③MOES 内の関係部署、TTC、対象県、対象郡、対象校との情報共有・調整など）は十分に行われたと評価しますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>33. プロジェクト実施に影響を及ぼした、上記に起因する問題があれば具体的に示して下さい。 1) いつからいつまで、どのような問題が、どういう原因で発生したか？ <input type="text"/></p> <p>2) その結果、PDM のどの活動がいつからいつまで、どのように影響を受けたか？ <input type="text"/></p> <p>3) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。 <input type="text"/></p> <p>34. 上記情報共有のために実際に採用され、特に効果的だった仕組みや方法論があればお答え下さい。 1) どのような仕組みや方法論か？ <input type="text"/></p> <p>2) どのような効果をもたらしたか？ <input type="text"/></p> <p>35. 他ドナーや関係プロジェクトとの調整や連携などは十分に行われたと評価しますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>36. その理由をお示してください。 <input type="text"/></p>

調査項目		質問事項
大項目	小項目	
	日本人専門家とカウンターパートの協力・信頼関係	<p>37. 日本人専門家とカウンターパートの協力・信頼関係は、プロジェクトを実施するうえで十分なレベルに醸成されてきたと評価しますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>38. プロジェクト実施に影響を及ぼした、上記に起因する問題があれば具体的に示して下さい。 1) いつからいつまで、どのような問題が、どういう原因で発生したか？ <input type="text"/></p> <p>2) その結果、PDM のどの活動がいつからいつまで、どのように影響を受けたか？ <input type="text"/></p> <p>3) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。 <input type="text"/></p> <p>39. 上記協力・信頼関係醸成のために、特に重要だったと思われる点があればお答え下さい。 <input type="text"/></p>
	関係者のプロジェクトに対する認識	<p>40. カウンターパートの主体性は確保されていましたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>41. その根拠をお示してください。 <input type="text"/></p> <p>42. カウンターパートや実施機関のプロジェクトに対する認識は高いと思われますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>43. その根拠をお示してください。 <input type="text"/></p> <p>44. 対象校（校長・アカデミックティーチャー・教員）のプロジェクトに対する認識は高いと思われますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>45. その根拠をお示してください。 <input type="text"/></p>

調査項目		質問事項									
大項目	小項目										
	PDMの変更	<p>46. これまでのPDMの変更の主な点と理由について（巨視的に）お答え下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>主な変更点</th> <th>主な変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PDM1→2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">【回答不要】</td> </tr> </tbody> </table>		主な変更点	主な変更理由	PDM1→2			【回答不要】		
	主な変更点	主な変更理由									
PDM1→2											
【回答不要】											
その他	その他プロジェクトの実施過程で特に良かった点	<p>47. その他、プロジェクトの実施プロセスにおいて、プロジェクトの投入、活動、成果、プロジェクト目標の達成に特に貢献している要因があれば具体的に示して下さい。</p> <p>1) どのような貢献要因か？</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>2) その結果、PDMのどの活動がいつからいつまで、どのようにプラスの影響を受けたか？</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>									
	その他プロジェクトの実施過程で特に問題のあった点	<p>48. その他、プロジェクトの実施プロセスにおいて、プロジェクトの投入、活動、成果、プロジェクト目標の達成を阻害している要因があれば具体的に示して下さい。</p> <p>3) いつからいつまで、どのような問題が、どういう原因で発生したか？</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>4) その結果、PDMのどの活動がいつからいつまで、どのようにマイナスの影響を受けたか？</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>5) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>									

2-4. 評価5項目

評価5項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
妥当性	上位目標/プロジェクト目標のラオス国のニーズとの合致	対象地域・社会のニーズとの合致	1. プロジェクトが対象としている技術分野と対象地域・社会の技術ニーズは今もどのような点で合致していますか？ <input type="text"/>
		プロジェクト実施機関・ターゲットグループのニーズとの合致	2. プロジェクトが対象としている技術分野と MOES, TTC, PES, DEB, 小学校（理数科）教員の求める技術ニーズは今もどのような点で合致していますか？ <input type="text"/>
	ホスト国のコミットメント	プロジェクトの成功に向けたラオス政府のコミットメントは高いのか	3. MOES は、プロジェクト実施のための予算、人材、外部条件の処理などの、R/D の公約を実現してきましたか？ <input type="text"/> 4. 活動、成果、プロジェクト目標の達成にプラス/マイナスの影響を及ぼした、上記公約に関する齟齬があればお答え下さい。 1) どのような齟齬か？ <input type="text"/> 2) その結果、PDM のどの活動がいつからいつまで、どのように影響を受けたか？ <input type="text"/> 3) 上記の問題につき取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。 <input type="text"/>
	優先度の高さ	ラオスの開発政策に合致しているか	5. 以下の政策の中での教師教育の重要性にプロジェクト開始以来、現時点で変化はありませんか？下記現況について、変化があれば具体的にお答えください。 1) 教育セクター開発枠組み（Education Sector Development Framework: ESDF2009-2015）での教師教育の重要性 <input type="text"/> 2) 第7次教育セクター開発5ヵ年計画（Education Sector Development Plan: ESDP2011-2015）での教師教育の重要性 <input type="text"/> 3) 教員教育戦略・行動計画（Teacher Education Strategy and Action Plan: TESAP）での教師教育の重要性 <input type="text"/>

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法												
	大項目	小項目													
手段の適切性		日本の対ラオス援助政策に沿っているか	6. 「外務省対ラオス国別援助政策」の中で、教師教育分野の支援の重要性が示されているか？ 【回答不要】 7. 「JICA国別事業実施計画」の中で、支援プログラムで本プロジェクトの位置づけが明確か？ 【回答不要】												
		プロジェクトはラオスの教育分野の課題に対する効果をあげる戦略として適切だったか	8. プロジェクトのアプローチで、課題解決に特に有効だった点があれば教えてください。 <input type="text"/>												
		ターゲットグループの選定は適切だったか	9. ターゲットグループ（対象校の理数科教員）を対象としたこと、その規模や男女比は適切でしたか？ <input type="text"/>												
		ターゲットグループ以外への波及性はあったか	10. ターゲットグループ（対象校の理数科教員）以外への波及性があったら教えてください。 <input type="text"/>												
		プロジェクトは援助協調により相乗効果を生むものか	11. 教師教育という本プロジェクト対象分野と技術的に相互補完関係になっている他ドナーのプロジェクトの概要を教えてください。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%;">ドナー/プロジェクト名/コード名</th> <th style="width:33%;">実施年度</th> <th style="width:34%;">どのような相互補完があったか（箇条書き程度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	ドナー/プロジェクト名/コード名	実施年度	どのような相互補完があったか（箇条書き程度）									
	ドナー/プロジェクト名/コード名	実施年度	どのような相互補完があったか（箇条書き程度）												
	プロジェクトは日本の他の協力と相乗効果を生むものか	12. 教師教育という本プロジェクト対象分野と技術的に相互補完関係になっている日本の協力の概要を教えてください。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%;">プロジェクト名/コード名</th> <th style="width:33%;">実施年度</th> <th style="width:34%;">どのような相互補完があったか（箇条書き程度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	プロジェクト名/コード名	実施年度	どのような相互補完があったか（箇条書き程度）										
プロジェクト名/コード名	実施年度	どのような相互補完があったか（箇条書き程度）													
	日本の技術の優位性はあるか（日本が援助する技術的必然性）	13. 本プロジェクトが対象としている、教師教育分野で、日本はラオスに提供し得る有用な技術を持っていると評価できますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 14. それはどのような技術側面ですか？ <input type="text"/>													
	妥当性を覆すような環境の変化はなかったか	15. 妥当性を覆すような環境の変化があったら教えてください。 <input type="text"/>													
有効性	プロジェクト目標達成の見込み	プロジェクト目標の達成予測	16. 成果指標は達成されているか？ 【回答不要(2-1参照)】 17. プロジェクト目標の各指標は達成可能か？ 【回答不要(2-1参照)】												

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
			<p>18. IS 活動や ES 活動の活性化を通して、授業実践と授業案の質の改善を図るというプロジェクト目標は、ラオスの課題解決に有効でしたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>19. Yes の場合、IS 活動や ES 活動の活性化が、どのように授業実践と授業案の質の改善に結びついたか、具体的に示してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	アウトプットと外部条件、プロジェクトの因果関係の適切さ	3つのアウトプットと外部条件の達成によって、プロジェクト目標は達成できるか？	<p>20. PDM2 の3つの成果を達成することにより、プロジェクト目標の2つの指標を達成することが可能でしたか？言い換えると、PDMとして、達成ロジックに無理はありませんでしたか？</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>21. プロジェクト目標の指標達成のために必要だったと思われる、PDM2 にはない他の成果があれば、具体的に示して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		PDM のアウトプットレベルの外部条件は満たされているか(現時点でも外部条件は正しいか)	<p>22. 校内指導活動(IS: Internal Supervision)や外部指導活動(External Supervision)に関する MOES の政策・方向性に大きな変化があればお示してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	プロジェクト目標に貢献している要因は何か	日本による他の支援がプロジェクト目標達成に寄与していないか	<p>23. 日本の他の支援がプロジェクト目標に寄与した点がありましたらお示してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		他のドナーによる支援がプロジェクト目標に寄与していないか	<p>24. 他ドナーによる支援がプロジェクト目標に寄与した点がありましたらお示してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		上記以外にプロジェクト目標達成への貢献要因はないか	<p>25. プロジェクトの成果・活動以外で、上記以外にプロジェクト目標の達成へ貢献した点がありましたらお示してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	プロジェクト目標を阻害している要因はあるか	外部条件が、プロジェクト目標の達成を阻害していないか	<p>26. 外部条件である、校内指導活動(IS: Internal Supervision)や外部指導活動(External Supervision)に関する MOES の政策・方向性に大きな変化、によってプロジェクト目標の達成が阻害されている場合、その状況を教えてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		外部条件以外の阻害要因はないか	<p>27. その他、プロジェクト目標達成を阻害した要因があれば具体的に示して下さい。 1) いつからいつまで、どのような事象が、どういふ原因で発生したか？</p> <p>2) その結果、PDM のどの活動がいつからいつまで、どのようにマイナスの影響を受けたか？</p> <p>3) 上記の事象につき、必要に応じ取られた対策と今後の見込みをお答え下さい。</p>
効率性	アウトプットの達成度	アウトプットの達成度は適切か	<p>28. PDM2 の3つの成果達成に直接結び付かなかった活動/投入があればお答え下さい。</p>
	活動とアウトプットの因果関係は適切か	アウトプット算出に過不足ない活動であったか	<p>29. 3つの成果を達成するために、PDM2 に示された投入・活動は十分でしたか？</p> <p>30. 3つの成果を達成するためにさらに必要だったと思われる、PDM2 にはない他の投入・活動があれば、具体的に示して下さい。</p>
		PDM の活動レベルの外部条件は満たされているか(現時点でも外部条件は正しいか)	【回答不要】(アウトプット達成のための外部条件は設定がないため)
	アウトプット産出に外部条件の影響はなかったか	外部条件によりアウトプット産出が遅れたり阻害されなかったか	【回答不要】(同上)
	活動を行うために適切な量・質・タイミングの投入であったか	(日本側) 専門家の MM、分野、派遣時期は適切か	<p>31. 日本人専門家はそれぞれの担当成果を達成するために必要な専門性、資質を満たしていたと評価できますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></p> <p>32. その理由をお示しください。</p> <p>33. 日本人専門家の人数、派遣日数、タイミングは適切でしたか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></p> <p>34. その理由をお示しください。</p>

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		<p>(日本側) 供与機材の種類、量タイミグは適切か</p> <p>35. 供与機材はタイミグよく投入されましたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>36. その理由をお示してください。</p> <p>37. 機材は活動とマッチしていますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>38. その理由をお示してください。</p> <p>39. 活用されていない供与機材はありませんか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>40. 活用されていない場合、その理由をお示してください。</p>	
		<p>(ラオス側) カウンターパートの人数、能力・専門分野、配置期間は適切か</p> <p>41. カウンターパート職員 (MOES, TTC, PES, DEB) の資質は技術移転のパートナーとして適切でしたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>42. その理由をお示してください。</p> <p>43. プロジェクトに関わるマネージメント分野の MOES(DTE)職員の資質、権限は適切でしたか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>44. その理由をお示してください。</p> <p>45. プロジェクトに関わるアドミ分野の MOES(DTE)職員の資質、権限は適切でしたか？</p> <p>46. その理由をお示してください。</p>	

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		(ラオス側)プロジェクト事務所設置の状況、ローカルコストの負担は適切なレベルだったか	47. プロジェクト事務所設置状況、ローカルコスト負担は、プロジェクトの活動を進める上で適切なレベルでしたか。 <input type="text"/>
			48. その理由をお示してください。 <input type="text"/>
		本邦研修は適切であったか	49. 研修期間、内容は適正でしたか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
		50. その理由をお示してください。 <input type="text"/>	
		51. 成果の達成度をより高めるために日本研修で、改善すべき点があれば御提案下さい。 <input type="text"/>	
		52. 研修で参加者が得た知識・技術は帰国後に、どのように活用されていますか? <input type="text"/>	
		53. 活用されていない場合、その理由をお示してください。 <input type="text"/>	
	前提条件は満たされているか	54. プロジェクト開始時に、前提条件(①MOESによるIS活動とES活動強化のための予算・施行面でのコミットメント、②IS活動とES活動強化に予算・実施面でコミットする対象郡・対象校が存在すること)は整っていましたか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	
		55. そうでない、あるいはそれ以上の条件が整っていた場合、その内容を列記して下さい。 <input type="text"/>	
	費用対効果が高いか	より低いコストでアウトプットを達成する他のアプローチはなかったか? または同じコストでアウトプットの達成度をより高めることはできなかったか?	56. 3つの成果を達成する上で、より低いコストで実施可能な活動や投入の代替案があればご提案下さい。 <input type="text"/>

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法									
	大項目	小項目										
		より低いコストでプロジェクト目標を達成する他のアプローチはなかったか？ または同じコストでプロジェクト目標の達成度をより高めることはできなかったか？	57. プロジェクト目標を達成する上で、より低いコストで実施可能なアウトプットの代替案があればご提案下さい。 									
	他に効率性を阻害する要因はなかったか	活動は予定通り行われたか	58. 活動遅延の原因のうち、プロジェクト関係者により解決策を見いだせなかったものを列記して下さい。 59. 今後、上記解決策のために必要と思われる投入（資機材、人材、予算、時間）があれば、列記して下さい。 									
		実施プロセスに問題はなかったか	60. 実施プロセスにおいて、特に問題があった点があればお示し下さい。 									
	プロジェクトの 枠組み		61. これまでの PDM1～2 について達成ロジック、技術的、制度的などの面で、主な不適切だった点と取られた改善策を挙げて下さい。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">不適切だった点</th> <th style="width: 35%;">取られた改善策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PDM1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PDM2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		不適切だった点	取られた改善策	PDM1			PDM2		
	不適切だった点	取られた改善策										
PDM1												
PDM2												
	キャパシティ・ディベロップメント(CD)の方法論の適切さ	個人、組織レベル CD の方法論	62. 教材作成ワークショップ、TOT、IS 活動、ES 活動などで構成される技術移転の方法は、個人・組織レベルの能力開発に最も適切な方法だったと考えられますか？ 63. 他に有効と思われる方法論があれば理由と共に御提案下さい。 64. カウンターパートの研修理解度、その後のパフォーマンスのモニタリング・評価を行っていますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 65. NO ならばその理由と取っている他の方策をお答え下さい。 									

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		制度レベル（仕組み作り）キャパシティ・ディベロップメントの方法論	<p>66. 成果1の授業の質改善に向けた体制・仕組み作りのために活用された方法論はこのプロジェクトでは最も適切な方法だと評価できますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>67. 他にも採用すれば有効と思われる方法論があれば理由と共に御提案下さい。 <input type="text"/></p> <p>68. 仕組み構築の障害となる政治、制度などの外的要因があればお示し下さい。 <input type="text"/></p>
インパクト（予測）	上位目標達成の見通し	上位目標は、プロジェクト目標達成の効果として、3～5年程度以内に達成され得るか	<p>69. 上位目標を達成するために、現在 MOES またはプロジェクトでどのような取組みが行われていますか？または取組みを行うためのどのような計画がありますか？（地理的な拡大計画や、既存の制度を使った普及計画など） <input type="text"/></p> <p>70. パイロットプロジェクトの技術活用のためのメカニズムがすでに構築されていますか？または活用のためのどのような計画がありますか？ <input type="text"/></p> <p>71. プロジェクト目標達成後、3～5年程度で上位目標は達成され得ると考えられますか？ はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>72. 上記 Yes または No の理由をお答え下さい。 <input type="text"/></p>
	上位目標とプロジェクト目標の因果関係は適切か	<p>事後の評価において効果の検証ができるか。上位目標の指標が適切に設定されているか。</p> <p>プロジェクト目標達成により上位目標達成が見込めるか</p>	<p>73. 上位目標（目標値）を用いて、事後の評価において効果の検証が可能と思われますか？ <input type="text"/></p> <p>74. 上位目標とプロジェクト目標は乖離していませんか？ <input type="text"/></p>

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		プロジェクト目標レベルの外部条件は満たされるか(外部条件現時点においても正しいか)	<p>75. 外部条件(ラオス側により対象県全ての学校で校内研修が継続的に行われる)が満たされる見込みはありますか? はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>76. その理由をお示してください。</p>
上位目標達成に向けた取り組みがなされているか	上位目標達成に向けた取り組み(予算、人員、組織体制、制度など)が行われているか	上位目標達成に向けた計画(予算、人員、組織体制、制度など)が検討されているか	<p>77. 上位目標達成に向けた取り組み(予算、人員、組織体制、制度など)が既に行われていましたら、お示してください。</p>
		対象県・対象校以外への普及のための実施体制(予算、人員、組織体制、制度など)が整えられているか	<p>78. 上位目標達成に向けた計画(予算、人員、組織体制、制度など)が既に検討、作成されていたら、お示してください。</p>
		対象県・対象校以外への普及のための実施体制(予算、人員、組織体制、制度など)が整えられているか	<p>79. 対象県・対象郡・対象校以外への普及のための実施体制(予算、人員、組織体制、制度など)が整えられていたら、お示してください。</p>
開発計画へのインパクトの見込みがあるか	上位目標の達成によりラオス国開発計画へのインパクトは見込めるか	<p>80. 上位目標の達成によりラオス国開発計画へのインパクトが見込めるようでしたら、お示してください。</p>	
外部条件の他に上位目標達成を阻害する要因はないか	外部条件の他に上位目標を阻害する要因はないか		<p>81. 上位目標が達成されるために、現時点で想定される阻害要因は何ですか?</p>
			<p>82. 上記阻害要因はMOESが解決可能なものですか。 はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>83. 上記 Yes または No の理由をお答え下さい。</p>
	上位目標を阻害する要因がある場合、プロジェクトでの取り組みが検討されたか	<p>84. 上位目標を阻害する要因がある場合、プロジェクトでの取り組みが検討されましたか。 はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p> <p>85. Yes の場合、どのような取り組み内容ですか。</p>	
上位目標以外の正負のインパクトはあったか	政策の策定と法律・制度・基準等の整備への影響があったか	<p>86. 本プロジェクトの実施により生じた、ラオスの開発政策・法律・制度・基準への波及効果をお示し下さい(プラス、マイナスいずれでも可)</p>	

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		ジェンダー、人権、貧富等社会・文化的側面への影響があったか	87. 本プロジェクトの実施により生じた、ラオスの社会・文化面への波及効果をお示し下さい（プラス、マイナスいずれでも可） □
		技術面での変革による影響があったか	88. 本プロジェクトの実施により生じた、技術面への波及効果をお示し下さい（プラス、マイナスいずれでも可） □
		対象社会、プロジェクト関係者、受益者への経済的影響があったか	89. 本プロジェクトの実施により生じた、対象社会・プロジェクト関係者・受益者への経済面への波及効果をお示し下さい（プラス、マイナスいずれでも可） □
		ジェンダー、民族、社会的階層の違いにより、異なったインパクトが生じているか（特に負のインパクト）	90. 本プロジェクトの実施により生じた、ジェンダー・民族・社会的格差の面での波及効果をお示し下さい（プラス、マイナスいずれでも可） □
		上記以外の正負のインパクトがあったか	91. その他の波及効果があればお示し下さい（プラス、マイナスいずれでも可） □
		負の影響が生じている場合は、どのような対策を講じているか	92. 負の影響への対策があればお示し下さい。 □
持続性（見込み）	政策・制度面	MOESによる本プロジェクトに関する政策は協力終了後も継続するか	93. MOES内部でのIS活動・ES活動の位置づけは制度的に確立されていますか？（関連する教育政策へのITSMEの取り組み反映の可能性を含め） はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 94. 上記 Yes の場合、どのように反映できるか具体的にお示しください。 □
		活動を持続するために必要な関連規制、法制度は整備されているか、整備される予定があるか	95. 活動を持続するために必要な関連規制、法制度が整備されているか、整備される予定があれば、お示しください。 □
		開発されたモデル授業案・マニュアルなどの既存の政策・制度への取り込み	96. 開発されたモデル授業案・マニュアルなどを既存の政策・制度（アップグレード研修、EQS研修、教員養成カリキュラム）へ取り込む計画があれば、具体的にお示しください。 □

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		効果発現の阻害要因への対処	<p>97. プロジェクトの効果発現の阻害要因（①トレーナーチームを知識的・技術的にリードできるコア人材の欠如、②教科書の質、③教員が教科知識を補うための環境や参考図書の欠如）に対する MOES としての対処計画があれば、具体的にお示しください。</p> <p>1) トレーナーチームを知識的・技術的にリードできるコア人材の欠如への対処計画</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>2) 教科書の質への対処計画</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>3) 教員が教科知識を補うための環境や参考図書の欠如への対処計画</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		対象地域において活動を継続する取り組みが担保されているか	<p>98. 対象地域において活動の継続する取り組み（具体的な展望や計画）が担保されていれば、お示しください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		対象県・対象郡・対象校以外への活動の広がり支援する取り組みが担保されているか	<p>99. 対象県・対象郡・対象校以外への活動の広がり支援する取り組み（具体的な展望や計画）が担保されていれば、お示しください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	組織面	中央の MOES や関係機関にプロジェクト終了後も効果をあげていくための活動を行う組織能力が備わっているか（人材配置、意思決定プロセス）	<p>100. 中央の MOES や関係機関にプロジェクト終了後も効果をあげていくための活動を行う組織能力が備わっていますか（人材配置、意思決定プロセス）？</p> <p>はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p>
			<p>101. 上記 Yes または No の理由をお答え下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		地方の TTC、PES、DEB、学校などの関係機関にプロジェクト終了後も効果をあげていくための活動を行う組織能力が備わっているか（人材配置、意思決定プロセス）	<p>102. 地方の TTC、PES、DEB、学校などの関係機関にプロジェクト終了後も効果をあげていくための活動を行う組織能力が備わっているか（人材配置、意思決定プロセス）</p> <p>はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p>
			<p>103. 上記 Yes または No の理由をお答え下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		MOES、TTC、PES、DEB のプロジェクトに対するオーナーシップは十分に確保されているか	<p>104. MOES、TTC、PES、DEB のプロジェクトに対するオーナーシップは十分に確保されていますか？</p> <p>はい<input type="checkbox"/> いいえ<input type="checkbox"/></p>
	<p>105. 上記 Yes または No の理由をお答え下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>		

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
	人材面	プロジェクトの効果を持続させるための人材は確保されるか	106. プロジェクトで能力開発を行った人材が、政治などの影響を受けないで継続的に勤務可能な制度枠は確保されていますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
			107. 上記 Yes または No の理由をお答え下さい。 <input type="text"/>
			108. 今後人材の持続性に関わるリスクをお示し下さい。 <input type="text"/>
	財務面	中央側の予算の確保や、予算措置は十分に行われているか	109. 中央の MOES にトレーナー研修、TOT、IS 活動や ES 活動に関連する活動を継続的に実施するための予算が確保される見込みは十分にありますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
110. 上記 Yes または No の根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>			
		111. 技術強化費用は確保できる見込みがありますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	
		112. 上記 Yes または No の根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>	
		113. 地方側の TTC、PES、DEB、学校に TOT、IS 活動や ES 活動を継続的に実施するための予算が確保される見込みは十分にありますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	
		114. 上記 Yes または No の根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>	
		115. 技術強化費用は確保できる見込みがありますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	
		116. 上記 Yes または No の根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>	
		117. プロジェクト実施により、将来の予算が増える可能性はどの程度ありますか。 <input type="text"/>	

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
技術面	プロジェクトで用いられる技術移転の手法は、受容されつつあるか(技術レベル、社会的・慣習的要因等)	118. プロジェクト終了までにカウンターパートが技術を身につけられるか? 【回答不要(2-1)参照】	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 120. 上記 Yes または No の場合、その根拠となる現在の事実をお答え下さい。 <input type="text"/>
		119. プロジェクト終了後にカウンターパートが自力で技術を活用/発展することが可能と評価できますか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	
	121. 資機材の維持管理は適切に行っていくことが可能ですか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	122. 上記 Yes または No の場合、その根拠となる現在の事実をお答え下さい。 <input type="text"/>	
	①トレーナーが研修教材作成会で、ITSME 教材を作るステップ②トレーナー⇒校長・アカデミックティーチャー (TOT で、ITSME 教材を届けるステップ) ③校長・アカデミックティーチャー⇒(一般の) 理教科教員 (IS 活動で、ITSME 教材を使うステップ)④トレーナーによるモニタリング・ITSME 教材を改善するステップ⑤モニタリングの成果を①の研修教材作成会にフィードバックするステップ。 ⇒上記を継続していけるか	123. 左記の、①から⑤のステップを継続していく見込みはありますか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	124. 特に、継続していく見込みが高い・低いステップがあれば、お示しください。 <input type="text"/>
	研修の講師・指導者を確保できるか	125. 研修教材作成会の、講師・指導者を確保することが可能ですか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	126. 上記 Yes または No の場合、その根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>

評価5 項目	評価設問		判断基準・方法
	大項目	小項目	
		研修教材を自分達で改訂できるか	127. トレーナーは、研修教材を自分たちで改訂することが可能ですか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 128. 上記 Yes または No の場合、その根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>
		研修受講者は、知識・技術を維持できるか	129. 研修受講者（校長・アカデミックティーチャー、一般の理教科教員）は、知識・技術を維持することが可能ですか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 130. 上記 Yes または No の場合、その根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>
		研修受講者は、新しい知識・技術を学ぶ機会があるか	131. 研修受講者（校長・アカデミックティーチャー、一般の理教科教員）は、新しい知識・技術を学ぶ機会がありますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 132. 上記 Yes または No の場合、その根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>
		対象県・対象校以外に普及できる技術であるか	133. 対象県・対象郡・対象校以外に普及できる技術ですか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 134. 上記 Yes または No の場合、その根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>
	社会・文化・環境面	女性、貧困層、社会的弱者への配慮不足により、持続的効果を妨げる可能性はないか	135. 女性、貧困層、社会的弱者への配慮不足により、持続的効果を妨げる可能性はありますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 136. 上記 Yes または No の場合、その根拠をお答え下さい。 <input type="text"/>
その他	上記以外に持続性の阻害・貢献要因はあるか	137. 上記以外に持続性の阻害・貢献要因があれば、教えてください。 <input type="text"/>	
総合的持続性	総合的に勘案して持続性は高いのか低いのか		

138. このプロジェクトの経験を踏まえて、今後ラオスで JICA のプロジェクトを実施するうえで、改善すべき点、あるいは教師教育分野で類似の協力を行ううえで留意すべき点や改善すべき点を教訓としてご教示下さい。

DTE 向け

Questions

2-4. Five Evaluation Criteria

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
Relevance	Whether or not the Overall Goal/Project Purpose meet the needs of Laos	Appropriateness for Needs of Target Society and Community	1. In your view, how do the Project Purpose and the Overall Goal of the Project meet the needs of the target areas and communities? <input type="text"/>
		Appropriateness for Needs of Implementing Organizations and Target Group	2. In your view, how do the Project Purpose and the Overall Goal of the Project meet the needs of the MOES, TTC, PES, DEB and teachers? <input type="text"/>
	Laos' Commitment to the Project	Lao Government's Commitment to Success of Project	3. Has the MOES kept its commitments on various aspects (e.g., Budget, Human Resources, Handling Important Assumptions) specified in the Record of Discussion(R/D) of the Project? <input type="text"/>
			4. Please answer the following if you think that the MOES did not keep any commitments specified in the R/D. 1) How did the MOES violate the commitments? <input type="text"/> 2) What activities in the PDM were affected by the MOES' violations? How and when have they been affected by the violations? <input type="text"/> 3) What countermeasures has the MOES taken (or is going to take) on the problems caused by its own violations? <input type="text"/>
Priority	Appropriateness for Priority of Development Plan of Laos	5. Please answer the following if you think that the MOES did not keep any commitments specified in the R/D. 1) Importance of "Teacher Training" in the "Education Sector Development Framework: ESDF2009-2015" <input type="text"/> 2) Importance of "Teacher Training" in the "Education Sector Development Plan: ESDP2011-2015" <input type="text"/> 3) Importance of "Teacher Training" in the "Teacher Education Strategy and Action Plan: TESAP" <input type="text"/>	

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question												
	Main	Sub													
Appropriateness of the Project Approach		Appropriateness for Japanese Assistance Policy	6. Is the importance of "Teacher Training" mentioned in the Laos Country Assistance Policy by MOFA? [No Need to Answer] 7. Is the importance of the Project clearly mentioned in the Laos Country Implementation Plan by JICA? [No Need to Answer]												
		Appropriateness of Project Approach for Development Agenda in Education Sector	8. Please cite an effective approach for achieving development goals if you know any. <input type="text"/>												
		Appropriateness of Selection of Target Group	9. Do you think that the target group (teachers in target schools) is appropriate in terms of its size and male-to-female ratio? <input type="text"/>												
		Impacts on any Other Groups or Areas other than Target Groups and Areas	10. Please cite impacts from the Project on non-target groups if you know any. <input type="text"/>												
		Synergy Effect of Aid Donor Coordination	11. Please provide the following information on any synergy effect between the Project and other donor's project(s) in the field of Teacher Training. <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">Donor/Project Name/Project Code</th> <th style="width: 20%;">Years of Implementation</th> <th style="width: 30%;">Synergy Effect That Has Occurred</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	Donor/Project Name/Project Code	Years of Implementation	Synergy Effect That Has Occurred									
	Donor/Project Name/Project Code	Years of Implementation	Synergy Effect That Has Occurred												
	Synergy Effect of Coordination with Other Japanese Assistance	12. Please provide the following information if there has been any synergy effect between the Project and other Japanese project(s) in the field of Teacher Training. <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">Project Name/Project Code</th> <th style="width: 20%;">Years of Implementation</th> <th style="width: 30%;">Synergy Effect That Has Occurred</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	Project Name/Project Code	Years of Implementation	Synergy Effect That Has Occurred										
Project Name/Project Code	Years of Implementation	Synergy Effect That Has Occurred													
	Advantage of Japanese Technology	13. Do you think Japan has a technical advantage in the field of Teacher Training for Laos? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 14. If yes, what kind of technical advantage is it? <input type="text"/>													
	Change of the Situation to the Relevance	15. Have there been any changes that undermine the relevance of the Project? <input type="text"/>													
Effectiveness	Expectation on achievement of Project Purpose	Prediction of Achievement of Project Purpose	16. Have the Output Indicators been achieved? [No Need to Answer (See 2-1)] 17. Are the Project Purpose Indicators expected to be achieved? [No Need to Answer (See 2-1)]												

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Effectiveness of Project Approach for Development Agenda	<p>18. Do you think the Project Purpose of improving the quality of lessons and lesson plans through IS and ES activities was effective for the Lao development agenda in the education sector? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>19. If yes, how did IS and ES activities help improve the lessons and lesson plans? (Please be as specific as possible.)</p>
	Appropriateness of Cause-and-Effect Logic among Outputs, Important Assumptions, and Project Purpose	Logic of PDM	<p>20. Do you think that, if all the three planned outputs are completed, the Project Purpose will be achieved? (Is the logic of PDM2 appropriate?)</p> <p>21. If you think additional outputs to PDM2 are needed for the achievement of the Project Purpose, please describe in detail what kind of outputs they are.</p>
		Whether or not Output-level Important Assumptions have been satisfied	<p>22. If there have been any drastic changes to the MOES policy on Internal Supervision (IS) or External Supervision (ES), please describe them in detail.</p>
	Contributing Factors to the Project Purpose	Contributions of other Japanese Assistance to the Project Purpose	<p>23. If any other Japanese project has contributed to the achievement of the Project Purpose, please describe the project in detail.</p>
		Contributions of other Donors' Assistance to the Project Purpose	<p>24. If assistance by other donor(s) has contributed to the achievement of the Project Purpose, please describe it in detail.</p>
		Other Contributing Factors to the Project Purpose	<p>25. If any other factors besides the Project outputs and activities have contributed to the achievement of the Project Purpose, please describe them in detail.</p>
	Obstacles to the Project Purpose	Whether or not Important Assumption affects achievement of the Project Purpose	<p>26. If any changes of the MOES policy and direction of Internal Supervision (IS) and External Supervision (ES) have prevented the achievement of the Project Purpose, please describe them in detail.</p>

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Other Obstacles to the Project Purpose	<p>27. If other factors have prevented the achievement of the Project Purpose, please describe the following.</p> <p>1) What kind of factors were they? Why did they happen? When did they happen?</p> <p>2) Which activities in the PDM have been affected? How and when have they been affected?</p> <p>3) Countermeasures that have taken (or are to be taken) to address the problems above</p>
Efficiency	Level of achievement of Outputs	Appropriateness of Level of achievement of Outputs	<p>28. Please describe Inputs and Activities in the PDM2 that have NOT contributed to the achievement of the three Outputs if any.</p>
	Appropriateness of Cause-and-Effect Logic between Activities and Outputs	Appropriateness of Activities for achievement of Outputs	<p>29. Do you think the Inputs and Activities in the PDM2 were enough to achieve the three Outputs?</p> <p>30. If you think that additional Inputs and Activities which are not in the PDM2 are needed to achieve the three Outputs, please describe them in detail.</p>
		Whether or not Activity-level Important Assumption have been satisfied	<p>[No Need to Answer] (Activity-level important assumption is not set)</p>
	Important Assumption's Impacts on Outputs	Important Assumption's Impacts on Outputs	<p>[No Need to Answer] (Same as above)</p>
	Appropriateness of Quality, Quantity, and Timing of Inputs	(Japanese Side) Appropriateness of Man-Month(M/M), Expertise, Timing and Duration of Assignment of Japanese Experts	<p>31. Do you think that the Japanese Experts in the Project had enough expertise and qualifications to achieve the Project Outputs that they were working on? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>32. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>33. Do you think the number, man-months (M/M), timing and duration of the assignment of the Japanese Experts were appropriate? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>34. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p>

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		(Japanese Side) Appropriateness of Kind, Quantity, and Timing of Purchase of Provided Equipment	<p>35. Do you think that the timing of provision of equipment was appropriate? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>36. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>37. Do you think that the provided equipment was appropriate for implementation of activities? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>38. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>39. Is there any equipment item that is not utilized? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>40. If there is any, please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p>
		(Lao Side) Appropriateness of Number, Capacity/Expertise, Timing and Duration of Assignment of Lao Counterparts	<p>41. Do you think that the qualifications of the counterparts (MOES, TTC, PES, DEB) were appropriate as the Project's partners in technological transfer? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>42. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>43. Do you think that the qualifications and authority of the MOES-DTE counterparts at the manager level were appropriate? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>44. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>45. Do you think that the qualifications and authority of the MOES-DTE counterparts at the administrative level were appropriate?</p> <p>46. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p>

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		(Lao Side) Appropriateness of Project Office and sharing of local operation cost	47. Do you think the installation of the Project office and the rate of cost sharing by the Lao side were appropriate for the implementation of the Project activities? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
			48. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above. <input type="text"/>
		Appropriateness of training conducted in Japan	49. Do you think that the duration and contents of the training in Japan were appropriate? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
			50. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above. <input type="text"/>
			51. If you have any recommendations for improving the training in Japan, please describe them in detail. <input type="text"/>
			52. How have the participants of the training in Japan utilized the knowledge and skills acquired through the training since their return to Laos? <input type="text"/>
			53. If the participants in the training in Japan have NOT utilized the knowledge and skills that they acquired or were expected to acquire in the training, please describe the reason(s) in detail. <input type="text"/>
	Whether or not pre-conditions of Project have been met	54. Were the pre-conditions of the Project (“1. MOES commits the strengthening of IS and ES in both budgetary and implementation aspects” and “2. There are districts and schools in target provinces which commit to the strengthening of IS and ES in both budgetary and implementation aspects”) met at the beginning of the Project implementation? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	
		55. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above. <input type="text"/>	
Cost-effectiveness	More cost-effective approach for achieving three Outputs	56. If you think of any other more cost-effective (cheaper) inputs or activities for achieving the three Outputs, please describe them in detail. <input type="text"/>	
	More Cost-effective approach for achieving Project Purpose	57. If you think of any other more cost-effective (cheaper) outputs for achieving the Project Purpose, please describe them in detail. <input type="text"/>	

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question								
	Main	Sub									
	Other Obstacles in terms of Efficiency	Activities conducted as planned or not	<p>58. If there were any causes for delays of the Project activities that the Project was unable to solve, please describe them in detail.</p> <input type="text"/>								
			<p>59. Please describe in detail the inputs (e.g., equipment, human resources, budget, and time) that you think the Project needs to solve the above-mentioned problems.</p> <input type="text"/>								
		Appropriateness of implementation process	<p>60. Please describe in detail if there were any major problems in the implementation process of the Project.</p> <input type="text"/>								
	Project Framework		<p>61. Please specify inadequate points of the PDM 1 and PDM 2 in terms of their logic, technical and institutional aspects.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Inadequate Points</th> <th>Measures taken for Improvement</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PDM1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PDM2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		Inadequate Points	Measures taken for Improvement	PDM1			PDM2	
	Inadequate Points	Measures taken for Improvement									
PDM1											
PDM2											
Appropriateness of Capacity Development Approach	Appropriateness of Capacity Development Approach (Individual and Organizational Level)		<p>62. Do you think that the approaches taken for transferring technology (Skill), such as W/S on development of ITSME materials, IS, and ES, were appropriate for individual and organizational capacity development?</p> <input type="text"/>								
			<p>63. If you can think of any other effective approach(s), please describe them in detail and state why you think they are effective.</p> <input type="text"/>								
			<p>64. Have you monitored and evaluated the counterparts' level of understanding and their performance after the training? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p>								
			<p>65. If not, please provide the reason and any measures taken instead of monitoring and evaluation.</p> <input type="text"/>								
	Appropriateness of Capacity Development Approach (Institutional System Level)		<p>66. Do you think that the approaches taken for the Output 1 (strengthening the mechanism for improving lessons) were appropriate for the Project? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p>								
			<p>67. If you can think of any other effective approaches to be taken, please describe them in detail and state why you think they are effective.</p> <input type="text"/>								
			<p>68. If there are any political or institutional factors that could prevent the strengthening of the mechanism for improving lessons, please describe them in detail.</p> <input type="text"/>								

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
Impact (Prediction)	Expectation on achievement of Overall Goal	Prediction of achievement of Overall Goal within 3–5 years after Project completion	69. Please describe any actions or plans taken by the MOES or the Project for achieving the Overall Goal. (e.g., plan of expanding Project achievements to non-target areas, plans to utilize the existing system such as upgrade training or EQS training to expand the Project achievements)
			70. If a mechanism for utilizing technology (skills) of the Project in non-target areas has already been established, or will be established, please describe it in detail.
			71. Do you think Overall Goal will be achieved within 3–5 years after the achievement of Project Purpose? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
			72. Please describe the reason for Yes or No.
	Appropriateness of Cause-and-Effect Logic between Overall Goal and Project Purpose	Appropriateness of Target Indicators of Overall Goal	73. Do you think that the Overall Goal can be evaluated with the current indicators at the ex-post evaluation?
		Appropriateness of Cause-and-Effect Logic between Overall Goal and Project Purpose	74. Do you think that the Overall Goal and the Project Purpose are logically connected?
		Appropriateness of Project Purpose-Level Important Assumption	75. Do you think that the Important Assumption (“IS is conducted in all the schools in the target provinces by the Lao side”) is expected to be satisfied? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
	Actions for achievement of Overall Goal	Actions for achievement of Overall Goal (Budget, Human Resources, Organizational Implementation System)	76. Please describe the reasons.
		Plans for achievement of Overall Goal (Budget, Human Resources, System)	77. If any actions (budget, human resources, organizational implementation system) have already been taken for achieving the Overall Goal, please describe them in detail.
			78. If any plans for achieving the Overall Goal (regarding budget, human resources, implementation system) have already been considered or developed, please describe them in detail.

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Implementation Structure and System (Budget, Human Resources, System) for dissemination at non-target Schools/Districts/Provinces	79. If any implementation system (regarding budget, human resources, organizational structure) for expanding the Project outcome in non-target schools/districts/provinces has been prepared, please describe it in detail.
	Expectation for Impacts to Development Plan	Expectation on Impact from achievement of Overall Goal on Laos Development Agenda	80. If you expect any impact of the achievement of the Overall Goal on the Lao development agenda, please describe it in detail.
	Obstacles to achievement of Overall Goal other than Important Assumptions	Other obstacles to the Overall Goal	81. If you can think of any obstacles to the achievement of Overall Goal, please describe them in detail. 82. Can the MOES solve the above-mentioned obstacles? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 83. Please describe the reason(s) for your answer to the question above.
		Countermeasures for obstacles to the Overall Goal	84. Has the Project considered countermeasures to preventing factors (if any) to the achievement of the Overall Goal? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 85. If yes, what kind of measures are they?
	Impacts other than Overall Goal	Impacts on Policy, Laws, and Systems	86. If there are any positive/negative impacts from the Project on Lao policy, laws, systems and standards, please describe them in detail.
		Impacts on Social and Cultural Aspects (Gender, Human Rights, and Poverty)	87. If there are any positive/negative impacts from the Project on social and cultural aspects (gender, human rights, and poverty), please describe them in detail.
		Impacts on Technology	88. If there are any positive/negative impacts from the Project on technology (skills), please describe them in detail.
		Impacts on Economic Situation of Target Society	89. If there are any positive/negative impacts from the Project on the economic status of the target communities, Project stakeholders, or beneficiaries, please describe them in detail.
		Difference of level of Impacts among Gender, Ethnic Groups, and Social Status	90. If there are any positive/negative impacts from the Project on gender, ethnic groups, and social statuses, please describe them in detail.

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Other positive and negative Impacts	91. Please describe if there are other positive/negative impacts besides the above-mentioned ones. <input type="text"/>
		Countermeasures for negative Impacts (if any)	92. Please describe countermeasures to negative impacts if you know any. <input type="text"/>
Sustainability (Expectation)	Policy/System	Continuation of MOES's policy on the Project after Project completion	93. Is the implementation of IS and ES activities established systematically as MOES policy? (Is there any possibility of reflecting the Project achievement on related policies such as TESAP or ESDP?) Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 94. If yes, please describe in detail how to reflect the Project achievement on policies. <input type="text"/>
		Laws and regulations needed for continuation of Project Activities	95. Have any laws and regulations needed for continuing the Project activities been prepared, or are they going to be prepared? If yes, please describe them in detail. <input type="text"/>
		Reflection of materials (Model lesson plans, Manual, etc.) into the existing Policy and System	96. If the MOES has a plan to utilize model lesson plans, manuals, or other materials developed by the Project as official curriculums or materials of upgrade training, EQS training, or pre-service training, please describe them in detail. <input type="text"/>
		Plans and Actions for disturbing factors to Project Outcome	97. If the MOES has countermeasures to the following obstacles for producing outcome of the Project, please describe them in detail. 1) Countermeasures to lack of core human resources who can lead the trainer team in both knowledge and skills <input type="text"/>
			2) Countermeasures to problems of the quality of textbooks <input type="text"/>
			3) Countermeasures to lack of a good learning environment and references for teachers to improve their understanding of subjects <input type="text"/>
	Plans and Actions for continuation of Project Activities at target areas	98. Have any plans or actions been taken for continuation of Project Activities at target Districts/Provinces? Or, are they going to be taken? If yes, please describe them in detail. <input type="text"/>	
Plans and Actions for expansion of Project Activities to non-target Schools/Districts/Provinces	99. Have any plans or actions been taken for expansion of Project Activities to non-target Schools/Districts/Province? Or, are they going to be taken? If yes, please describe them in detail. <input type="text"/>		
Organization	Central-level Organizational Capacity (Job Assignment, Decision Making Process) for continuation of Project Outcome	100. Do you think that central-level organizational capacity (job assignment, decision making process) for continuation of the Project outcome is secured? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 101. Please provide the specific reason for Yes or No. <input type="text"/>	

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Local-level Organizational Capacity (Job Assignment, Decision Making Process) for continuation of Project Outcome	<p>102. Do you think local-level (TTC, PES, DEB, and School) organizational capacity (job assignment, decision making process) for continuation of Project Outcome is secured? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>103. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p>
		Ownerships of MOES, TTC, PES, and DESB for Project	<p>104. Do you think that the ownership of the MOES, TTC, PES, and DEB for the Project is secured? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>105. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p>
	Human Resources	Human Resources for continuation of Project Outcome	<p>106. Do you think that the institutional framework is secured for human resources developed by the Project to continue working without disruption from any political and other factors? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>107. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>108. Please describe risk factors in terms of sustainability of human resources (allocation).</p>
	Finance	Central-level Budget	<p>109. Is expectation for securing a central MOES budget to continue W/S on development of ITSME materials, TOT, IS and ES high? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>110. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <p>111. Is a central MOES budget for strengthening the skills expected? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>112. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p>

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Local-level Budget	<p>113. Is the expectation for securing a local budget (TTC, PES, DEB, and school budget) to continue W/S on development of ITSME materials, TOT, IS and ES high? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>114. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>115. Is a local budget (TTC, PES, DEB, and school budget) for strengthening the skills expected? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>116. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
		Possibility of and actions for increasing budget as a result of Project Activities	<p>117. To what extent is a budget expected to be increased in the future as a result of the Project implementation?</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	Technical	Approaches for transferring skills (Level of skills, social and custom factors)	<p>118. Are the counterparts expected to gain enough skills before the completion of the Project? [No Need to Answer - See (2-1)]</p> <p>119. Are the counterparts expected to utilize and develop their skills on their own after the Project completion? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>120. Please describe the reason(s) for your answer to the questions above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>121. Do you think that the provided equipment will be appropriately maintained after the Project completion? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>122. Please describe the reason(s) for your answer to the questions above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Expectation for continuing the following steps; 1) Trainers develop ITSME Training Materials at W/S [Development Step]; 2) Trainers conduct TOT for School Principals and Academic Teachers [Delivery Step]; 3) Principals/ATs conduct Internal Supervision (IS) [Usage Step]; 4) Trainers monitor and revise the materials [Revision Step]; and 5) Trainers feed the monitoring results back into the Step 1.	<p>123. Do you think the five steps mentioned in the left column will be continued after the completion of Project? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>124. If you think any steps are expected to be continued, please describe them in detail.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
		Assurance of trainers/leaders for workshop on development of ITSME materials	<p>125. Do you think that trainers/leaders for W/S on development of ITSME materials can be secured? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>126. Please describe the reason(s) for your answer to the questions above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
		Revision of training materials by Lao side	<p>127. Do you think that trainers can revise ITSME materials on their own? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>128. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
		Maintenance of knowledge and skills of training participants	<p>129. Do you think that school principals, Academic Teachers (AT), and teachers can maintain their knowledge and skills? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>130. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
		Opportunities for updating knowledge and skills for training participants	<p>131. Do you think that school principals, academic teachers, and teachers have opportunities to gain new knowledge and skills? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>132. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>

Five Eva Criteria	Category of Evaluation Question		Question
	Main	Sub	
		Applicability of skills for non-target Schools/Districts/Provinces	<p>133. Do you think that skills transferred by the Project are applicable to non-target schools/districts/provinces? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>134. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	Society/Culture/Environment	Obstacles for Sustainability caused from less attention to women, the poor, and social minorities	<p>135. Is there any obstacle to sustainability of the Project outcome because of inadequate attention to women, the poor, and social minorities? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/></p> <p>136. Please describe in detail the reason(s) for your answer to the question above.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	Other	Other Obstacles to Sustainability	<p>137. If there are any other obstacles to sustainability of the Project outcome, please describe them in detail.</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	Comprehensive Sustainability	Comprehensive Sustainability	

138. If you have any recommendations or things to consider for future implementation of JICA projects in Laos or similar projects in teacher training in other countries, please describe them in detail.

4. 質問票調査様式・結果（トレーナー、学校向け）

Name: _____

Institution: _____

When did you become ITSME trainer: 2010 () 2011 () 2012 () 2013 ()

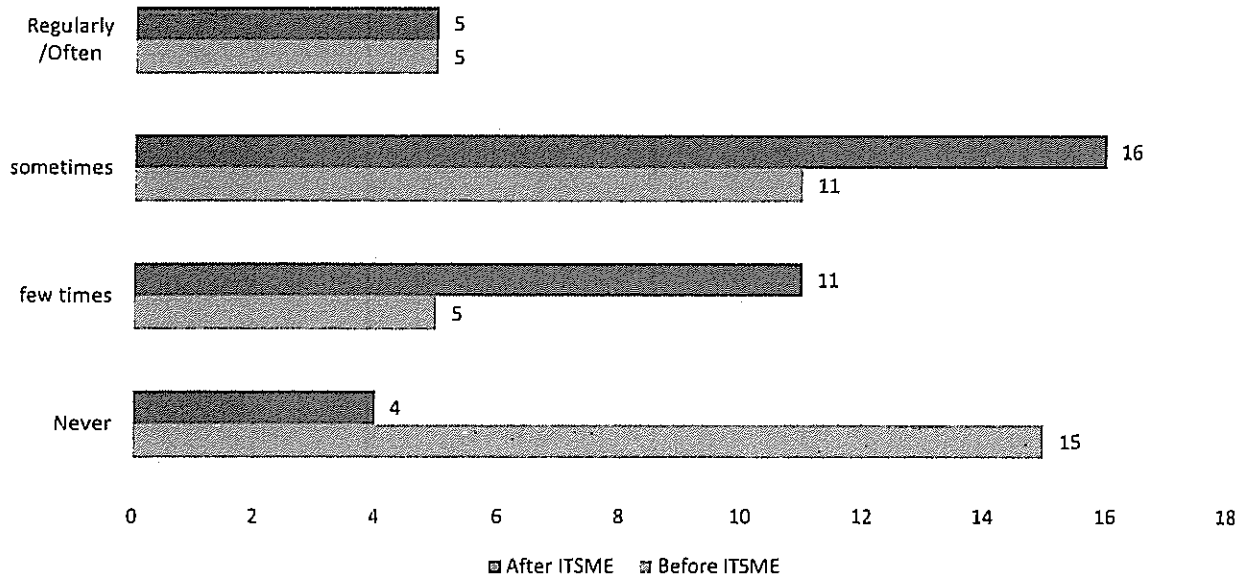
Position: 1. TCC Lecturer science, 2. TCC Lecturer math, 3. TDU/PES, 4. PA (math), 5. PA (Science)

Please read each sentence and check (X) the most appropriate answer.

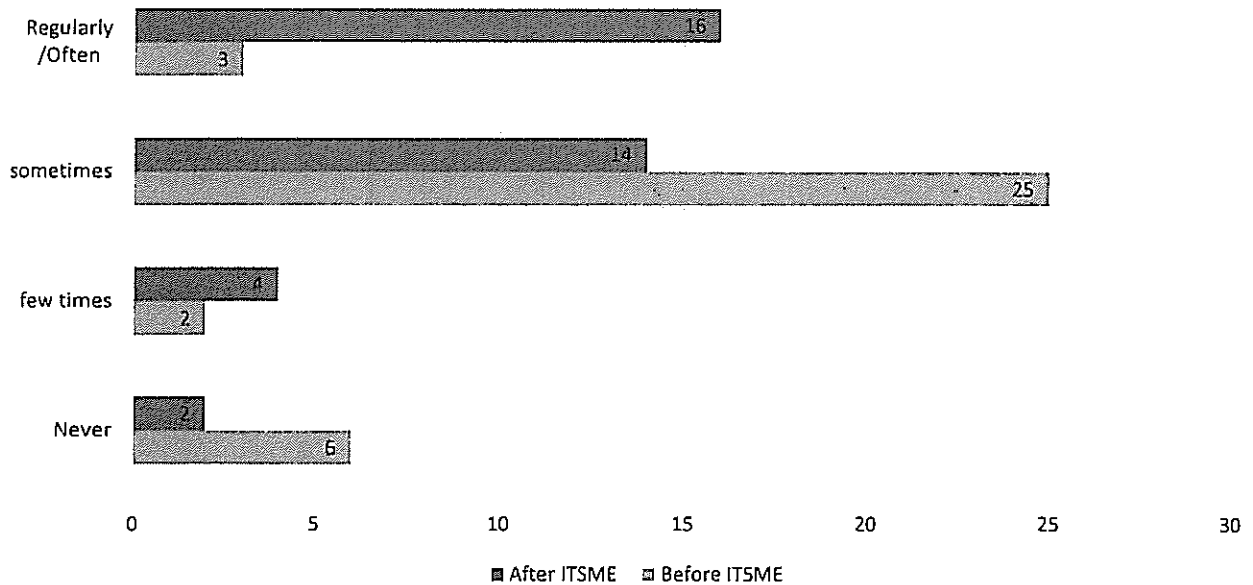
		Never	few times	sometimes	Regularly /Often
1	Did you monitor lessons in ITSME target schools before ITSME support?				
2	Do you monitor lessons with ITSME model lesson plan in ITSME target schools now?				
3	Do you monitor IS activities in ITSME target schools?				
4	Do you monitor IS activities in non ITSME target schools?				
5	Had TTC, PES and DEB collaborated in supporting schools to improve quality of lessons before ITSME support?				
6	Do TTC, PES and DEB collaborate in supporting schools to improve quality of lessons now?				
		No idea	Disagree	Somehow agree	Strongly Agree
7	ITSME target schools conduct IS activities more often compared to the other schools.				
8	IS activities of ITSME target schools contribute to the improvement of quality of lessons.				
9	ITSME model lesson plans have activated IS activities of target schools.				
10	Teachers of ITSME target schools have better capacity to develop effective lesson plans for improving students' learning compared to the teachers in other schools.				
11	Participating in ITSME team in developing model lesson plans have contributed to strengthening your professional capacity and knowledge necessary for your current work.				
12	Collaboration among TTC, PES and DEB is necessary to effectively support teachers for improving quality of their lessons.				
13	Collaboration among TTC, PES and DEB in development of model lesson plan will be sustained after the termination of ITSME Project support (October 2013).				
14	It is easier for PAs to support schools more regularly and effectively if IS activities are organized at cluster level.				
15	Cluster mechanism is functioning in my area.				
16	The model lesson plans are more effective for improving students' learning than lesson plans developed before ITSME.				
17	You can develop model lesson plans based on ITSME approach with ITSME team without any additional technical support to be provided by Experts.				
18	You can support teachers in the development of lesson plans based on ITSME approach for other units in the future.				

External Supervision

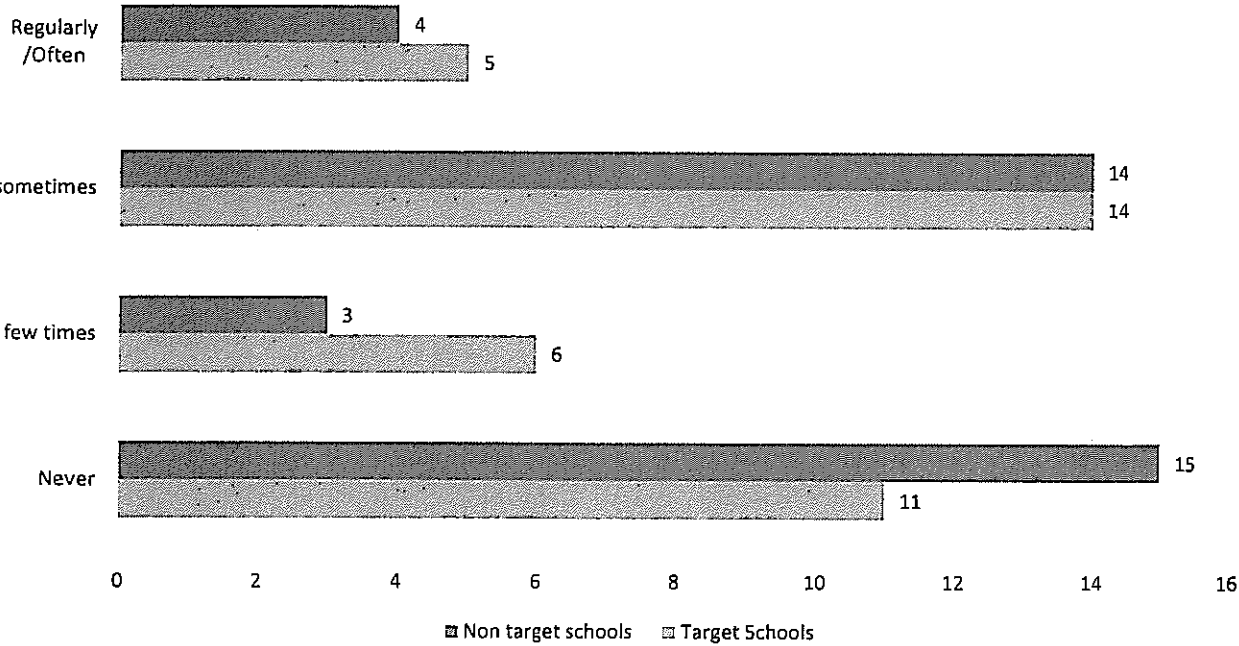
Frequency of External Supervision (monitoring lessons) Q1 and 2



Collaboration among TTC, PES and DEB for supporting schools (Q5 and Q6)

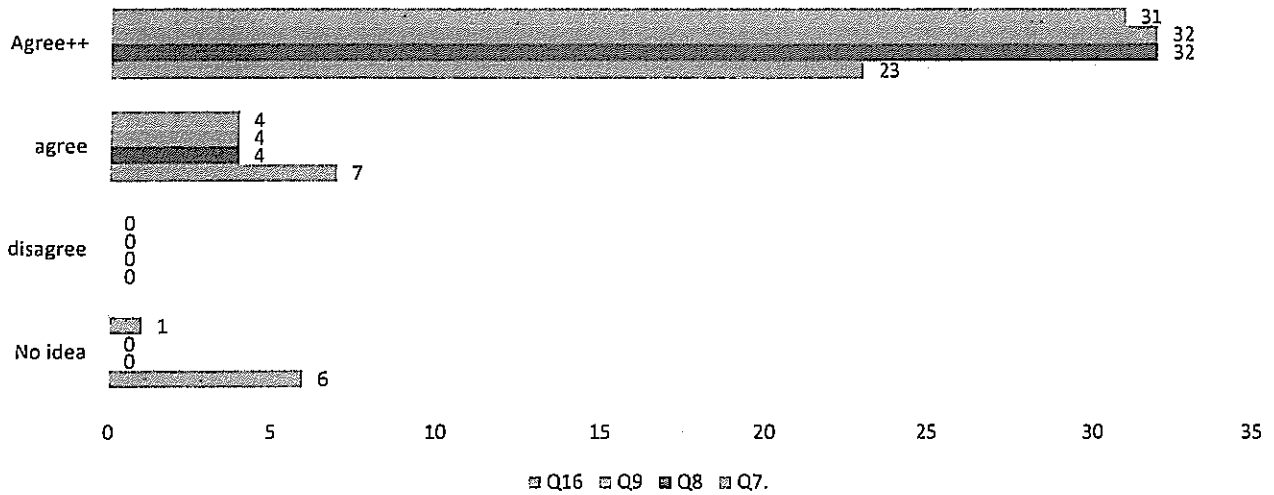


Monitoring IS activities - Target and Non target (Q3 and 4)

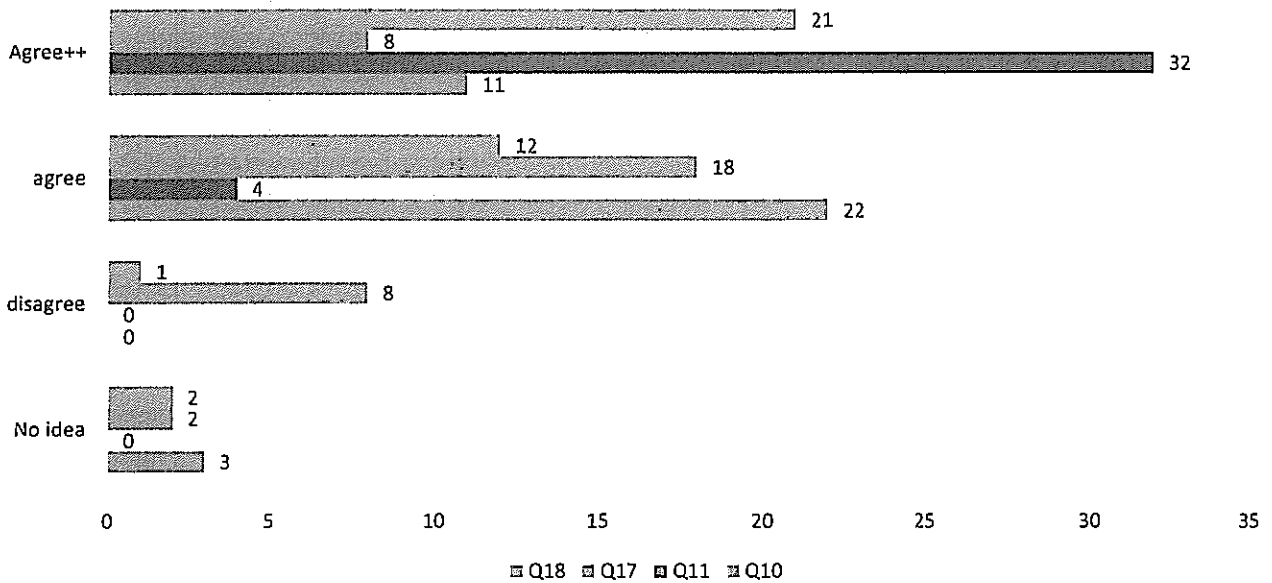


Internal Supervision

- Q7 Frequency of IS of Target Schools compared to non TS
- Q8 Contribution of IS activities of TS to improving quality of lessons
- Q9 Contribution of model L/P to activation of IS activities of IS
- Q16 Effectiveness of model L/Ps for improving students' learning



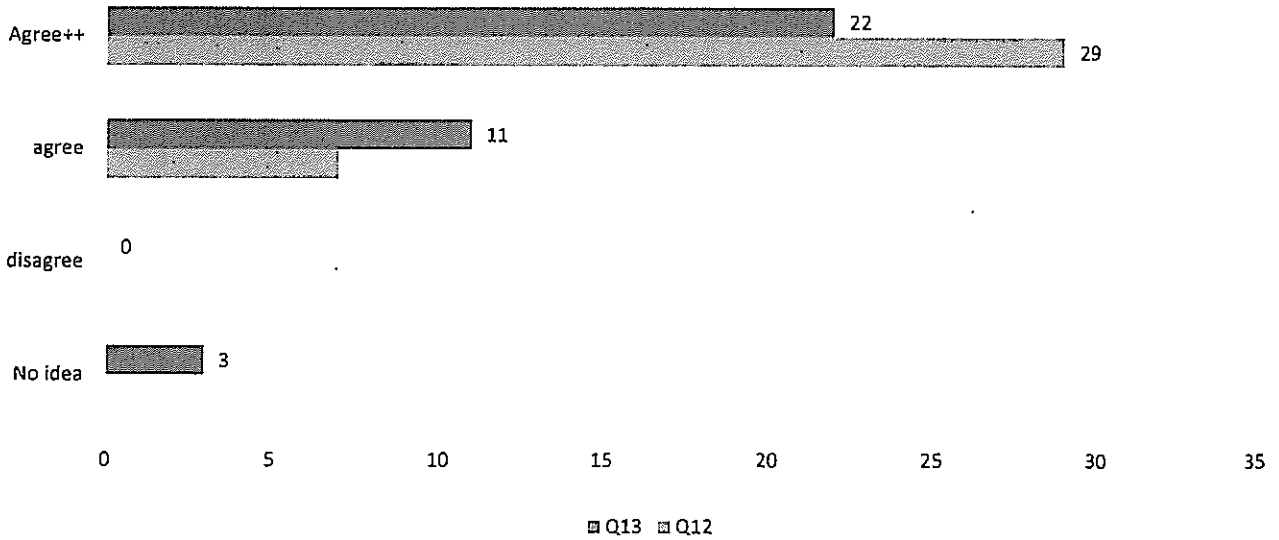
- Capacity Level for quality lesson planning and professional capacity/knowledge
- Q10. Teachers at Target Schools
 - Q11. ITSME team as individual (ITSME contribution to their professional capacity development)
 - Q17. ITSME team as group (development of model L/P w/o TA by Experts)
 - Q18. Individual capacity to support school in lesson planning based on ITSME



Effectiveness and Sustainability

Q12. Effectiveness of Collaboration of TCC, PES and DEB for supporting teachers for quality improvement

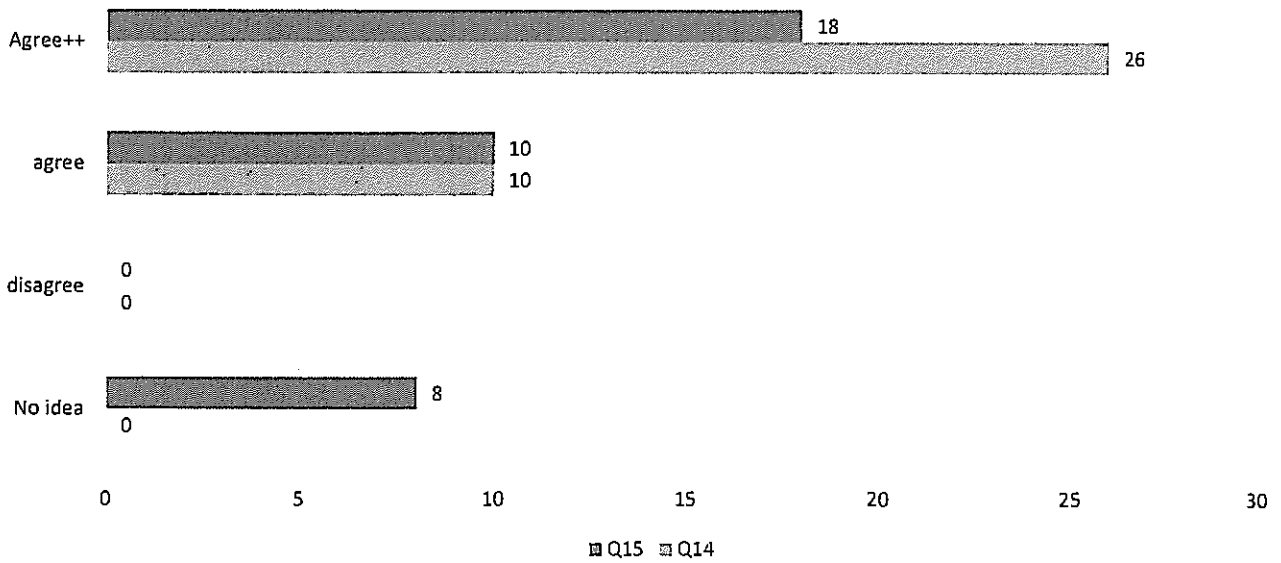
Q13. Sustainability of collaboration for model L/P development after the project



Cluster Mechanism

Q14. Effectiveness and Efficiency of cluster mechanism for regular monitoring

Q15. Whether or not cluster mechanism is functioning in the area



Name of School: _____

District: _____

Years of serving in this school as principal: _____ Years

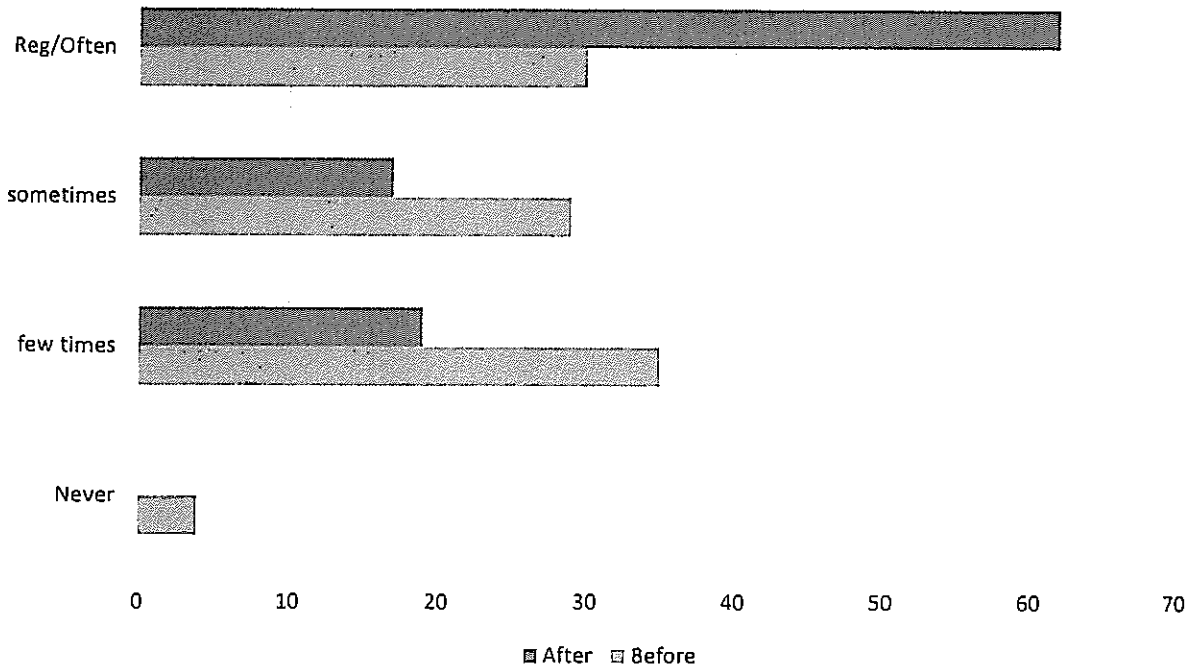
Province: _____

You have participated in ITSME activities since 2010 () 2011 () 2012 () 2013 ()

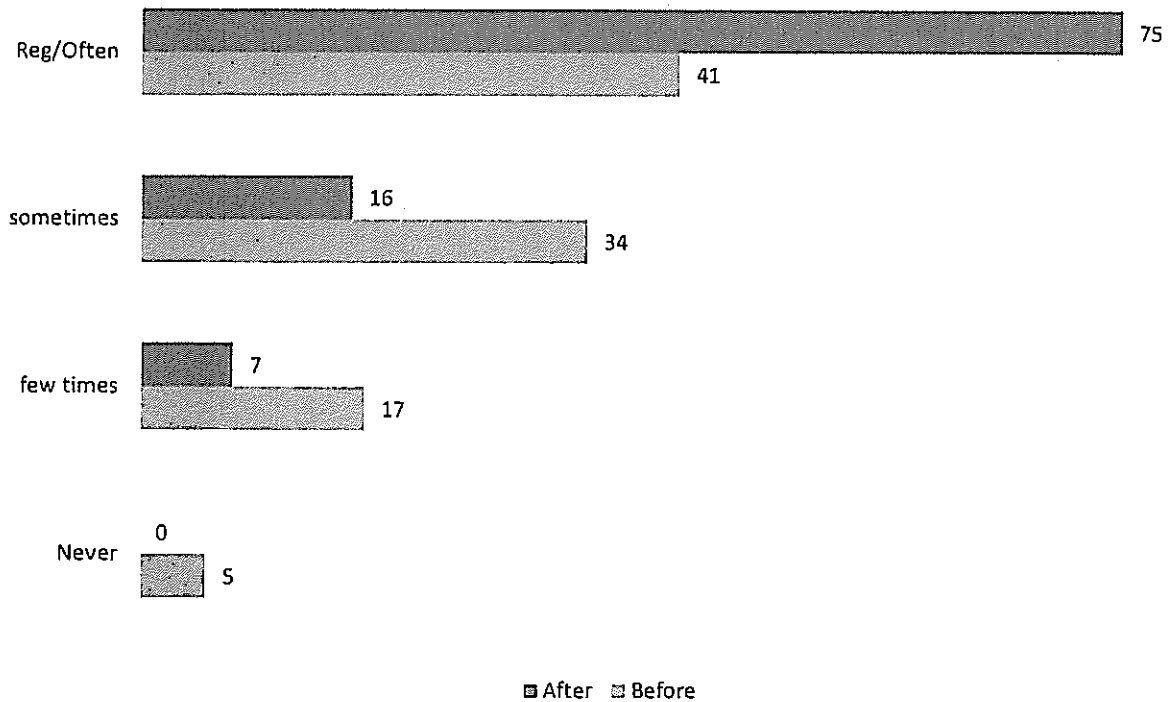
Please read each sentence and check (X) the most appropriate answer.

		Never	few times	sometimes	Regularly / Often
1	Did you provide your teachers with opportunities to discuss how to prepare lesson plans in IS activities before ITSME support?				
2	Do you provide your teachers with opportunities to discuss how to prepare lesson plans in IS activities now?				
3	Did your teachers work together in the preparation of lesson plans before ITSME support?				
4	Do your teachers work together in the preparation of lesson plans now?				
5	Did you organize lesson observation and discussions with other neighboring schools (in the cluster) before ITSME support?				
6	Do you organize lesson observation and discussions with other neighboring schools now?				
7	Did your school receive pedagogical and professional support for improving quality of lessons by Pedagogic Advisor (PA) before ITSME support?				
8	Does your school receive pedagogical and professional support for improving quality of lessons by PA now?				
9	Were there IS activities for improving lessons with other schools at cluster level before ITSME support?				
10	Are there any IS activities for improving lessons with other schools at cluster level now?				
		No idea	Disagree	Somehow agree	Strongly Agree
11	Your teachers spend more time for lesson planning after ITSME support.				
12	The quality of IS activities has been improved with ITSME support.				
13	The frequency of lesson observation by PA of District Education and Sports Bureau was increased after ITSME support.				
14	The technical support provided by PA becomes more effective in improving lessons in your school after ITSME support.				
15	Joint lesson planning will improve the quality of lessons of my teachers.				
16	I can organize IS activities more effectively with ITSME materials.				
17	Teachers have become more attentive to slow learners when conducting lessons after ITSME support.				
18	Your teachers can apply ITSME approach in the elaboration of other lesson plans.				
19	Did you have an annual IS plan of your school before ITSME support?	Yes ()	NO ()		
20	Do you have an annual IS plan of your school now?	Yes ()	NO ()		

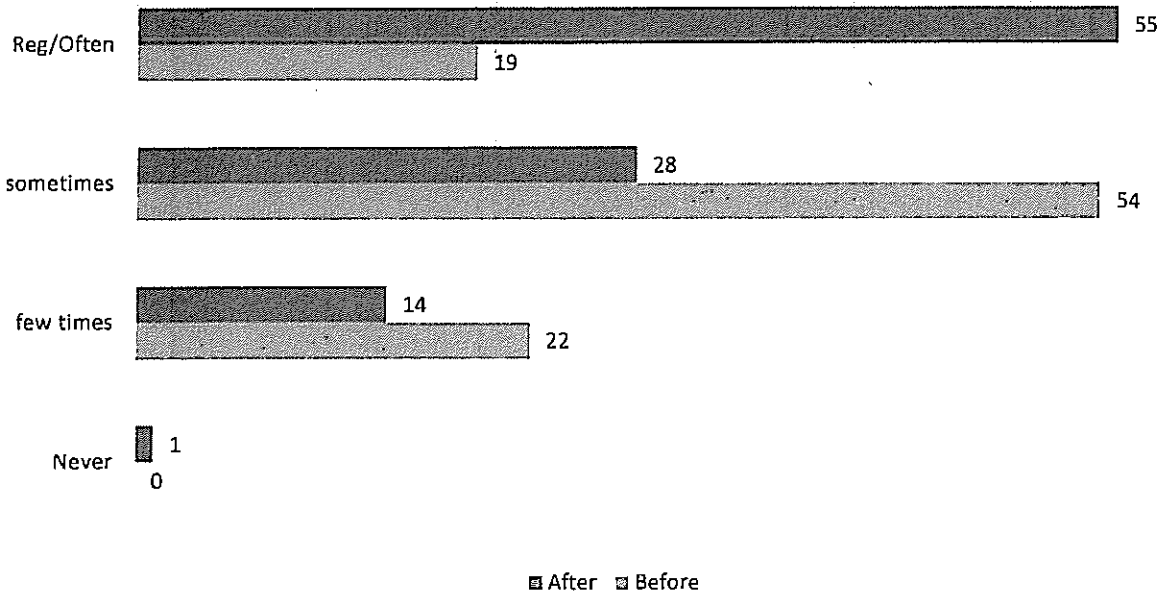
Opportunities to discuss how to prepare lessons (Q1 and 2)



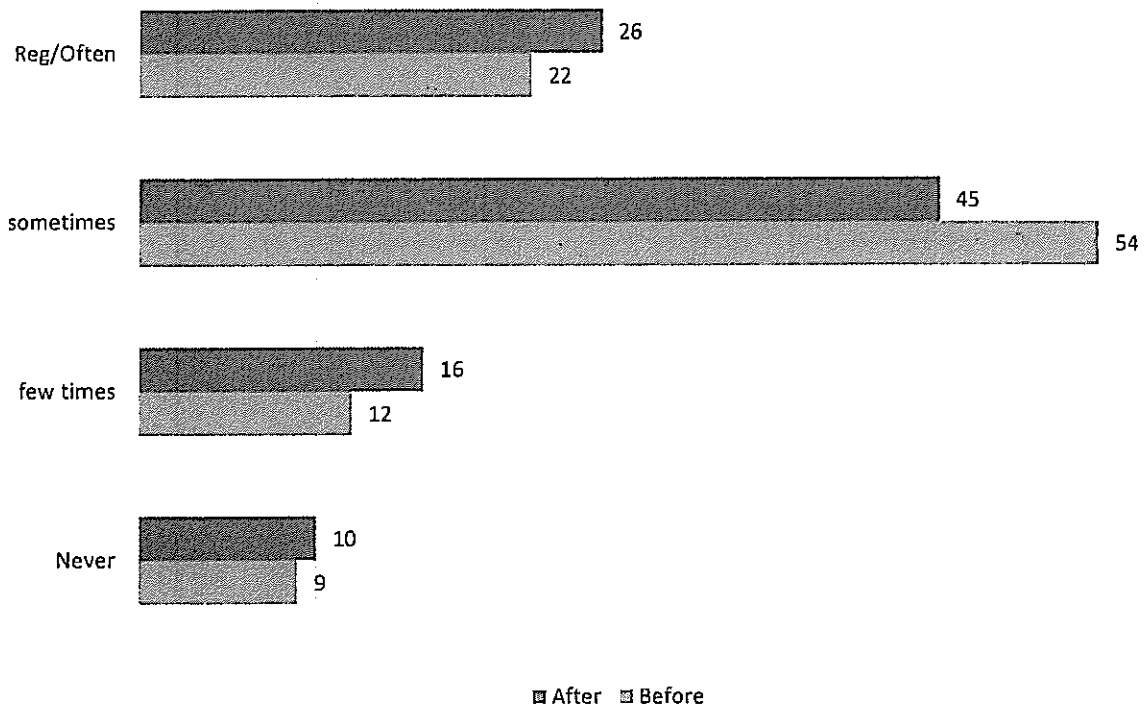
Teachers' collaboration in preparation of L/Ps (Q3 and 4)



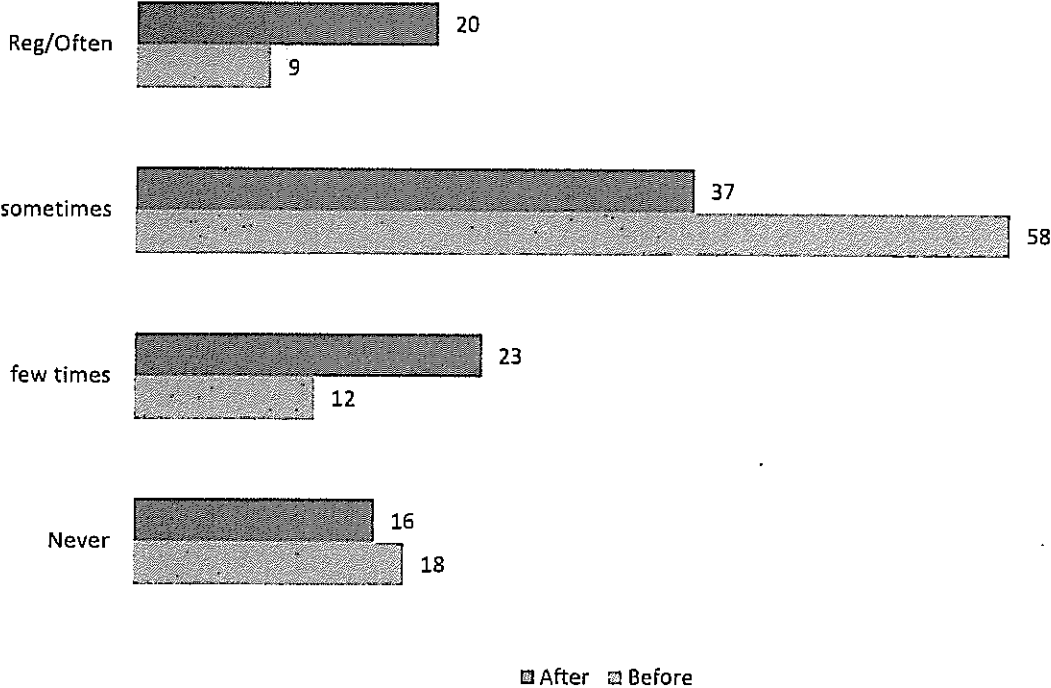
Professional support for improving quality of lessons by PA
(Q7 and 8)



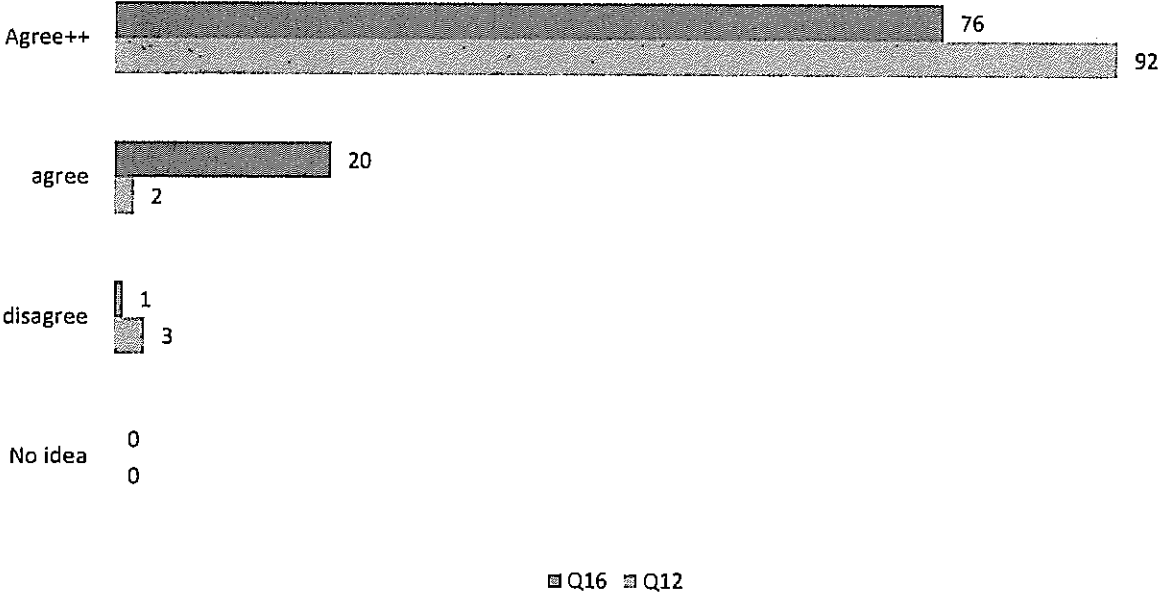
Conducting lesson observation and discussion with other
neighboring schools in the cluster (Q5 and 6)



IS activities for improving lessons with other schools at cluster level (Q9 and 10)



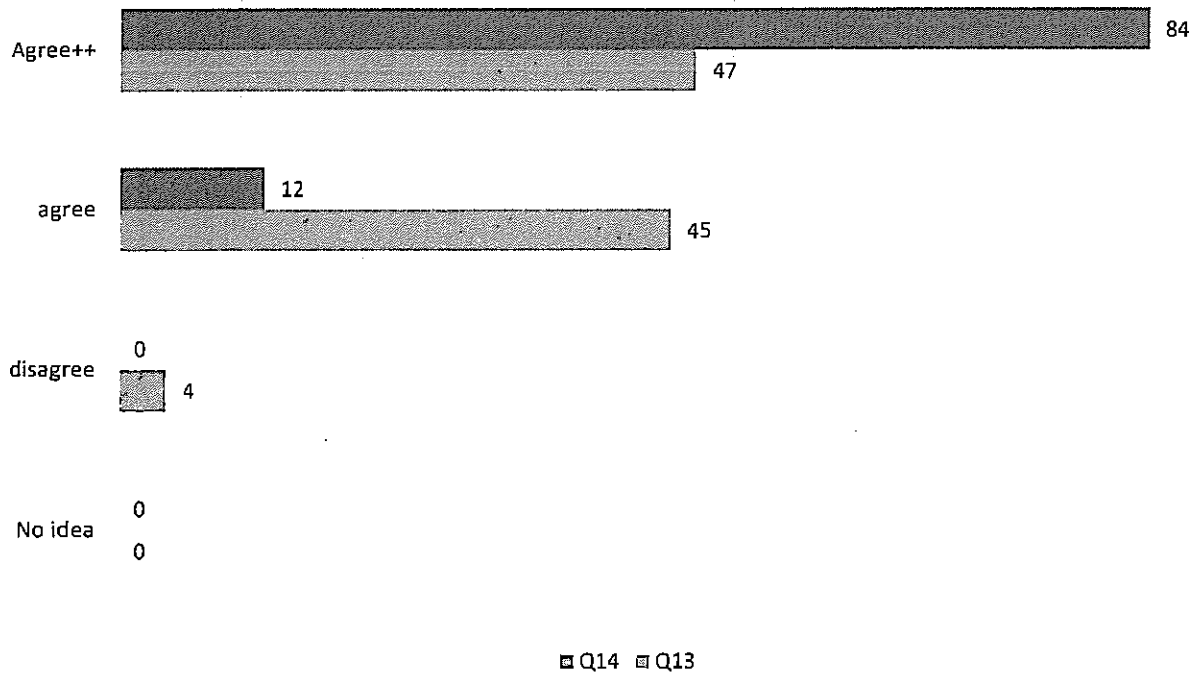
Q16 I can organize IS activities more effectively with ITSME materials.
 Q12. The Quality of IS activities has been improved with ITSME support



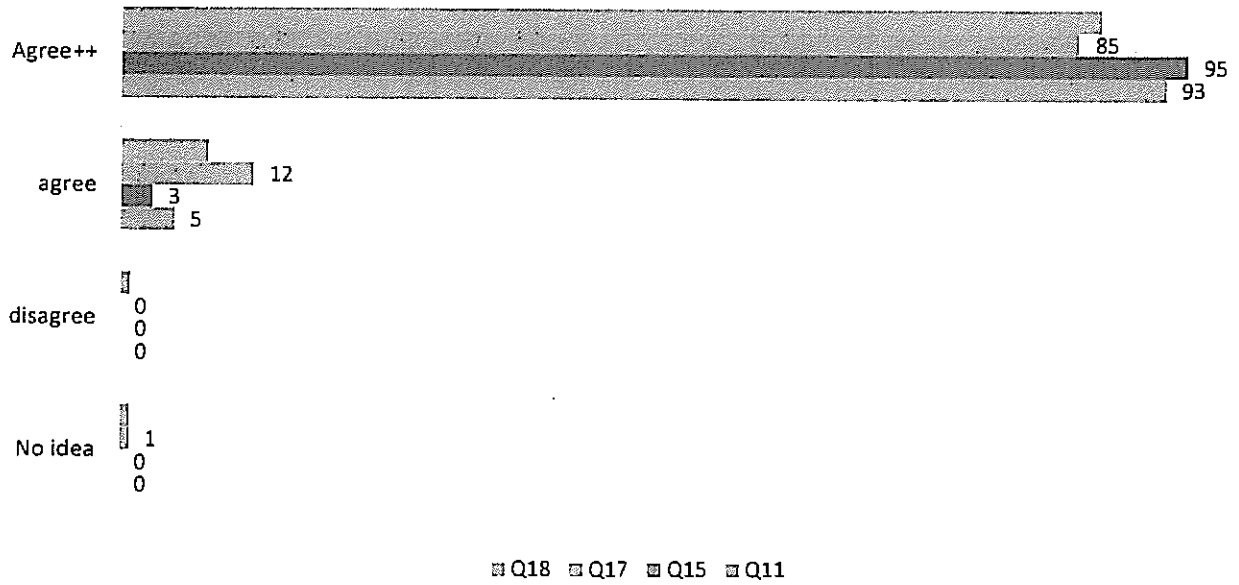
Q17. Teachers become more attentive to slow learners
 Q15. Joint lesson planning will improve the quality of lessons
 Q11. Teacher spend more time for lesson planning after ITSME



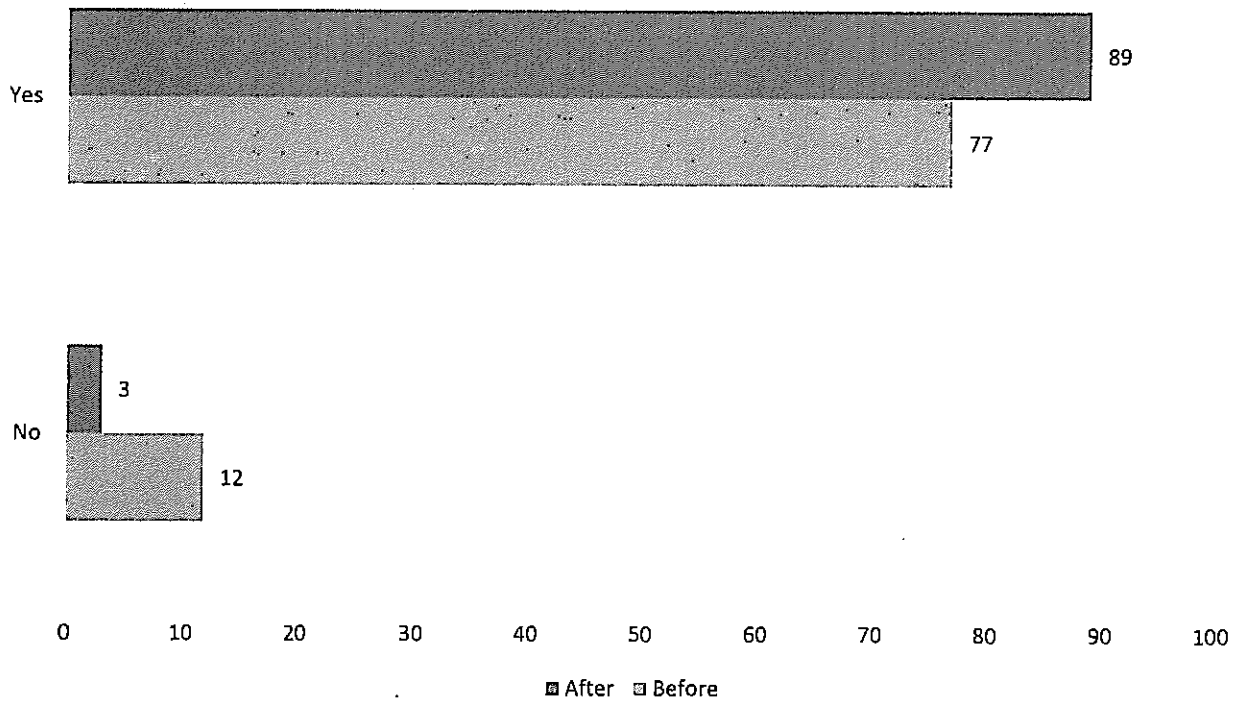
Q13 Frequency of lesson observation by PA increased
 Q14 Technical support provided by PA becomes more effective in improving lessons



Q18 Teachers can apply ITSME approach in other lesson plans.
 Q17. Teachers become more attentive to slow learners
 Q15. Joint lesson planning will improve the quality of lessons
 Q11. Teacher spend more time for lesson planning after ITSME



Annual IS plan of school (Q19 and 20)



5. ITSME 将来計画と実施戦略

ITSME Future Plan and Implementation Strategy

This is to certify the agreement among the directors of PES, DEB and TTC who are participating and implementing ITSME activities.

All the directors from Kammouane, Savannakhet and Champasak PES and Thakhek, Himboun, Kayson, Champhone, Phalanxay, Sanasonboun, Bachieng and Paksong DEB together with Savannakhet and Pakse TTC had confirmed and agreed the following plans and strategies to continue ITSME activities on February 18th, 2013 at Savannakhet TTC.

1. Present Status of ITSME Project

Through the monitoring and the reports done by ITSME trainers, the directors acknowledge the present status of the teachers' practice at ITSME target schools as follows;

- Teachers are encouraged to conduct IS activities.
- Teachers find the effectiveness of learning lesson planning to improve their teaching capabilities.
- Teachers start making or rewriting their own lesson plans following ITSME format and steps.
- Teachers find more participation of the students if the lesson is suitably designed for them.

The details of teachers practice will be studied through ITSME Endline Survey.

2. Continuation of ITSME activities

Based on those findings, DTE promotes the continuation and dissemination of the method of ITSME lesson planning as a part of regular activities of DTE. The methodologies are as follows;

1) Maintenance of ITSME trainers team

DTE maintains the team of ITSME trainers to continue their assignments and functions to implement each activity of ITSME 4-step. ITSME activities should be a part of trainers' routine work at their office. ITSME trainers are expected to work as a provincial team. TTC trainers are entitled to visit schools together with DEB or PES trainers.

2) Continuation of ITSME activities at school

ITSME target schools should continue IS activities utilizing ITSME materials as a part of regular school activities. Principal should be responsible on planning, implementing and reporting of IS activities.

3) Introduction of ITSME lesson planning at TTC

DTE encourages all TTC to introduce the method of ITSME lesson planning as a part of compulsory study for new teachers. It is a bridging of pre-service and in-service to make smooth induction of newly hired teachers to their profession. Savannakhet TTC and Pakse TTC should take the leading role of this strategy.

4) Production of ITSME materials for IS

Since ITSME materials for IS are the source of teachers' study, ITSME trainers should continue producing the materials. To make it effective and efficient, DTE recommends to take the following two ways;

- Each TTC trainer should produce at least one (1) ITSME material per semester.
- ITSME trainers should find appropriate lesson plans among the teachers products and analyze to modify to be qualified materials.

5) Conduct of TOT

TOT is the opportunity to deliver ITSME materials and train principals and ATs. DEB should be encouraged to set and conduct an appropriate meeting or to maximize any other opportunity for these functions.

6) Dissemination of ITSME lesson planning

PES and DEB should be encouraged to disseminate ITSME lesson planning to the clusters and schools which have no experience of ITSME activities.

7) Budgetary plan

Since ITSME activities should be the routine work of each organization, the expenses of the activities should be shouldered by themselves. It is also encouraged to maximize any opportunity to be merged with ITSME activities.

3. Roles and functions

To continue ITSME activities, each organization should play the following roles and functions;

DTE (Department of Teacher Education)

- Recommends policies, guidelines and standards specific to ITSME
- Mobilizes MOES human resources for the support of ITSME activities
- Recommends fund allocation for ITSME and facilitates fund releases for the activities
- Links up with other departments and national agencies involved in ITSME, such as DPPE (Department of Primary and Pre-school Education), RIES (Research Institute for Educational Science) and ESQAC (Educational Standard and Quality Assurance Center)
- Participates in the development of ITSME materials for IS, implementation and monitoring.
- Monitors and evaluates the implementation of ITSME activities in the province, districts, and school level
- Collects, collates and processes reports from the provinces; and
- Prepares over-all report, work programs, and accomplishments

PES (Provincial Education Service)

- Manages the implementation of ITSME in the province, such as Preparation Workshop and TOT
- Mobilizes human resources in the province for ITSME activities
- Recommends fund allocation for ITSME and facilitates funds releases for the activities
- Coordinates the implementation of ITSME in the province
- Conduct TNA (Training Needs Assessment) at the target schools at proper time
- Acts as trainers in the development and delivery of ITSME materials for IS
- Participates in the development of ITSME materials for IS, implementation and monitoring
- Assists the districts in conducting monitoring and evaluation activities
- Coordinates with TTC (Teacher Training College) to make available certain resources for ITSME
- Responds to ITSME concerns and problems at the provincial and district level; and
- Submits periodic reports as required by DTE

DEB (District Education Bureau)

- Manages the implementation of ITSME in the district, such as TOT and IS
- Mobilizes human resources in the district for ITSME
- Recommends fund allocation for ITSME and facilitates funds releases for the activities
- Conduct TNA (Training Needs Assessment) at target schools at proper time
- Acts as trainers in the development and delivery of ITSME materials for IS
- Make principals, ATs and other district officials to attend TOT on scheduled dates
- Responds to ITSME concerns and problems at the district and school level; and
- Submits periodic reports as required by PES/ DTE.

TTC (Teacher Training College)

- Provides technical assistance for the all levels of ITSME activities
- Mobilizes TTC human resources for the support of ITSME
- Leads the preparation of ITSME materials for IS by making a draft of exemplar lesson plans
- Sends TTC lecturers to schools for monitoring of IS by the request from PES or DEB
- Shares and applies ITSME experiences to the curriculum, lectures and instructions for the future teachers; and
- Provides technical inputs, suggestions and recommendations to improve the quality of ITSME activities

Target Schools (Principals and ATs)

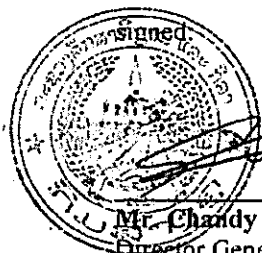
- Manage the implementation of IS with ITSME materials at school
- Make teachers to participate to IS regularly
- Coordinate with PES and DEB in the administration of TNA (Training Needs Assessment), collates the results and submits it to PES through DEB
- Source funds for IS
- Participate to TOT and other regular meetings with DEB members
- Serves as facilitator/ process observer during IS activities and conducts feedback sessions when any ITSME trainer joins

- Observe classes of teachers
- Submit periodic reports as required by PES through DEB; and
- Request teachers to submit their lesson plans and other outputs of IS activities

ITSME Trainers

- Act as leaders of ITSME activities
- Conduct Preparation Workshop, TOT and monitoring activities at provincial level
- Prepare ITSME materials for IS by thoroughly studying the lesson topics and make support materials for teachers as well as sample teaching aids for the lessons
- Serve as technical assistants during IS for both of management and contents
- Assist the principals and ATs in the preparation of periodic reports

April 1st, 2013



Mr. Chandy PHOMMABOUTH
Director General
Department of Teacher Education
Ministry of Education and Sports

Attachment:

Implementation Plan on the continuation of ITSME activities

To all PES, DEB and TTC Directors who are conducting ITSME activities;

Department of Teacher Education
April 1st, 2013

Implementation Plan on the continuation of ITSME activities

Following the agreement on "ITSME Future Plan and Implementation Strategy" agreed among the Directors who are conducting ITSME activities on February 18th, 2013, Department of Teacher Education plans and implements the following activities.

Rationale Objectives:

1. Since Internal Supervision with ITSME materials is effective and efficient to improve teachers' teaching capability, all ITSME target schools conduct IS activities continuously and regularly.
2. This good practice should be disseminated and expanded to non-target schools, clusters, districts and provinces in the country.
3. ITSME lesson plan format and the method of lesson planning are accepted as national standard.

Experiential Objectives:

1. School teachers acknowledge and appreciate the importance of sharing ideas among the teachers on lesson planning and practice.
2. Principals and ATs show their commitment and confidence in assisting the continuous professional development of the teachers.
3. ITSME trainers make continuous support for the teachers through making ITSME materials and monitoring on IS activities.
4. Directors of PES, DEB and TTC endorse and support the activities of ITSME trainers administratively and financially.
5. DTE makes the policies and full support for ITSME activities to improve teachers' teaching capability.

The following is the tentative and recommended implementation plan of ITSME activities;

- ITSME trainer in PES should take leading-ship and facilitation on those activities.
- the activities can be re-arranged by the team of ITSME trainers in each province.
- especially the number of TOT should be arranged by each province according to the needs and availability of the schools and ITSME trainers.
- the completed ITSME materials should be sent to DTE in order to share to the other provinces.
- the workshop for all ITSME trainers may be planned and conducted by DTE according to the needs.
- all ITSME trainers share the information and contact each other to make the activities conducted smoothly and effectively.
- in case there is a need of discussion on this matter, please contact Ajan Simoungkhoun for consultation. He will make required arrangement.

ITSME Implementation Plan on the regular activities for each year

ACTIVITIES	OBJECTIVES	TIME FRAME/ VENUE	PERSONS INVOLVED	RESOURCE REQUIREMENT	INPUT	EXPECTED OUTPUT
1. Provincial planning meeting	- to plan annual activities and share the responsibilities - pick up the topics for ITSME materials	-1st week in April - at each PES	- All ITSME trainers in the province	- Transportation expenses (shouldered by each organization)	- Annual activity plan of each organization	- Provincial ITSME plan
2. Consultative meeting with Directors of PES, DEB and TTC	- to present Provincial ITSME plan and get the approval	- Before Lao new year - at each PES	- All related directors and PES trainers	- Transportation expenses (shouldered by each organization)	- Provincial ITSME plan	- Approval of the Directors with Budgetary Commitment
3. Preparation of draft ITSME materials	- to make draft of ITSME materials (each TTC trainer makes one LP per semester)	- at any available time for TTC trainers - at any available place	- TTC trainers	- no fund required (DTE provides compensation if needed)	- Resource materials for lesson planning	- Draft ITSME materials
4. Trainers meeting on ITSME materials	- to discuss and analyze the draft ITSME materials to finalize them	- May to July depending on the availability of the trainers - It may take series of discussions - at TTC	- All ITSME trainers in the province	- Transportation expenses and accommodation (shouldered by each organization) - ITSME Lesson Plan Evaluation Sheet	- Draft ITSME materials - Resource materials for lesson planning	- Finalized ITSME materials
5. Preparation meeting for TOT	- to prepare and practice the conduct of TOT	- August (before starting of the first semester) - at PES	- All ITSME trainers in the province	- Transportation expenses (shouldered by each organization)	- All required materials for TOT	- TOT program - person in charge - prepared materials - arrangement of the venue for TOT - information to all the target schools

ACTIVITIES	OBJECTIVES	TIME FRAME/ VENUE	PERSONS INVOLVED	RESOURCE REQUIREMENT	INPUT	EXPECTED OUTPUT
6. TOT <u>for the first semester</u>	- to deliver ITSME materials and give instructions for the principals and ATs	- August (before starting of the first semester) - at each DEB (or any occasion available)	- All ITSME trainers in the province (depends on their availability)	- Transportation expenses (also PES Fortuner can be used) - ITSME Form A, B, C and D	- All required materials for TOT	- All school receive ITSME materials - Principals and ATs get the point of IS activities
7. IS activities	- to utilize ITSME materials to study lesson planning	- according to the annual plan of IS activities - at each school	- All the teachers in the school	- ITSME Form E	- ITSME materials and Manuals - Textbooks, teachers' guides and other requires materials	- All teachers analyze, understand and modify ITSME materials - All teachers make preparation for the lessons
8. Monitoring (and repeat the steps 3 to 8 for the second semester)	- to observe IS activities and give suggestions - to get information and suggestions to improve ITSME materials and activities	- following the plan of IS activities given by the schools - at each school	- DEB trainers and other trainers depending on their availability	- Transportation expenses (shouldered by each organization) - ITSME Form F and G - ITSME Lesson Observation Sheet	- ITSME materials and Manuals - Textbooks, teachers' guides and other requires materials	- All teachers analyze, understand and modify ITSME materials - All teachers make preparation for the lessons
9. Provincial summarization meeting	- to evaluate and summarize the annual activities - to plan the outline of the activities in the following year	- 1st week in April (at the same time of planning meeting) - at each PES	- All ITSME trainers in the province	- Transportation expenses (shouldered by each organization)	- Annual activity plan of each organization - All reports submitted by the schools - All records and notes related ITSME activities	- Recommendations and suggestions for the activities for the following year

ITSME Implementation Plan on the expansion of ITSME activities for new areas

Expansion Plan	Objectives	Activities/Steps	Persons involved	Strategies	Expected Output
<p>1. Dissemination to the non-target clusters/schools (within the target districts)</p>	<ul style="list-style-type: none"> - to introduce and invite the interests on the new mode of in-service teacher training - to realize the effectiveness of IS activities utilizing ITSME materials to improve teachers' capabilities - to start the implementation of IS activities utilizing ITSME materials 	<ul style="list-style-type: none"> - Original target clusters continue ITSME 4-step 1) DEB conducts an orientation for all principals on the expansion of ITSME target clusters 2) DEB selects 2 or 3 new clusters (at least one) among the clusters who express their commitment 3) DEB conducts TOT for these new clusters 4) Member schools in those new clusters conduct IS and DEB monitors it 	<ul style="list-style-type: none"> - DEB trainers are responsible and PES and TTC trainers assist technically and administratively - DEB director should take initiative to disseminate ITSME ideas into new clusters 	<ul style="list-style-type: none"> - All the opportunities of district activities should be utilized to introduce ITSME ideas - Especially, when PAs visit non-target schools, ITSME way and formats should be applied on the observation and feedback of the lessons - ITSME manual ver. 2, produced ITSME materials for IS (exemplar lesson plans) and IS planning/reporting forms should be copied at DEB Office and distributed - All districts are recommended this expansion and to make it smooth, all PAs should participate to TOT in June 2013 to understand how to conduct TOT 	<ul style="list-style-type: none"> - The number of non-target clusters who start IS activities utilizing ITSME materials will be increased - The request of non-target clusters/schools inviting sharing information on ITSME activities will be increased - The number of clusters who conduct ITSME activities is increased.

Expansion Plan	Objectives	Activities/Steps	Persons involved	Strategies	Expected Output
<p>2. Dissemination to the non-target districts (within the target provinces)</p>	<ul style="list-style-type: none"> - to introduce and invite the interests on the new mode of in-service teacher training - to realize the effectiveness of IS activities utilizing ITSME materials to improve teachers' capabilities - to start the implementation of IS activities utilizing ITSME materials 	<ul style="list-style-type: none"> - Original target districts continue ITSME 4-step 1) ITSME trainers team evaluate and confirm the effectiveness and efficiency on the expanding strategy mentioned above whether it should be taken or not for non-target districts 2) PES conduct sharing and orientation on the effectiveness of IS activities utilizing ITSME materials in SY 2013-2014 maximizing any opportunities to meet non-target districts 3) PES selects 2 or 3 new districts (at least one) among the clusters who express their commitment and those new DEB select 2 clusters in the district 4) PES plan a special TOT for these new clusters in the new districts with the help of ITSME trainers from the original 8 districts together with the developed ITSME materials and manuals 5) New DEB trainers conduct TOT for the new clusters with the help of ITSME trainers 6) Member schools in those new clusters conduct IS and new DEB trainers monitor it 	<ul style="list-style-type: none"> - PES trainers are responsible and DEB and TTC trainers assist technically - PES directors should take initiative to disseminate ITSME ideas into new districts 	<ul style="list-style-type: none"> - All the opportunities of provincial activities should be utilized to introduce ITSME ideas such as DEB directors meeting - When PES trainers visit non-target districts, ITSME idea should be introduced together with ITSME manual ver. 2, produced ITSME materials for IS (exemplar lesson plans) and IS planning/reporting forms - ITSME manual ver. 2, produced ITSME materials for IS (exemplar lesson plans) and IS planning/reporting forms should be copied at DEB Office and distributed 	<ul style="list-style-type: none"> - The number of non-target districts who are interesting in IS activities utilizing ITSME materials will be increased - The request of non-target districts inviting the sharing information on ITSME will be increased - The number of districts who conduct ITSME activities is increased.

Expansion Plan	Objectives	Activities/Steps	Persons involved	Strategies	Expected Output
<p>3. Dissemination to the non-target provinces (nation wide approach)</p>	<ul style="list-style-type: none"> - to introduce and invite the interests on the new mode of in-service teacher training - to realize the effectiveness of IS activities utilizing ITSME materials to improve teachers' capabilities - to start the implementation of IS activities utilizing ITSME materials -to make ITSME lesson plan format and method of lesson planning will be commended for national standard 	<ul style="list-style-type: none"> - Original target districts continue ITSME 4-step - ITSME trainers team evaluate and confirm the effectiveness and efficiency on the expanding strategy mentioned above whether it should be taken or not for non-target provinces 1) DTE introduces the effectiveness of ITSME materials for IS to improve the quality of IS activities together with the outline of ITSME 4-step with ITSME lesson planning at the meeting of all PES directors (the opportunities will be set with the help of DPPE) 2) If there are any province who are interested in ITSME activities, DTE sets the orientation for the provincial officials (DTE will call available ITSME trainers to introduce ITSME activities and its effectiveness) 3) The provinces who are willing to implement ITSME activities should invite the cooperation of TTC nearby for technical assistance 4) The provinces who are willing to implement ITSME activities should set some target districts and clusters in the same manner as what ITSME has done 5) DTE assists and provides ITSME materials and trainers to introduce each step of ITSME activities 6) When new provinces start ITSME 4-step, DTE and some ITSME original trainers will monitor the activities and provide enough suggestions 	<ul style="list-style-type: none"> - DTE should be responsible on the dissemination of ITSME ideas to non-target provinces - DTE makes ITSME trainers as resource persons on the orientations/ workshops for new provinces 	<ul style="list-style-type: none"> - DTE sets the opportunity to introduce ITSME ideas to DTE officials - DTE invites DPPE, RIES and ESQAC to observe to know the actual implementation of ITSME activities in the target province (3rd week in May) - DTE invites DPPE, RIES and ESQAC to evaluate ITSME strategies utilizing ITSME manual ver.2 and ITSME materials for IS (exemplar lesson plans) - DTE recommends DPPE, RIES and ESQAC to take ITSME lesson plan format and method into the manuals/modules for principals' and teachers' training as national standard - DTE continues the discussion with DPPE, RIES and ESQAC to make ITSME manual ver.2 one of the reference materials of the training modules which is under editing at DPPE 	<ul style="list-style-type: none"> - There should be any province who wish to implement ITSME activities - DTE will be able to copy ITSME experiences to the new provinces who are willing to start ITSME activities - The provinces who are willing to implement ITSME activities understand the mechanism of ITSME and the needs of cooperation of PES, DEB and TTC - The provinces who are willing to implement ITSME activities try to start its implementation under the assistance of DTE and ITSME original trainers - ITSME lesson plan format and method of lesson planning become national standard

Expansion Plan	Objectives	Activities/Steps	Persons involved	Strategies	Expected Output
<p>4. Installment of the method of ITSME lesson planning into TTC curriculum</p>	<ul style="list-style-type: none"> - to introduce and invite the interests on the new mode of in-service teacher training for TTC teachers and students - to realize the effectiveness of IS activities utilizing ITSME materials to improve teachers' capabilities - to make the students start the practice of ITSME lesson planning in order to equip it before they go actual teaching - ITSME lesson planning will be taken as one of the contents of TTC lessons 	<ol style="list-style-type: none"> 1) Savannakhet TTC and Pakse TTC will be the leader of introduction of ITSME lesson planning into TTC (these two TTC start its introduction to the graduate in June 2013) 2) DTE invites the representatives of 6 TTC to the preparation workshop in May 2013 3) Representatives of ITSME trainers present the outline of ITSME activities and strategies for them during the workshop 4) The representatives participate the workshop to understand how ITSME trainers produce ITSME materials to study ITSME lesson planning 5) The representatives conduct echo training to the colleagues at TTC and invites directors decision if they install ITSME ideas into their lessons 6) DTE continues to provide the opportunities for all 8 TTC to share and exchange their experiences utilizing ITSME ideas; such as science fair 	<ul style="list-style-type: none"> - DTE should be responsible on the dissemination of ITSME ideas to the representatives of 6 TTC - ITSME trainers provides guidance and instruction to the representatives 	<ul style="list-style-type: none"> - DTE prepare the required materials with the help of ITSME trainers and JICA experts - Some of ITSME trainers conduct small workshop during the preparation workshop for the representatives to introduce ITSME ideas and strategies - The representatives join the activities at the workshop - DTE provides ITSME Manual ver.2 and ITSME Lesson Preparation Manual together with the compilation of ITSME materials for IS 	<ul style="list-style-type: none"> - The representatives share and introduce ITSME ideas at their TTC - TTC lecturers at 6 TTC understand ITSME ideas, strategies and its effectiveness - Any of 6 TTC start preparation for introduction of ITSME ideas to the students

Expansion of ITSME activities

	# of Clusters	expansion plan in SY 2013-2014	coverage of clusters as of SY 2013-2014	status in June 2013	budget	
1	Thakhek DEB	6	4 new clusters will start ITSME activities	6/6	<p>1. Remaining 4 clusters requested DEB to provide ITSME LPs.</p> <p>2. DEB invited the principals of center school of each cluster and distributed ITSME LPs.</p>	DEB budget
2	Himboun DEB	12	2 new clusters will start ITSME activities	4/12	<p>1. DEB prioritized 2 clusters to be introduced ITSME activities because those 2 clusters are located in convenient place for monitoring.</p> <p>2. DEB distributed ITSME LPs to all schools in the 2 new clusters.</p> <p>3. This is considered as a trial stage to observe whether it works well or not. If it works, DEB introduce ITSME idea to the remaining 8 clusters.</p>	DEB budget
3	Kaysone DEB	3	1 new cluster will start ITSME activities	3/3	<p>1. DEB prioritizes to disseminate ITSME activities to the cluster schools. (There are some schools which do not belong to any cluster.)</p> <p>2. Maximizing the opportunities of the regular visit of schools and the meeting of principals, DEB provided ITSME LPs and started the introduction of ITSME activities to the center school.</p>	DEB budget
4	Champhone DEB	3	1 new cluster will start ITSME activities	3/3	<p>1. DEB decided to expand ITSME activities to 1 new cluster and 77 schools which do not belong to any cluster.</p> <p>2. Expansion started from 1 cluster first and 77 schools follow as 4 batches step-by-step.</p> <p>3. Since TTC graduates have already know ITSME ideas, the teachers in schools should know the same idea of lesson planning.</p>	DEB budget, making request to PES and other organizations. One of them is VEDC
5	Phalanxay DEB	5	1 new cluster will start ITSME activities	3/5	<p>1. DEB decided to expand ITSME activities to 1 new cluster and observe its effectiveness to decide when the remaining 2 clusters start ITSME activities.</p> <p>2. DEB already distributed ITSME LPs to 4 member schools (all schools) in the new cluster.</p> <p>3. During the training of Lesson Plan Making held at DEB, the principal of the center school was invited to study ITSME activities.</p>	DEB budget, support of World Vision to conduct the training of Lesson Plan Making

6	Sanasomboun DEB	5	3 new clusters will start ITSME activities	5/5	<ol style="list-style-type: none"> 1. DEB made a policy to cover all the schools to be ITSME school. 2. The concrete action plan was not yet established. 3. DEB delivered ITSME LPs to each center school of the new clusters to make them copy and distribute to all the member schools. 4. DEB is planning to introduce the detail of ITSME activities to the new clusters in September. 5. After it, each cluster will make the plan of ITSME activities to submit to DEB director. 	DEB budget
7	Bachieng DEB	4	2 new clusters will start ITSME activities	4/4	<ol style="list-style-type: none"> 1. DEB decided to introduce ITSME activities remaining 2 clusters and 3 independent schools which do not belong to any cluster. 2. DEB distributed ITSME LPs to all the schools in the new clusters. 3. DEB is planning to conduct TOT in September and October for new cluster. 	DEB budget, the budget for TOT will be shared by DEB and the schools; DEB shoulders the expenses for the trainers and the schools shoulder the expenses for the principals.
8	Paksong DEB	10	4 new clusters will start ITSME activities	6/10	<ol style="list-style-type: none"> 1. DEB decided to start expansion to 4 clusters out of 8 remaining clusters. 2. DEB already planed the orientation for these 4 new clusters but DEB is waiting the budget released. 3. When bugdet is available, DEB conducts TOT fo new clusters. 	DEB budget, for TOT, DEB tapped GAP to suport the activity. When the proposal approved, the budget which maximum amount is 17,000,000LAK comes.

		# of Districts	expansion plan in SY 2013–2014	coverage of districts as of SY 2013–2014	status in June 2013	budget
9	Kammouane PES	10	2 new districts will start ITSME activities	4/10	<p>1. 2 ITSME districts will expand ITSME activities for remaining clusters from SY 2013–2014.</p> <p>2. PES will disseminate ITSME activities to 2 new districts out of 10 districts in Kammouane in SY 2013–2014.</p> <p>3. PES will train DEB PAs in new districts inviting the help of ITSME trainers in Thakhek and Himboun.</p>	PES budget
10	Savannkhet PES	15	(No official plan yet)	2/15 (5/15, if the proposal is approved)	<p>1. There is no official plan on the expansion of ITSME activities to new districts.</p> <p>2. However, 2 trainers are introduce ITSME idea when they visit any district to invite the districts' curiosity.</p> <p>3. Ajan Somvilay, who is a CIED trainer, found the collaboration of ITSME and CIED will be very effective to improve the schools and teachers capability following the EQS indicators.</p> <p>4. Ajan Somvilay is making proposal to disseminate ITSME activities to 3 CIED-II districts.</p>	PES budget
11	Champasak PES	10	2 new districts will start ITSME activities	4/10	<p>1. PES encouraged 3 ITSME districts to expand its coverage of ITSME activities.</p> <p>2. PES director introduced the effectiveness of ITSME activities during the principals meeting for the first semester.</p> <p>3. PES starts the expansion of ITSME coverage to new 2 districts which locate near Pakse in SY 2013–2014.</p> <p>4. PES follows the former activities which original ITSME districts experienced.</p> <p>5. As the beginning of the dissemination, PES has already provided ITSME LPs to new districts to make them compare the difference.</p> <p>6. PES invites DEB trainers to help them to introduce ITSME activities.</p>	PES budget

